令　和　４　年　度

主要な施策の成果説明書

一　　般　　会　　計

国民健康保険特別会計

公営簡易水道事業特別会計

令和４年度　主要な施策の成果説明書

目　　次

一　　般　　会　　計 …… 1

概要 …… 2

決算状況 …… 5

総　　務　　費 …… 10

民　　生　　費 …… 40

衛　　生　　費 …… 65

労　　働　　費 …… 83

農　林　水　産　業　費 …… 85

商　　工　　費 …… 98

土　　木　　費 …… 115

消　　防　　費 …… 129

教　　育　　費 …… 133

国民健康保険特別会計 …… 165

公営簡易水道事業特別会計 …… 170

番号	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
1	2	総務費	1	1	職員研修事業	庶務課	10
2	2	総務費	1	1	人権政策費	まちづくり交流課	11
3	2	総務費	1	2	広聴広報事業	情報交通課	12
4	2	総務費	1	3	アルプス囲碁村推進事業	企画財政課	13
5	2	総務費	1	3	定住促進事業	まちづくり交流課	14
6	2	総務費	1	3	ふるさと応援団事業	企画財政課	16
7	2	総務費	1	3	ＳＤＧｓ推進事業	企画財政課	17
8	2	総務費	1	6	交通安全対策費	市民課	18
9	2	総務費	1	6	消費生活センター運営事業	市民課	19
10	2	総務費	1	6	市民バス運行事業	情報交通課	21
11	2	総務費	1	6	公共交通対策事業	情報交通課	23
12	2	総務費	1	8	市民活動促進事業	まちづくり交流課	25
13	2	総務費	1	8	ひとが輝くまちづくり事業	まちづくり交流課	26
14	2	総務費	1	9	電子自治体構築事業	情報交通課	27
15	2	総務費	1	9	電算処理委託事業	情報交通課	28
16	2	総務費	1	9	ケーブルテレビ運営事業	情報交通課	29
17	2	総務費	1	10	男女共同参画推進費	まちづくり交流課	30
18	2	総務費	1	11	八坂地域振興事業	八坂支所	31
19	2	総務費	1	11	八坂定住促進事業	八坂支所	32
20	2	総務費	1	11	明日香荘管理運営費	八坂支所	33
21	2	総務費	1	12	美麻地域振興事業	美麻支所	34
22	2	総務費	1	12	美麻定住促進事業	美麻支所	36
23	2	総務費	1	12	ぽかぽかランド美麻管理運営費	美麻支所	37
24	2	総務費	1	13	芸術文化振興事業	まちづくり交流課	38
25	2	総務費	2	1	賦課徴収費	税務課	39
26	3	民生費	1	1	総合福祉センター管理事業	福祉課	40
27	3	民生費	1	1	市社会福祉協議会助成事業	福祉課	41
28	3	民生費	1	2	その他障害者福祉サービス事業	福祉課	42
29	3	民生費	1	3	高齢者福祉一般経費	福祉課	44
30	3	民生費	1	3	高齢者福祉事業費	福祉課	45
31	3	民生費	1	4	社会就労センター運営管理費	福祉課	46
32	3	民生費	1	4	美麻福祉企業センター運営管理費	福祉課	47
33	3	民生費	1	7	介護予防包括的支援事業	福祉課	48
34	3	民生費	1	7	通所型介護予防事業	福祉課	49
35	3	民生費	1	7	訪問型介護予防事業	福祉課	50
36	3	民生費	1	7	介護予防普及啓発事業	福祉課	51
37	3	民生費	1	7	家族介護支援事業	福祉課	52
38	3	民生費	1	7	成年後見制度支援事業	福祉課	53
39	3	民生費	1	7	地域自立生活支援事業	福祉課	54

番号	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
40	3	民生費	1	7	地域包括ケア実践事業	福祉課	55
41	3	民生費	1	7	認知症総合支援事業	福祉課	56
42	3	民生費	2	1	児童福祉扶助費	子育て支援課	57
43	3	民生費	2	2	母子通園施設費	子育て支援課	58
44	3	民生費	2	1	子育て支援等総合相談事業	子育て支援課	59
45	3	民生費	2	1	療育事業	子育て支援課	61
46	3	民生費	2	1	病児・病後児保育事業	子育て支援課	62
47	3	民生費	2	2	児童クラブ運営事業	子育て支援課	63
48	3	民生費	2	3	保育所管理運営事業	子育て支援課	64
49	4	衛生費	1	1	病院事業運営費	企画財政課	65
50	4	衛生費	1	1	後期高齢者健診事業	市民課	66
51	4	衛生費	1	2	予防接種費	市民課	67
52	4	衛生費	1	3	母子保健事業	市民課	68
53	4	衛生費	1	3	子育て世代包括支援センター事業	市民課	70
54	4	衛生費	1	4	健康増進事業	市民課	71
55	4	衛生費	1	4	がん検診事業	市民課	72
56	4	衛生費	1	4	精神保健事業	市民課	74
57	4	衛生費	2	1	不法投棄対策事業	生活環境課	75
58	4	衛生費	2	1	合併処理浄化槽設置推進事業	上下水道課	76
59	4	衛生費	2	3	し尿処理事業	生活環境課	77
60	4	衛生費	2	4	生ごみ等資源化推進事業	生活環境課	78
61	4	衛生費	3	1	環境調査事業	生活環境課	79
62	4	衛生費	3	1	環境保全事業	生活環境課	81
63	4	衛生費	3	1	自然エネルギー活用推進事業	生活環境課	82
64	5	労働費	1	1	創業支援事業	商工労政課	83
65	5	労働費	1	2	女性未来館ピュア運営事業	生涯学習課	84
66	6	農林水産業費	1	3	農業農村交流事業	農林水産課	85
67	6	農林水産業費	1	3	農業マーケティング事業	農林水産課	86
68	6	農林水産業費	1	3	中山間地域等直接支払事業	農林水産課	87
69	6	農林水産業費	1	3	多面的機能支払事業	農林水産課	88
70	6	農林水産業費	1	3	園芸振興事業	農林水産課	89
71	6	農林水産業費	1	3	有害鳥獣対策事業	農林水産課	90
72	6	農林水産業費	1	3	有害鳥獣対策強化事業	農林水産課	91
73	6	農林水産業費	1	5	たかね市民農園管理費	農林水産課	92
74	6	農林水産業費	1	5	ふたえ市民農園管理費	美麻支所	93
75	6	農林水産業費	1	5	おおしお市民農園管理費	美麻支所	94
76	6	農林水産業費	2	1	農業用施設管理事業	建設課	95
77	6	農林水産業費	3	1	林業振興一般経費	農林水産課	96
78	6	農林水産業費	3	1	森林環境譲与税事業	農林水産課	97

番号	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
79	7	商工費	1	1	中小企業支援事業	商工労政課	98
80	7	商工費	1	1	特産品振興事業	商工労政課	99
81	7	商工費	1	1	中心市街地多目的ホール管理事業	商工労政課	101
82	7	商工費	1	1	中心市街地活性化事業	商工労政課	102
83	7	商工費	1	1	がんばろう！大町応援券事業	商工労政課	103
84	7	商工費	1	1	官民連携まちなか再生推進事業	商工労政課	104
85	7	商工費	1	2	工業振興・企業誘致事業	産業立地戦略室	105
86	7	商工費	1	2	工場等誘致振興助成事業	産業立地戦略室	106
87	7	商工費	1	3	観光資源活用事業	観光課	107
88	7	商工費	1	3	２次交通対策事業	観光課	108
89	7	商工費	1	3	仁科三湖振興事業	観光課	109
90	7	商工費	1	3	広域観光推進事業	観光課	110
91	7	商工費	1	3	山岳観光推進事業	観光課	111
92	7	商工費	1	3	滞在型観光推進事業	観光課	112
93	7	商工費	1	4	温泉供給事業	上下水道課	114
94	8	土木費	2	2	道路維持管理事業	建設課	115
95	8	土木費	2	2	交通安全施設整備事業	建設課	116
96	8	土木費	2	3	道路新設改良事業	建設課	117
97	8	土木費	2	4	雪害対策事業	建設課	118
98	8	土木費	3	1	水路維持改良事業	建設課	119
99	8	土木費	4	1	おたんじょ桜事業	建設課	120
100	8	土木費	4	2	街路整備事業	建設課	121
101	8	土木費	4	2	コンパクトシティ形成事業	建設課	122
102	8	土木費	4	3	公園管理事業	建設課	123
103	8	土木費	4	3	仁科三湖周辺整備事業	建設課	124
104	8	土木費	4	3	まちなかの緑地整備事業	建設課	125
105	8	土木費	4	4	住宅・建築物耐震化推進事業	建設課	126
106	8	土木費	4	4	安心・安全住宅リフォーム支援事業	建設課	127
107	8	土木費	5	1	住宅管理費	建設課	128
108	9	消防費	1	2	消防団運営経費	危機管理課	129
109	9	消防費	1	3	消防施設整備事業	危機管理課	130
110	9	消防費	1	5	防災対策一般経費	危機管理課	131
111	9	消防費	1	5	防災施設整備事業	危機管理課	132
112	10	教育費	1	2	奨学金事業	学校教育課	133
113	10	教育費	1	2	山村留学支援事業	生涯学習課	134
114	10	教育費	1	2	コミュニティスクール推進事業	学校教育課	135
115	10	教育費	1	2	ＩＣＴ活用推進事業	学校教育課	136
116	10	教育費	2	2	小学校教育振興一般経費	学校教育課	138
117	10	教育費	3	2	中学校教育振興一般経費	学校教育課	139

番号	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
118	10	教育費	3	5	中学校教育環境整備	学校教育課	140
119	10	教育費	4	1	エネルギー博物館運営費助成事業	生涯学習課	141
120	10	教育費	4	1	公民館分館整備助成事業	生涯学習課	142
121	10	教育費	4	1	人権教育推進事業	生涯学習課	143
122	10	教育費	4	2	補導・環境浄化活動事業	生涯学習課	144
123	10	教育費	4	2	青少年育成事業	生涯学習課	145
124	10	教育費	4	3	大町公民館活動費	生涯学習課	146
125	10	教育費	4	3	平公民館活動費	生涯学習課	147
126	10	教育費	4	3	常盤公民館活動費	生涯学習課	148
127	10	教育費	4	3	社公民館活動費	生涯学習課	149
128	10	教育費	4	3	八坂公民館活動費	生涯学習課	150
129	10	教育費	4	3	美麻公民館活動費	生涯学習課	151
130	10	教育費	4	4	図書資料購入事業	生涯学習課	152
131	10	教育費	4	5	文化会館公演事業	生涯学習課	153
132	10	教育費	4	6	文化財保護一般経費	生涯学習課	154
133	10	教育費	5	1	体育大会運営事業	スポーツ課	155
134	10	教育費	5	1	スポーツ振興事業	スポーツ課	156
135	10	教育費	5	2	体育施設整備事業	スポーツ課	157
136	10	教育費	5	3	おいしい給食費	学校教育課	158
137	10	教育費	6	1	山岳博物館教育普及事業	山岳博物館	159
138	10	教育費	6	1	山岳博物館調査研究事業	山岳博物館	160
139	10	教育費	6	1	山岳資料収集保管事業	山岳博物館	161
140	10	教育費	6	1	動植物飼育栽培繁殖事業	山岳博物館	162
141	10	教育費	6	1	ライチョウ飼育事業	山岳博物館	163
142	10	教育費	6	1	付属園整備事業	山岳博物館	164

番号	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
1	6	保健事業費	1	1	特定健診・保健指導事業	市民課	168
2	6	保健事業費	2	1	保健衛生費	市民課	169

番号	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
1	2	建設改良費	1	1	水道施設整備事業	上下水道課	171

一　般　会　計

はじめに

令和４年度の経済動向

令和４年度の我が国の経済状況は、コロナ禍からの緩やかな持ち直しが続く一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や世界経済減速の影響を受け、実質GDPで1.7%程度、名目GDPで1.8%程度の成長になると見込まれ、消費者物価については、エネルギーや食料価格の上昇に伴い、3.0%程度の上昇率になると見込まれています。

新型コロナウイルス感染症に伴う全国のまん延防止等重点措置は令和４年3月末をもって全て解除され、我が国の景気は、経済社会活動の正常化が進む中で、ウクライナ情勢等を背景とした原材料価格の上昇や供給制約等が下振れリスクとなっていますが、上向きの動きが続いています。

県内の経済状況は、令和５年１月の景気動向では、エネルギー・原材料価格高騰等の影響により厳しい状況が続き、回復に向けた動きに一服感がみられています。製造業の業況は、継続するエネルギー・原材料価格の高騰や供給制約のほか、円安の影響が顕在化し、電機・電子、機械及び精密などで先行き不透明感が依然として強まっています。非製造業の業況は、飲食業や宿泊業で食材仕入価格や水道光熱費の高騰により悪化し、非製造業全体では２期ぶりのマイナス水準となっています。

当市では、コロナ禍からの十分な回復には至っておらず、またエネルギー・原材料価格高騰等の影響を受け、個人市民税及び法人市民税は減収となっておりますが、一方で、固定資産税については、企業誘致の成果として増収となっています。

令和４年度は、コロナ禍から市民の命と健康を守り、物価高騰から市民の生活を守るため、国庫補助などの財源を活用しながら、１４回の補正予算を実施し、切れ目ない連続性のある事業展開を図ってまいりました。

新型コロナウイルス感染症は、令和５年５月８日に感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ５類感染症へ引き下げられ、市民の生活は平時に戻りつつあります。社会・経済活動は活性化し、観光地の賑わいに関するニュースが度々聞かれ、本格的に「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」に転換しつつあります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行を機に、市民の生活を取り巻く環境は大きく変化しており、リモートワークやテレワークの浸透、またそれらに伴うＩターンやＵターンなど地方移住者が増えてくる可能性が期待されています。社会の変容や価値観の変化等を踏まえつつ、市民の声を的確に捉えて、本格的なアフターコロナを見据えた、適切な事業内容へと転換を図る力が求められています。

以下、令和４年度の主要な施策の成果について報告いたします。

決算の概要

令和４年度一般会計決算は、歳入総額 18,516,091,505 円、歳出総額 17,704,751,111 円、差し引き形式収支は 811,340,394 円となりました。

このうち翌年度に繰り越すべき財源 81,434,000 円を差し引いた実質収支は 729,906,394 円の黒字となっています。

歳入

歳入では、市税の収入済額は 4,277,887,784 円で、前年度比 3.9％、159,303,224 円の増収となっています。市民税は 4.4%の減収であったものの、固定資産税や入湯税が増収となったことによるものです。

地方譲与税は 211,590,000 円で、森林環境譲与税の増額により、前年度比 1.9%の増、法人事業税交付金は前年度比 17.3%増の 74,139,000 円、地方消費税交付金は 0.8%増の 713,412,000 円、税制改正により令和元年度に創設された環境性能割交付金は、3.8%減の 12,952,000 円、地方特例交付金は、自動車税減収補填特例交付金及び軽自動車税減収補填特例交付金が令和３年度をもって終了となりましたことから、83.4%減の 18,805,000 円となっております。

地方交付税は 6,244,232,000 円で 3.8%の減となっており、その内訳は、普通交付税が 5,110,906,000 円、特別交付税が 1,133,326,000 円となっています。普通交付税については、固定資産税額の増に伴う基準財政収入額の増などにより 4.9%の減となっています。

国庫支出金は前年度比 6.0%減の 2,208,927,147 円で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 397,439,680 円、子育て世帯臨時特例給付金事業補助金 202,065,381 円、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 139,959,133 円などとなっております。

県支出金は 1,072,111,221 円で、選挙執行経費や障害児通所給付費等県費負担金などにより、前年度比 4.1%の増となっております。

繰入金は 255,656,000 円で前年度比 28.2%の減、市債は 492,543,000 円で前年度比 39.2%の減となっており、臨時財政対策債 135,543,000 円や、道路整備事業などに活用した過疎対策事業債などが主なものとなっております。

歳出

歳出で主なものは、総務費ではひとが輝くまちづくり事業に 12,885,901 円、人口減少対策や少子高齢化対策としての定住促進事業に 63,895,201 円、芸術文化振興事業に 22,150,535 円、ケーブルテレビ運営事業 77,094,969 円などの事業を実施し、また令和４年１０月から会計年度任用職員人件費を一般管理費へ全て移行し、

一元管理を実施しています。

民生費では、障害者自立支援給付事業に 643,319,416 円、福祉医療費の給付に 227,688,174 円、介護予防や認知症対策等の地域支援事業に 130,344,373 円などの事業を実施したほか、新型コロナ対策や電力等の物価高騰対策として子育て世帯や低所得世帯を対象とした給付金事業に 3,179,776,300 円、保育所管理運営事業では、405,963,535 円などの事業を実施いたしました。

衛生費では、白馬リサイクルプラザの実施設計費、北アルプスエコパークの維持管理経費などの広域ごみ処理施設の負担金に 306,286,000 円、病院事業会計への繰出金に、コロナ感染対策のための基準外繰出しを含め 913,147,000 円、新型コロナウイルスワクチン接種事業に 115,854,606 円などの事業を実施しました。

農林水産業費では、農業の担い手育成と農地の課題解決及び地域活性化に向けた事業を推進する農業振興事業に22,244,934円、安定した農業経営の実現と防災面での強化を図る農業用施設管理事業では、水路等の長寿命化のための改修や県営事業への負担金など繰越事業を含め63,237,405円、有害鳥獣対策に係る駆除委託や補助金等に21,238,783円、森林経営管理制度の推進に向けた森林環境譲与税事業では、基金積立を含め70,163,436円などの事業を実施いたしました。

商工費では、コロナ禍や物価高騰の影響を大きく受けた商工業、観光業の皆さんを支援するべく様々な事業に取り組み、中小企業支援事業では、市制度融資資金の原資預託金の増額に 650,000,000 円、県・市制度資金保証料補給金 23,478,278 円や制度融資資金利子補給金として 25,921,023 円の補助などの事業を実施いたしました。また、物価高騰の影響を受けた市民の皆さんを応援し、市内での消費喚起を促すため、プレミアム付き商品券「がんばろう！大町応援券」の販売に 123,590,844 円を、観光振興費では、宿泊キャンペーン、センサーを活用した黒部ダム観光分散化事業、信濃大町プレミアム付観光タクシークーポン事業などの事業を実施しております。

このほか、工場等誘致振興条例による助成金として 328,169,800 円の助成、温泉供給事業に繰越事業を含め 72,313,319 円などを実施いたしました。

土木費では、交通事故防止や安全確保、施設の長寿命化のための交通安全施設の整備や道路維持管理に繰越事業を含め 270,226,671 円、緊急車両の通行確保や利便性の向上のための道路新設改良に 91,246,085 円、除排雪業務委託を含む雪害対策経費に 220,288,479 円などの事業を実施し、建築費では、住宅・建築物の耐震化推進事業や安心・安全住宅リフォーム支援事業に 30,641,000 円などの事業を実施しております。

消防費では、常備消防への負担金 360,309,000 円、消防団の運営費として 89,103,164 円、地域消防力向上のため防災施設の維持管理や防災拠点の整備のた

め 29,605,415 円などの事業を実施し、災害に対する市民生活の安全の確保を図り、安心して暮らせるまちを実現するための事業に取り組んでまいりました。

教育費では、中学校再編のための環境整備事業として 211,949,201 円、山村留学支援事業に 21,955,000 円、ICT 活用推進事業に 21,419,512 円などの事業を実施し、教育環境の整備を図るとともに、生涯学習、スポーツ振興の分野では、大町公民館分室のエアコン設置など、コロナ禍の中、それぞれに感染予防を徹底し、開催手法に創意工夫を凝らし、各種事業に取り組みました。

公債費は前年度比 7.5%、109,545,950 円増の 1,573,345,890 円となりました。内訳は、償還元金が 1,531,850,933 円、償還利子が 41,494,957 円となっております。

一般会計決算対前年度比較

歳入　　（単位：円）

款	項		令和４年度 収入済額	令和３年度 収入済額	前年度差額	増減率 (%)
1		市税	4,277,887,784	4,118,584,560	159,303,224	3.9
	1	市民税	1,414,176,637	1,478,708,640	−64,532,003	−4.4
	2	固定資産税	2,439,200,389	2,241,615,113	197,585,276	8.8
	3	軽自動車税	119,950,370	114,305,254	5,645,116	4.9
	4	市たばこ税	177,114,875	171,214,469	5,900,406	3.4
	5	入湯税	33,824,900	21,769,150	12,055,750	55.4
	6	都市計画税	93,620,613	90,971,934	2,648,679	2.9
2		地方譲与税	211,590,000	207,717,000	3,873,000	1.9
	1	地方揮発油譲与税	44,929,000	47,212,000	−2,283,000	−4.8
	2	自動車重量譲与税	134,481,000	134,990,000	−509,000	−0.4
	3	地方道路譲与税	0	0	0	−
	4	森林環境譲与税	32,180,000	25,515,000	6,665,000	26.1
3	1	利子割交付金	1,136,000	2,056,000	−920,000	−44.7
4	1	配当割交付金	13,731,000	15,893,000	−2,162,000	−13.6
5	1	株式等譲渡所得割交付金	9,903,000	17,041,000	−7,138,000	−41.9
6	1	法人事業税交付金	74,139,000	63,231,000	10,908,000	17.3
7	1	地方消費税交付金	713,412,000	707,408,000	6,004,000	0.8
8	1	ゴルフ場利用税交付金	1,705,900	1,710,450	−4,550	−0.3
9	1	環境性能割交付金	12,952,000	13,466,000	−514,000	−3.8
10		地方特例交付金	18,805,000	113,200,000	−94,395,000	−83.4
	1	地方特例交付金	18,805,000	113,200,000	−94,395,000	−83.4
11	1	地方交付税	6,244,232,000	6,492,235,000	−248,003,000	−3.8
12	1	交通安全対策特別交付金	2,532,000	3,178,000	−646,000	−20.3
13		分担金及び負担金	62,773,156	58,012,953	4,760,203	8.2
	2	負担金	62,773,156	58,012,953	4,760,203	8.2
14		使用料及び手数料	270,539,582	264,885,715	5,653,867	2.1
	1	使用料	234,275,682	231,331,590	2,944,092	1.3
	2	手数料	36,263,900	33,553,825	2,710,075	8.1
15		国庫支出金	2,208,927,147	2,348,884,209	−139,957,062	−6.0
	1	国庫負担金	1,089,895,146	1,105,640,154	−15,745,008	−1.4
	2	国庫補助金	1,108,094,920	1,233,626,336	−125,531,416	−10.2
	3	国庫委託金	10,937,081	9,617,719	1,319,362	13.7
16		県支出金	1,072,111,221	1,029,765,789	42,345,432	4.1
	1	県負担金	484,320,577	468,213,858	16,106,719	3.4
	2	県補助金	505,090,511	483,709,163	21,381,348	4.4
	3	県委託金	82,700,133	77,842,768	4,857,365	6.2
17		財産収入	31,228,637	29,721,710	1,506,927	5.1
	1	財産運用収入	22,231,280	18,939,699	3,291,581	17.4
	2	財産売払収入	8,997,357	10,782,011	−1,784,654	−16.6
18	1	寄附金	133,843,921	130,790,852	3,053,069	2.3
19	1	繰入金	255,656,000	356,076,000	−100,420,000	−28.2
20	1	繰越金	995,046,585	780,316,130	214,730,455	27.5
21		諸収入	1,411,396,572	1,417,302,126	−5,905,554	−0.4
	1	延滞金加算金及び過料	4,081,643	4,185,665	−104,022	−2.5
	3	貸付金元利収入	755,348,542	757,016,974	−1,668,432	−0.2
	4	受託事業収入	135,944,892	143,212,544	−7,267,652	−5.1
	5	雑入	516,021,495	512,886,943	3,134,552	0.6
22	1	市債	492,543,000	809,572,000	−317,029,000	−39.2
合計			18,516,091,505	18,981,047,494	−464,955,989	−2.4

歳出（目的別）　　（単位：円）

款	項		令和４年度 支出済額	令和３年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
1		議会費	144,751,997	144,987,038	-235,041	-0.2
	1	議会費	144,751,997	144,987,038	-235,041	-0.2
2		総務費	3,186,209,903	2,799,629,377	386,580,526	13.8
	1	総務管理費	2,897,699,742	2,528,948,617	368,751,125	14.6
	2	徴税費	179,712,323	177,951,200	1,761,123	1.0
	3	戸籍住民基本台帳費	34,813,999	38,977,105	-4,163,106	-10.7
	4	選挙費	59,444,531	37,948,953	21,495,578	56.6
	5	統計調査費	5,230,698	5,134,728	95,970	1.9
	6	監査委員費	9,308,610	10,668,774	-1,360,164	-12.7
3		民生費	4,573,717,193	4,887,630,441	-313,913,248	-6.4
	1	社会福祉費	2,881,434,905	2,850,587,537	30,847,368	1.1
	2	児童福祉費	1,417,632,279	1,769,462,984	-351,830,705	-19.9
	3	生活保護費	274,570,009	267,549,920	7,020,089	2.6
	4	災害救助費	80,000	30,000	50,000	166.7
4		衛生費	2,262,231,687	2,426,974,091	-164,742,404	-6.8
	1	保健衛生費	1,614,267,405	1,664,794,784	-50,527,379	-3.0
	2	清掃費	602,682,861	720,374,605	-117,691,744	-16.3
	3	環境保全費	45,281,421	41,804,702	3,476,719	8.3
5		労働費	126,196,173	125,631,441	564,732	0.4
	1	労働諸費	126,196,173	125,631,441	564,732	0.4
6		農林水産業費	623,654,631	679,737,180	-56,082,549	-8.3
	1	農業費	343,096,189	364,568,867	-21,472,678	-5.9
	2	耕地整備事業費	176,172,421	243,254,260	-67,081,839	-27.6
	3	林業費	95,160,595	62,617,585	32,543,010	52.0
	4	水利対策費	9,225,426	9,296,468	-71,042	-0.8
7		商工費	1,785,596,549	1,715,473,963	70,122,586	4.1
	1	商工費	1,785,596,549	1,715,473,963	70,122,586	4.1
8		土木費	1,404,753,579	1,815,349,799	-410,596,220	-22.6
	1	土木管理費	27,862,330	39,275,940	-11,413,610	-29.1
	2	道路橋梁費	639,768,390	868,939,004	-229,170,614	-26.4
	3	河川費	20,449,100	34,036,614	-13,587,514	-39.9
	4	都市計画費	647,748,591	757,374,068	-109,625,477	-14.5
	5	住宅費	68,925,168	115,724,173	-46,799,005	-40.4
9		消防費	517,269,461	565,753,957	-48,484,496	-8.6
	1	消防費	517,269,461	565,753,957	-48,484,496	-8.6
10		教育費	1,493,590,798	1,326,838,592	166,752,206	12.6
	1	教育総務費	156,476,346	148,230,496	8,245,850	5.6
	2	小学校費	273,846,990	312,894,567	-39,047,577	-12.5
	3	中学校費	354,759,968	127,236,956	227,523,012	178.8
	4	社会教育費	313,365,853	307,302,226	6,063,627	2.0
	5	保健体育費	322,722,333	338,928,889	-16,206,556	-4.8
	6	山岳博物館費	72,419,308	92,245,458	-19,826,150	-21.5
11		災害復旧費	13,433,250	34,195,090	-20,761,840	-60.7
	1	農林施設等災害復旧費	5,515,950	8,034,840	-2,518,890	-31.3
	2	土木施設等災害復旧費	7,917,300	26,160,250	-18,242,950	-69.7
12		公債費	1,573,345,890	1,463,799,940	109,545,950	7.5
	1	公債費	1,573,345,890	1,463,799,940	109,545,950	7.5
13		予備費	0	0	0	-
	1	予備費	0	0	0	-
合計			17,704,751,111	17,986,000,909	-281,249,798	-1.6

歳出（性質別）　　（単位：千円）

	令和４年度 支出済額	令和３年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
人件費	3,215,734	3,158,835	56,899	1.8
扶助費	2,448,843	2,754,988	−306,145	−11.1
公債費	1,573,346	1,463,800	109,546	7.5
物件費	2,453,481	2,305,621	147,860	6.4
維持補修費	456,554	713,906	−257,352	−36.0
補助費等	3,986,478	4,127,702	−141,224	−3.4
うち一部事務組合に対するもの	797,463	939,439	−141,976	−15.1
繰出金	1,310,135	1,307,773	2,362	0.2
積立金	418,728	330,178	88,550	26.8
投資・出資・貸付金	755,085	756,824	−1,739	−0.2
投資的経費	1,086,367	1,066,374	19,993	1.9
普通建設事業費	1,072,934	1,031,978	40,956	4.0
補助事業費	427,902	348,490	79,412	22.8
単独事業費	645,032	683,488	−38,456	−5.6
災害復旧費	13,433	34,396	−20,963	−60.9
合計	17,704,751	17,986,001	−281,250	−1.6

一　般　会　計　決　算　比　較

歳入　　（単位：円）

款		令和４年度	令和３年度	令和２年度	令和元年度
1	市税	4,277,887,784	4,118,584,560	4,093,909,917	4,295,610,376
2	地方譲与税	211,590,000	207,717,000	204,772,000	193,708,018
3	利子割交付金	1,136,000	2,056,000	2,562,000	2,697,000
4	配当割交付金	13,731,000	15,893,000	11,288,000	11,881,000
5	株式等譲渡所得割交付金	9,903,000	17,041,000	13,010,000	6,838,000
6	法人事業税交付金	74,139,000	63,231,000	31,093,000	0
7	地方消費税交付金	713,412,000	707,408,000	657,676,000	542,071,000
8	ゴルフ場利用税交付金	1,705,900	1,710,450	1,431,500	1,494,850
9	環境性能割交付金	12,952,000	13,466,000	12,474,000	0
10	地方特例交付金	18,805,000	113,200,000	23,222,000	71,646,000
11	地方交付税	6,244,232,000	6,492,235,000	5,981,632,000	5,758,150,000
12	交通安全対策特別交付金	2,532,000	3,178,000	3,415,000	3,345,000
13	分担金及び負担金	62,773,156	58,012,953	55,010,249	61,007,492
14	使用料及び手数料	270,539,582	264,885,715	271,139,180	310,371,442
15	国庫支出金	2,208,927,147	2,348,884,209	4,602,366,030	1,568,464,902
16	県支出金	1,072,111,221	1,029,765,789	937,626,521	887,357,304
17	財産収入	31,228,637	29,721,710	29,260,955	40,686,196
18	寄附金	133,843,921	130,790,852	128,804,538	38,796,224
19	繰入金	255,656,000	356,076,000	632,135,000	491,140,000
20	繰越金	995,046,585	780,316,130	637,459,853	800,051,348
21	諸収入	1,411,396,572	1,417,302,126	1,385,131,118	1,259,271,684
22	市債	492,543,000	809,572,000	803,355,000	1,295,517,000
	合　計	18,516,091,505	18,981,047,494	20,518,773,861	17,672,066,836

歳出（目的別）　　（単位：円）

款		令和４年度	令和３年度	令和２年度	令和元年度
1	議会費	144,751,997	144,987,038	145,013,640	146,943,679
2	総務費	3,186,209,903	2,799,629,377	5,179,016,917	2,756,343,995
3	民生費	4,573,717,193	4,887,630,441	4,287,566,088	4,480,914,850
4	衛生費	2,262,231,687	2,426,974,091	2,486,228,493	2,138,595,334
5	労働費	126,196,173	125,631,441	126,020,904	134,125,602
6	農林水産業費	623,654,631	679,737,180	614,768,662	589,686,051
7	商工費	1,785,596,549	1,715,473,963	1,826,078,452	871,301,866
8	土木費	1,404,753,579	1,815,349,799	1,639,155,722	1,806,682,529
9	消防費	517,269,461	565,753,957	551,224,815	589,073,159
10	教育費	1,493,590,798	1,326,838,592	1,422,587,189	2,121,541,743
11	災害復旧費	13,433,250	34,195,090	54,445,300	48,708,800
12	公債費	1,573,345,890	1,463,799,940	1,406,351,549	1,350,689,375
13	予備費	0	0	0	0
	合　計	17,704,751,111	17,986,000,909	19,738,457,731	17,034,606,983

歳出（性質別）　　（単位：千円）

	令和４年度	令和３年度	令和２年度	令和元年度
人件費	3,215,734	3,158,835	3,101,788	2,797,541
扶助費	2,448,843	2,754,988	1,826,218	1,907,200
公債費	1,573,346	1,463,800	1,406,352	1,350,689
物件費	2,453,481	2,305,621	2,192,112	2,498,744
維持補修費	456,554	713,906	521,533	383,675
補助費等	3,986,478	4,127,702	6,919,500	3,516,689
繰出金	1,310,135	1,307,773	1,294,971	1,280,244
積立金	418,728	330,178	187,986	258,865
投資・出資・貸付金	755,085	756,824	995,715	666,485
投資的経費	1,086,367	1,066,374	1,292,283	2,374,475
合　計	17,704,751	17,986,001	19,738,458	17,034,607

他会計等への繰出金・負担金前年比較

（単位：円、％）

繰　出　金		令和４年度	令和３年度	差　引	伸び率
国民健康保険特別会計		268,882,687	242,477,108	26,405,579	10.9
	事業勘定	234,656,687	213,322,108	21,334,579	10.0
	八坂診療所直診勘定	26,959,000	24,287,000	2,672,000	11.0
	美麻診療所直診勘定	7,267,000	4,868,000	2,399,000	49.3
後期高齢者医療特別会計		98,560,808	95,975,562	2,585,246	2.7
公営簡易水道事業特別会計		115,932,000	125,501,000	−9,569,000	−7.6
水道事業会計		7,257,200	12,775,000	−5,517,800	−43.2
温泉引湯事業会計		2,592,000	1,782,000	810,000	45.5
公共下水道事業会計		511,743,000	598,314,000	−86,571,000	−14.5
農業集落排水事業会計		87,256,000	87,721,000	−465,000	−0.5
病院事業会計		913,147,000	883,430,000	29,717,000	3.4
合　　計		2,005,370,695	2,047,975,670	−42,604,975	−2.1

※水道事業は、消火栓新設及び維持経費を含む　　病院事業は、経営健全化協力金を含む

北アルプス広域連合負担金		1,222,394,000	1,385,226,000	−162,832,000	−11.8
	介護保険事業費	454,209,000	463,472,000	−9,263,000	−2.0
	広域ごみ処理施設関係	306,286,000	423,541,000	−117,255,000	−27.7
	常備消防費	360,309,000	394,189,000	−33,880,000	−8.6
	広域経常費（人件費等）	38,994,000	41,037,000	−2,043,000	−5.0
	その他の負担金	62,596,000	62,987,000	−391,000	−0.6

地方消費税交付金社会保障財源分の充当先一覧

社会保障財源分決算額　377,732千円

（単位：千円）

区分		決算額	特定財源		一般財源	
			国県支出金	その他	社会保障財源分	その他
社会福祉	社会福祉総務費	633,428	388,938	1,548	38,437	204,505
	障害者福祉費	715,852	514,648	14,150	43,440	143,614
	高齢者福祉費	178,531	42,043	16,632	10,834	109,022
	福祉医療給付費	227,688	64,686	4,864	13,817	144,321
	地域支援事業費	130,345	1,555	114,030	7,910	6,850
	児童福祉費	1,696,717	694,982	63,276	102,963	835,496
	生活保護費	274,570	186,680	150	16,662	71,078
	小　計	3,857,131	1,893,532	214,650	234,063	1,514,886
社会保険	国民健康保険	101,634	0	24,600	6,167	70,867
	後期高齢者医療	470,164	72,965	0	28,531	368,668
	介護保険	454,209	0	0	27,563	426,646
	小　計	1,026,007	72,965	24,600	62,261	866,181
保健衛生	保健総務費	1,105,063	74,389	17,576	67,059	946,039
	予防費	179,073	128,655	0	10,867	39,551
	母子保健費	37,756	24,893	3,205	2,291	7,367
	保健事業費	19,625	1,789	3,013	1,191	13,632
	小　計	1,341,517	229,726	23,794	81,408	1,006,589
合　計		6,224,655	2,196,223	263,044	377,732	3,387,656

主要な施策の成果説明書

								前年度評価			継続	
担当課		総務部	庶務課	職員係				事務事業No.			12117	
事務事業名		職員研修事業						実施方法			市が直接実施	
会計		一般会計	款	2	項	1	目	1	決算書	69	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第５章 市民の参画と協働でつくるまち						後期計画登載頁		93	頁	
	施策目標	【３】市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築										
	施策項目	⑦職員の資質向上と育成										
個別計画		大町市人財育成基本方針、大町市人財育成推進計画									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

時代の変化に向き合い、自ら考え、行動し、成長する職員の育成を目指し、「学び、共感、挑戦」をキーワードに組織として、能力開発（職員研修、派遣研修等）、人事評価、人財活用（人事異動、職員採用等）の取組を進める。
また、職員それぞれの取組として、組織内対話の充実と自己啓発を推進する。

主な実施内容

①能力開発 年間研修計画に基づき職場外研修（庁内一般研修、対話研修、楽々講座）や派遣研修（年間、随時）を進める。
②人事評価 人事評価制度の手引きに基づき人事評価を適正に実施し、人財育成につなげる。
③人財活用 研修参加実績、人事評価結果、資格取得状況等を人事給与システムで一元的に管理し、適材適所の職員配置に努める。
④組織内対話の充実 対話研修の実施により、対話の重要性を職員に理解してもらい、組織内対話の充実を図る。
⑤自己啓発 自己研修費助成制度を活用し、自己研修、資格取得を奨励する。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		7,449,648 円	9,986,696 円	10,985,861 円
財源内訳	特定財源	103,000 円	156,000 円	86,000 円
	一般財源	7,346,648 円	9,830,696 円	10,899,861 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
15,637,000	-4,013,000	0	-19,180	11,604,820	10,985,861	0

不用額	特定財源	細節名	統一テーマ合同職員研修事業補助金	北アルプス連携自立圏事業負担金		
618,959		金額	24,000	62,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

1　職員研修

（１）庁内研修（Off-JT）

・一般研修　29講座、620人　・対話研修　6回、101人　・楽々講座　8講座　292人

（２）派遣研修

・年間派遣研修　６か所、６人　・随時派遣研修　37講座　86人

（３）自主研修助成

・２講座、２人

2　人事評価

実施率100%

◆ 事業の成果

令和４年度から新たに人財育成ワーキングチーム主催の対話研修と楽々講座を実施し、研修受講者数が増加した。特に楽々講座は、会計年度任用職員の参加も多く、職員の満足度も93%と高い。また、研修の講師となった職員の成長にもつながるため、継続する。

職員の人財育成に関し、心理的安全性の確保された組織内対話と管理職のマネジメントは重要なため、対話研修を通じて、組織の土壌づくりを推進する。

人事評価の実施は定着しているが、人財育成につなげるためには、上司との面談によるコミュニケーションが重要であるため、面談方法等の改善に努めたい。

◆ 前年度からの改善点

新たに対話研修と楽々講座を取り入れた。市主催研修については、研修実施後参加者アンケートを行った。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	総務部	まちづくり交流課	男女共同参画・人権政策担当					事務事業No.	121111		
事務事業名	人権政策費							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計		款	2	項	1	目	1	決算書	71	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第５章_市民の参画と協働でつくるまち						後期計画登載頁		89	頁
	施策目標	【２】多様性に満ちた共生社会の実現									
	施策項目	①人権教育・啓発の推進									
個別計画	大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針										頁

事業の目的

対象とありたい姿

様々な人権問題を解決するために、市民一人ひとりが人権を身近な問題として捉え、人権について正しく理解し、人権意識を高めていくことで、「人権を尊重し差別のない明るい大町市づくり」の実現を目指す。

主な実施内容

・人権擁護委員と連携した人権啓発（街頭啓発、幼稚園、保育園での啓発など）
・人権を考える市民の集い開催（教育委員会　人権教育担当と共催）
・人権擁護委員の推薦

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		276,285	円	254,758	円	254,348	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	276,285	円	254,758	円	254,348	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
305,000				305,000	254,348	

不用額	特定財源	細節名				
50,652		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○ 新型コロナウイルスに係る差別、誹謗中傷の防止
・市長メッセージなどホームページへ掲載、チラシの配布

○ 第５９回長野県部落解放研究集会の開催
令和４年１２月２２日（木）開催　参加者512名（オンライン参加含む。）

○ 人権啓発活動
・大町市文化祭会場において、人権擁護委員とともに啓発実施
・人権を考える市民の集い開催（教育委員会と共催）　市内６地区

○ 商業施設、幼稚園、保育園での啓発活動
・新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止

○ 人権擁護委員の推薦　　２名



文化祭での啓発物品の配布

◆ 事業の成果

・長野県部落解放研究集会では、未だなくならない部落差別を含む、多くの課題の解決を目指し、人権を守る運動への集会に、500名を超える参加をいただいた。
・人権を考える市民の集いでは、市内６地区の小中学校を会場に、それぞれ会場ごとに、異なる人権課題をテーマにした講演会等を行い、児童や一般市民（参加者延べ1102名）への人権意識の普及に繋がった。

◆ 前年度からの改善点

・長野県部落解放研究集会では、オンライン参加、動画視聴など、視聴方法を選択できるように設定し、参加者の確保に繋げた。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価		継続	
担当課	総務部	情報交通課	広聴広報係					事務事業No.		12122	
事務事業名	広聴広報事業							実施方法		市が直接実施	
会計	一般会計			款	2	項	1	目	2	決算書	73 頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第５章_市民の参画と協働でつくるまち						後期計画登載頁		87	頁
	施策目標	【１】市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進									
	施策項目	①市民参画と協働によるまちづくりの推進									
個別計画											頁

事業の目的

対象とありたい姿

・広聴活動として、市民参加による「市民により身近な市政のまちづくり」をめざす。また、「市長への手紙・メール」などにより、市民等から市政への意見・提言をいただく。

・広報活動では、「広報おおまち」などにより、市民等へ行政情報等の提供を行い、市民と行政が情報を共有により、お互いの信頼と協調のもと、協働による市政の運営を図り、市民により身近な市政のまちづくりをめざす。

主な実施内容

（広聴活動）・市長への手紙・メールの受領・返信　・無料法律相談の受付　・行政懇談会の受付・開催
（広報活動）・広報の発行（月１回）　・報道機関への情報提供
・声の広報の提供：市広報を録音して届ける、行政情報の有線放送告知
・行政情報をメールマガジン登録者へ送信(毎週金曜日配信)
・くらしのガイドブック（電子版）の発行と更新

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		10,429,707 円	9,274,291 円	7,946,438 円
財源内訳	特定財源	112,610 円	85,510 円	136,830 円
	一般財源	10,317,097 円	9,188,781 円	7,809,608 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
8,072,000				8,072,000	7,946,438	

不用額	特定財源	細節名	複写機等使用料	広告掲載料		
125,562		金額	40,830	96,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

① 市長への手紙・メール
「４年度実績」市長への手紙30件、メール54件、合計84件

② 広報おおまちの発行
年12回（毎月）発行・・・行政に関する各種お知らせなどを掲載

◆ 事業の成果

積極的に情報発信することで、市の情報に触れ共有することにより、市政をより身近に感じていただき少しでも市政に関心を持っていただけた。
さらに広聴広報活動を行い、信頼と協調を深めることにより、市政への参加を促し、参画と協働によるまちづくりの推進に取り組んでいく。

◆ 前年度からの改善点

【５年２月号　表紙】



主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続										
担当課	総務部	企画財政課	企画調整係					事務事業No.	12136		
事務事業名	アルプス囲碁村推進事業							実施方法	委託		
会計	一般会計	款	2	項	1	目	3	決算書	73	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁	45	頁	
	施策目標	【２】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供									
	施策項目	③多様な分野の学習活動の促進									
個別計画	アルプス囲碁村計画									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

幼児から高齢者までの幅広い年齢層の市民が、囲碁を通じた「ひとの和づくり」をコンセプトとした魅力あるまちづくりを行う。

自然の中で囲碁を楽しんでいただけるよう滞在型観光に結び付けるとともに、愛好者の拡大を図り、囲碁を通じた人材育成を図る。

主な実施内容

- 幼保育園、小中学校への囲碁普及員の派遣
- 囲碁十段戦第3局歓迎レセプション及び大盤解説会開催
- アルプス囲碁ポンヌキ大会（市内幼保育園年長児）
- 各種大会、イベント共催協力等
- アルプス囲碁村十段戦の開催
- アルプス囲碁村まつりの開催
- 保育園囲碁交流会
- 囲碁村会館の維持管理

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		999,438 円	1,214,836 円	2,511,247 円
財源内訳	特定財源	円	円	円
	一般財源	999,438 円	1,214,836 円	2,511,247 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
2,816,000				2,816,000	2,511,247	

不用額	特定財源	細節名				
304,753		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

令和４年5月～令和５年3月（市内幼保育園、小学校、囲碁村会館）

- 普及員１２名　・派遣施設１４施設
- 指導時間１６８時間



◇こども囲碁教室・こどもと大人の囲碁入門講座

- 第１期　４月９日～７月２３日　参加者延べ１６２名
- 第２期　８月２０日～１１月２６日　参加者延べ１２２名
- 第３期　１２月１０日～３月１１日　参加者延べ１４３名

◆ 事業の成果

コロナ禍ではあるが、感染対策の徹底や開催方法の工夫などにより、普及活動や囲碁村まつりを実施し「囲碁を学ぶ」のではなく、「囲碁に学ぶ、囲碁で学ぶ」という基本的な考え方を基に、「囲碁によるまちづくり」、「囲碁によるひとづくり」を推進することができた。今後、さらに囲碁の普及や底辺拡大に取り組んでいく。

◆ 前年度からの改善点

手指消毒液や検温等を徹底するとともに飲食などについても注意を払うなど、新型コロナ感染対策を徹底しながら、開催方法を工夫しイベント等を実施した。
引き続き、安心して安全に囲碁を楽しめる環境づくりに努める。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	総務部	まちづくり交流課	定住促進係					事務事業No.	12137		
事務事業名	定住促進事業							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	2	項	1	目	3	決算書	73	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	59	頁	
	施策目標	【４】移住・定住促進策等の充実強化									
	施策項目	①定住促進ビジョンの推進									
個別計画	大町市第３期定住促進ビジョン									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

○市民：シビックプライドの醸成により定住を促す（転出抑制）。
○市外在住者：地域の魅力発信により、移住意欲を誘引し、移住を促す。
令和8年人口24,000人以上を維持する。
誰もが住みたくなる、住み続けたくなる、さらには住んで良かったと思えるまちを目指す。

主な実施内容

①定住奨励事業の実施
（マイホーム取得助成事業、空き家改修事業、商品券交付事業、有料道路負担軽減事業　ほか）
②移住相談窓口の充実　　③都市部向け移住セミナー・魅力体験ツアーの実施
④移住者交流事業　　⑤結婚支援事業
⑥空き家バンク・物件情報の提供　　⑦連携自立圏移住交流・若者交流事業

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		59,112,294 円	57,261,267 円	63,895,201 円
財源内訳	特定財源	11,851,841 円	14,777,300 円	13,746,505 円
	一般財源	47,260,453 円	42,483,967 円	50,148,696 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
60,053,000	4,569,000	0	0	64,622,000	63,895,201	0

不用額	特定財源	細節名	地方推進交付金	ＵＩＪターン就業・創業移住支援事業補助金	広域連携推進事業交付金 地域少子化対策重点推進補助事業交付金	北アルプス連携自立圏事業負担金・白馬長野有料道路負担金
726,799		金額	2,514,958	1,050,000	5,553,000	4,628,547

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

１ 移住セミナー・移住相談会の開催（17回・参加者数229人）
　コロナ禍により定着したオンライン開催を活用しつつ、積極的に都市圏にて対面開催及び出展を行った。


▲銀座NAGANO市単セミナー

２ 定住促進情報発信
（１）移住ポータルサイトの活用
　市移住情報総合サイト、楽園信州、JOIN、連携自立圏域ポータルサイト
（２）移住スカウトサービスSMOUTの活用（関係人口スコア35位/全891地域）
　登録ユーザーから、本市に興味をもった人をスカウトできるサービスを活用
（３）移住プロモーションCMの制作
　本市の自然やテレワーク環境を都市圏のテレワーカーにPRするため、15秒間のCMを制作し、渋谷駅前大型ビジョンで放映、YouTubeで公開。
（４）雑誌・WEB・TV・SNSの活用（Twitterフォロワー数：1454人、R5.3月末現在）
　YAMAP、ヤマケイオンライン、BS「いいいじゅー」・BS「ワタシが日本に住む理由」、BSよしもと　ほか
（５）Instagram活用研修会開催（参加者数：37人）講師：Skima信州 山本麻綾氏



▲渋谷駅前で7月に1,000回放映したCM

３ 大町暮らし魅力体験ツアーの開催
　移住希望者に暮らしの環境や地域住民との交流、先輩移住者の暮らしぶりを知っていただき、「水」を起点としたまちの歴史や風土、気候を体感するツアーを開催した。
◇秋を楽しむ暮らし体験ツアー（10/1-2、7組11人）
◇㈱山と溪谷社連携「信濃大町移住見学会」（10/29-30、6組9人）
◇冬を楽しむ暮らし体験ツアー（2/4-5、7組12人）
※夏は最少催行人員に至らず中止。


▲ツアーの様子。山博で大町の地勢などを学んだ後、住民との交流を楽しんだ。

４ 結婚支援事業
（1）結婚相談所「大町市ハピネスサポートセンター」の開設（登録者数：男性5名、女性3名）
（2）信濃大町アウトドアフォトウエディング事業（夏・秋・冬の計3回実施、申込者数11組）
（3）連携自立圏若者交流事業「大人のコミュニケーションスキルアップ講座」の開催（7人参加）

５ 関係人口創出事業
（1）しなのおおまちワーキングホリデー（受入10名、滞在延べ日数：240日）
都市部の若者を地域に受入れ、労働力不足の補填と余暇を利用して住民との交流を深めた。



▲ハピネスサポートセンターで「ながの結婚マッチングシステム」の利用登録後に婚活スタート

◆ 事業の成果
１ 令和4年4月1日現在人口：25,009人（第3期定住促進ビジョン令和8年人口目標：24,000人以上）

２ 主な定住奨励事業の実施状況
・マイホーム取得助成　20万円（加算：市内業者・50歳未満・子ども・居住誘導各5万円、三世代1万、テレビ4万上限）最大45万円
交付実績：新築71件、購入29件　合計100件　計30,001千円
・商品券交付事業（きらり商品券3万円分）
交付実績：Uターン12件、Ｉターン41件、新婚世帯47件　計2,988千円
・移住推進事業補助金（対象経費の1/2、上限30万）
交付実績：8件　計2,210千円
・空き家流通促進事業補助金（対象経費の1/3、上限30万(改修)/8万(片付け)）
交付実績：8件　計1,632千円
・有料道路利用者負担軽減事業（白馬長野有料道路）
交付実績：90人、160冊　計785千円（市費負担157千円）
・就業者等移住支援金
交付実績：2件　計1,600千円
・結婚新生活支援事業補助金
交付実績：5件　計1,398千円

３ 移住相談窓口の充実
・市の移住相談窓口を通じた移住実績　58世帯94人
・移住相談件数（移住相談会・窓口・メール・電話等）　580件

４ 都市圏向け移住セミナー・魅力体験ツアーの実施
・移住セミナーの開催　17回開催
・魅力体験ツアーの開催（オンライン含む）　参加者21組33人

５ 移住者交流会等　5回開催、参加者45人

６ 結婚支援事業（婚活イベント）　5回開催、参加者計73人（カップル6組成立）

７ 空き家バンク制度の運用
・利用状況：物件登録件数19件、利用者登録数34人、成約件数15件

８ 連携自立圏移住交流、若者交流事業
・関係人口創出事業（圏域ポータルサイトの活用・ＳＮＳ圏域共同アカウントの運用）
・オンライン恋愛力向上セミナー「大人のコミュニケーションスキルアップ講座」の開催

◆ 前年度からの改善点
・結婚相談所「大町市ハピネスサポートセンター」を新設した。（5月1日から運用）
・マイホーム取得助成に、新たな加算として、居住誘導区域内への居住5万円を新設した。
・しなのおおまちワーキングホリデー事業における受入事業者を公募し、受入先を拡充した。

主要な施策の成果説明書

									前年度評価			やり方改善	
担当課		総務部	企画財政課	企画調整係					事務事業No.			12138	
事務事業名		ふるさと応援団事業							実施方法			その他	
会計		一般会計			款	2	項	1	目	3	決算書	75	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第５章 市民の参画と協働でつくるまち							後期計画登載頁			92	頁
	施策目標	【３】市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築											
	施策項目	⑤健全で持続可能な財政運営											
個別計画													頁

事業の目的

対象とありたい姿

・生まれた故郷や応援したい自治体への寄附を行うことにより、当市のまちづくりを応援いただく。
・寄附金を事業の財源として充当、活用が可能となり、自主財源の確保が図られる。
・寄附特典として地域特産品等を返礼品としており、地域産業の活性化へと繋げる。

主な実施内容

12項目の寄附金使途メニューを設け、寄附者の意向に沿った事業へと充当、活用している。
①協働のまちづくり　②自然環境保全　③未来を担う子ども達　④高齢者の生きがい　⑤山岳観光都市の振興　⑥山村留学事業推進　⑦芸術文化振興　⑧起業創業支援　⑨移住定住促進　⑩市立大町病院の支援　⑪市長におまかせ　⑫その他
令和４年度充当事業（R３寄附分）：寄附者指定の使途に従い、ひとが輝くまちづくり事業や環境保全事業など35事業

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		177,145,586	円	190,194,743	円	193,904,857	円
財源内訳	特定財源	118,726,187	円	126,909,081	円	128,230,274	円
	一般財源	58,419,399	円	63,285,662	円	65,674,583	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
158,185,000	39,231,000		-514	197,415,486	193,904,857	

不用額	特定財源	細節名	ふるさと寄付金	ふるさと応援基金利子収入		
3,510,629		金額	128,680,000	50,274		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

市ホームページやポータルサイト等による情報発信
前年度寄附分を寄附者指定の使途に従い35事業に充当
寄附件数　：　4,582件
寄附充当額：　126,844,000円（R3寄附額）

◆ 事業の成果

ふるさとや地方自治体の様々な取り組みを応援する納税者の気持ちを橋渡しし、支えあう仕組みであるとともに地方自治体自らが財源を確保し、様々な施策を実現するために有効な手段である。
一方、自治体間の返礼品競争など制度運用の課題も多いが、特産品を含め当市をPRする機会でもあることから、返礼品を通じて市の魅力の周知に努めている。

◆ 前年度からの改善点

市内事業者が製造している水を返礼品に加えるなど、大町らしい特産品を提供いただける事業者の掘り起こしを行った。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	新規事業			
担当課	総務部	企画財政課	ＳＤＧｓ共創推進担当					事務事業№	121318			
事務事業名	ＳＤＧｓ推進事業							実施方法	市が直接実施			
会計	一般会計		款	2	項	1	目	3	決算書	75	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁		60	頁	
	施策目標	【４】移住・定住促進策等の充実強化										
	施策項目	④信濃大町ブランドの戦略的な展開										
個別計画	大町市ＳＤＧｓ未来都市計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

SDGs未来都市計画により、至高の地域資源である「水」に焦点をあて、新たな観光商品や地域ブランドの振興、環境保全活動の促進を図るとともに「水」に関わるひと・しごとを主役とする経済、社会、環境の三側面から、水を起点としたまちづくりに向けた取組みを進める。

また、水と人と地域の関わりの歴史や水に関する施設を後世に伝えていくため、生活や産業の礎である水の価値を再認識していくとともに、市民や次代を担う子供たちと共に、先人たちが大切に維持してきた水資源の保全に対する思いを再度振り返り、水資源を保全する意識の醸成を図るための取組を進め、100年先の未来においても今と変わらない「水が生まれる信濃おおまち」を目指す。

主な実施内容

- SDGs普及推進（SDGsみずのわ月間、みずのわシンポジウム、長野コーヒーフェスティバルの開催）
- 次世代環境教育「水育」、「森と水の学校」の推進　　・岳陽高校と連携による事業推進
- ポータルサイトによる情報発信及びECサイトによる産品の等の販売
- SDGs学習旅行誘致協議会との連携
- HAKUBAVALLEY TOURISM SDGs 小委員会への協力

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		円	円	8,288,570 円
財源内訳	特定財源	円	円	4,656,336 円
	一般財源	0 円	0 円	3,632,234 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
8,776,000	0	0	0	8,776,000	8,288,570	

不用額	特定財源	細節名	地方創生推進交付金	ふるさと応援基金繰入金		
487,430		金額	2,656,336	2,000,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

◇SDGs普及推進事業

①SDGｓみずのわ月間による普及啓発（10月1日～10月31日）

- 10月 1日　オープニングイベント　約200名（市内園児と保護者など）
- 10月29日　SDGsみずのわシンポジウム　約800名
- 10月29日～30日　長野コーヒーフェスティバル　延べ8,300名
- 期間中、他のイベントと連携しブース設置等による普及啓発

②次世代環境教育の推進

- 10月21日　水育　大町東小学校受講　19名
- 11月15日　北安曇郡教頭会での水育出張授業の内容説明　21校

③地域ポータルサイト事業

- サイトによる情報発信、ＥＣサイトによる産品等の販売
  サイトアクセス数　16,439件

④SDGs連携・支援事業

- 大町市SDGs学習旅行誘致協議会による探究学習プログラム等の作成
- HAKUBAVALLEY TOURISM SDGs 小委員会　7月5日　SDGs勉強会の開催　など


みずのわシンポジウム


コーヒーフェスティバル

◆ 事業の成果

・令和４年度は、SDGs未来都市計画に基づく、「水」を起点とした持続可能なまちづくりの取組を市民をはじめ多くの方々に、理解を深めるため、みずのわ月間等による普及啓発実施。また、至高の地域資源である「大町の水」を使ったイベントの開催。多くのお客様に来場いただき、大町の水の良さを再認識してもらい「水」を活用した地域ブランド振興により「水が生まれる信濃おおまち」の認知度・魅力度の向上につながった。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価		継続		
担当課		民生部	市民課	消費生活･交通安全係				事務事業No.		12161		
事務事業名		交通安全対策費						実施方法		市が直接実施		
会計		一般会計		款	2	項	1	目	6	決算書	79	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁			73	頁
	施策目標	【４】市民生活の安全の確保										
	施策項目	③交通安全対策の推進										
個別計画												頁

事業の目的

対象とありたい姿

市民一人ひとりの交通ルールとマナーの遵守及び交通安全意識の高揚を図り、交通事故のない安全安心で快適な生活を実現する。

主な実施内容

交通事故の防止に向けて各関係団体と連携し、市民の交通安全意識の高揚を図るための啓発活動を実施する。
- 交通安全に係る広報、街頭指導の実施
- 交通安全教室の開催、交通安全推進市民大会の開催
- 長野県県民交通災害共済加入促進　　他

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		5,141,480 円	5,350,844 円	4,356,887 円
財源内訳	特定財源	1,668,100 円	1,347,840 円	1,279,340 円
	一般財源	3,473,380 円	4,003,004 円	3,077,547 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
6,453,000	-698,000	0	0	5,755,000	4,356,887	0

不用額	特定財源	細節名	県民交通災害共済交付金			
1,398,113		金額	1,279,340			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○ 交通安全街頭指導等　18 回
- 交通安全の日等街頭指導　13回
- 交通安全運動啓発活動（人波作戦）　4回
- 横断歩道ルール・マナーアップ運動　1回

○ 交通安全教室の開催　　8 回
こどもの交通安全教室　　幼稚園1　小学校６　地区ＰＴＡ1

○ シートベルト・チャイルドシート調査　3回

○ 暴力追放・交通安全推進市民大会の開催　参加者140人

○ 交通安全ランドセルカバー配布（市内６小学校）　　136 枚

○ 県民交通災害共済加入申込受付
加入者数　　17,088人　（前年度比△925人）
加入率　　66.9%　（前年度比△2.5%）

○ 運転免許自主返納支援事業の実施　　申請件数91件（市民バス回数券12件　タクシー回数券79件）


交通安全運動人波作戦

◆ 事業の成果

令和4年度の交通事故の発生件数は48件で年々減少している。啓発活動等を継続して行うことで、市民の交通安全に対する意識を高め、交通事故の減少につながっている。

◆ 前年度からの改善点

横断歩道ルール・マナーアップ運動を展開し、ドライバー・歩行者に対し横断歩道での交通事故防止の啓発活動を行った。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	民生部	市民課	消費生活･交通安全係					事務事業No.	12164		
事務事業名	消費生活センター運営事業							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計		款	2	項	1	目	6	決算書	81	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁		74	頁
	施策目標	【４】市民生活の安全の確保									
	施策項目	④消費生活相談の充実									
個別計画											頁

事業の目的

対象とありたい姿

複雑化・多様化する消費者被害を防止し、市民が安全・安心な消費生活を営むことができるようにする。

主な実施内容

・市民からの消費生活相談に対し、専門相談員が問題解決のための支援を行う。
・正しい消費者知識の普及と消費者被害に対する消費者意識の啓発。
・特殊詐欺等被害防止対策機購入費等補助制度の実施。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		3,443,865 円	3,447,740 円	1,882,160 円
財源内訳	特定財源	3,015,425 円	3,109,673 円	1,189,000 円
	一般財源	428,440 円	338,067 円	693,160 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
3,886,000	-1,692,000	0	0	2,194,000	1,882,160	0

不用額	特定財源	細節名	消費者行政活性化事業補助金	北アルプス連携自立圏事業負担金		
311,840		金額	235,000	954,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○ 消費生活相談件数

市町村別相談件数

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
大町市	122件	148件	171件	174件	107件	109件	133件
池田町	8件	21件	32件	33件	34件	21件	30件
松川村	14件	15件	32件	32件	29件	21件	27件
白馬村	12件	18件	29件	27件	33件	28件	23件
小谷村	2件	3件	8件	10件	11件	12件	6件
圏外	3件	2件	3件	1件	4件	1件	4件
計	161件	207件	275件	277件	218件	192件	223件

相談内容別相談件数

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
通信販売	56件	95件	69件	80件	72件	86件	91件
電話勧誘	32件	42件	47件	34件	37件	20件	12件
訪問販売	19件	20件	39件	36件	15件	15件	23件
店舗購入	10件	15件	24件	30件	29件	30件	30件
訪問購入	4件	4件	1件	3件	3件	1件	件
その他	40件	31件	95件	94件	62件	40件	67件
計	161件	207件	275件	277件	218件	192件	223件

○ パネル展示の実施　２ 回
○ 家庭用品品質表示法等に伴う立入検査の実施　１ 回
○ 特殊詐欺等被害防止対策機器購入費等補助金申請件数　９ 件

◆ 事業の成果

市民からの消費生活相談に対し、助言やあっせんを行い、被害の未然防止、被害からの救済が図られている。

◆ 前年度からの改善点

電話を介した特殊詐欺被害を防止するため、高齢者を対象に対策機能が付いた電話機等の購入費用の一部を補助する特殊詐欺等被害防止対策機器購入費等補助制度を創設した。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	やり方改善										
担当課	総務部	情報交通課	交通政策係					事務事業No.	12166		
事務事業名	市民バス運行事業							実施方法	委託		
会計	一般会計	款	2	項	1	目	6	決算書	81	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁	78	頁	
	施策目標	【２】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	①移動しやすい公共交通網の整備									
個別計画	大町市地域公共交通総合連携計画									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

誰もが安心・安全に主要な場所へ出掛けることができる、移動手段の維持・確保を目的とする。
- 対象は全市民。特に高齢者や障がい者等、交通弱者の移動を支える。（市民でなくても乗車可）
- 通院や通学、買物等、市民の暮らしを支える移動手段。

主な実施内容

市民バス「ふれあい号」の運行。（市内９コース、１１路線）
運行は、市内の３事業者へ業務委託。
- (株)関電アメニックス…５コース ６路線〔青木、源汲、高瀬入、常盤西、美麻（川手線・境の宮線）〕
- (有)やまびこ　　…３コース ４路線〔循環線（北・南）、社、八坂〕
- アルピコタクシー(株)…１コース　　〔常盤東：デマンド運行〕

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		93,479,702	円	95,555,128	円	97,060,554	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	93,479,702	円	95,555,128	円	97,060,554	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
96,998,000	1,100,000			98,098,000	97,060,554	

不用額	特定財源	細節名				
1,037,446		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

【広報活動】
- ▸ 市民バス「ふれあい号」時刻表作成
  - 広報おおまち3/1号で全戸配布、市ホームページ掲載
  - 市内関連施設へ配布：庁内関係部署、両支所、公民館やゆーぷる等の公共施設、観光団体、商業施設、医療機関等
- ▸ デマンド運行啓発ＤＶＤによる周知
  - 市ホームページのほか、ＣＡＴＶ、ユーチューブでの動画公開

【市民バス運行実績】
- ▸ 運行ルート：9コース（11路線）
- ▸ 運行日数：243日（土日祝、年末年始を除き毎日運行）
- ▸ 利用人数：（延べ）62,898人／年　（前年比 △2,687人　4.1%減）

《コース別利用人数》
- 青木　：　8,255人（前年比 △1,001人　△10.8%）
- 源汲　：　3,982人（前年比　△424人　△9.6%）
- 高瀬入：　5,942人（前年比　＋577人　＋10.8%）
- 八坂　：16,648人（前年比　△138人　△0.8%）
- 美麻　：14,077人（前年比 △2,337人　△14.2%）
- 常盤西：4,965人（前年比 ＋333人　＋7.2%）
- 常盤東：　559人（前年比 ＋107人　＋23.7%）
- 社　　：3,730人（前年比 ＋373人　＋11.1%）
- 循環線：4,740人（前年比 △177人　△3.6%）

《デマンド運行（常盤東）の状況》
- 登録者数　　：R2 …　52人、R3 …　68人、R4 …　80人（R2年度比 ＋54%）
- 利用者数（延）：R2 … 305人、R3 … 452人、R4 … 559人（R2年度比 ＋83%）

【令和５年度に向けた市民バス運行の検討】

- ▸ 大町市地域公共交通会議　2回
  - ・停留所新設やダイヤ改正等について協議
- ▸ 市民バスの利用促進及びあり方検討庁内委員会　2回
  - ・協議内容：市民バスの現状と課題、デマンド運行の見直しについて、新年度運行方針について、大町市地域公共交通計画の策定について 等

◆ 事業の成果

- ▸ 市民バス利用者は、前年と比べ減少しているが、人口減少や少子高齢化に加え、コロナ禍の状況において利用者の大幅な増加が見込めない中、現状維持は図れている。（5コースで減少、4コースで増加）
- ▸ デマンド運行に関しては、ＰＲの成果として登録者、利用者ともに増加。
- ▸ 日常的に移動手段を必要とする者にとっては、安価で主要な場所へ出掛けることができる交通手段として、日常生活を支える重要な事業となっている。
- ▸ 市民バスの利用促進及びあり方検討庁内委員会を開催。
  庁内関係部署との協議・連携を継続し、市民にとってより必要となる市民バスについて検討を進める。

◆ 前年度からの改善点

- ▸ デマンド運行において、利用促進及び定着化を図るため、市ＨＰやＣＡＴＶ及びユーチューブでの広報活動を実施。
- ▸ 定時定路線常盤西コースに、「カインズホーム」へ新たに停留所を設置。（現在のＡコープ前）
  要望の多い商業施設敷地内への設置により、利便性が向上した。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続			
担当課	総務部	情報交通課	交通政策係					事務事業No.	12167			
事務事業名	公共交通対策事業							実施方法	その他			
会計	一般会計			款	2	項	1	目	6	決算書	81	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁			78	頁
	施策目標	【２】暮らしやすい都市基盤の整備										
	施策項目	①移動しやすい公共交通網の整備										
個別計画	大町市地域公共交通総合連携計画											頁

事業の目的

対象とありたい姿

地域住民の移動手段として地域と都市間を結ぶ公共交通の利便性向上等を図るとともに、観光誘客の促進等、地域の活性化を推進する。

公共交通における利便性の向上や輸送力強化への対応について、期成同盟会や協議会を組織し、地域交通の充実を図る。

主な実施内容

〇大町・長野間特急バス利用促進協議会〔事務局〕
特急バス長野大町線の通年運行確保に向けた取組。冬期運行に関する事業者との調整等。
〇大糸線利用促進輸送強化期成同盟会〔事務局〕
大糸線の利用促進や利便性向上に向け、利用促進事業の取組及びＪＲへの要望行動等を実施。
〇その他、大糸線活性化協議会や、中央東線の期成同盟会、北陸新幹線の協議会等へ参画。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		3,640,800 円	3,643,020 円	3,708,150 円
財源内訳	特定財源	円	円	円
	一般財源	3,640,800 円	3,643,020 円	3,708,150 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
3,802,000				3,802,000	3,708,150	

不用額	特定財源	細節名				
93,850		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動
◆ 事業の成果
【大町・長野間特急バス利用促進協議会】
- 夏期運行の繁忙期（7～9月）の運行便数確保に向けた、他運行事業者への協力依頼・調整等
- 冬期運行（12月～4月中旬）継続に向けた運行事業者等との協議・調整
- 通年運行の維持・確保

《特急バス長野大町間運行実績》
- 運行便数：3,357台〔夏期2,547便（5.5往復／日）、冬期810便（3往復／日）〕
- 利用人数：（延べ）26,109人　（前年比 ＋11,172人　74.8%増）
  夏期：（延べ）24,685人　（前年比 ＋10,889人　78.9%増）
  冬期：（延べ）　1,424人　（前年比　　＋283人　24.8%増）

《広報及び利用促進》
- 夏期・冬期時刻表作成
  ・市内関連施設へ配布（庁内関係部署、観光団体、宿泊施設等）、市ホームページ掲載
- 特急バスを活用した冬期旅行商品広告 「信濃大町雷鳥ライナーCHILL旅」
  ・利用が少ない冬期間の利用促進を目的として実施
  ・広告はＳＮＳ（インスタグラム、フェイスブック）を活用（広告期間：1/31～2/28）
  広告期間中の表示回数…約19万回

【大糸線利用促進輸送強化期成同盟会】

《ＪＲに対する要望行動》

輸送強化及び利便性向上、輸送の安全確保、利用促進対策の連携等について要望を実施。

- ＪＲ西日本金沢支社に対する要望行動（10/31）
- ＪＲ東日本長野支社へ要望書提出（1/5）

《利用促進事業》

- 市民タイムスへの広告掲載
  「大糸線の旅」と題し、沿線の観光スポットを紹介。
- テレビ特別番組協賛
  「長野・新潟・富山・石川 この夏行きたい！海遊び！山遊び！の旅」を、長野県を含む5県で放映。
- 長野県ＪＲ連絡調整会議
  ＪＲ西、ＪＲ東、ＪＲ東海への要望及び意見交換（利便性の向上等について）
- 大糸線全線開通65周年記念事業
  - 信濃毎日新聞への一面広告掲載及びポスター作成（ポスター掲出先…駅構内、公共機関、商店街等）
  - 「秋彩 大糸線の旅」を実施。（11/26）
    雪月花の大糸線乗り入れと、リゾートビューふるさとがつながる初の企画。

《振興部会》

- 5/19に第1回振興部会を開催。これまでに4回の議論を実施。
  沿線を通じて一体となった事業を実施していくことを広くＰＲし、効果的な誘客促進を進めるほか、事業ごとに目標値を設定して取り組み、効果を検証し次の事業へ展開していくことを確認。
  ※事業による大糸線乗車目標人数…概ね10,000人

◆ 前年度からの改善点

- 期成同盟会内に振興部会を設置。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価		継続		
担当課		総務部	まちづくり交流課	市民活動支援係				事務事業No.		12182		
事務事業名		市民活動促進事業						実施方法		市が直接実施		
会計		一般会計		款	2	項	1	目	8	決算書	85	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第５章_市民の参画と協働でつくるまち						後期計画登載頁			86	頁
	施策目標	【１】市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進										
	施策項目	①市民参画と協働によるまちづくりの推進										
個別計画		市民参加と協働のまちづくり推進基本指針										頁

事業の目的

対象とありたい姿

市民参画と協働のまちづくりの推進を図るため、市民活動団体の自主的なまちづくり活動が、より活発でスムーズに行えるよう支援環境を整え、併せて団体の育成と団体相互の連携強化を図る。また、自治会においては、高齢化による役員のなり手不足、加入率の低下など様々な課題を抱えている。
自治会活動は、協働によるまちづくりの推進や災害発生時の対応などにおいて、重要な役割を担っていることから、今後も継続して自治会運営への支援を行うとともに、役員の負担軽減への見直しにも協力を行っていく。

主な実施内容

- 市連合自治会、大町地区連合自治会事務局
- 地縁団体登録、証明
- まちづくりセミナーの開催
- まちづくりフォーラムの開催

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		21,424,000	円	26,305,000	円	25,124,000	円
財源内訳	特定財源	5,000,000	円	8,900,000	円	8,500,000	円
	一般財源	16,424,000	円	17,405,000	円	16,624,000	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
17,155,000	8,500,000			25,655,000	25,124,000	

不用額	特定財源	細節名	自治総合センターコミュニティ助成	市町村振興協会コミュニティ助成		
531,000		金額	6,000,000	2,500,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○ 避難所開設・運営訓練
市自主防災会との共催により、日本赤十字社に講師を依頼し、訓練を実施。
令和4年6月1日（水）・6月3日（金）59名参加
大町地区避難所開設・運営訓練　令和4年6月18日（土）26名参加

○ まちづくりセミナーの開催
「Zoom体験講座」　令和4年1月31日（火）4名参加
2月9日（木）2名参加

○ 「ぼくらの市民活動プロジェクト」（実行委員会との共催）
「ぼくらの市民活動フォーラム」　令和4年9月3日（土）400名参加
・団体の活動発表　・マルシェ開催
「コミュニティマネジメント講座」　令和4年10月15日（土）13名参加
「広報スキルセミナー」　令和5年3月11日（土）29名参加



避難所開設・運営訓練



ぼくらの市民活動フォーラム

◆ 事業の成果

昨年より、連合自治会の研修を防災に関するものとし開催したところ、継続開催について要望をいただくなど、市民の地域防災意識の向上に繋がっている。
コロナ禍により停滞していた「ぼくらの市民活動フォーラム」に400名の参加があり、市民活動団体の活動発表やマルシェの開催により、交流の場が広がり、市民活動の意欲向上が図られた。

◆ 前年度からの改善点

- 自治会避難所開設・運営訓練では、より専門的な訓練になるよう、日本赤十字社から講師を招き実施した。
- 自治会加入促進への取組みとして実施している「おらほのまち」の発刊について、より多くの市民に連合自治会の活動や自治会の重要性などを知ってもらうため、広報おおまちに号外を掲載した。
- ぼくらの市民活動フォーラムでは、多くの市民に気軽に来場していただけるよう、マルシェや食の出展を増やして実施した。ただし、コロナ禍であるため、食品については感染対策を考慮し持ち帰りのみとした。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	総務部	まちづくり交流課	市民活動支援係					事務事業No.	12183		
事務事業名	ひとが輝くまちづくり事業							実施方法	補助金		
会計	一般会計		款	2	項	1	目	8	決算書	85	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第５章_市民の参画と協働でつくるまち						後期計画登載頁		86	頁
	施策目標	【１】市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進									
	施策項目	①市民参画と協働によるまちづくりの推進									
個別計画											頁

事業の目的

対象とありたい姿

自主的かつ主体的な活動により公益性のあるまちづくり事業を行う市民活動団体への支援及び自治会等における花づくりを通じた地域コミュニティの促進を図るとともに、市民活動団体の育成及び市民参画と協働によるまちづくりの推進を図る。

主な実施内容

〇ひとが輝くまちづくり事業
・伝統文化の継承事業
・まちづくり事業（はじめようまちづくり活動、ひろげようまちづくり活動、地域創生活動）
・活動継続支援事業
〇花づくり活動事業

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		9,848,775 円	7,827,877 円	12,885,901 円
財源内訳	特定財源	円	円	10,000,000 円
	一般財源	9,848,775 円	7,827,877 円	2,885,901 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
13,190,000				13,190,000	12,885,901	

不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金			
304,099		金額	10,000,000			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

〇 公開審査会

（当初） 4月17日（土） ひろげようまちづくり活動 7団体
地域創生活動 1団体



〇 補助団体数
はじめようまちづくり活動 1団体
活動継続支援事業 1団体
ひろげようまちづくり活動 7団体
地域創生活動 1団体

〇 花づくり活動団体 22団体
・7月下旬から8月上旬に中間調査実施



〇 最終報告会 令和5年3月4日（土）
・各団体の１年間の活動報告

◆ 事業の成果

ひとが輝くまちづくり事業補助金では、コロナ禍ではあるが、はじめようまちづくり活動や地域創生活動などに、新規の申請が多くあり、こうした団体への支援により市民参画と協働によるまちづくりの推進が図ることができた。

◆ 前年度からの改善点

・新規の団体が増えていることから、各団体への相談や手続きに係る説明等を、例年よりも充実させて実施した。

主要な施策の成果説明書

									前年度評価		継続		
担当課		総務部	情報交通課	情報化推進係					事務事業No.		12193		
事務事業名		電子自治体構築事業							実施方法		市が直接実施		
会計		一般会計		款	2	項	1	目	9	決算書	85	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち							後期計画登載頁		84	頁	
	施策目標	【３】快適な生活環境の形成											
	施策項目	⑥高度情報化社会への対応・DX推進											
個別計画		大町市地域情報化基本計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・情報端末機器や共同利用を含めた各種情報システム等の整備により、情報通信技術を活用した市民等への情報提供の充実を図るとともに、行政手続のオンライン化や証明書のコンビニ交付など行政サービスの充実により、市民の利便性の向上を図る。
・情報通信技術の活用し、行政内部事務の効率化による市民サービスの向上を図るとともに、情報セキュリティ対策の強化を図る。

主な実施内容

・情報通信機器整備事業：情報系サーバー及び各種システム、情報系端末、プリンター等のリース
・ネットワーク利用事業：総合行政ネットワークシステム利用料、県高速ネットワーク運営負担金、県セキュリティクラウド運営負担金、自治体中間サーバープラットフォーム利用負担金
・システム運用事業　：電子申請・届出システム運営負担金、公共施設予約システム利用料、コンビニ交付運営負担金、統合型校務支援システム負担金、学校徴収金管理システム負担金

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		63,766,592 円	50,137,299 円	57,573,272 円
財源内訳	特定財源	18,106,198 円	4,007,922 円	14,249,638 円
	一般財源	45,660,394 円	46,129,377 円	43,323,634 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
64,706,000	-3,599,000		-743,392	60,363,608	57,573,272	1,193,000

不用額	特定財源	細節名	LGWAN機器広域設置負担金	情報化推進等負担金	北アルプス連携自立圏事業負担金	広域連携推進事業交付金
1,597,336		金額	10,832,944	2,642,694	559,000	215,000

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動
- ○ 行政事務効率化推進事業（広域連携自立圏事業）の実施
- ○ 利用者に応じたクラウド型緊急情報配信システムの運用開始

◆事業の効果
- ○ 紙で提出される給与支払報告書のデータ化について、AI-OCRの検証を大北５市町村共同で実施し、検証コストの削減が図れた。給与支払報告書については、総務省が様式を示しているが、事業者毎に枠の大きさ等が異なることや、読み取り項目が多く確認に時間を要することなどから、AI-OCR導入効果は低いという結果となった。一方、数字やチェックなど読み取り精度の高い項目もあり、アンケート集計など対象や入力欄を工夫することで業務の効率化に繋がることが判った。
- ○ 緊急情報メール配信システムを市民や保護者、消防団など利用者に応じたシステムで配信することにより、利用者の利便性の向上を図った。
  市民向け・・・メールに加え、Webサイト、ツイッター、LINE、CATV連携により情報配信
  保護者向け・・専用アプリによる配信とし、自動翻訳に加え、欠席連絡やアンケートなど双方向通信に対応
  消防団向け・・消防指令台と連携し、火災発生時には迅速に地図リンク付きメールを配信

◆ 前年度からの改善点
情報通信技術の急速な進展やデジタル化が加速するなか、情報システム等の整備に当たっては、重複投資を避ける必要があることから、既存システム等の見直しを実施している。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続												
担当課	総務部	情報交通課	情報化推進係	事務事業No.	12194								
事務事業名	電算処理委託事業			実施方法	委託								
会計	一般会計	款	2	項	1	目	9	決算書	87	頁			
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁	84	頁			
	施策目標	【３】快適な生活環境の形成											
	施策項目	⑥高度情報化社会への対応・DX推進											
個別計画	大町市地域情報化基本計画									頁			

事業の目的

対象とありたい姿

住民記録・税・国保・福祉等の基幹系業務の電算化により、事務処理の適正化、迅速化、効率化を図るとともに、市民サービスの向上を図る。

主な実施内容

・業務のデータ処理
・各種制度改正に伴うシステム適用
・機器保守等の委託業務及びシステム機器のリース

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		106,067,438	円	97,090,078	円	150,388,603	円
財源内訳	特定財源	15,440,728	円	7,270,552	円	20,694,835	円
	一般財源	90,626,710	円	89,819,526	円	129,693,768	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
153,712,000	-2,497,000			151,215,000	150,388,603	

不用額	特定財源	細節名	デジタル基盤改革支援補助金	社会保障・税番号活用推進費補助金	情報化推進等負担金	
826,397		金額	9,563,000	5,995,000	5,136,835	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○ 業務のデータ処理関係

電算処理業務・・・住民記録、税、年金、国保、福祉等基幹業務のデータ処理及びシステム保守
申告受付データe-Tax連携・・・確定申告システムからe-Taxへの情報連携

○ システム改修等

・行政手続オンライン化に伴うシステム改修
・コンビニ交付基盤システム更新
・地方税共通納税QRコード対応に伴うシステム改修
・戸籍附票システム改修

◆ 事業の成果

基幹業務のデータ処理及びシステム保守を行うとともに、制度改正に伴うシステム改修により、事務処理の適正化、効率化が図られ、住民サービスの向上に寄与している。

◆ 前年度からの改善点

他課で導入・運用しているシステムについて、システム標準化に確実に対応するとともに、運用経費を把握するため、令和５年度から情報化推進費に集約することとした。

主要な施策の成果説明書

										前年度評価		やり方改善	
担当課		総務部	情報交通課	ケーブルテレビ係						事務事業No.		121913	
事務事業名		ケーブルテレビ運営事業								実施方法		その他	
会計		一般会計			款	2	項	1	目	9	決算書	89	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第５章_市民の参画と協働でつくるまち								後期計画登載頁		91	頁
	施策目標	【３】市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築											
	施策項目	②情報通信技術を活用した市民サービスの向上											
個別計画		大町市地域情報化基本計画											頁

事業の目的

対象とありたい姿

・ケーブルテレビ網によるテレビ放送の再送信により、市民に安定した視聴環境を提供する。

・自主放送番組による地域に密着した情報発信により、地域の一体感の醸成を図るとともに、県内外へコンテンツを提供することにより、市の情報発信を行う。

主な実施内容

・テレビ放送の再送信
・自主放送番組による情報発信
　週刊情報番組「きらり☆ステーション」50本、シャイニング・キッズ30本、きらり特番70本
　議会（本会議、一般質問）の生中継ほか
・放送設備等の維持管理、更新

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		87,739,064 円	81,097,495 円	77,094,969 円
財源内訳	特定財源	87,739,064 円	81,097,495 円	77,094,969 円
	一般財源	0 円	0 円	0 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
91,505,000	-10,763,000			80,742,000	77,094,969	

不用額	特定財源	細節名	ケーブルテレビ使用料	ケーブルテレビ引込工事負担金	NHK受信料団体納付負担金ほか	
3,647,031		金額	61,794,810	623,740	14,676,419	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○ 自主放送番組による情報発信
- 週刊情報番組「きらり☆ステーション」50本、シャイニングキッズ30本、きらり特番70本
- 議会生中継（本会議、一般質問）
- 高校野球大会特別番組、王子例大祭生中継

○ 県内他局への番組配信
- 週刊情報番組「きらり☆ステーション」の一部は、県内CATV局が放送している「まるごと信州情報ネット」で毎週放送
- 白馬村、小谷村で「きらり☆ステーション」を放送

○ CATV伝送路及び放送設備の管理による安定した視聴環境の確保

◆ 事業の成果
- コロナ禍により参加者を集めない行事（入学式、音楽会等）を収録・放映し、視聴者から好評をいただくとともに、身近なニュースの提供が行えた。
- 行事やイベントが減少するなか、自宅で楽しめる幼児番組や家庭内運動番組等、新たなコンテンツ展開ができた。

◆ 前年度からの改善点

地域情報化推進委員会においてケーブルテレビの運営についてご意見をいただき、運営体制の見直しを検討し、令和５年度から専門性の高い放送部門（番組制作・送出業務）を委託することとした。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	総務部	まちづくり交流課	女共同参画・人権政策担					事務事業No.	121101		
事務事業名	男女共同参画推進費							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計		款	2	項	1	目	10	決算書	91	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第５章_市民の参画と協働でつくるまち						後期計画登載頁		89	頁
	施策目標	【２】多様性に満ちた共生社会の実現									
	施策項目	①人権教育・啓発の推進									
個別計画	大町市第３次男女共同参画計画										頁

事業の目的

対象とありたい姿

・急速な人口減少と少子高齢化、頻発する自然災害や感染症の流行など、社会情勢が大きく変化するなかで、活力ある社会を維持するためには、男女がお互いの人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関りなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現が必要となる。
・幼児から高齢者まで幅広い世代に対し、身近で関心の高い分野を取り入れながら男女共同参画社会について学習の機会を設け、誰もが個性を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。

主な実施内容

・男女共同参画フォーラムの開催
・男女共同参画学習会の開催（市内６地区）
・女性団体連絡協議会への支援
・女性相談・男性相談

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		335,903 円	446,948 円	835,664 円
財源内訳	特定財源	円	円	円
	一般財源	335,903 円	446,948 円	835,664 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
1,098,000				1,098,000	835,664	

不用額	特定財源	細節名				
262,336		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり



◆ 施策目標に資する活動

○ 男女共同参画フォーラム
令和５年２月12日（土）大町市文化会館にて開催
参加者69名（オンライン参加含む。）
講演：「女性・男性・子どもの視点で考える家族の防災」
～自分を・大切な人を守るために～（株）危機管理教育研究所　国崎　信江氏

○ 男女共同参画学習会の開催
令和4年6月12日～令和5年2月5日（各地区公民館）
・大町地区　6/12　ヨガと座禅体験　参加者15人　・平地区　12/11　講演会　参加者30人
・常盤地区　11/27　講演会　参加者23人　・社地区　10/23　健康運動教室　参加者15人
・八坂地区　2/5　ヨガと座談会　参加者11人　・美麻地区　10/22　文化祭での啓発パネル展示

○ 大町市女性団体連絡協議会の活動支援
・　総会・講演会　令和4年4月23日（土）開催
講演「避難所運営における女性の参加について」防災ネットワークしもすわ　会長　高橋　敦子さん
・　理事会　毎月１回　計１２回開催

○ 女性相談・男性相談の実施　　毎月第２，４木曜日　相談件数　延べ49件

○ 第４次男女共同参画計画策定　・内部評価・市民アンケート・審議会委員による外部評価・パブリックコメント実施

◆ 事業の成果

コロナ禍により休止していたフォーラムや学習会を再開し、男女共同参画への理解促進や啓発を行った結果、徐々にではあるが、市民の意識が高まっている。
また、今年度最終年度の第３次男女共同参画計画の総括として、内部評価や市民アンケートを行い、その結果を踏まえた第４次計画の策定を行った。

◆ 前年度からの改善点

・コロナ禍により開催休止となっていたフォーラムや学習会を感染対策を徹底することで再開した。
フォーラムでは、参加者確保のため、会場参加のほかオンライン参加もできるよう工夫した。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続												
担当課	総務部	八坂支所	総務係							事務事業No.	121115		
事務事業名	八坂地域振興事業									実施方法	委託・補助金		
会計	一般会計			款	2	項	1	目	11	決算書	93	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第５章_市民の参画と協働でつくるまち								後期計画登載頁	87	頁	
	施策目標	【１】市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進											
	施策項目	②過疎地域での地域づくりの推進											
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画										33・48・58	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・定住人口が減少し、少子高齢化が急速に進むなか、住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域活力の持続性を高め、愛着を持てる地域づくりを推進する。

・地域で自主的、主体的に活動する特色ある団体への支援を行い、活気と魅力あふれる地域づくりを推進する。

主な実施内容

・地域づくり委員会、地域づくり協議会を開催し、地域内の振興策や諸問題への対応を検討する。
・地域振興バスを運行し、ふれあいバス路線区域外の交通弱者の足の確保を図る。また、診療所の送迎診療バス、たけのこ保育園の通園バスを運行し、施設利用者の利便性の向上と交通弱者の足の確保を図る。
・地域づくり協議会、八坂音頭保存会等へ補助金を交付し、地域振興と特色ある地域活動団体の支援を行う。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		9,834,517 円	10,585,131 円	9,289,263 円
財源内訳	特定財源	0 円	0 円	5,000,000 円
	一般財源	9,834,517 円	10,585,131 円	4,289,263 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
12,919,000	-1,205,000		-831,516	10,882,484	9,289,263	

不用額	特定財源	細節名	繰入金			
1,593,221		金額	5,000,000			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○ 地域振興バスの運行状況
- 運行日数　２４３日
- 利用者数　１，２２４人

○ 診療所送迎バスの運行状況
- 運行日数　６４日
- 利用者数　２９３人

○ 道路愛護事業（年４回）
- 作業実施延長（１回：約74ｋｍ）
- 参加者数　１，０５７人



八坂秋まつり（10月29日開催）



道路愛護事業（側溝清掃作業）

■ 補助金
- 地域づくり事業　1,200千円
- 公共土木施設愛護会事業　800千円
- 地域間交流事業（八坂秋まつり）600千円
- 八坂音頭保存会事業　100千円

◎ 老人スポーツ大会事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。
また、八坂青竜太鼓保存会は感染防止のため、活動を休止したので補助金の交付はなかった。

◆ 事業の成果

地域振興バスを市民バスふれあい号（八坂コース）に接続するよう運行しているため、通院や通学、買い物等で大町市街に行く高齢者や学生等の移動手段が確保され、住み慣れた地域で安心して暮らすことができている。

◆ 前年度からの改善点

八坂地域づくり協議会において「八坂地域自治組織見直し検討部会」を立ち上げ、自治会組織のスリム化や地区組織の再編について検討を進めている。

主要な施策の成果説明書

							前年度評価	継続			
担当課	総務部	八坂支所	総務係・産業建設係				事務事業No.	121118			
事務事業名	八坂定住促進事業						実施方法	市が直接実施・補助金			
会計	一般会計		款	2	項	1	目	11	決算書	93	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					後期計画登載頁			60	頁
	施策目標	【４】移住・定住促進策等の充実強化									
	施策項目	②過疎地域における移住・定住促進									
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画								14・38・57		頁

事業の目的

対象とありたい姿

・定住人口が減少し、少子高齢化が急激に進む中、拠点集落にＩ・Ｕターン者等の定住を促進させるために定住促進住宅の整備を行う。また、地域に点在する空き家を有効活用し、移住希望者に紹介するとともに、入居した世帯に奨励金を交付することで当地域を移住地として選定してもらう。

・住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、住宅の新増改築資金の借り入れ利子の一部を補給し、集落機能の維持と活性化に繋げる。

主な実施内容

・平成２６年度　住宅建設３棟（切久保２・矢下１）
・平成２７年度　住宅建設２棟（野平）
・平成２８年度　住宅建設２棟（野平）
・平成２９年度　住宅建設２棟（矢下）
・令和２年度　住宅建設２棟（栃沢）
・令和４年度　住宅編入１棟（切久保）
・移住者との交流会、過疎対策重点地域における定住促進奨励金・住宅新築資金等利子補給金の交付

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		47,846,000 円	200,000 円	200,000 円
財源内訳	特定財源	35,600,000 円	0 円	0 円
	一般財源	12,246,000 円	200,000 円	200,000 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
900,000			-399,902	500,098	200,000	

不用額	特定財源	細節名				
300,098		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○ 入居者募集

- 明野集合団地（3戸）及び、新規就農者技術習得管理施設から定住促進住宅に転換した住宅の募集を定住促進係と連携して実施した。

◆ 事業の成果

○ 八坂地区定住促進住宅（戸数：明野6、野平12、切久保5、矢下3、栃沢2）

- 総戸数　２８戸（内、４戸は明野集合団地分）
- 入居者　２４世帯　７８名

○ 奨励金の交付

- 過疎対策重点地域定住促進奨励金　１件（200,000円）

○ 空き家バンクへの登録

- 八坂地区内の空き家　２戸



移住者との交流会(R4.7.2開催)

◆ 前年度からの改善点

コロナ禍ではあったが感染対策を十分講じた上で、地域づくり協議会に協力をいただき、八坂地区内に移住した１年未満の方と移住希望者を対象とした交流会を開催し、６名の参加があった。野平地区のラベンダー園での摘み取り体験やラベンダー石鹸づくりを通じて地域住民との交流を深めるとともに、移住を希望する方へのアドバイスを兼ねた意見交換が活発に行われた。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	総務部	八坂支所	産業建設係					事務事業No.	121119		
事務事業名	明日香荘管理運営費							実施方法	指定管理		
会計	一般会計			款	2	項	1	目 11	決算書	93	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁		57	頁
	施策目標	【３】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画											頁

事業の目的

対象とありたい姿

大町市交流促進センター明日香荘は市民の健康増進に資するための保養施設及び観光施設であり、地元の郷土料理であるそばやおやきの製造販売を通じて地域の活性化を図り、また、地域の拠り所として愛される施設運営に努めている。その他、観光振興により地域間交流を深めることが目的となっている。

主な実施内容

・指定管理者により施設の運営管理を委託し、自主事業として各種イベントを開催し集客を行う。

・施設の老朽化により空調設備の緊急修繕を実施。今後も指定管理者と協議しながら計画的に設備の更新や施設改修を実施していく。

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		12,427,954	円	17,172,300	円	17,061,962	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	12,427,954	円	17,172,300	円	17,061,962	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
15,987,000	0	0	1,225,902	17,212,902	17,061,962	0

不用額	特定財源	細節名				
150,940		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

イベント開催数　12回（前年４回）　利用者数6,383人（前年度2,333人、増減4,050人）

内訳

・やさか山菜そば祭り	439人	・おせち販売、入浴イベント	217人
・やさか淡竹まつり2022	171人	・初湯イベント	206人
・松茸会席	1,900人	・風呂の日始め	454人
・やさか新そば祭り	505人	・冬のうまいもん会えびかに合戦+廻る鮨	63人
・10周年記念お客様感謝デー	264人	・冬のうまいもん会マグロthe解体+廻る鮨	129人
・蟹三昧会席	2,000人		
・冬のうまいもん会クエ三昧	35人		

◆ 事業の成果

新型コロナ感染症の影響で、宴会は減少したままであったが、宿泊に関しては国・県・市の旅行等支援があり最終的には過去最高の数となった。

・宿泊人数	6,623人 （昨年4,264人）	・デリバリー	176人 （昨年220人）
・宴会	1,557人 （昨年1,299人）	・売店	10,406人 （昨年11,359人）
・入浴	8,851人 （昨年5,680人）		
・レストラン	5,737人 （昨年3,871人）		

◆ 前年度からの改善点

コロナ禍で物価が高騰したが、旅行支援等を有効に活用し誘客に努めた結果、指定管理に関しては黒字決算となった。

冷暖房設備の故障により修繕を実施した

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続												
担当課	総務部	美麻支所	総務係・産業建設係	事務事業No.	121125								
事務事業名	美麻地域振興事業			実施方法	その他								
会計	一般会計	款	2	項	1	目	12	決算書	95・97	頁			
総合計画	まちづくりのテーマ	第５章_市民の参画と協働でつくるまち						後期計画登載頁	87	頁			
	施策目標	【１】市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進											
	施策項目	②過疎地域での地域づくりの推進											
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画								88	頁			

事業の目的

対象とありたい姿

・住み慣れた地域で暮らし続けられる地域を構築するため、地域住民や自治組織、運営組織や企業と行政が共に地域課題の解決に取り組む協働のまちづくり、持続可能な地域づくりを進める。

主な実施内容

・美麻地域づくり委員会の開催
・美麻診療所患者輸送業務
・地域の環境維持への支援
・地域振興支援員の配置
・小さな拠点の形成に向けた運営組織への支援
・地域芸能文化の振興支援
・美麻地区公共施設周辺維持管理業務
・美麻地域づくり会議の地域住民協働での事業推進及び運営支援
・しなのおおまちワーキングホリデー事業「むらの暮らしコース」の実施

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		9,924,367 円	10,305,511 円	25,243,843 円
財源内訳	特定財源	円	円	24,862,000 円
	一般財源	9,924,367 円	10,305,511 円	381,843 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
8,617,000	17,957,000	0	0	26,574,000	25,243,843	0

不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金	過疎地域持続的発展支援交付金		
1,330,157		金額	5,000,000	19,862,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

〇美麻地域づくり委員会の開催（4回開催）。
〇美麻診療所患者輸送業務：運行数138日（前年140日）、運行回数249回（前年248回）、利用者数458人（前年509人）
〇地域の環境維持への支援：道路環境維持支援として道路愛護事業補助金の交付（美麻地区連合自治会）整備延長86.64km。
〇美麻地区公共施設周辺維持管理業務：公共施設7カ所周辺の草刈りをシルバー人材センターの業務委託にて実施。
〇美麻地域づくり会議事業及び運営支援：住民自治組織における地域課題の解決に向けた取り組みや活動。
　地域通信の発行（6回）、特産品の研究開発と販売、地域環境整備活動、小さな拠点の形成推進等の活動。
〇しなのおおまちワーキングホリデー事業「むらの暮らしコース」：相談数15件、参加申込数12件、受入数11件。
〇小さな拠点形成に向けた地域運営組織支援：過疎地域持続的発展交付金の地域運営組織のへ補助金交付。
〇地域芸能文化支援：美麻源流太鼓への補助金の交付
〇地域振興支援員の配置（1名）

◆ 事業の成果

〇コロナ感染拡大防止策を講じ、地域自治組織との協働により、様々な活動を実施。（地域づくり会議活動）


地域特産品の販売活動


道の駅活性化活動


遊休荒廃地再生活動


小さな拠点形成学習会

○しなのおおまちワーキングホリデー「むらの暮らしコース」は、都市部の若者に地域滞在いただき、地域の産業や地域活動等を幅広く体験いただく事で、住民との交流や地域の魅力を知ってもらい将来の人口創出に繋げるため実施。
体験ﾒﾆｭｰ：農業、林業、ジビエ加工、ぽか宿泊施設清掃、おやき加工場、学校授業、地域美化活動、
ワークショップ参加









○小さな拠点形成に向けた地域運営組織の取組み

	主 要 な 事 業 内 容	事業実施主体	総事業費	実績額	実施期間
A	**特産品ブランド化事業** ○地域資源の特産品化（花豆ソフトクリーム、アクセサリ、鹿革製品化、鹿肉ペットフード゛、切捨間伐材規格材化（2×4材等）、特産品PRキッチンカーラッピング	一般社団法人地域づくり美麻	5,278千円	5,278千円	7月～3月
B	**生活支援タスカル美麻事業** ○移動支援、買い物支援サービスの提供、除雪機等生活支援物品のシェアリング	一般社団法人地域づくり美麻 ／ 美麻地域づくり会議	5,174千円	5,148千円	〃
C	**集落活動支援事業** ○集落活動支援用草刈り機等の整備、ボランティア人材確保等	一般社団法人地域づくり美麻	181千円	181千円	〃
D	**地域SNSシステム導入事業** ○地域SNSシステムの導入と地域と連携した運用体制の構築	一般社団法人地域づくり美麻	5,716千円	5,716千円	〃
E	**ローカルツーリズム事業** ○地域、生活、里山、農林業等の体験プログラム作りと人材の確保	一般社団法人地域づくり美麻	1,940千円	1,920千円	〃
F	**地域の担い手育成事業** ○コミュニティ・スクールと連携した人材育成。小さな拠点の形成に向けた視察研修の実施	一般社団法人地域づくり美麻 ／ 美麻地域づくり会議	648千円	502千円	〃
G	**地域メンテナンス事業** ○有害鳥獣被害の低減に向けた追払隊の結成。耕作放棄地の開墾。民家周辺での有害鳥獣緩衝帯の整備	一般社団法人地域づくり美麻	1,085千円	1,085千円	〃
	その他事業・・・対象事業の共通経費、対象外事業費	一般社団法人地域づくり美麻	322千円	322千円	〃
		合　計	20,344千円	20,152千円	

◆ 前年度からの改善点

主要な施策の成果説明書

								前年度評価			継続	
担当課		総務部	美麻支所	総務係・産業建設係				事務事業No.			1211212	
事務事業名		美麻定住促進事業						実施方法			市が直接実施	
会計		一般会計		款	2	項	1	目	12	決算書	97	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁			60	頁
	施策目標	【４】移住・定住促進策等の充実強化										
	施策項目	②過疎地域における移住・定住促進										
個別計画		大町市過疎地域持続的発展計画									12	頁

事業の目的

対象とありたい姿

美麻地区への移住定住を希望する者が、定住促進住宅を始めとした地域移行が円滑に進むよう、相談・支援を行うと共に、定住促進奨励金などの施策を講じ、新たな人口創出を促進させる。

主な実施内容

・過疎対策重点地域定住促進奨励金
・過疎地域重点地域住宅新築資金等利子補給金

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		14,953,806	円	79,716,292	円	41,574	円
財源内訳	特定財源	9,600,000	円	59,100,000	円		円
	一般財源	5,353,806	円	20,616,292	円	41,574	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
699,000	0	0	0	699,000	41,574	0

不用額	特定財源	細節名				
657,426		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

○ 過疎対策重点地域定住促進奨励金：地区内の指定する地域の空き家に入居する者への奨励金（1世帯20万円）
○ 過疎地域重点地域住宅新築資金等利子補給金：住宅「新築」「増改築」「購入」者への借入金利子の一部補給

◆ 事業の成果

○ 美麻地区定住促進住宅

総戸数　２０戸（内、令和4年度募集2戸）　入居者　１９戸 63名

団地名	入居戸数	入居者数（人口）	空棟数
川手団地	1	2	
旭団地	8	25	
桜台団地	3	11	
新行団地	3	11	
湯の海団地	1	4	1
二重団地	3	10	



○ 過疎地域定住促進奨励金：交付者　0件
○ 過疎地域住宅新築資金等利子補給金：交付者２件

◆ 前年度からの改善点

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	総務部	美麻支所	産業建設係					事務事業No.	1211215		
事務事業名	ぽかぽかランド美麻管理運営費							実施方法	指定管理		
会計	一般会計			款	2	項	1	目 12	決算書	97	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁		57	頁
	施策目標	【３】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画									18	頁

事業の目的

対象とありたい姿

市内唯一の道の駅として、市民及び観光客等を対象とし、地域間交流の促進や観光事業の振興・地域住民の福祉の向上など図ることを目的とした施設。

主な実施内容

地域間交流の促進
・道の駅としての機能　・温浴施設としての機能　・飲食施設としての機能　・宿泊施設としての機能
観光事業の振興
・宿泊、温浴、売店を中心とした観光事業の振興　・県内、国内、海外からの集客
地域住民の福祉の向上
・温浴施設及び飲食施設としての機能を中心に市民サービスに努め、気軽に立ち寄れる機会の創出による市民福祉増進

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		7,661,781 円	7,932,761 円	9,844,907 円
財源内訳	特定財源	69,398 円	1,976,257 円	42,969 円
	一般財源	7,592,383 円	5,956,504 円	9,801,938 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
8,748,000			1,146,700	9,894,700	9,844,907	

不用額	特定財源	細節名	ぽかぽかランド美麻ＥＶ充電器課金			
49,793		金額	42,969			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

指定管理施設の維持管理

- 宴会場前男子トイレ、レストラン冷凍ユニット、浴槽自動湯張り装置ほか修繕費（2,923千円）
- 防火設備定期検査手数料等（444千円）
- 美遊指定管理料（2,706千円）
- 美遊土地賃借料（390千円）

前年度と比較して利用者数が２万人以上増加

◆ 事業の成果

美麻地域組織との協働により、様々な活動拠点としての支援



よっとくれイベント



よっとくれイベント



肉の日イベント



◆ 前年度からの改善点

指定管理者の自主事業として、宿泊用トレーラーハウス設置

主要な施策の成果説明書

担当課	総務部	まちづくり交流課	芸術文化振興係・国際芸術祭推進担当					前年度評価	継続		
事務事業名	芸術文化振興事業							事務事業No.	121131		
								実施方法	その他		
会計	一般会計	款	2	項	1	目	13	決算書	97	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁	49	頁	
	施策目標	【３】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実									
	施策項目	③地域の芸術文化の創造									
個別計画	大町市文化資源活用ビジョン								9	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・国内外からアーティストを招聘し、地域資源を活用した芸術創作活動を支援するアーティスト・イン・レジデンスを積極的に展開し、市の新たな魅力の創造や交流を通じて、市民が身近に芸術文化に触れる機会を創造するとともに、シビックプライドの醸成を図る。
・トリエンナーレとして国内外から数十組のアーティストが参加する北アルプス国際芸術祭を開催することにより、既存観光が訴求してこなかったターゲット層への強い発信による国内外からの新たな誘客を図る。

主な実施内容

・国内外からアーティストを招聘し、滞在制作、ワークショップ及び作品展示等の実施
・市民とアーティストの交流及び市民芸術文化活動の振興
・トリエンナーレとしての北アルプス国際芸術祭の開催
・地域固有の芸術文化資源等の魅力の創出と発信

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		41,852,367 円	129,112,930 円	22,150,535 円
財源内訳	特定財源	4,759,000 円	116,121,000 円	4,956,535 円
	一般財源	37,093,367 円	12,991,930 円	17,194,000 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
19,428,000	3,294,000	0	0	22,722,000	22,150,535	0

不用額	特定財源	細節名	地方創生推進交付金	芸術文化振興事業参加負担金	ふるさと応援基金繰入金	
571,465		金額	2,906,535	81,000	1,969,000	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

【信濃大町アーティスト・イン・レジデンス】
公募テーマ「おもいっきり、水」として、応募者２２名より４名を選考
・内田　涼　（滞在日数４８日）　　・川松康徳（滞在日数４３日）
・スギサキハルナ（滞在日数４８日）　　・遠藤一郎（滞在日数３１日）
プレゼン会（9/10）参加者５９名　　展示・発表（10/1-10）参加者2,735名
NAGANO　ORGNIC　AIR事業との連携により横山彰乃（滞在日数１９日）
温泉郷お客様感謝DAY（8/13）参加者150名
パフォーマンス発表会（10/8-10）参加者325名
【北アルプス国際芸術祭】
「越後妻有　大地の芸術祭」視察バスツアー開催（10/27）参加者44名



◆ 事業の成果

【信濃アーティスト・イン・レジデンス】
コロナ禍により2年間アーティストの招聘が出来なかったが、本年度は麻倉Arts&CraftとNPO法人原始感覚舎で組織するコンソーシアムの運営協力のもと公募によりアーティストを招聘することができた。８～10月にかけて約50日の滞在期間中に概ね3,200名の参加者により、市民との出会いや交流を通じて大町市の魅力を見出し、市街地の空き店舗などを舞台に芸術文化に親しむ機会の創出を図ることができた。
【北アルプス国際芸術祭】
「市民参加による地域づくり」と空き家や廃校を活用した先進地モデルとなる他芸術祭の視察により、今後の芸術祭における市民参加の醸成を図ることができた。参加者アンケートでは、次回芸術祭に対し、鑑賞43%、サイト受付23%、作品制作10%、オフィシャルガイド11%、食の取組み13%と全ての方が何らかの形で参加したい意向を持っていただいた。

◆ 前年度からの改善点

筑波大学芸術専門学群において、デジタルアーカイブ作成と地域交流活動を含めたアートマネジメント人材の育成として、当事業が学生の学びの場となった。交流人口・関係人口の増加にも繋がることから継続的な関係性を維持していく。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	総務部	税務課	管理収納係					事務事業No.	12212		
事務事業名	賦課徴収費							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	2	項	2	目	1	決算書	98	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第５章_市民の参画と協働でつくるまち						後期計画登載頁	92	頁	
	施策目標	【３】市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築									
	施策項目	⑤健全で持続可能な財政運営									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

課税客体の適正な把握に基づき、市税の適正かつ公平な課税、並びに効果的な収納業務の推進により、自主財源である市税の確保に努める

主な実施内容

地方税法に基づく各種市税の課税・調定・徴収・収納管理の諸業務
- ○市民税（個人・法人）、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税、都市計画税の課税・調定業務
- ○各市税の徴収・収納管理業務（各種税額収入金を含む）及び滞納者に対する納税相談・滞納処分の実施
- ○市民税不申告者に対する調査の実施（訪問・電話・文書）
- ○土地評価の時点修正等業務
- ○啓蒙啓発活動

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		36,777,721 円	42,908,073 円	43,190,431 円
財源内訳	特定財源	10,031,508 円	6,661,415 円	6,457,913 円
	一般財源	26,746,213 円	36,246,658 円	36,732,518 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
48,302,000	-1,601,000			46,701,000	43,190,431	

不用額	特定財源	細節名	督促手数料	所得証明等諸証明手数料	延滞金及び遅延損害金	弁償金ほか
3,510,569		金額	607,700	1,715,220	4,081,643	53,350

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

課税客体の適正な把握と調査に基づく課税を実施するとともに、徴収強化の徹底や滞納処分の実施に取り組み、折衝困難等の長期・高額案件については、長野県地方税滞納整理機構への移管を行うなどして税収の確保に努めた。

○課税客体の適正な把握と調査に基づく課税の実施
- ・市民税不申告調査の実施　508 件
- ・土地評価の時点修正の実施　85 地点

○徴収強化の徹底や滞納処分の実施等
- ・県地方税滞納整理機構への移管　22 件

◆ 事業の成果

○収納実績

	収入額（千円）			収納率（%）		
	４年度	３年度	比較	４年度	３年度	比較
現年課税分	4,239,308	4,060,716	178,592	98.77	99.25	△ 0.48
滞納繰越分	38,580	57,868	△ 19,288	50.77	46.94	3.83
合計	4,277,888	4,118,584	159,304	97.93	97.72	0.21

（収納率増減の主な要因）

現年課税分：新型コロナウイルスの影響に伴う固定資産税に係る徴収猶予分の翌年度繰越による収納率の減少

滞納繰越分：徴収猶予分の前年度からの繰越分の納付等

◆ 前年度からの改善点

相続人不在の未納者のうち、換価が十分見込まれる財産を有する者に対する相続財産管理人の申立てを新たに行い、未納の解消を図る取り組みを実施した。（申立件数：５件）

主要な施策の成果説明書

担当課	民生部	福祉課	庶務係						前年度評価	継続		
事務事業名	総合福祉センター管理事業								事務事業No.	13114		
									実施方法	指定管理		
会計	一般会計		款	3	項	1	目	1	決算書	111	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち							後期計画登載頁	66	頁	
	施策目標	【2】だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進										
	施策項目	①地域福祉の推進										
個別計画	第４次大町市地域福祉計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

子どもから高齢者、障がいのある人もない人も、誰もが安心して利用できる施設の運営を進めるため、大町・八坂・美麻の３施設を一括して指定管理者に委ねたうえで、民間のノウハウと発想により、市民ニーズを的確にとらえた弾力的なサービスを提供するとともに、３施設の連携を強化することによる効果的・効率的な運営を図る。

主な実施内容

指定管理者制度による下記３施設の管理・運営
- 大町市総合福祉センター　平成14年10月開設　平成18年度から指定管理導入
- 八坂総合福祉センター　平成９年４月開設　平成18年度から指定管理導入
- 美麻総合福祉センター　平成11年９月開設　平成24年度から指定管理導入

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		43,415,186 円	59,965,603 円	62,200,227 円
財源内訳	特定財源	円	17,765,000 円	22,000,000 円
	一般財源	43,415,186 円	42,200,603 円	40,200,227 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
42,050,000	20,200,000		326,700	62,576,700	62,200,227	

不用額	特定財源	細節名	工事請負費（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）			
376,473		金額	22,000,000			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

○各施設の利用状況

施設名	項目	開設日数	利用実績
大町市総合福祉センター	公衆浴場	310日	延べ25,647人（82.7人／日）
		年末年始臨時営業	12/29　67人　12/30　76人 1/3　49人　計192人
	会議室等貸館	359日	延べ1,982団体（5.5団体／日） 延べ12,880人　（36.0人／日）
	デイサービス	297日	延べ4,896人　（15.9人／日）
八坂総合福祉センター	デイサービス	251日	延べ4,091人　（16.3人／日）
美麻総合福祉センター	デイサービス	248日	延べ4,913人　（19.8人／日）
	会議室等貸館	249日	延べ122団体　（0.5団体／日） 延べ1,381人　（5.5人／日）

○自主事業実施状況

◆障害福祉サービス事業　開設日数243日

事業所名	ひまわりの家	たんぽぽ	すずらん
延べ利用者数	6,517人（26人／日）	1,027人（4人／日）	1,112人（5人／日）

◆障害者地域生活支援事業事業　開設日数 243日（⑤は237日）

①大北圏域障害者相談支援事業（スクラム･ネット）	年度末登録者数587人　延べ利用者数1,016人
②発達障がいサポート・マネージャー事業	年度末登録者数62人　延べ利用者数260人
③療育支援事業（スクラム・ネット）	延べ相談件数1,491件
④障害福祉サービス計画支援事業	年度末登録者数87人　延べ利用者数246人
⑤障害者地域活動支援センター事業（ﾊｰﾓﾆｰ･ﾙｰﾑ）	延べ利用者数　1,106人
⑥日中一時支援事業	延べ利用時間数　51時間

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続			
担当課	民生部	福祉課	庶務係					事務事業No.	13115			
事務事業名	市社会福祉協議会助成事業							実施方法	補助金			
会計	一般会計	款	3	項	1	目	1	決算書	111	頁		
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁	66	頁		
	施策目標	【２】だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進										
	施策項目	①地域福祉の推進										
個別計画	第４次大町市地域福祉計画									頁		

事業の目的

対象とありたい姿

社会福祉法人 大町市社会福祉協議会の組織体制の充実と事業運営の強化を図る。

主な実施内容

大町市における社会福祉事業の遂行を総合的に担う社会福祉協議会へ補助金を交付し、大町市地域福祉活動計画の実施に向けた援助・支援を行う。

対象：法人運営事業・ふれあい福祉センター運営事業・ボランティアセンター運営事業・心配ごと相談事業

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		21,649,000	円	21,808,000	円	20,780,000	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	21,649,000	円	21,808,000	円	20,780,000	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
20,780,000				20,780,000	20,780,000	

不用額	特定財源	細節名				
0		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

○法人運営事業

◆第4次地域福祉活動計画の実行　計画年度 令和４年度～８年度

◆災害時支援体制の強化

災害時職員初動マニュアルに基づく参集訓練　8/28

DSAT（県内社協職員災害初動時先遣チーム）運営委員会への参画　3/27

義援金の募集・送金　4種（44,303円）

○ふれあい福祉センター運営事業

◆小地域福祉ネットワーク研修会の開催　「コットンで紡ぐ地域のつながり」　12/8（12人）

◆広報紙「社協おおまち」　年６回発行

◆地区社協事業　共同募金・地区社協助成金等を交付し６地区社協の活動を支援

○ボランティアセンター運営事業

登録ボランティア団体　111団体　5,856人　／　小地域福祉ネットワーク数　42団体

貸出備品整備　車いす4台購入　／　備品貸出　21種 386件

◆ボランティア講座の開催

保育サポーター講座　6/22　9/7　実践活動　計3回（8人）

サマーチャレンジボランティア　体験講座 7/12～8/12の間に8回（計17人）

草取りボラ　10/12・26（計22人）

◆ボランティア研修会の開催

ボランティアリーダー研修会　3/10（21人）

大北ボランティア地域活動フォーラム　10/20（46人）

◆ボランティアニュース　年６回発行

○心配ごと相談事業（心配ごと相談・司法書士相談を毎月２回開設）　相談件数 62件

相談内容	生計	土地家屋	家族	離婚	財産	金銭貸借	健康	近隣	苦情	その他	合計
	7	18	4	1	17	7	1	6	0	1	62

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続										
担当課	民生部	福祉課	福祉係					事務事業No.	13128		
事務事業名	その他障害者福祉サービス事業							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	3	項	1	目	2	決算書	115･117	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁	62	頁	
	施策目標	【２】だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進									
	施策項目	②障がい者福祉の推進									
個別計画	第６期大町市障がい福祉計画									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・障害種別や程度に関わらず、希望する場所で日常生活や社会生活を営むことのできる地域生活拠点整備
・親亡き後も住み慣れた家や地域で障がい福祉サービスを受けながら生活が継続できる。
・地域において役割をもったり担い手となったり、また見守りあえたりする。意思が尊重され自己決定が出来、権利が擁護される。出来るだけ自立した生活が送れる。

主な実施内容

・障がい者相談支援事業
・成年後見制度利用支援事業
・意思疎通支援事業
・日常生活用具給付事業
・移動支援事業
・地域活動支援センター利用事業
・日中一時支援支援事業
・訪問入浴サービス事業
・福祉タクシー券交付事業　など

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		59,423,529 円	60,111,005 円	57,344,768 円
財源内訳	特定財源	25,489,000 円	24,531,000 円	32,186,000 円
	一般財源	33,934,529 円	35,580,005 円	25,158,768 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
61,700,000	-3,500,000	0	0	58,200,000	57,344,768	0

不用額	特定財源	細節名	地域生活支援事業補助金（国庫）	地域生活支援事業補助金（県費）	北アルプス連携自立圏町村負担金	地域福祉総合助成金・ふるさと応援基金繰入金
855,232		金額	11,439,000	5,586,000	7,150,000	8,011,000

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

○　障害者総合支援法による地域生活支援事業

・相談支援事業　大北圏域障害者総合支援センターを、北アルプス連携自立圏事業で事業委託。
相談支援件数　446件（大町市分）。自立支援協議会事務局も運営し、圏域内の課題解決や改善に向け取り組んでいる。　委託料　12,665,000円
・意思疎通支援事業　情報保障のための手話通訳、要約筆記者の派遣を実施。
遠隔手話通訳システム使用料　23,189円
・成年後見制度利用支援事業　後見人報酬　1名　233,000円
・日常生活用具給付事業　在宅生活を継続するうえで必要な用具等を給付している。
給付件数　811件　7,893,532円
・地域活動支援センター　日中の場、社会適応訓練、入浴介助等を実施。市内事業所　2か所。
延利用人数　552人　18,944,327円
・移動支援事業　外出先での支援が必要な方に対し実施。延229時間　781,646円
・訪問入浴サービス　延88回　1,100,000円
・日中一時支援事業　介護者の負担軽減　延利用人数　2,584人　9,599,310円
・点字・声の広報等発行事業　100,000円（テープ図書作成、点字広報発行）

○　その他事業

・通所通園事業補助金　2件　25,390円
・タイムケア事業　延1,123時間　547,680円
・介護者慰労金　20人　2,000,000円
・福祉タクシー券配布　利用枚数2,511枚　2,111,830円
・介護用品券　延60件　179,752円
・支援員派遣　3件　32,966円
・自動車改造　2件　195,500円

◆ 事業の成果

・各種事業が地域で安心して生活したり、生きがいを持って自立した生活することにつながったり、また介護者の支援につながっている。

◆ 前年度からの改善点

・相談支援事業に合わせて業務をお願いしていた自立支援協議会事務局について業務内容を見直し、負担軽減をはかることで、増加する相談に対応してもらう体制とした。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続			
担当課	民生部	福祉課	高齢者・介護保険係					事務事業No.	13131			
事務事業名	高齢者福祉一般経費							実施方法	指定管理			
会計	一般会計			款	3	項	1	目	3	決算書	117	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁			64	頁
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現										
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築										
個別計画	第８期大町市高齢者福祉計画										33	頁

事業の目的

対象とありたい姿

高齢者が、敬愛され、生きがいをもって健康で安心した生活をおくることができるよう、地域全体で支えていくため、高齢者・児童並びに地域住民を対象に高齢者福祉、放課後児童健全育成事業及び三世代交流事業を通じて、高齢者の生きがいや交流事業の場として環境整備を進める。

主な実施内容

ふれあいプラザの管理について、ＪＡ大北が指定管理者として平成18年度より管理を行う。入浴事業、貸館業務のほか市が委託する高齢者総合窓口としての地域包括支援センターや介護保険事業者として訪問介護事業の運営を行っている。また、南小児童クラブの活動の場所となっている。

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		7,027,947	円	7,247,297	円	6,739,105	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	7,027,947	円	7,247,297	円	6,739,105	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
6,754,000				6,754,000	6,739,105	

不用額	特定財源	細節名				
14,895		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

・多くの利用者が利用できるよう土日祝日も開館し、年間360日の開館に取り組んでいる。

入浴施設は、毎週木曜日、年末年始（12月29日から1月3日）以外の午後1時から午後8時まで利用可能。

貸館業務は軽運動室、食堂等があり年末年始（12月29日から1月３日）以外の平日は午前９時３０分から午後８時まで、土・日曜日、祝日は、午後１時から午後８時まで利用可能

南小児童クラブは、平日は下校時から午後６時まで（小学校の休日や長期休みは、午前８時～午後６時まで）

・市が委託する南部地域包括支援センターや指定管理者独自事業として、訪問介護事業所を置き地域に密着したサービスを提供している。

◆ 事業の成果

・新型コロナウイルス感染症の心配があったが、入浴施設利用者は増加した。

H30年度：4,680名、R元年度：5,385名、R2年度：4,860名、R3年度：5,292名、R4年度：5,747名

・南小児童クラブの利用者も増加している。

H30年度：5,782名、R元年度：5,088名、R2年度：5,058名、R3年度：4,080名、R4年度：6,003名

◆ 前年度からの改善点

・なし

主要な施策の成果説明書

										前年度評価		継続	
担当課		民生部	福祉課	高齢者・介護保険係						事務事業No.		13134	
事務事業名		高齢者福祉事業費								実施方法		市が直接実施	
会計		一般会計			款	3	項	1	目	3	決算書	117･119	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち								後期計画登載頁		64	頁
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現											
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築											
個別計画		第８期大町市高齢者福祉計画										35ほか	頁

事業の目的

対象とありたい姿

高齢者の社会参加や在宅生活を継続できる支援を行う。

主な実施内容

高齢者の在宅生活支援
・敬老祝金や介護者慰労金の支給
・陶芸の家の開設
・地区敬老会、シルバー人材センター、寝たきり高齢者等移送サービス支援、住宅改良助成、シニアクラブへの補助金助成
・福祉タクシー券、介護用品券、短期宿泊支援等

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		64,076,623 円	52,468,296 円	56,848,322 円
財源内訳	特定財源	10,845,572 円	1,773,572 円	5,124,000 円
	一般財源	53,231,051 円	50,694,724 円	51,724,322 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
57,978,000				57,978,000	56,848,322	

不用額	特定財源	細節名	高齢者地域支え合い支援事業補助金	生活管理短期宿泊利用者負担金	陶芸の家利用者実費徴収金	地域福祉総合助成金、ふるさと応援基金繰入金ほか
1,129,678		金額	732,000	1,300,000	70,000	3,022,000

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

・敬老祝い金の贈呈（88歳10,000円、99歳20,000円、100歳以上10,000円）
・陶芸の家の開設
・高齢者にやさしい住宅改良補助金の交付；介護認定を受けた高齢者の住宅改修への助成
・シニアクラブへの活動支援
・福祉タクシー券の交付；要支援から要介護2までの認定を受けた高齢者で、前年度所得税非課税世帯に対しタクシー券を交付して移動支援を行う。
・介護用品引換券交付事業；在宅で介護が必要な人及びその介護者におむつ券の交付を行う。

◆ 事業の成果

・敬老祝金（88歳10,000円　212人、99歳20,000円　34人、100歳以上10,000円　27人）
・陶芸の家受講者；２６人　親子陶芸教室；7/30、7/31の予定だったが、新型コロナ感染拡大のため中止
陶芸教室；10/22　11人、10/23　13人
・高齢者にやさしい住宅改良補助金件数；２件
・シニアクラブ活動助成；連合会１団体・単位クラブ21団体・959人
・山雅健康運動教室；全10回　参加者数69人　　延べ273人
ノルディックウォーキング教室：全22回　参加者数40人　延べ382人
・福祉タクシー券交付；交付数181人
・介護用品引換券交付事業；交付者数293人

◆ 前年度からの改善点

・なし

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	民生部	福祉課	社会就労センター					事務事業No.	13142		
事務事業名	社会就労センター運営管理費							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	3	項	1	目	4	決算書	121	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁	67	頁	
	施策目標	【２】だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進									
	施策項目	③生活困窮者への支援の推進									
個別計画	第４次大町市地域福祉計画								21	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

身体及び知的等の障がいにより一般就労が困難な者や生活困窮者に就労の場を提供し、技術を習得させることにより、利用者の自立助長及び生活の安定を図る。
また、就労継続支援B型事業所を併設しており、障害者等の個性に応じた技術面や生活面の指導を行いながら、利用者の自立心やコミュニケーション能力の向上をサポートする。

主な実施内容

施設授産（定員３０名）と家庭授産（定員１０名：現在０名）で、障がい者のほか要保護者等生活困窮者が利用している。受託作業の主なものは、電気部品の組み立て、機械部品の一部加工、食品やお土産及び洗髪剤の包装袋詰め、ギフト化粧箱の作成及びパンフレット組み込み等である。
【受注先】：ラインハルト、富士電機、あづみ野食品、アルプススクリュー、信明電機、近藤紡績所、大和、ホクト、三協精密、キッセイコムテック、市観光協会ほか

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		27,542,749 円	26,136,322 円	18,025,234 円
財源内訳	特定財源	26,967,862 円	24,727,603 円	27,744,056 円
	一般財源	574,887 円	1,408,719 円	-9,718,822 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
30,162,000	-10,895,000			19,267,000	18,025,234	

不用額	特定財源	細節名	授産所施設費負担金	社会就労センター受託事業収入	自動販売機電気料及び販売手数料	
1,241,766		金額	19,632,600	8,073,745	37,711	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

○　令和４年度就労センター利用状況（重複あり）

利用指標	数値
・令和４年度延べ利用者数	270人
・令和４年度月別利用者実人数（最大）	23人
・うち障がい者利用者年間実人数	12人
・うち生活保護法による年間利用者実人数	15人
・開設日数	235 日
・利用延日数	4,339 日
・作業受託費合計	8,073,745 円
・年間一人当たり受託費（最大利用者実人数）	351,032 円



◆ 事業の成果

○コロナ禍による観光関連業者１社の取引終了があったが、製造業者からは新規２社の受注契約が取れた。
結果、微増ではあるが前年度と比較し７０万円余の受託事業収入の増に繋がった。

主要な施策の成果説明書

担当課	民生部	福祉課	美麻福祉企業センター					前年度評価	継続		
事務事業名	美麻福祉企業センター運営管理費							事務事業No.	13144		
								実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	3	項	1	目	4	決算書	121･123	頁	
総合計画 まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち							後期計画登載頁	67	頁	
施策目標	【２】だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進										
施策項目	③生活困窮者への支援の推進										
個別計画	第４次大町市地域福祉計画									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

身体及び知的等の障がいにより一般就労が困難な障がい者や就業機会や就業能力に限りがある被・要保護者に対して就業場所を提供し、技術を習得することにより、利用者の自立の助長及び生活の安定を図る。

また、過疎特定地域に就業の場所を確保する。

主な実施内容

○施設授産（定員30名）で、障害者及び生活保護法上の被・要保護者等生活困窮者が利用している。
○主な受託作業
- 段ボール、プラスチック段ボールの組立等の加工　1社
- 化粧箱組立加工　3社
- ハーネスケーブル切断、端末加工　1社
- 金属磨き、罫書加工　1社
- ICF切断加工　1社
- ICチップ検査ほか　1社
- クランプ検査　1社
- 市観光協会　1社

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		34,483,689 円	35,804,951 円	28,013,940 円
財源内訳	特定財源	28,930,071 円	29,772,561 円	28,454,987 円
	一般財源	5,553,618 円	6,032,390 円	-441,047 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
36,290,000	-7,937,000			28,353,000	28,013,940	

不用額	特定財源	細節名	授産所施設事務負担金	福祉企業センター受託事業収入		
339,060		金額	11,634,840	16,820,147		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

○美麻福祉企業センター

利用指数	数値
・令和4年度延べ利用者数	235人
・令和4年度利用者数実人数（最大）①	21人
・利用延べ日数　②	3,819日
・年間利用者平均利用日数　②/①	181日
・作業受託費合計　③	16,820,147円
・年間一人当たり受託費　③/①	800,959円

◆ 事業の成果

○受託事業収入では、新型コロナウイルス感染拡大の中やウクライナ情勢の中でも新規作業の受注は無かったものの安定した受託事業収入となった。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価			やり方改善	
担当課	民生部	福祉課	地域包括支援センター					事務事業No.			13173	
事務事業名	介護予防包括的支援事業							実施方法			一部委託	
会計	一般会計		款	3	項	1	目	7	決算書	125	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁		64	頁	
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現										
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築										
個別計画	第８期大町市高齢者福祉計画									19	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

高齢者及びその家族（元気高齢者、基本チェックリスト該当者（事業対象者含む）、要支援認定者、介護者家族等）の
心身の健康維持、介護予防及び生活の安定のために、必要な支援を行うとともに、高齢者の権利を擁護し、居宅において自立生活を営むことができるよう支援する。

主な実施内容

市内に３つの地域包括支援センターを設置し、それぞれ３職種（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員）を中心とし、高齢者の保健・医療・福祉・介護の多様な面から生活を支える総合支援窓口として活動（直営１ケ所、委託２ケ所）。
・人口推計を元に市内２か所の地域包括支援センターおよび、一次相談窓口となるブランチ設置に向け事務改善を実施。
・直営の行う介護予防支援業務（ケアプラン作成）について、一部を居宅介護支援事業所へ業務委託

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		39,503,210 円	39,482,880 円	37,548,730 円
財源内訳	特定財源	39,503,210 円	39,482,880 円	37,548,730 円
	一般財源	0 円	0 円	0 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
43,719,000	-6,067,000			37,652,000	37,548,730	

不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金	予防計画費収入		
103,270		金額	31,481,170	6,067,560		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○総合相談支援業務

家族介護者への相談支援数

大町市地域包括支援センター	1322
北部地域包括支援センター	1783
南部地域包括包括支援センター	567

○包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

実践力向上等研修会・法定外研修の開催	実践	法定
成年後見制度市町村職員向け研修	4	
実践力向上等研修会		1
地域ケア会議兼法定外研修		1
認知症講演会	2	

○地域ケア会議の開催

地域ケア会議の類型	回数	参加者数（延べ）
自立支援型（個別）	1	10
対話型（個別・推進）	13	335

○権利擁護業務

高齢者虐待対応件数（重複あり）

身体的虐待	1
放棄的虐待	0
心理的虐待	0
性的虐待	0
経済的虐待	1
虐待事実なし	5

○介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

委託する際のセンターの関与数（延べ）

大町市地域包括支援センター	812
北部地域包括支援センター	243
南部地域包括支援センター	391

◆ 事業の成果　「地域・介護保険・サービス及び一人ひとりの地域生活の持続可能性の高まり」

○人口当たり新規認定率（１号被保険者）　単位：(%)

	北部	直営	南部	市全域
令和２年３月	1.8	1.9	1.8	1.9
令和３年３月	1.7	1.8	2.8	2.2
令和４年３月	1.8	1.9	1.7	1.9
令和５年４月	2.4	2.1	2.2	2.2

○1号被保険者　要介護認定率

	市	県	全国
令和元年度	17.0	17.2	18.5
令和２年度	17.1	17.2	18.6
令和３年度	16.8	18.2	20.3
令和４年度	16.9	17.7	19.4

◆ 前年度からの改善点　機構改革の実施

主要な施策の成果説明書

									前年度評価			やり方改善	
担当課		民生部	福祉課	地域包括支援センター					事務事業No.			13176	
事務事業名		通所型介護予防事業							実施方法			委託・補助金	
会計		一般会計		款	3	項	1	目	7	決算書	125	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち							後期計画登載頁		64	頁	
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現											
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築											
個別計画		第８期大町市高齢者福祉計画									24	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

要支援認定者、事業対象者、介護予防が必要な高齢者に対し、高齢者の認知、運動機能維持改善を目的に通所型の介護予防事業を行い、要介護期間の短縮を図る。

主な実施内容

- 通所型サービスＣ（短期集中事業）
- 複合体操教室（自治会単位）
- 一般介護予防体操教室
- 自主活動団体育成補助事業

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		5,037,376 円	7,056,478 円	10,215,904 円
財源内訳	特定財源	5,037,376 円	7,056,478 円	10,215,904 円
	一般財源	0 円	0 円	0 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
13,800,000	-3,156,000			10,644,000	10,215,904	

不用額	特定財源	細節名	地域支援事業受託金	筋力トレーニング利用者実費徴収金		
428,096		金額	9,811,604	404,300		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

・通所型サービスＣ（短期集中事業）
　実施期間３か月（１回/週、連続１２回））、実人員４人、延べ２０人
　委託事業所　市立大町総合病院、リセット

・複合体操教室（自治会単位）
　実施自治会　１３か所（新規１か所）、実人員２０３人、延べ１，８３３人、
　委託事業所　ＮＰＯ法人健學塾、リセット、株）Ｆライクス

・一般介護体操予防教室
　実施回数　1コース２０回　２コース実施
　実人員３，１３９人、延べ５１０人（1コース定員２０人）、委託事業所　ＮＰＯ法人健學塾

・自主活動団体育成補助事業
　補助金交付団体数28団体（内新規1団体）
　実人員４０６人、延べ９，２８８人、実施回数９５３回
　内容　体操、ダンス、趣味活動、トレッキング、ものづくり、外出

・貯筋塾
　実施回数　１コース２０回　７コース実施（常盤１、平４、美麻２）
　実人員６６人、延べ９９６人（1コース定員２０人）、委託事業所　ＮＰＯ法人健學塾、Ｆライクス、リセット

・男のカラオケ教室
　実施回数　１コース８回　１コース実施、実人員７人、延べ４６人

◆ 事業の成果

感染防止対策を凝らした事業を展開し今事業により介護保険サービスの利用開始が延伸されたと考える。
また、常盤貯筋塾および男のカラオケ教室では、男性の積極的参加を得て、男性の健康づくりに資する資源開発となった。

◆ 前年度からの改善点

遊休状態であったトレーニング機器を活用した。
介護予防資源を平・八坂地区に新設した。

主要な施策の成果説明書

										前年度評価			やり方改善		
担当課		民生部	福祉課	地域包括支援センター						事務事業No.			13177		
事務事業名		訪問型介護予防事業								実施方法			市が直接実施		
会計		一般会計			款	3	項	1	目	7	決算書	125･127	頁		
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち								後期計画登載頁			64	頁	
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現													
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築													
個別計画		第８期大町市高齢者福祉計画										40	頁		

事業の目的

対象とありたい姿

要支援認定者及び虚弱な高齢者を対象に、訪問による保健指導及び、運動指導、介護者支援を行い、重度化を延伸する。

主な実施内容

・訪問指導は看護師・栄養士等が対象者に対し１～２回/月の頻度で訪問を行う。
・リハビリ職家屋調査は、身体機能低下に伴い宅内移動が困難となった高齢者宅を理学療法士が訪問し、安全な移動方法の指導の他、 住宅改修や福祉用具活用に関するアドバイスを行う。
・訪問型C事業は理学療法士が１２週間連続訪問によるリハビリ指導を実施し、身体機能の維持向上を図り、在宅生活が維持できるよう支援を行う。

事業費

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		1,804,233 円	1,763,419 円	1,014,996 円
財源内訳	特定財源	1,804,233 円	1,763,419 円	1,014,996 円
	一般財源	0 円	0 円	0 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
4,734,000	-3,659,000			1,075,000	1,014,996	

不用額	特定財源	細節名	地域支援事業受託金			
60,004		金額	1,014,996			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

看護師訪問指導　　実人数３７人

	月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
訪問	実人数	18	24	23	17	17	18	20	16	23	15	23	24	238
	のべ	24	29	27	20	23	20	24	17	24	17	26	27	278
電話	実人数	5	2	0	1	3	3	1	4	2	2	0	0	23
	のべ	5	2	0	1	3	3	1	4	2	2	0	0	23

栄養士訪問指導　　実人数２９人

	月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
訪問	実人数	1	3	3	5	5	3	3	3	3	5	8	5	47
	のべ	1	3	3	5	5	3	3	3	3	5	8	5	47

◆ 事業の成果

看護師による訪問指導の実施実人数３７人。内、４年度修了者13人の平均訪問期間は4.2年。
終了理由は、介護保険サービス移行７名、自立のため訪問指導終了４名、有料老人ホーム入居１名、死亡1名。

◆ 前年度からの改善点

栄養士および保健師による後期高齢者健診受診者の個別指導開始し、通いの場への巡回指導に加えて、循環器疾患の危険性が高い者に対する支援まで重層的に行う体制とした。

主要な施策の成果説明書

									前年度評価			やり方改善	
担当課		民生部	福祉課	地域包括支援センター					事務事業No.			13178	
事務事業名		介護予防普及啓発							実施方法			市が直接実施	
会計		一般会計			款	3	項	1	目	7	決算書	127	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち							後期計画登載頁			64	頁
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現											
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築											
個別計画		第８期大町市高齢者福祉計画										24	頁

事業の目的

対象とありたい姿

通いの場参加者等に対し循環器疾患予防にかかる健康教育を継続実施することにより、心疾患や脳血管疾患等の発症や重症化を予防し、社会保障費を縮減すると共に、健康寿命を延伸し高齢者の生活の質を向上する。

主な実施内容

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を保健センターと連携実施。介護予防普及啓発事業ではポピュレーションアプローチを担当し、通いの場1箇所につき2回巡回を実施。塩分摂取量測定、野菜摂取量測定等を行い血圧管理を主体的に行えるよう啓発を行う。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		181,318 円	333,353 円	1,808,598 円
財源内訳	特定財源	181,318 円	333,353 円	1,808,598 円
	一般財源	0 円	0 円	0 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
2,807,000	-988,000			1,819,000	1,808,598	

不用額	特定財源	細節名	地域支援事業受託金			
10,402		金額	1,808,598			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

地区巡回による尿中塩分量測定、野菜摂取量測定、減塩学習会を実施。
参加実人数399人（前年比151%）、延べ人数600人（前年比120%）
尿中塩分量測定実施数　介入時324人　終了時275人
野菜摂取量測定実施数　介入時338人　終了時298人
介入時巡回団体29箇所、終了時巡回団体26箇所

◆ 事業の成果

介入時、終了時共にウロソルトペーパー及びベジチェックを使用した測定をつつ健康教育を行ったことで、自ずと生活の振り返りにつながり、塩分摂取量が減少したと考えられる。
しかし、冬季間の野菜摂取量が減少しており、農業が盛んな地域で夏期と冬期の緑黄色野菜の摂取量が大きく異なることに加え冬期間の野菜販売価格の高騰が影響していると考えられる。
しかし、冬期定番食品である野沢菜漬けを食す期間が終了時関与期間と重複していたにもかかわらず、塩分摂取量が介入時より減少したことは大きな成果と考える。

◆ 前年度からの改善点

ベジチェックを新たに導入し、野菜摂取量を測定を開始したため参加者にも好評だった。

主要な施策の成果説明書

									前年度評価	継続			
担当課	民生部	福祉課	地域包括支援センター						事務事業No.	131710			
事務事業名	家族介護支援事業								実施方法	一部委託			
会計	一般会計			款	3	項	1	目	7	決算書	127	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち							後期計画登載頁		64	頁	
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現											
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築											
個別計画	第８期大町市高齢者福祉計画										29	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

（１）在宅要介護者の労をねぎらいリフレッシュの機会を設け、介護者の心身の疲れを癒し元気回復を図る。

（２）認知症への理解を深め、共に住み慣れた地域で共生できる環境づくりを推進する。

主な実施内容

（１）家族介護支援事業（在宅介護者リフレッシュ事業）

（２）認知症の啓発事業（認知症サポーター養成講座）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		312,500 円	389,580 円	443,740 円
財源内訳	特定財源	312,500 円	389,580 円	443,740 円
	一般財源	0 円	0 円	0 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
927,000	-470,000			457,000	443,740	

不用額	特定財源	細節名	地域支援事業受託金			
13,260		金額	443,740			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

（１）家族介護支援事業

■在宅介護者リフレッシュ事業（開催８回、延べ参加数１１７人）

北部包括　３回、南部包括　１回。コンサート、食事会、伝筆体験、草木染体験、施設見学。

市直営包括：4回　バス旅行、フラワーアレンジメント、金銭管理学習会、終末期ケア学習会

■認知症サポーター養成講座（開催７回、参加数１４６人）

対象：自治会、中学校、一般公募

◆ 事業の成果

■在宅介護者リフレッシュ事業は、いずれも、コロナ禍にあり感染防止対策を十分に行い開催した。
参加者アンケートでは、十分なリフレッシュができ良い時を過ごすことができたという感想が多く、
ケアマネジャーの協力により介護者が安心して参加できる環境づくりもあり、介護者支援が図られた。

■認知症サポーター養成講座は、具体的な活動計画を持った仲間同士の参加もあり、今後の展開に
期待が持てる講座となった。

◆ 前年度からの改善点

■在宅介護者リフレッシュ事業に、学習会方式を取り入れた。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価			継続	
担当課	民生部	福祉課	地域包括支援センター					事務事業No.			131711	
事務事業名	成年後見制度支援事業							実施方法			委託	
会計	一般会計			款	3	項	1	目	7	決算書	127	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁			64	頁
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現										
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築										
個別計画	第8期大町市高齢者福祉計画										22	頁

事業の目的

対象とありたい姿

認知症や知的・精神障害等によって、物事を判断する能力が十分ではない人及びその親族を対象に、成年後見制度等の権利擁護を目的とする制度を利用することにより、本人の尊厳を保持し、その人らしく自立した生活が継続できる。

主な実施内容

①成年後見支援センター運営業務（広域連携自立圏事業として大町市社会福祉協議会へ業務委託）
・成年後見制度に関する相談、支援、普及啓発　・法人としての成年後見受任、後見支援員の育成
②金銭管理や契約行為に支援が必要な人に対する日常生活自立支援
③成年後見制度の申し立てを行う親族がいない場合の市長申し立て
④成年後見人等への報酬を支払うことが困難な人に対する費用扶助

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		5,635,000	円	7,468,290	円	8,941,000	円
財源内訳	特定財源	4,399,000	円	4,590,000	円	5,766,000	円
	一般財源	1,236,000	円	2,878,290	円	3,175,000	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
10,061,000	-1,090,000			8,971,000	8,941,000	

不用額	特定財源	細節名	広域連携推進事業交付金	北アルプス連携自立圏事業負担金	地域支援事業費受託金	
30,000		金額	1,555	4,028	183	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

⑴成年後見制度の普及・啓発
・普及啓発研修会の開催　2月21日「やさしくわかる成年後見制度」（75名参加）
・広報紙、パンフレット、ホームページによる制度の説明、相談回答の広報を実施。

⑵成年後見制度に関する相談・支援（78件）
常設相談員による相談・支援（59件）/無料相談会(毎月開催)への相談（19件）
〈内訳：認知症高齢者（32件）　知的障がい者（6件）　精神障がい者（8件）　その他（33件）〉

⑶法人としての成年後見受任
・被後見人等支援件数（延1,141件）
・新規受任（4件）、終了（4件）、年度末受任中（16件）

⑷金銭管理や契約行為に支援が必要な人の日常生活自立支援
年度末契約者35件　〈内訳：認知症高齢者（11件）　知的障がい者（11件）　精神障がい者（13件）〉

⑸成年後見人等への報酬を支払うことが困難な人に対する費用扶助
成年後見制度利用支援事業実施要綱に基づく助成（2件）

◆ 事業の成果
・普及啓発を図るため、無料相談会のチラシ、制度案内や北アルプス成年後見支援センターのパンフレットを警察署や交番、金融機関への配布も実施。地域として見守っていただく視点と制度への理解が広がった。
・実務担当基礎研修及び実践力強化研修の開催に加え、各関係機関でも研修会や学習会の開催があり、成年後見支援センター職員が派遣依頼を受け講習を実施。人材育成の強化と制度利用促進につながった。
・後見報酬の助成制度があることで、報酬を支払うことが困難な人にも後見人が選任されている。

◆ 前年度からの改善点
・今年度新たに設置された北アルプス圏域権利擁護推進ネットワーク協議会にて、委員会・部会や視察研修等を通して課題を共有するとともに、相互の連携強化を図った。
・協議会の総務部会において、申し立て費用や報酬を助成する成年後見制度利用支援事業について、首長申立て以外の場合も対象とするほか、本人だけでなく後見人等も直接申請できるよう、要綱改正に向けて協議した。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続			
担当課	民生部	福祉課	地域包括支援センター					事務事業No.	131712			
事務事業名	地域自立生活支援事業							実施方法	市の直接実施、委託			
会計	一般会計			款	3	項	1	目	7	決算書	127	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁			64	頁
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現										
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築										
個別計画	第８期大町市高齢者福祉計画										34ほか	頁

事業の目的

対象とありたい姿

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、閉じこもりがちな高齢者等、地域での見守りが必要な高齢者を福祉サービス等の活用により、自分が住み慣れた自宅で安心して生活できる支援を行う。また、地域での見守りや、地域活動への参加により、社会との交流機会を維持する。

主な実施内容

- 配食サービス：栄養バランスの取れた食事の配達と安否確認。
- 緊急通報システム：本人や家族の希望により機器を設置し、24時間体制で安否確認、緊急時対応を行う。
- 生活支援員派遣事業：介護保険制度で行う家事援助以外の軽易な家事支援。（通院介助、雪かき支援等）
- 生活支援体制整備推進事業：生活支援コーディネーター（ＳＣ：地域支え合い推進員）の配置。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		30,131,046 円	31,574,320 円	29,261,282 円
財源内訳	特定財源	26,512,446 円	28,685,000 円	29,261,282 円
	一般財源	3,618,600 円	2,889,320 円	0 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
29,073,000	189,000			29,262,000	29,261,282	

不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金	保険者機能強化推進事業受託金	配食サービス利用者実費徴収金	緊急通報ｼｽﾃﾑ利用者実費徴収金 ほか
718		金額	22,279,282	2,060,000	4,162,000	760,000

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

○ 配食サービス
- 委託先：特定非営利活動法人キッズウィル　・利用者数50人　・配食数10,528食

○ 緊急通報システム
- 委託先：立山化学（株）　・利用登録者数：65人

○ 生活支援員派遣事業
- 委託先：大町市社会福祉協議会　・利用者数138人

○ 生活支援体制整備推進事業
- 第2層協議体数：３（中部、北部、南部地区）　会議：各5回程度
- 生活支援コーディネーター：5人（中部、北部、南部、美麻、八坂地区）

◆ 事業の成果

○ 配食サービス
高齢者が住み慣れた自宅で安心して暮らせるよう、食生活の改善と見守り対策として有効である。

○ 緊急通報システム
24時間体制で安否確認、緊急時対応が可能であり、在宅生活において本人、家族の安心に繋がっている。

○ 生活支援員派遣事業
親族や近所の方から協力を得られない高齢者宅の玄関から道路までの雪かきの支援のため有効である。

○ 生活支援体制整備推進事業
- 中部：サロンでの綿づくりを通じた地域のつながりや見守り体制の構築。
- 北部：有線放送によるラジオ体操。コロナ禍、脳トレゲームの作成送付による介護予防とつながりの維持。
- 南部：そば切り音頭を軸とした介護予防の普及啓発。シルバーカーニバルの開催。
- 八坂：民間企業と連携し、通いの場「いどばた八坂」活動。
- 美麻：ジャンボタクシーによる「お出かけ乗り合い号」の運行

主要な施策の成果説明書

前年度評価	やり方改善											
担当課	民生部	福祉課	地域包括支援センター						事務事業No.	131721		
事務事業名	地域包括ケア実践事業								実施方法	委託、市が直接実施		
会計	一般会計	款	3	項	1	目	7		決算書	127	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち							後期計画登載頁	64	頁	
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現										
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築										
個別計画	第８期大町市高齢者福祉計画									19	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

高齢者が住み慣れた地域で、人生の最後まで安心して暮らし続けられるよう、地域の関係機関等が連携し、高齢者自身も含めた地域全体で支えられる体制づくりを行う。

主な実施内容

- 在宅医療介護連携の推進（広域連携自立圏事業：北アルプス在宅医療・介護連携支援センターの設置）
- 地域ケア会議の推進
- 生活支援体制整備事業

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		3,585,381 円	1,777,132 円	4,546,984 円
財源内訳	特定財源	3,585,381 円	1,777,132 円	4,546,984 円
	一般財源	0 円	0 円	0 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
8,333,000	-3,546,000		-170,000	4,617,000	4,546,984	

不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費 受託金	北アルプス連携 自立圏事業負担金	高齢者外出支援事業 利用者	
70,016		金額	2,831,984	1,692,000	23,000	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

□在宅医療介護連携支援事業における連携推進体制の基盤整備

►会議

・大北地域の主任介護支援専門員部会　2回　　・連携自立圏事業福祉専門部会　2回

►北アルプス在宅医療・介護連携支援センター

・相談実績　118件、主催研修会　9回、協力事業　5件

□介護予防・生活支援

・買い物サポート事業、高齢者外出支援事業　の実施

□生活支援体制整備事業

►協議体（会議）：中部地区(コットンの会)1回、北部地域(くらし支え合い友の会)8回、南部地区(社・常盤協議体)6回

►生活支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ(1・2層)の活動件数（会議・活動）

中部SC(198件)、北部SC(100件)、南部(54件)、八坂SC(26件)、美麻SC(29件)

►その他（㈱フジクラとのサービス創出に向けた取り組み）　いどばた大町26回、いどばた八坂26回

◆ 事業の成果

□在宅医療介護連携

在宅医療と介護を一体的に提供するために、大北地域唯一の在宅療養支援病院である市立大町総合病院に委託することで、医師会や看護・介護等の職能団体等の事業者団体との連携体制を確保することができ、効率性が上がった。

□生活支援体制整備事業

中部：通いの場の立上げ支援(３件)、生活支援ｻﾎﾟｰﾀｰの養成(講座開催)等

北部：くらし支え合い友の会の活動による地域の活性化、活動団体立上げ支援(2件)　等

南部：協議体との連携によるｲﾍﾞﾝﾄの開催(3回)、集いの場運営等

八坂：いどばた八坂を起点とした地域の情報共有や支援活動を展開　美麻：お出かけ乗り合い号の定着、事業展開(ｻﾛﾝ化へ)

◆ 前年度からの改善点

・在宅医療介護連携支援センターの運営委託

令和4年4月から市立大町総合病院に委託し、センター運営及びコーディネーターを配置。

主要な施策の成果説明書

担当課	民生部	福祉課	地域包括支援センター					前年度評価	継続		
事務事業名	認知症総合支援事業							事務事業No.	131722		
								実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	3	項	1	目	7	決算書	129	頁	
総合計画 まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち							後期計画登載頁	64	頁	
総合計画 施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現										
総合計画 施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築										
個別計画	第８期大町市高齢者福祉計画								21	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

認知症（認知症が疑われる人）本人及び家族が、認知症になっても本人の尊厳を守り、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域をつくる。

主な実施内容

・認知症地域支援（認知症地域支援推進員配置）
　認知症に関する相談支援、普及啓発
・認知症初期集中支援推進事業（広域連携自立圏事業：認知症初期集中支援チーム設置）
　認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制の整備。初期段階から関わり、適切な医療や介護サービスにつなげるために、訪問等を通じて集中的に支援を行う。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		5,940,382 円	5,951,059 円	4,926,692 円
財源内訳	特定財源	5,940,382 円	5,951,059 円	4,926,692 円
	一般財源	0 円	0 円	0 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
7,893,000	-1,213,000			6,680,000	4,926,692	

不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金	北アルプス連携自立圏事業負担金		
1,753,308		金額	978,692	3,948,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

○ 認知症地域支援

認知症地域支援推進員：4 名配置（各包括に1名,福祉課２名 ）

（相談支援業務、普及啓発業務、認知症カフェ運営、認知症初期集中支援チームとの連携）

○ 認知症初期集中支援チーム

チーム員：2名配置

認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制の整備。初期段階から関わり、適切な医療や介護サービスにつなげるために、訪問等を通じて集中的に支援を行う。

◆ 事業の成果

○ 認知症初期集中支援チーム

相談件数（延べ）128件、　新規相談件数 40件　、うち医療・介護へつながった件数28件

チーム員会議は未開催であるが、ケース会議やサポート医との連携により、医療または介護サービスに繋ぐことができている。各市町村に従来からある相談支援体制の中で解決する事案が多い。

○ 普及啓発

・ パネル展示開催。テーマ「認知症を正しく理解しよう」

大町市（大町・美麻・八坂）、大北地域の全町村など計7ヵ所で開催。11月に開催したシルバーカーニバルの際には、会場入り口に設置し、多くの来場者に対し啓発することができた。

・ 認知症啓発映画観賞会

大町市：「ケアニン～あなたでよかった～」2回上映　来場者　225名
池田町：「ケアニン～あなたでよかった～」上映　来場者57名
松川村：「ケアニン～あなたでよかった～」上映　来場者102名
白馬村：「ケアニン～こころに咲く花～」上映　来場者　75名
小谷村：「ケアニン～こころに咲く花～」上映　来場者　26名

・ 認知症サポーター養成講座　　大町市　86名、白馬村　60名

主要な施策の成果説明書

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係					前年度評価	継続		
事務事業名	児童福祉扶助費							事務事業No.	13216		
								実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	3	項	2	目	1	決算書	131	頁	
総合計画 まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち							後期計画登載頁	70	頁	
総合計画 施策目標	【３】結婚・出産・子育て支援の充実										
総合計画 施策項目	③子育て支援の充実										
個別計画	大町市子ども・子育て支援事業計画								101	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・児童扶養手当給付事業　ひとり親家庭の保護者への経済的支援を通じて家庭の安定と子どもの福祉増進を図る
・障害児通所支援事業　障がい児及び発達特性を持つ児童を対象に療育を行い、生活力の向上や集団生活への適応を図る
・重度心身障害児童福祉手当　重度心身障がい児童を養育する保護者への経済的支援を通じて児童の福祉増進を図る

主な実施内容

・児童扶養手当給付事業　ひとり親家庭の保護者へ手当を給付
・障害児通所支援事業　障がい児及び発達特性を持つ児童を対象として通所による療育支援（児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援）を行う。（H28年度に福祉課から移管）
・重度心身障害児福祉手当　精神又は身体に障がいのある満２０歳未満の児童を監護する保護者に手当を支給

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		196,240,144 円	188,450,162 円	221,278,163 円
財源内訳	特定財源	93,951,938 円	105,056,777 円	129,819,000 円
	一般財源	102,288,206 円	83,393,385 円	91,459,163 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
223,170,000	-1,886,000	0	0	221,284,000	221,278,163	0

不用額	特定財源	細節名	障害者自立支援給付費負担金	児童扶養手当負担金	過年度児童扶養手当返還金	特別児童扶養手当事務取扱交付金
5,837		金額	107,121,000	22,416,000	12,000	270,000

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

○ 児童扶養手当　　支給者延べ　　1,629人　（年度末受給者　135人　　支給停止者　23人　　）
・手当の支払い月　5月、7月、9月、11月、1月、3月（各月とも11日）

○ 重度心身障害児童福祉手当　　支給者延べ　　316人　（支給対象者　　187人　）

○ 障害児通所事業　利用者延べ　　1,850人　（実人数　　194人　）
・障がいのある児童や発達に心配のある児童に対し、生活能力の向上や集団生活の適応、社会との交流促進などの療育を提供する。

年度		R2	R3	R4
児童発達支援	実人数	79	93	68
	延べ人数	583	562	576
放課後等デイサービス	実人数	83	104	118
	延べ人数	839	896	1181
保育所等訪問支援	実人数	1	7	25
	延べ人数	1	47	93

◆ 事業の成果

○ 児童扶養手当の支給により、ひとり親家庭の自立支援に寄与した。
○ 重度心身障害児童福祉手当の支給により、障害児を養育する世帯の経済的負担を軽減できた。
○ 障害児通所支援事業の実施により、発達に課題のある児童の生活能力向上や集団生活への適応を支援した。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続												
担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係							事務事業No.	13224		
事務事業名	母子通園施設費									実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計			款	3	項	2	目	2	決算書	135	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち								後期計画登載頁	70	頁	
	施策目標	【3】結婚・出産・子育て支援の充実											
	施策項目	③子育て支援の充実											
個別計画	子ども・子育て支援事業計画										70,103	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・概ね６ヶ月から就園前の発達に心配のある児童とその保護者を対象とし、少人数の集団療育を実施する。
・親子で参加することで、日常生活における基本的な生活技能の向上を図る。
・小集団の活動で、相手とやりとりをするカや、集団生活へのカを育てつつ、生活リズムを整え、身の回りのことができることを目指す。

主な実施内容

・療育支援クラス（火・水・木（隔週））小集団の活動で、基本的な生活技能の向上と集団生活へ参加できる力を育む。
・ぴよぴよクラス（月・金）保健センターの育児相談（１０ヵ月）で運動発達のフォローが必要とされた児童を対象に、保護者の児童への発達を促す関わり方や、繰り返しの活動で集団活動の経験を積む。
・移行支援クラス（年度後半の火・木）翌年度年少・年中に就園予定の児童を対象に、小集団での活動経験を積み社会性を養う。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		4,137,407 円	4,247,379 円	3,027,953 円
財源内訳	特定財源	1,680,100 円	638,400 円	1,543,500 円
	一般財源	2,457,307 円	3,608,979 円	1,484,453 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
5,576,000	-2,219,000	0	0	3,357,000	3,027,953	0

不用額	特定財源	細節名	母子通園施設使用料			
329,047		金額	1,543,500			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

・開 所 日：月・火・水・金曜日（木曜日隔週）の午前９時００分～午前１１時３０分
・職員体制：保育士　４～５名配置（通常 １日３名体制＋託児１名）
・他機関との連携：臨床発達心理士、理学療法士、作業療法士による発達支援及び相談(月２～３回)

利用者数

	R2年度	R3年度	R4年度
大町市内	54	76	80
大町市外	15	10	12
計	69	86	92

延べ利用者数

	R2年度	R2年度	R4年度
大町市内	1,008	1,418	1,486
大町市外	317	135	315
計	1,325	1,553	1,801

・乳幼児健診や親子教室などでの子どもの様子や保護者の困り感などからあゆみ園につなげ、利用に結びつける。また、必要があれば保護者と相談し、発達検査や医療受診を勧奨する。

◆ 事業の成果

・母子通園施設（あゆみ園）を利用し適切な療育を受けることで、児の発達の向上が図れている。

主要な施策の成果説明書

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係					前年度評価	継続		
事務事業名	子育て支援等総合相談事業							事務事業No.	13218		
								実施方法	委託		
会計	一般会計	款	3	項	2	目	1	決算書	131	頁	
総合計画 まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち							後期計画登載頁	70	頁	
施策目標	【3】結婚・出産・子育て支援の充実										
施策項目	③子育て支援の充実										
個別計画	子ども・子育て支援事業計画								98・100	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・家庭児童相談　子育てについて悩みを抱える家庭の身近な相談窓口として子育て支援している。
・女性・男性相談　離婚やDVなど家庭内の悩みについて相談をうけ、支援している。
・母子・父子相談　ひとり親の自立支援を中心に、ひとり親家庭をサポートする。
・弁護士相談　各種相談の中で法律上の手続きについて困難を抱える相談者へ助言・支援する。
・子ども見守りサポート事業　要保護・要支援児童の安全確保に向けた家庭介入の手段として通所・訪問支援を行う。

主な実施内容

・家庭児童相談　家庭児童相談員を2名配置し、子育て関わる相談全般に応じている。
・女性・男性相談　離婚やDVなどの相談から、支援措置や一時保護、必要に応じて弁護士相談につなげる
・母子・父子相談　ひとり親の自立のために、就職・定着支援やスキルアップの支援をおこなっている。
・弁護士相談　相談内容から法的手続きが必要なケースに対し、弁護士が無料で相談支援を行う。
・子ども見守りサポート事業　要保護・要支援児童の安全確認と定期的な家庭状況の把握を通じ、児の安全を図る。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		円	円	11,184,000 円
財源内訳	特定財源	円	円	9,516,000 円
	一般財源	0 円	0 円	1,668,000 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
22,359,000	-11,175,000	0	0	11,184,000	11,184,000	0

不用額	特定財源	細節名	母子家庭等対策支援事業費補助金	児童虐待・DV等支援体制強化事業補助金	女性相談員活動強化事業補助金	ふるさと応援基金繰入金
0		金額	900,000	3,117,000	499,000	5,000,000

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

・家庭児童相談員　2人
・相談件数　1,158件

項目／年度	心身障害	環境福祉	学校生活等	知能・言語（発達障がい含む）	家族関係	非行	性格・習慣等生活	その他	計
令和2年度	139	412	74	203	122	12	44	103	1,109
令和3年度	101	317	154	413	77	0	41	44	1,147
令和4年度	24	589	332	52	100	2	29	30	1,158

・子ども見守りサポート事業

	訪問支援		通所支援		学習支援	
	実利用人数	延べ回数	実利用人数	延べ回数	実利用人数	延べ回数
令和4年度	2	69	9	571	8	538

・母子・父子相談状況

区分	年度	R2年度	R3年度	R4年度
	区分	件数	件数	件数
生活一般	住宅	8	8	5
	医療	6	4	1
	家庭紛争	43	53	18
	配偶者等の暴力	43	－	7
	就職	8	7	4
	結婚	2	1	3
	養育費	9	4	10
	その他	4	6	27
児童	養育	0	7	18
	教育	3	0	1
	非行	0	0	0
	就職	0	0	0
	その他	0	2	9
生活援護	母子福祉資金	4	6	8
	寡婦福祉資金	0	2	0
	児童扶養手当	4	6	1
	生活援護	8	12	0
	公的年金	1	0	0
	税	0	0	0
	経済その他	0	0	0
その他	その他	0	0	4
計		143	118	116

・女性・男性相談状況

年度	R2年度		R3年度		R4年度	
区分	面接相談件数	電話相談件数	面接相談件数	電話相談件数	面接相談件数	電話相談件数
婦人保護施設入所等	0	0	0	0	0	0
暴力の迫害相談	12	2	61	6	45	13
生活困難	19	0	11	4	16	0
離婚相談	87	28	61	22	126	50
養育困難	3	0	7	0	2	4
ストーカー被害	2	0	5	0	11	5
家庭不和	10	2	33	5	40	29
求職	7	2	4	0	14	3
雇用主等との交渉	0	0	0	0	0	0
医療相談	24	3	35	14	30	22
妊娠出産	8	4	0	0	0	0
住居相談	16	1	1	0	10	11
帰郷帰宅	0	0	0	0	0	0
ヒモ・暴力団関係	0	0	0	0	0	0
その他	31	11	24	4	17	4
計	219	0	242	0	311	141

◆ 事業の成果

・安定した就労に向けたひとり親支援は、家庭の安定と児童の健全育成につながっている。
・相談支援により、悩みを抱える家庭への支援と児童の健全育成が図られている。
・相談体制を整えることで、安心して子育てできる環境を提供している。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価			継続		
担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係					事務事業№			13219		
事務事業名	療育事業							実施方法			委託		
会計	一般会計		款	3	項	2	目	1	決算書		133	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁			70	頁
	施策目標	【3】結婚・出産・子育て支援の充実											
	施策項目	③子育て支援の充実											
個別計画	子ども・子育て支援事業画										102,103	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・発達に課題のある児童の早期発見と支援により二次的障害を防ぎ、児童の社会的適応性を向上させる。

・社会参加に困難を有する子ども・若者の社会参加を支援する。

主な実施内容

・5歳児発達相談　年中児童及び保護者を対象とした発達相談として、個々の保育環境整備と就学に向けた準備を行う。
・巡回相談　発達心理専門相談員等による幼・保・小・中を対象とした巡回相談を実施。
・ＳＳＴ（生活技能訓練）教室　小集団での対話やロールプレイを通じてコミュニケーションの経験を積む。
・子ども・若者社会参加支援　不登校・ひきこもりの児童等を対象に居場所支援を行う。

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		11,406,393	円	9,800,424	円	8,344,000	円
財源内訳	特定財源	0	円	0	円	0	円
	一般財源	11,406,393	円	9,800,424	円	8,344,000	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
11,930,000	-3,586,000	0	0	8,344,000	8,344,000	0

不用額	特定財源	細節名				
0		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

○　5歳児発達相談（年中児童及び保護者を対象とした発達相談）
・対象者　137　（平成29年4月2日～平成30年4月1日生まれ）
・実施人数　126　（実施率　92 %　）
・要支援児　58　（支援必要率　46 %　）
※要支援児とは、相談の結果、支援が必要と判断された児童

○　児童発達支援巡回相談（児童心理発達専門相談員による保育園等の巡回相談を実施）
・発達障がいの早期発見、早期対応のための指導助言を保育園、幼稚園、学校等において実施

・実施回数　289 回　・相談件数　1,086 件

○　若者ひきこもり就労・生活支援（市内社会福祉系通所事業所への委託による居場所支援）
・利用者数　4 人　・利用回数　198 回

○　ＳＳＴ（社会生活技能訓練）教室　利用者延べ　12人　（実人数　1人　）
（放デイ含む）　113人　（実人数　13人　）
「社会の中で適切に行動する技能（技術）」「人とうまくつきあうための技能（技術）」を学ぶための教室を開催。児童発達支援事業所への委託による居場所支援。

◆ 事業の成果
・発達に課題のある児童を早期に発見し、適切な養育環境を整えるための支援が出来た。
・SST教室に参加することで、学校などの集団活動に苦しさのある児童へ対人スキルの経験を積む機会を提供できた。

主要な施策の成果説明書

									前年度評価	継続			
担当課	民生部	子育て支援課	児童係						事務事業No.	132117			
事務事業名	病児・病後児保育事業								実施方法	委託			
会計	一般会計		款	3	項	2	目	1	決算書	133	頁		
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち							後期計画登載頁	70	頁		
	施策目標	【3】結婚・出産・子育て支援の充実											
	施策項目	③子育て支援の充実											
個別計画	子ども・子育て支援事業計画									50	頁		

事業の目的

対象とありたい姿

児童が病気又は病気の回復期にあり、保護者の就労等により保育が困難となる場合に児童を一時的に預かり、その症状に応じて安静に保ちながら保育を行うことで、保護者の子育てと就労等の両立を支援し、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与する。

主な実施内容

・実施場所は、大町総合病院内の１箇所
・実施時間は、平日（月曜日～金曜日）の8時～18時までの間
・利用対象者は、満１歳から６歳（小学校就学前）までの児童で、大北圏域に住所がある又は大北圏域に勤め先がある、若しくは、大北圏域の保育所、認定こども園、幼稚園、認可外保育施設に通所している児童（北アルプス連携自立圏事業として実施）
・利用定員は、４名

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		9,712,869 円	9,888,473 円	9,826,176 円
財源内訳	特定財源	6,464,000 円	4,694,000 円	5,686,000 円
	一般財源	3,248,869 円	5,194,473 円	4,140,176 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
10,000,000	0	0	0	10,000,000	9,826,176	0

不用額	特定財源	細節名	子ども・子育て支援交付金（国）	子ども・子育て支援交付金（県）		
173,824		金額	2,843,000	2,843,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

開設場所	市立大町総合病院内　１箇所
開設時間	８時～１８時まで
利用定員	４人

◆ 事業の成果

利用者延べ人数

利用者数	R2	R3	R4
大町	22	51	47
市外	18	30	86
計	40	81	133

利用者実数

利用者数	R2	R3	R4
大町	12	30	24
市外	7	19	48
計	19	49	72

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続												
担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	事務事業No.	13225								
事務事業名	児童クラブ運営事業			実施方法	市が直接実施								
会計	一般会計	款	3	項	2	目	2	決算書	135	頁			
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁	69	頁			
	施策目標	【3】結婚・出産・子育て支援の充実											
	施策項目	③子育て支援の充実											
個別計画	子ども・子育て支援事業計画								51、59、78	頁			

事業の目的

対象とありたい姿

・小学校に就学している児童であって、保護者が労働等によって不在となる家庭及び適切な保護に欠ける児童の放課後における健全育成と、保護者が労働等に専念できる環境の整備。

主な実施内容

・大町市立大町東小学校通学区 東小児童クラブ
・大町市立大町南小学校通学区 南小児童クラブ
・大町市立八坂小学校通学区 八坂小児童クラブ
・大町市立大町西小学校通学区 西小児童クラブ
・大町市立大町北小学校通学区 北小児童クラブ
・大町市立美麻中小学校通学区 美麻小児童クラブ

学校区ごとに設置する児童クラブ（上記6か所）による放課後児童健全育成事業の実施

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		22,195,409	円	22,122,898	円	13,122,231	円
財源内訳	特定財源	17,080,000	円	15,794,000	円	10,315,000	円
	一般財源	5,115,409	円	6,328,898	円	2,807,231	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
26,440,000	-12,392,000	0	0	14,048,000	13,122,231	0

不用額	特定財源	細節名	子ども・子育て支援交付	保育士・幼稚園教諭処遇改善	児童クラブ登録料	
925,769		金額	9,774,000	233,000	308,000	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

○ 児童クラブの運営

・年間開所日数　290日

・開所時間　平日　午後2時から６時まで　土曜日及び長期休暇　午前８時から午後６時まで

・各クラブ登録者数　308人

	東小	西小	南小	北小	八坂小	美麻小	合計
登録者	36人	77人	69人	81人	10人	35人	308人
児童数	135人	263人	265人	254人	47人	57人	1,021人
登録率	26.7%	29.3%	26.0%	31.9%	21.3%	61.4%	30.2%

※各校の年度末児童数

・年間平均利用者数

東小	16人	西小	20人	南小	25人	北小	29人	八坂小	3人	美麻小	11人

・支援員配置人数　13人

東小	2人	西小	2人	南小	2人	北小	3人	八坂小	2人	美麻小	2人

◆ 事業の成果

・放課後における児童の健全育成及び保護者が労働等に専念できる環境の整備が図られている。
・放課後留守宅の児童にとり放課後安心して過ごせる拠り所となっている。

主要な施策の成果説明書

									前年度評価	継続		
担当課	民生部	子育て支援課	児童係						事務事業No.	13232		
事務事業名	保育所管理運営事業								実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計			款	3	項	2	目	3	決算書	137	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち							後期計画登載頁		74	頁
	施策目標	【３】結婚・出産・子育て支援の充実										
	施策項目	③子育て支援の充実										
個別計画	大町市子ども・子育て支援事業計画										24	頁

事業の目的

対象とありたい姿

・小学校就学前の児童（３歳以上児（幼児）及び３歳未満児（乳児）を対象に、保護者の就労等により家庭で保育できない児童の保育を行うことで、健全な心身の発達を図ることを目的とする。

主な実施内容

・児童福祉法に基づき、保育に欠ける子どもに対する保育の実施
・市内７保育施設の管理及び運営

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		249,540,370	円	265,246,476	円	184,709,416	円
財源内訳	特定財源	59,480,490	円	62,017,081	円	72,346,000	円
	一般財源	190,059,880	円	203,229,395	円	112,363,416	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
262,575,000	-79,167,000	0	5,500,000	188,908,000	184,709,416	0

不用額	特定財源	細節名	保育所使用料	（国）子ども・子育て支援交付金	（県）子ども・子育て支援交付金	新型コロナ臨時交付金
4,198,584		金額	23,500,000	4,960,000	4,435,000	39,451,000

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
開園した保育所数	7	7	7	7	7	7
開園中の保育所数	1	1	1	1	1	1
園児数	442	425	415	412	374	344
内未満児	127	117	115	117	112	105
未満児の割合	28.7%	27.5%	27.7%	28.4%	29.9%	30.5%

◆ 事業の成果

保育士確保が難しい状況の中、年間を通じ待機児童が生じることなく施設運営を行うことができた。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	総務部	企画財政課	財政係					事務事業No.	14113		
事務事業名	病院事業運営費							実施方法	その他		
会計	一般会計	款	4	項	1	目	1	決算書	141	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁	62	頁	
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現									
	施策項目	①持続可能な地域医療体制確保に向けた病院経営の強化									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

病院事業会計の経営安定

市立大町総合病院経営強化プランに基づく経営改善

主な実施内容

病院事業会計に対する繰出を実施。公営企業に対する繰出金は、地方公営企業繰出基準に基づき、地方交付税措置及び収益見込みに応じて算定するが、令和５年度からは市立大町総合病院経営強化プランに繰出金の額を定めていることから、令和９年度までは８億円程度が続く見込みである。なお、令和４年度については、新型コロナ対応のための全自動遺伝子解析装置購入費用及び空調設備等の感染症病棟修繕工事費支援と、光熱水費高騰対策支援を新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		1,160,000,000 円	880,000,000 円	913,200,000 円
財源内訳	特定財源	261,245,000 円	5,680,000 円	67,815,000 円
	一般財源	898,755,000 円	874,320,000 円	845,385,000 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
850,000,000	63,200,000			913,200,000	913,200,000	

不用額	特定財源	細節名	新型コロナ地方創生臨時交付金	地方創生寄附金	ふるさと応援基金繰入金	
0		金額	63,000,000	200,000	4,615,000	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

【市立大町総合病院経営強化プラン】（単位　百万円）

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
収支的収支	304	298	575	595	565	551	502	537	675
資本的収支	646	636	345	305	315	299	298	263	125
合計	950	934	920	900	880	850	800	800	800

・基準内繰出金・・病院の建設改良、リハビリテーション医療、周産期医療、小児医療、救急医療、高度医療、保健衛生行政事務、不採算地区中核病院の機能維持、経営基盤強化対策、地方公営企業職員に係る基礎年金拠出金に係る公的負担、指定訪問看護に要する経費が対象

◆ 事業の成果

・大町病院の健全化の維持及び経営強化

	収益勘定繰出金		資本勘定繰出金		病院事業繰出金合計	繰出金財源内訳		
	医業収益	医業外収益	出資分	負担金分		うち基準外	交付税措置額	一般財源等
H30	102,140	450,643	0	382,039	934,822	45,923	437,666	497,156
R1	106,588	471,404	0	345,192	923,184	44,354	425,461	497,723
R2	101,271	464,717	0	359,250	925,238	59,924	471,569	453,669
R3	112,125	417,609	0	352,696	882,430	35,044	468,352	414,078
R4	136,967	380,707	0	299,827	913,147	95,646	453,053	460,094

・新型コロナ対策及び光熱水費高騰対策を、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施

◆ 前年度からの改善点

・病院の新型コロナ対策のため、臨時交付金を活用して全自動遺伝子解析装置購入支援を実施（繰出金　14,947千円）

・病院の新型コロナ対策のため、臨時交付金を活用して空調設備等の感染症病棟修繕支援を実施（繰出金　25,000千円）

・電気料をはじめとした物価高騰対策として、臨時交付金を活用して繰出を実施（23,200千円）

主要な施策の成果説明書

担当課	民生部	市民課	国保・年金係					前年度評価	継続		
事務事業名	後期高齢者健診事業							事務事業No.	141111		
								実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	4	項	1	目	1	決算書	143	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁	63	頁	
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現									
	施策項目	④健康づくりの推進									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

生活習慣病の重症化予防、介護予防を図り、高齢期における健康維持増進及び自立した生活を送るため、健康診査を自己負担無しで実施するとともに、人間ドック受診者には費用の一部を助成している。
また、福祉課と保健センターが連携し、通いの場などでの生活改善指導、健康情報の分析結果に基づき、改善等が必要な方を抽出しての保健指導を実施する。

主な実施内容

・後期高齢者医療加入者に健康診査（血圧測定、身体測定、血液検査、検尿、診察）を自己負担無料で実施する。
・後期高齢医療加入者が人間ドックを受診した場合、費用の一部（日帰り10,000円、1泊2日20,000円・追加脳ドック10,000円・単独脳ドック18,000円）を助成する。
・高齢者の通いの場などで、血圧測定、尿中塩分量測定等を実施し生活改善指導等を実施する。（ﾎﾟﾋﾟｭﾚｰｼｮﾝｱﾌﾟﾛｰﾁ）
・健診情報を分析し基準に該当した者を対象に保健指導を実施する。（ハイリスクアプローチ）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		10,158,006 円	10,737,387 円	12,420,457 円
財源内訳	特定財源	7,229,310 円	6,793,000 円	8,600,505 円
	一般財源	2,928,696 円	3,944,387 円	3,819,952 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
12,635,000	936,000			13,571,000	12,420,457	

不用額	特定財源	細節名	後期高齢者広域連合委託料	後期高齢者広域連合補助金		
1,150,543		金額	6,504,245	2,096,260		

事業の実績・成果

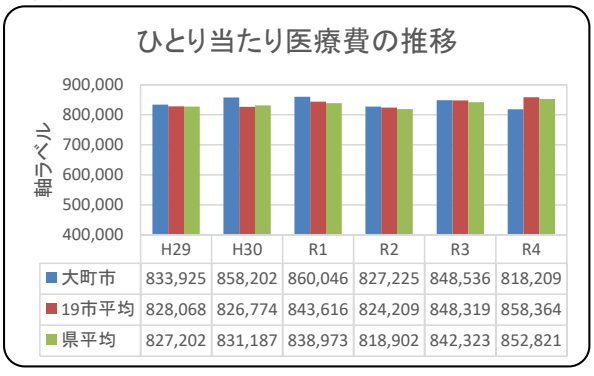
前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○健康診査及び人間ドック受診者数 （人）

種　類	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
健康診査	747	724	659	659	750
人間ドック（日帰り）	234	239	223	201	266
人間ドック（1泊）	25	17	17	16	11

◆ 事業の成果



○　ポピュレーションアプローチ

通いの場との連携により、市内29カ所で医療専門職が関与する体制を構築。

塩分接種・野菜摂取について質問票などにより状況を把握し、指導を行った。

○　ハイリスクアプローチ

HbA1c7.0以上の未治療者・治療中断者に対し、訪問等による指導を実施。

未治療者３人について、指導を実施。

Ⅱ度以上の高血圧未治療者・中段者に対し、訪問等の指導を実施。

◆ 前年度からの改善点

ポピュレーションアプローチについて、連携した通いの場を20ヵ所から２９箇所に、人数を496人から636人に増やすことができた。

主要な施策の成果説明書

担当課	民生部	市民課	保健予防係							前年度評価	継続		
事務事業名	予防接種費									事務事業No.	14121		
										実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	4	項	1	目	2	決算書	145	頁			
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁	63	頁			
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現											
	施策項目	④健康づくりの推進											
個別計画										頁			

事業の目的

対象とありたい姿

伝染病のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の増進に寄与する。
- 予防接種法施行令に定める対象者
- インフルエンザの任意接種については、中学３年生及び高校３年生相当の者

主な実施内容

- A類疾病の予防接種（ジフテリア、結核、百日せき、急性灰白髄炎、麻しん、風しん、日本脳炎、破傷風、水痘、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、B型肝炎、ロタウイルス、ヒトパピローマウイルス感染症）
- B類疾病の予防接種（インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌）
- インフルエンザの任意予防接種
- 風しんの追加的対策に係る抗体検査等

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		76,406,419 円	60,523,160 円	58,134,476 円
財源内訳	特定財源	3,206,000 円	2,596,000 円	1,293,000 円
	一般財源	73,200,419 円	57,927,160 円	56,841,476 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
77,671,000	-13,794,000	0		63,877,000	58,134,476	0

不用額	特定財源	細節名	疾病予防対策事業費等補助金	造血細胞移植後のワクチン再接種費用助成事業補助金	新型コロナ地方創生臨時交付金	
5,742,524		金額	1,131,000	27,000	135,000	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

A類疾病予防接種実施状況　R5.3末

予防接種の種類	ＢＣＧ	ポリオ	四種混合	三種混合	二種混合	ＭＲ1期	ＭＲ2期	日本脳炎	水痘	ヒブ	小児肺炎球菌	HPV	Ｂ型肝炎	ロタ 1価	ロタ 5価
Ｒ４年度対象者数	106	0	431	0	178	119	137	1,020	238	424	424	1,260	318	（実人数）106	
全接種者（延べ人数）	100	0	418	0	108	113	115	607	214	403	402	256	295	174	28
内訳 定期接種者	87	0	370	0	107	102	115	599	198	347	346	245	255	145	25
内訳 相互乗り入れ	13	0	43	0	1	11	0	8	16	47	47	8	32	24	0
内訳 契約外医療機関	0	0	5	0	0	0	0	0	0	9	9	3	8	5	3

B類疾病予防接種実施状況

予防接種の種類	高齢者肺炎球菌	高齢者インフルエンザ
Ｒ４年度対象者数	1,234	10,107
全接種者(延べ人数)	328	6,045
内訳 定期接種者	327	5,928
内訳 相互乗り入れ	1	116
内訳 契約外医療機関	0	1
内訳 他市依頼接種者	0	0
全接種率	26.6%	59.8%

風しんの追加的対策に係る抗体検査及び予防接種の実施状況

対象者	抗体検査	予防接種
Ｒ４年度対象者数	2,353	50
実施者	46	28
内訳 大北管内	41	28
内訳 集合規約	5	0
実施率	2.0%	56.0%

新型コロナウイルス感染症検査費用助成金　15件

◆ 事業の成果

おおまち子育て応援アプリの活用や医療機関との連携強化により、接種間隔の誤りによる予防接種事故は0件であった。

高齢者インフルエンザ及び肺炎球菌接種者数は、コロナ禍の影響により減少となった。感染対策により、大きな流行が無かったことも影響していると思われる。

◆ 前年度からの改善点

HPVワクチン(子宮頸がん)の積極的勧奨の再開によるキャッチアップ接種を開始　R3　55件 → R4　256件

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続										
担当課	民生部	市民課	健康推進係					事務事業No.	14133		
事務事業名	母子保健事業							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	4	項	1	目	3	決算書	147	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁	69	頁	
	施策目標	【３】結婚・出産・子育て支援の充実									
	施策項目	③子育て支援の充実									
個別計画	第２次大町市健康増進計画（中間評価・見直し）、第３次大町市食育推進計画								37他	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・保護者に対する妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援により、育児の悩みや不安の軽減を図るとともに、子どもの育つ力を支える育児力の向上を支援する。

・小児期からの生活習慣病予防の取組みにより、生活習慣病を予防する。

主な実施内容

・母子健康手帳交付 ・妊産婦相談 ・両親学級 ・新生児訪問 ・育児相談 ・２か月児相談 ・離乳食教室
・１０か月児相談 ・心理相談 ・不妊治療助成事業 ・小児期からの生活習慣病予防事業
・妊娠出産育児の切れ目ない支援事業 ・母乳相談等助成事業 ・産後ケア事業 ・育児支援ヘルパー派遣事業
・育児支援カウンセリング相談事業 ・妊産婦通院支援事業（令和４年度より当事業に移管）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		11,288,762 円	10,785,437 円	8,280,692 円
財源内訳	特定財源	4,031,900 円	5,809,900 円	5,755,600 円
	一般財源	7,256,862 円	4,975,537 円	2,525,092 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
15,276,000	-1,617,000	0		13,659,000	8,280,692	0

不用額	特定財源	細節名	妊娠・出産包括支援事業補助金	子ども・子育て支援交付金（国・県）	ふるさと応援基金繰入金	地域発元気づくり支援金ほか
5,378,308		金額	1,625,000	1,080,000	3,000,000	50,600

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

【妊産婦～出産後への支援】

○ 母子健康手帳交付　134件　（＋24）

○ 両親学級　3回×2コース実施　参加者延べ　妊婦　36人 家族　31人

○ 産前産後サポート

・母乳相談等助成事業　利用実件数　46件　延べ54件

・育児支援ヘルパー派遣事業　７人　延べ62回

・産後ケア事業　通所1人（3日）　宿泊６人（39日）

・産後健康診査　実人数101人　延べ186件

・子育て相談事業　実人数　３人　延べ　３人

・通院支援事業　30人　66枚利用

【乳幼児・育児期の親への支援】

○ 相談事業、教室関係

・フリースペース　12回　延べ34組

	2か月児相談	離乳食教室（ごっくん）	離乳食教室（もぐもぐ）	10か月児相談
受診者(人)	86	38	39	102
参加率（%）	81.1	34.9	33.0	84.3

○ 個別相談

・心理相談

実人数　19人（延べ件数19件）

・新生児訪問　99件

・育児相談

	乳児(1歳未満)	幼児(1歳以上)	計
実人数	169	140	309
延べ人数	187	231	418

【小児期からの生活習慣病予防事業】

学年	男性			女性		
	対象	受診	受診率	対象	受診	受診率
小5	98	83	84.7%	81	72	88.9%
中2	102	90	88.2%	95	81	85.3%

指導・受診状況

小学生　個別指導14人　受診2人

中学生　個別指導22人　受診10人

【未就学児眼科屈折検査】（北アルプス連携自立圏事業）

	実施数	結　果				
		異常なし	要再検査	要経過観察	要精検（要精検率）	治療継続
３歳児	129	118	3	0	5 (3.9%)	2
５歳児（年中）	140	115	14	2	4 (2.9%)	5

【幼児歯科検診】

対象	う歯状況（人）		う歯総本数
	無	有	
１歳６ヵ月	125	0人 0%	0
２歳児	120	2人 1.60%	5
３歳児	124	9人 4.50%	25

【不妊治療助成事業】

	R2	R3	R4
助成件数	15	22	12
助成額(円)	3,016,573	4,222,603	2,235,454

【不育症治療助成事業】　1件　10,063円

◆ 事業の成果

コロナ禍の影響もあり、孤立化し、育児の不安や負担を抱える人について、個別に相談対応しながら、育児支援ヘルパーや産後ケアの利用に繋げている。相談先を増やし、具体的な方法を学ぶことで、育児等に関する不安軽減につながっている。その後も継続的な育児支援について関係機関と現状を共有しながら、連携を図っていきたい。

◆前年度からの改善点

出産・子育て応援交付金事業に併せ、妊娠8カ月の妊婦に対し伴走型相談支援を開始した。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続										
担当課	民生部	市民課	健康推進係	事務事業No.	14135						
事務事業名	子育て世代包括支援センター事業			実施方法	市が直接実施						
会計	一般会計	款	4	項	1	目	3	決算書	149	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画登載頁			63	頁	
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現									
	施策項目	④健康づくりの推進									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する体制を構築する。また、支援により悩みを抱える妊産婦等を早期に発見し、相談支援に繋げ、児童虐待の予防や早期発見に資する。

妊産婦に対し、母子保健施策と子育て施策との一体的な提供を通じ、妊産婦及び乳幼児の健康保持及び増進に関する包括的な支援を行う。

主な実施内容

①妊産婦及び乳幼児等の実情把握
②妊娠・出産・育児に関する各種の相談に応じ、必要な情報提供・助言・保健指導
③支援プランの策定
④保健医療又福祉の関係機関との連絡調整

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		2,470,786 円	2,245,174 円	921,600 円
財源内訳	特定財源	1,454,000 円	1,884,000 円	778,000 円
	一般財源	1,016,786 円	361,174 円	143,600 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
2,272,000	-1,101,000	0	0	1,171,000	921,600	0

不用額	特定財源	細節名	子ども子育て支援交付金（国）	子ども子育て支援交付金（県）		
249,400		金額	389,000	389,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

●利用状況

（件数）

	電話相談	来所相談	訪問等	合計	
令和４年度	60	41	46	147	重複あり
令和３年度	46	46	90	182	重複あり

●支援プラン作成

	件数
令和４年度	24
令和３年度	14

来所や電話による相談者への支援のほか、公民館事業や保育園の園開放等へ出向いて相談を実施し、保護者に寄り添いながら必要に応じ切れ目ない支援を行っている。

●相談内容

（件数）

	身体発育	食事	育児	保育園等入所	その他	合計	
令和４年度	14	10	36	46	86	192	重複あり
令和３年度	38	16	64	46	57	221	重複あり

◆ 事業の成果

・定期的に子育て支援課と連携をとり、個別性にあった継続的な支援の実施につながっている。
・妊娠期から早期に介入し、継続的な相談対応を実施している。

◆ 前年度からの改善点

・子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の2つの機関が一本化され、体制を強化して子育て世帯を包括的に支援する、こども家庭センターの在り方について検討を始めた。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続										
担当課	民生部	市民課	健康推進係					事務事業No.	14141		
事務事業名	健康増進事業							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	4	項	1	目	4	決算書	149	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁	63	頁	
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現									
	施策項目	④健康づくりの推進									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

市民の健康保持及び増進を図る。

市民に対し、疾病の早期発見と正しい知識の普及及び啓発を図る。

主な実施内容

- 健康相談、健康教育
- 訪問指導、健康手帳の配布
- 健（検）診事業の実施　　歯周病検診、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診、健康増進法健診、先取り健診

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		4,904,008 円	5,683,301 円	4,338,940 円
財源内訳	特定財源	2,082,300 円	2,017,000 円	1,893,200 円
	一般財源	2,821,708 円	3,666,301 円	2,445,740 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
6,845,000	-1,140,000	0	0	5,705,000	4,338,940	0

不用額	特定財源	細節名	健康増進事業費補助金	ふるさと応援基金繰入金	検診事業徴収金	北アルプス連携自立圏事業負担金ほか
1,366,060		金額	1,637,000	2,000,000	209,200	47,000

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○健康教育の開催数

年度	R１	R２	R３	R４
開催数(回)	85	4	6	34
参加者数(人)	1,127	71	56	705

○健康相談の開催数

年度	R１	R２	R３	R４
開催数(回)	21	4	2	2
参加者数(人)	212	71	23	21

○健康増進法健診（人数）

年度	R２	R３	R4
集団健診	2	2	3
個別健診	1	1	1

○先取健診（18～39歳）

年度	R２	R３	R４
集団健診	61	53	61
個別健診	74	74	69

○歯周病検診（30･40･50･60･70歳）

年度	R２	R３	R４
受診者数(人)	124	132	102

○骨粗鬆症検診（女性限定）
（40歳から70歳までの5歳刻み）

年度	R２	R３	R４
受診者数(人)	183	171	206

○肝炎ウイルス検診
（40歳以上で１度も受けたことのない人）

年度	R２	R３	R４
集団検診	20	31	54
個別検診	44	42	45

○特定年齢肝炎ウイルス検診
（無料検診）
（40歳から70歳までの５歳刻み）

年度	R２	R３	R４
集団検診	54	55	35
個別検診	219	141	136

◆ 事業の成果

徐々に集合形式での健康教育が行われるようになり、教育の機会が増えてきた。参加者は高齢者が多いため、若年者の対策は今後も課題。

ベジチェックを活用した野菜摂取量の測定を行い、併せてバランス食や減塩等の普及啓発につなげた。数値化するこ

◆ 前年度からの改善点　　野菜摂取量測定機を用いた食の啓発、教育に取り組むこととした。

主要な施策の成果説明書

担当課	民生部	市民課	健康推進係					前年度評価	継続		
事務事業名	がん検診事業							事務事業No.	14142		
								実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	4	項	1	目	4	決算書	151	頁	
総合計画 まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち							後期計画登載頁	63	頁	
施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現										
施策項目	④健康づくりの推進										
個別計画	第２次大町市健康増進計画（中間評価・見直し）								20	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

市民の健康保持増進を図る。

市民に対し、疾病の早期発見と正しい知識の普及および啓発を行う。

主な実施内容

・各種がん検診
　胃がん検診（バリウム・カメラ）、大腸がん検診、肺がん検診（レントゲン、CT）
　乳がん検診（超音波・マンモグラフィ）、子宮頸がん検診、前立腺がん検診

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		13,593,284 円	13,922,334 円	14,980,525 円
財源内訳	特定財源	1,156,500 円	1,198,200 円	1,246,600 円
	一般財源	12,436,784 円	12,724,134 円	13,733,925 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
16,279,000	-896,000	0	0	15,383,000	14,980,525	0

不用額	特定財源	細節名	疾病予防対策事業費等補助金	検診事業徴収金		
402,475		金額	76,000	1,170,600		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

●検診受診者の推移（人間ドック含まず。）

検診種別		対象者	受診者数（人） H30	R1	R2	R3	R4
胃がん	バリウム	35歳以上	350	339	234	281	274
	カメラ	41歳以上(隔年)	292	249	253	252	291
大腸がん		35歳以上	1,420	1,416	1,298	1,288	1,342
		無料ｸｰﾎﾟﾝ（再掲）	28	29	36	24	21
乳がん	超音波	30歳以上	485	436	337	395	390
	ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ	40～74歳（隔年）	171	178	176	153	177
		無料ｸｰﾎﾟﾝ（再掲）	35	32	31	30	22
子宮がん		20歳以上（隔年）	311	288	263	280	268
		集団検診（再掲）	40	39	46	52	43
		無料ｸｰﾎﾟﾝ（再掲）	31	23	30	22	13
肺がん	胸部レントゲン	40歳以上	2,177	2,204	1,792	1,978	1,965
	肺CT	41～75歳（隔年）	96	86	68	72	78
前立腺がん		50歳以上	518	534	461	510	574

●検診受診率の推移

	算出年齢	R2	R2 ドック含む	R3	R3 ドック含む	R4	R4 ドック含む	市の目標	国の目標
胃がん (カメラ・バリウム)	40～69	13.5%	16.0%	12.0%	22.0%	11.8%	26.6%	30.0%	50.0%
大腸がん	40～69	15.3%	22.4%	14.9%	22.0%	17.6%	23.6%		
肺がん (肺がん・CT)	40～69	15.2%	20.4%	15.9%	23.4%	16.7%	22.5%		
子宮頸がん	20～69	17.4%	20.4%	17.4%	19.7%	19.2%	21.7%		
乳がん (視触診・マンモ)	40～69	27.2%	30.2%	24.3%	26.5%	31.4%	34.6%	50.0%	

●検診申込者の受診率の推移（人間ドック含まず。）

	R２			R３			R４		
	申込者	受診者	受診率	申込者	受診者	受診率	申込者	受診者	受診率
胃がん（カメラ・バリウム）	1,063	487	45.8%	985	533	54.1%	1,036	564	54.4%
大腸がん	2,116	1,298	61.3%	1,975	1,288	65.2%	2,058	1,344	65.3%
子宮頸がん	470	263	56.0%	483	280	58.0%	445	265	59.6%
乳がん（視触診・マンモ）	1,052	513	48.8%	1,024	548	53.5%	1,063	546	51.4%

	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
乳がんクーポン	132	31	23.5%	118	30	25.4%	141	20	14.2%
子宮がんクーポン	223	30	13.5%	179	22	12.3%	198	16	8.1%
大腸がんクーポン	262	36	13.7%	249	24	9.6%	281	23	8.2%

※申込者及び対象者は年度末の状況

● 受診勧奨

・勧奨通知作成及び発送

子宮頸がん	20代から30代　未申込者　504人	9月発送
無料クーポン検診	未受診者	10月発送
	・子宮頸がん　20歳　118人　30歳　79人	
	・乳がん　40歳　136人	
	・大腸がん　40歳　274人	
胃がん（バリウム）	申込済で未受診者（35歳から69歳）　152人	10月発送
胃がん（胃カメラ）	申込済で未受診者　217人	12月発送
大腸がん	申込済で未受診者（35歳から69歳）　555人	12月発送
乳がん	申込済で未受診者（30代から50代）　468人	12月発送

・ホームページによる勧奨
・小中学校保護者用勧奨チラシ作成、配布　　・乳幼児健診時に勧奨チラシ配布
・包括連携協定を締結した生命保険会社に、事業所訪問時にパンフレット等での啓発を依頼
上記に加え、12月より、行政サービス情報の提供活動も行っていただいている。

◆ 事業の成果

がん検診の受診率については、国の目標値である50%を達成していない状況である。受けやすい体制づくりや受診勧奨を行っているが、受診率の大幅な増加に繋げることが難しい。また、市の検診を受診していなくても人間ドックや職場健診、医療機関等で受診している場合も多いと考えられるが、その把握は難しい。国保人間ドック受診者のがん検診受診状況について確認すると、胃・大腸・肺がんは受診率にして15%程度、乳房・子宮頸がんは3%程度と伸びてきている。

がんの予防には早期発見が不可欠であることから、引き続き受診勧奨及び意識啓発に努める。

◆ 前年度からの改善点

連携協定を結んでいる事業者に、行政サービス情報の提供活動を依頼し、市ホームページへの誘導による、受診勧奨につなげる。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	民生部	市民課	健康推進係					事務事業No.	14147		
事務事業名	精神保健事業							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	4	項	1	目	4	決算書	151	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁	63	頁	
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現									
	施策項目	④健康づくりの推進									
個別計画	第２次大町市健康増進計画（中間評価・見直し）、大町市いのちを守る推進計画									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・自らの心の健康について関心を持ち、心の健康を維持するための取組みにつなげる。
・関係機関と連携し、生きるための阻害要因を減らし、生きるための促進要因を増やすことにより、自殺対策につなげる。
・市民に対し、精神保健に関する知識を広く普及・啓発する。
・様々な関係機関が連携し、生きることの包括的支援を実施する。

主な実施内容

・相談指導及び訪問指導
・ゲートキーパー養成講座の開催
・「SOSの出し方教育」の実施
・こころ・法律・仕事の「なんでも相談会」開催（北アルプス連携自立圏事業）
・健康教育
・有線放送等を活用した啓発活動
・メンタルチェックシステム「こころの体温計」事業

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		307,124 円	323,415 円	306,011 円
財源内訳	特定財源	200,000 円	158,000 円	147,000 円
	一般財源	107,124 円	165,415 円	159,011 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
412,000	-100,000	0	0	312,000	306,011	0

不用額	特定財源	細節名	地域自殺対策強化事業補助金	広域連携推進事業交付金 なんでも相談会開催事業	北アルプス連携自立圏事業負担金	
5,989		金額	30,000	33,000	84,000	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

●相談指導及び訪問指導事業

	相談			訪問		
	実人数	延べ人数	一人に関わった回数	実人数	延べ人数	一人に関わった回数
R４年度	37	117	3.7	61	165	2.7
R３年度	36	80	2.2	82	183	2.2
R２年度	32	69	2.2	50	207	4.1
R１年度	32	86	2.7	177	370	2.1

●こころの体温計

	本人ﾓｰﾄﾞ	家族ﾓｰﾄﾞ	妊婦・ママモード	ｽﾄﾚｽﾀｲﾌﾟ	ｱﾙｺｰﾙﾁｪｯｸ	合計①	大町市以外②	合計①＋②
R４年度	3,408	771	199	886	570	5,834	2,532	8,366
R３年度	2,915	610	141	669	452	4,787	1,593	6,380
R２年度	3,396	870	183	943	624	6,016	2,416	8,432

●SOSの出し方に関する教育

・第一中　全校181人　講義形式　・仁科台中　中１　82人　講義形式　・八坂中　中１・２　7人　講義形式
・美麻小中　５・7年生　23人　学年ごとに講義形式

●ゲートキーパー養成講座（職員研修）　11月2日開催　23人参加

●こころ・法律・仕事のなんでも相談会（北アルプス連携自立圏事業）　9月26日(月)開催　12組参加

	30代以下	40代	50代	60代	70代	合計
男性	1	1	1	2	3	8
女性	2	0	1	0	2	5

（延相談件数）

保健師	精神科医	弁護士	就労支援	インテイクのみ
1	2	7	3	2

◆ 事業の成果

保健師が心に悩みや不安を持つ方に寄り添い、主治医と連携しながら支援を実施。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続										
担当課	民生部	生活環境課	環境衛生係					事務事業No.	14214		
事務事業名	不法投棄対策事業							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	4	項	2	目	1	決算書	155	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁	82・83	頁	
	施策目標	【３】快適な生活環境の形成									
	施策項目	①廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

ごみの不法投棄の防止を進め、不法投棄ごみ発見時の迅速な回収・処理に努めることにより、清潔で快適な生活環境を守る。住みよい地域の形成を進めるため、ごみの不法投棄に対して、市民、事業者、行政がそれぞれの立場で快適な生活環境を守るために取組む。

主な実施内容

・市民啓発、不法投棄防止啓発用看板の常習箇所への設置及び希望者への配布により、ごみの不法投棄を防止する。
・不法投棄ごみを発見した場合、速やかに回収・処理し清潔で快適な生活環境及び景観の保全を維持する。
・環境保全推進員により集められた不法投棄ごみの回収や防止パトロールの実施。
・地域や団体との連携による不法投棄ごみの発見や早期回収の実施。
・広域連合、長野県等との連携による広域的な不法投棄対策の推進。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		2,650,259 円	2,402,676 円	1,359,871 円
財源内訳	特定財源	2,000,000 円	2,000,000 円	1,000,000 円
	一般財源	650,259 円	402,676 円	359,871 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
2,840,000	-1,009,000			1,831,000	1,359,871	

不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金			
471,129		金額	1,000,000			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

- ○ 市民啓発、不法投棄防止啓発用看板の常習箇所への設置
- ○ 不法投棄ごみの速やかな回収と適正な処分
- ○ 環境保全推進員により集められた不法投棄ごみの回収や防止パトロール実施
- ○ 地域や団体等との連携による不法投棄ごみの早期回収の実施
- ○ 広域連合・長野県等との連携による広域的な不法投棄対策の推進

不法投棄の状況





◆ 事業の成果

- ○ 不法投棄ごみの回収量　１４，５７０ ㎏
  - ・不燃性粗大（混合）の回収量　７，６８０Kg
  - ・可燃ごみの回収量　６，８９０㎏
  - ・タイヤ回収本数　１１２本
  - ・特定家電回収台数　テレビ１９台、冷蔵庫１台、エアコン１台

◆ 前年度からの改善点　なし

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続											
担当課	建設水道部	上下水道課	下水道施設係					事務事業No.	14216			
事務事業名	合併処理浄化槽設置推進事業							実施方法	補助金			
会計	一般会計	款	4	項	2	目	1	決算書	155	頁		
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁	84	頁		
	施策目標	【３】快適な生活環境の形成										
	施策項目	⑤下水道の整備と水洗化の促進										
個別計画	大町市生活排水処理基本計画（第２期）									頁		

事業の目的

対象とありたい姿

・個別処理区域における公共用水域の環境保全を図るため、国の補助事業などを活用した浄化槽設置補助を行うとともに、大町市浄化槽組合を通して、適正な合併浄化槽の維持管理を行い、公共用水域の環境保全を進め快適な生活と住みよい地域形成を提供する。

主な実施内容

・浄化槽法に基づく届け出等事務取扱
・浄化槽の適正管理の指導及び啓発
・浄化槽設置補助金交付業務
・浄化槽管理補助金交付業務

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		61,716,751	円	63,541,501	円	50,586,076	円
財源内訳	特定財源	7,023,000	円	9,633,000	円	9,353,000	円
	一般財源	54,693,751	円	53,908,501	円	41,233,076	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
69,448,000	-17,000,000	0	0	52,448,000	50,586,076	0

不用額	特定財源	細節名	循環型社会形成推進交付金（国庫補助金）	合併処理浄化槽整備事業補助金（県補助金）	浄化槽管理組合事務費負担金	
1,861,924		金額	5,266,000	2,839,000	1,248,000	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○健全な下水道事業の推進施策

浄化槽設置・管理基数

	H30	H31	R2	R3	R4
浄化槽設置事業	52基	33基	32基	36基	21基
浄化槽管理事業	1,623基	1,655基	1,676基	1,694基	1,709基

浄化槽法定検査受験基数

	H30	H31	R2	R3	R4
法定検査受験数	2,602基	2,589基	2,618基	2,664基	2,684基
法定検査受験率	90%	89%	89%	90%	95%

○水洗化の促進施策

浄化槽整備率

	H30	H31	R2	R3	R4
計画人口	6,906人	6,833人	6,731人	6,633人	6,469人
供用開始人口	5,241人	5,298人	5,290人	5,255人	5,129人
整備率	75.89%	77.54%	78.59%	79.23%	79.29%

○浄化槽補助事業実施状況（10人槽）





◆ 事業の成果

・浄化槽設置補助事業
年間における設置基数についてもピーク時に比べると30基ほど減少し、年20基で推移
物価高騰、人口減少などの世相を背景に、世代交代、核家族化、転入者などの新築需要が伸び悩んでいる

・浄化槽管理基数
高齢化世帯の増加に伴い、休止する世帯も多く、また、新築世帯減少もあり、管理基数については、伸び悩み気味である

・浄化槽の法定検査受験率向上
H29年度以前は３割の受験率であったが、県や県浄化槽協会が検査体制を強化ししたことから、約8割の受験率を確保し、県平均を上回った。今後も適正な指導・啓発活動を通じ、更なる受験率の向上に努める。

◆ 前年度からの改善点

・ 組合員及び市民を対象とした浄化槽講習会を開催、県浄化槽協会より講師を招き、浄化槽の適正な維持管理を含め法定検査の受検の重要性について講習会を開催。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続			
担当課	民生部	生活環境課	クリーンプラント					事務事業No.	14233			
事務事業名	し尿処理事業							実施方法	委託			
会計	一般会計			款	4	項	2	目	3	決算書	157	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁			83	頁
	施策目標	【３】快適な生活環境の形成										
	施策項目	①廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進										
個別計画												頁

事業の目的

対象とありたい姿

市民が快適で衛生的な生活環境を維持するため、安定したし尿等の処理を行い、公衆衛生の向上と環境保全を図る。

主な実施内容

し尿処理施設の安全で安定した運営管理

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		108,281,423	円	75,145,652	円	91,833,876	円
財源内訳	特定財源	5,454,670	円	5,146,830	円	5,397,990	円
	一般財源	102,826,753	円	69,998,822	円	86,435,886	円

予算

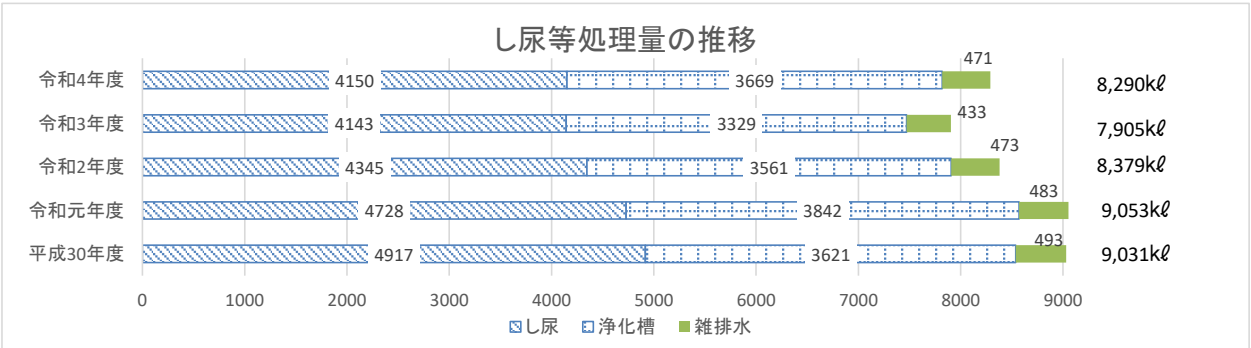
令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
97,875,000	2,310,000			100,185,000	91,833,876	1,650,000

不用額	特定財源	細節名	金額
6,701,124		し尿処理手数料	5,397,990

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動



◆ 事業の成果

新型コロナウイルス感染症の影響により令和２年度、３年度は減少傾向が顕著だったが、令和４年度は浄化槽汚泥を中心に処理量が増加した。

◆ 前年度からの改善点

なし

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続										
担当課	民生部	生活環境課	環境衛生係					事務事業No.	14243		
事務事業名	生ごみ等資源化推進事業							実施方法	指定管理		
会計	一般会計		款	4	項	2	目	4	決算書	159	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁		82	頁
	施策目標	【３】快適な生活環境の形成									
	施策項目	①廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進									
個別計画											頁

事業の目的

対象とありたい姿

ごみの減量化と再資源化を図り、循環型社会の形成を進め、快適な生活環境の基盤形成を図るため、ごみの排出者自らが、生ごみの減量化と再資源化を行うことで、ごみの減量化と再資源化に対する市民意識の高揚を図る。

主な実施内容

- 堆肥センターは平成26年2月から指定管理者による施設の管理運営。
- 市内小中学校及び保育園、宿泊施設、協力自治会、福祉施設、飲食店等からの生ごみの回収と堆肥化。
- 製造した堆肥を、市内学校等での花づくりや野菜づくりに活用。
- 生ごみ堆肥化等処理容器を購入した市民への補助事業。購入費の1/2（限度額あり）
  電気式：上限30,000円、100ℓ以上の容器：上限3,000円、100ℓ未満の容器：上限2,000円

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		18,003,710 円	19,454,461 円	18,100,517 円
財源内訳	特定財源	606,000 円	559,000 円	512,500 円
	一般財源	17,397,710 円	18,895,461 円	17,588,017 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
19,078,000				19,078,000	18,100,517	

不用額	特定財源	細節名	堆肥販売金
977,483		金額	512,500

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

牛ふん堆肥販売・行政視察風景



◆ 施策目標に資する活動

- ○ 生ごみの分別収集及び堆肥化
- ○ 生ごみ堆肥配布
- ○ 生ごみ堆肥化等処理容器購入費補助
- ○ 牛ふん堆肥販売

◆ 事業の成果

- ○ 生ごみ収集量
  - ・令和4年度：162t（前年度比1.2%増）
- ○ 生ごみ収集箇所（令和5年3月末現在）
  - ・58箇所：自治会 1件、保育園 2園、小中学校 6校、福祉施設 7施設、宿泊施設 9施設
    工場 1施設、飲食店 30軒、行政施設 2施設
- ○ 生ごみ堆肥配布
  - ・小中学校への配布（北小、東小、西小）
  - ・文化祭来場者への無料配布　配布数150袋
- ○ 生ごみ堆肥化等処理容器設置補助金
  - ・電気式生ごみ処理機　11台　補助金額　233,612円
  - ・コンポスター　31台　補助金額　67,305円
- ○ 牛ふん堆肥販売
  - ・春の販売　令和４年４月　４日（土）実施　軽トラ132台、２ｔ車11台　販売金額　346,500円
  - ・秋の販売　令和４年９月２６日（土）実施　軽トラ　68台、２ｔ車4台　販売額　166,000円

◆ 前年度からの改善点　なし

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	民生部	生活環境課	環境保全係					事務事業No.	14314		
事務事業名	環境調査事業							実施方法	その他		
会計	一般会計	款	4	項	3	目	1	決算書	161	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁	75・83	頁	
	施策目標	【１】自然と共生した環境の創造									
	施策項目	①自然環境の保全と共生									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

当市の貴重な財産である良質な水や良好な大気の環境等を適切に保全して快適な環境を未来へ引き継ぐため、環境に悪影響を及ぼす恐れのある事業所等の調査を行い、公害苦情の改善、解決に向けた指導、助言を行うとともに、生活環境の保全を目的にした環境調査（河川水質、自動車交通騒音、ダイオキシン類等）を実施する。

主な実施内容

下記環境調査の実施。定期的調査の他苦情等が発生した場合は随時実施する。
○河川、湖沼の水質調査　○地下水位連続観測　○ダイオキシン類：大気、土壌
○低周波音：食品製造施設　○自動車交通騒音調査
○臭気：堆肥製造施設、食品製造施設、畜産関係　○特定悪臭物質：堆肥製造施設、畜産関係

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		11,324,597 円	11,714,418 円	10,062,586 円
財源内訳	特定財源	円	5,000,000 円	5,000,000 円
	一般財源	11,324,597 円	6,714,418 円	5,062,586 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
12,740,000				12,740,000	10,062,586	

不用額	特定財源	細節名	金額
2,677,414		ふるさと応援基金繰入金	5,000,000

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

○水質検査（52箇所　151検体）
- 町川、平河川（17箇所）
- 常盤、社河川（18箇所）
- 八坂、美麻河川（4箇所）
- 仁科三湖（6箇所）
- 木崎湖流入河川（4箇所）
- 昭和電工関係（3箇所）

○地下水位観測（４箇所）
常盤2号井戸　市立大町病院井戸　グリーンパーク井戸　常盤事業所井戸


水質検査

○ダイオキシン類測定（大気２回、土壌１回）
- 図書館付近(大町)、丹生子付近(社)、雇用促進住宅付近(社)、旧社駐在所付近

○低周波音測定（食品製造施設　敷地境界3箇所、近隣屋内2箇所）

○臭気測定　畜産関係12検体
その他84検体　堆肥製造施設 64検体
食品製造施設　20検体

○自動車交通騒音常時監視　信濃大町停車場線（商工会議所付近）、県道槍ヶ岳線（宮田町）

◆ 事業の成果

○水質検査
河川、湖沼の水質については、概ね環境基準をクリアしている。
水温については、若干上昇傾向にある。
また、市ホームページにおいて測定結果を公開している。（年1回更新）

〇地下水位観測（４箇所）

平成２８年度より水位観測をしている。各井戸ともに降水に係る変動はあるが、長期的には大きな変化は観測されていない。

また、アルプス地域地下水保全対策協議会へデータを提供し、他市町村分の結果と合わせオープンデータとして公開している。

〇ダイオキシン類測定

大気、土壌ともに環境基準を大幅に下回っている。

また、市ホームページにおいて測定結果等を公表している。（年1回更新）

〇低周波音測定（食品製造施設）

測定結果は、過去の測定数値と比べて大きな変化は見られない。

地元自治会からの要望により、近隣の民家で行った宅内での測定結果については、環境省から示されている心身の苦情に関する参照値と比較しても問題となる状況ではない。

地元自治会に測定結果を報告している。（年1回報告会）

〇臭気測定

・畜産関係

月1回の臭気測定結果は、数年前と比較して、規制基準値を超過する回数は減少しており、年4回の超過であった。特に市民からの苦情はないが、引き続き事業者と地域の方々が情報を共有し、改善に向け取り組んでいくという方向性である。市も監視を継続し改善を指導している。

また、地元自治会に臭気測定の結果を報告している。

・堆肥製造施設

臭気指数は、昨年実施した、発酵棟の修繕と薬液量の調整によりそれ以降の気体排出口、敷地境界の数値は全て基準値内に収まっており、 泉地区公害対策委員会からも以前より臭いがしなくなったとの意見をいただいている。

引き続き、県及び地元の対策委員会と連携し、監視をしている。

また、地元の対策委員会の定例会において、測定結果を報告をしている。（年4回）

・食品製造施設

気体排出口の臭気指数が規制基準値を超えているケースが多いが、特に市民からの苦情は寄せられていない。事業者が一昨年11月に新たな脱臭装置を整備して以降数値は改善傾向にあるため、引き続き臭気指数の改善を図るよう指導している。

また、 地元自治会に測定結果を報告している。

〇自動車交通騒音常時監視

調査した2か所ともに環境基準（幹線交通を担う道路に近接する空間の特例　昼間70ｄｂ、夜間65ｄｂ）を満たしている。また、測定結果については、環境省及び長野県に報告している。

◆前年からの改善点等　　特になし

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	民生部	生活環境課	環境保全係					事務事業No.	14315		
事務事業名	環境保全事業							実施方法	その他		
会計	一般会計			款	4	項	3	目 1	決算書	161	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁		75・83	頁
	施策目標	【１】自然と共生した環境の創造									
	施策項目	①自然環境の保全と共生									
個別計画											頁

事業の目的

対象とありたい姿

当市の貴重な財産である環境を適切に保全して、快適な生活環境や自然環境を維持するため、市民、事業者、行政がそれぞれの立場で自然、生活環境、生態系の保全に取組む。

主な実施内容

環境保全推進員４７名を委嘱し、パトロールによる不法投棄の防止やゴミの回収、外来植物の駆除など良好な生活環境の確保に努めている。
外来植物の駆除については、委託による駆除作業のほか、自治会や地域振興局や建設事務所等と協力して駆除作業を実施した。事業用の井戸については、環境保全に関する条例に基づく井戸設置の届出制（令和3年度施行）に基づき地下水利用状況を把握している。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		4,082,805 円	3,975,441 円	4,120,427 円
財源内訳	特定財源	3,000,000 円	3,000,000 円	2,000,000 円
	一般財源	1,082,805 円	975,441 円	2,120,427 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
4,402,000				4,402,000	4,120,427	

不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金			
281,573		金額	2,000,000			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

○外来植物除去量

令和２年度	令和３年度	令和４年度
８，０４０ｋｇ	７，６９０ｋｇ	９，０７０ｋｇ

○不法投棄物回収量

令和２年度	令和３年度	令和４年度
１７ｔ	１５ｔ	１５ｔ

○事業用井戸の届出
井戸台帳　井戸数　66本


自治会や県との連携による外来植物駆除実施

◆ 事業の成果

○外来植物除去
除去量は、前年を上回っていおり、毎年新たな繁殖地を確認している。

○不法投棄物回収量
環境保全推進員による不法投棄パトロールは例年同様に実施されている。

◆前年からの改善点等　　特になし

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続			
担当課	民生部	生活環境課	環境保全係					事務事業No.	14316			
事務事業名	自然エネルギー活用推進事業							実施方法	市が直接実施			
会計	一般会計		款	4	項	3	目	1	決算書	161	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁		75	頁	
	施策目標	【１】自然と共生した環境の創造										
	施策項目	①自然環境の保全と共生										
個別計画											頁	

事業の目的

対象とありたい姿

温室効果ガスの排出削減と地域の特性を生かした再生可能エネルギーの普及促進により、2050年までにゼロカーボンシティを目指す。
地球温暖化に起因する気候変動は自然環境や生活環境に影響を及ぼす懸念があり、将来にわたって良好な環境を維持するため、温室効果ガスの削減を進めると共に自然エネルギー（水力）を活用した町川発電所の安定的な運転及び再生可能エネルギーの普及を促進する。

主な実施内容

・町川発電所の管理、公共施設への再生可能エネルギー普及促進
・太陽光発電設備の設置管理等に関する要綱に基づき、事業者が実施する太陽光発電事業の発電設備の設置、管理、撤去等が適切に行われるよう指導。
・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）及び（事務事業編）の進捗管理

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		13,824,774	円	9,589,246	円	14,861,663	円
財源内訳	特定財源		円	9,300,000	円	6,568,000	円
	一般財源	13,824,774	円	289,246	円	8,293,663	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
9,300,000	-175,000		5,863,000	14,988,000	14,861,663	

不用額	特定財源	細節名	小水力発電施設売電収入			
126,337		金額	6,568,000			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

○町川発電所の管理業務
臨時職員：施設点検業務　週3日
職員：除塵機清掃　週1回（秋期は週2回）



町川発電所

○自然エネルギーの活用
令和4年度太陽光発電事業事前相談件数　７件
令和4年度太陽光発電事業運転開始件数　１１件（16,439ｋｗ）

◆ 事業の成果

○町川発電所発電量　817,259 kwh
○町川発電所売電料　7,006,434 円
○クリーンプラント効果額　12,258,034 円
○地球温暖化防止対策基金積立額　1,002,943 円

◆ 前年度からの改善点

○「大町市太陽光発電設備の設置管理等に関する要綱」の一部改正

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係					事務事業No.	15114		
事務事業名	創業支援事業							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	5	項	1	目	1	決算書	163	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	51	頁	
	施策目標	【１】商工業の振興による地域経済の活性化									
	施策項目	①中小企業等の支援と創業支援による地域経済の活性化									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・新規学卒者、ＵＩターン希望者等に対する就職機会を提供し、市内企業への就業による定住・移住の推進。
・創業・起業希望者に対する創業・起業支援を行い、創業・起業の実現による定住・移住の推進と地域経済の活性化を図る。
・働き方が多様化する中で、時間にとらわれず自由に働ける新たな就労方法であるテレワークを推進し、子育て世代・介護者・障がい者・若者といった、就労に時間的制約のある求職者若しくは時間にとらわれずに働きたい求職者が、それぞれのライフスタイルやライフステージに合わせて安心して働ける地域社会とすることで、ＵＩターン促進のための安定した雇用の創出の実現を目指す。

主な実施内容

・創業支援アドバイザーによる創業・起業相談、経営指導等
・企業説明会（就職面接会）の開催
・関係機関（大町職業安定協会、大北高等職業訓練校等）への助成
・創業支援協議会との連携協力による各種事業の実施
・創業セミナー・塾の開催、相談窓口の開設、コワーキングスペースの運営、テレワーク事業の推進等

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		13,860,975 円	14,188,531 円	16,221,012 円
財源内訳	特定財源	380,000 円	2,109,000 円	4,897,500 円
	一般財源	13,480,975 円	12,079,531 円	11,323,512 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
25,044,000	-6,748,000			18,296,000	16,221,012	

不用額	特定財源	細節名	地方創生交付金	北アルプス連携自立圏事業負担金	ふるさと応援基金繰入金	
2,074,988		金額	2,997,500	339,000	1,561,000	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

◇創業支援アドバイザーによる支援
　創業・起業相談、経営指導等の実施による事業具現化の後押し

◇企業説明会の開催
　北アルプス連携自立圏事業として関係機関と連携し、新規就労予定者を対象に地域内企業による説明会を開催

◇創業支援協議会との連携による創業支援
　セミナー・塾の開催、相談窓口の開設
　コワーキングスペースの運営、テレワーク事業の推進

◇各種助成制度による創業・起業支援
　起業支援補助金や融資制度等の活用による創業・起業を支援

◆ 事業の成果

・市創業支援アドバイザーにより、創業・起業相談、経営指導、協議会主催セミナー・塾開催時の相談・フォローアップ等の支援を７回実施。
・新規就労予定者（大学生・高校生等）を対象とした、大北地域にある企業が参加する合同企業説明会をR4.5.2アプロードにおいて実施し、115名、32社の参加があった。
・創業支援協議会との連携により、セミナー、創業塾等を開催し、創業を考えている人に対して創業支援を実施した。セミナーは１回　参加者１１人、創業塾は５回　延べ１２１人の参加があった。
・一般財団法人 塩尻市振興公社と業務委託を締結し、広域連携によるテレワーク事業を推進した。ワーカーの登録者が３０名を超え、うち就業人数２８人、ワーカー収入419万円の稼働となった。
・起業支援補助金の交付実績　１件　100万円　業種：美容室

主要な施策の成果説明書

									前年度評価	継続		
担当課	教育委員会	生涯学習課	女性未来館ピュア						事務事業No.	15124		
事務事業名	女性未来館ピュア運営事業								実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計			款	5	項	1	目	2	決算書	165	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							後期計画登載頁		45	頁
	施策目標	【２】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供										
	施策項目	③多様な分野の学習活動の促進										
個別計画												頁

事業の目的

対象とありたい姿

市内の女性労働者等を対象として、毎年様々な講座や講演会などを開催することによって就業の促進や資質の向上を図り、さらに問題意識の喚起や意識の向上を積極的に推進することを目的とする。

主な実施内容

・女性のための各種講座や講演会等の開催ならび各サークルが円滑に実施できるよう組織及び施設の管理を図る。
・託児ボランティア活動団体の人材育成を実施。

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		3,795,170	円	3,238,005	円	1,899,897	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	3,795,170	円	3,238,005	円	1,899,897	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
4,598,000	-2,658,000			1,940,000	1,899,897	

不用額	特定財源	細節名				
40,103		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

伝説の地巡り



寄せ植え講座



保育サポータ講座



ラカスタ式美髪講座



介護講座



ビーズ講座



◆ 事業の成果

平公民館・女性未来館ピュア事業の講座やサークル活動の成果発表（11月開催）　「ピュアフェスタ」











◆ 前年度からの改善点

利用者の高齢化の中でも、年に１度の「ピュアフェスタ」に向けた成果発表の場があることは、利用者各自の生きがいにも繋がり、講座やサークル活動では、頭を使い、身体を動かし、人と交わることで心と体の健康増進につながるものと考える。コロナ禍が続く中でも発表の場がサークル同士の情報交換や親睦を深める場となるよう努めた。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係					事務事業No.	16131		
事務事業名	農業農村交流事業							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	6	項	1	目	3	決算書	169	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	60	頁	
	施策目標	【４】移住・定住促進策等の充実強化									
	施策項目	③都市との交流の促進									
個別計画	大町市農業振興計画								34	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・中綱湖へら鮒釣り大会、国営公園を拠点とした農家民宿事業により、都市住民と地域住民の交流を図る。
・グリーンツーリズム事業により地域の活性化を図る。

主な実施内容

中綱湖へら鮒釣り大会開催
中綱湖へら鮒放流事業（毎年11月３日）
安曇野市、松川村と共同で農家業体験の修学旅行の受入

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		318,746	円	307,678	円	523,242	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	318,746	円	307,678	円	523,242	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
811,000				811,000	523,242	

不用額	特定財源	細節名				
287,758		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

〇第20回中綱湖へら鮒釣り大会　６月19日（日）開催





〇中綱湖へら鮒放流事業　11月3日（木）実施



〇農家民泊　　⇒　コロナ禍のため受入中止

◆ 事業の成果

中綱湖へら鮒釣り大会は、３年ぶりの開催となり、県内外から子供を含めた大勢の釣り客が訪れ、グリーンツーリズム事業の振興に寄与した。

◆ 前年度からの改善点

中綱湖へら鮒釣り大会は、今年度開催した第20回を記念大会とし一旦終了することとなった。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	産業観光部	農林水産課	庶務係					事務事業No.	16133		
事務事業名	農業マーケティング事業							実施方法	負担金		
会計	一般会計	款	6	項	1	目	3	決算書	171	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	54	頁	
	施策目標	【２】地域の特性を生かした農林水産業の振興									
	施策項目	①生産と販売の促進									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

当市の将来にわたっての持続的な農業を目指し、輸出を志向する農産物及び農産物を主原料にした加工品の生産者を対象に、新たな輸出促進のための取り組みを支援し、多様な販売システムを確立するとともに、農産物及び地域のブランド力の向上を図り、当市の経済の活性化を目指す。

主な実施内容

輸出事業に意欲的な生産者など幅広い関係者の連携により組織した、大町市農産物等輸出協議会によって、海外における新たな販路や継続した販路の確保、農産物等のブランド化を図るための事業を実施。

農業を含めた地域の産業の活性化を図るため、地理的表示の登録申請等に要する経費に対する支援。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		0 円	282,722 円	3,107,220 円
財源内訳	特定財源	0 円	0 円	0 円
	一般財源	0 円	282,722 円	3,107,220 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
7,687,000	-4,079,000			3,608,000	3,107,220	

不用額	特定財源	細節名				
500,780		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○ 香港おにぎり専門店での海外PRの実施
大町の米を大町の水を使い土鍋で炊いたご飯でつくる、こだわりのおにぎり専門店が香港にオープン。店舗内で当市を紹介する動画の放映、壁面への広告掲載、包装紙でのＰＲ、現地ＳＮＳを通じた情報発信を実施。



○ 農産物等の輸出セミナー
令和５年２月１６日　大町市役所　東大会議室
演題「お米の輸出をはじめるには！」
輸出事業者である風土Link㈱による講演会を開催
参加者：２８人



◆ 事業の成果

○ 米の輸出量が年々増加している。また、日本酒や農産物加工品の販路も徐々に増加している。

【米の輸出量】

R元年度	Ｒ２年度	R3年度	R4年度
２４ｔ	７２ｔ	７２ｔ	９６ｔ

◆ 前年度からの改善点

○ 大町市農産物等輸出協議会において、長野県地域発元気づくり支援金を活用しＰＲ用映像の制作・香港おにぎり専門店におけるＰＲや海外事業者等招へい等実施した。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係					事務事業No.	16135		
事務事業名	中山間地域等直接支払事業							実施方法	補助金		
会計	一般会計	款	6	項	1	目	3	決算書	171	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	55	頁	
	施策目標	【２】地域の特性を生かした農林水産業の振興									
	施策項目	②農地施策の推進									
個別計画	大町市農業振興計画								29	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・農業の生産条件が不利な中山間地域における農地保全、水源涵養、良好な景観形成等の多面的機能の確保と増進

・耕作放棄地の解消と発生防止に努め、将来にわたって持続可能な農業生産活動の継続を目指す。

主な実施内容

中山間地域等において集落等を単位に、農用地を維持管理していくための活動に対し、面積に応じた額を交付する。
（第５期対策期間）
急傾斜地　田１/20以上　畑15°以上　　10aあたり（田21,000円　畑11,500円）
緩傾斜地　田1/100～1/20　畑8°～15°10aあたり（田　8,000円　畑　3,500円）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		12,132,551 円	12,120,814 円	12,193,847 円
財源内訳	特定財源	8,625,002 円	8,625,002 円	9,102,929 円
	一般財源	3,507,549 円	3,495,812 円	3,090,918 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
12,206,000				12,206,000	12,193,847	

不用額	特定財源	細節名	中山間地域等農業直接支払事業補助金	中山間地域等農業直接支払推進事業補助金		
12,153		金額	9,045,929	57,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

〇実施団体数　11集落（R4）・11集落（R3）・14集落（R2）
大町地区　3集落　320,234㎡　5,399,083円
八坂地区　7集落　251,247㎡　4,852,099円
美麻地区　1集落　92,549㎡　1,810,071円



現地確認(宮本集落)



現地確認（清水神明原集落）

◆ 事業の成果

中山間農地の遊休荒廃地化を防ぐうえで、重要な役割を担っている。
今年度、事業を実施している11集落において、集落戦略策定済

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続											
担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係						事務事業No.	16136		
事務事業名	多面的機能支払事業								実施方法	補助金		
会計	一般会計	款	6	項	1	目	3	決算書	171	頁		
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	55	頁		
	施策目標	【２】地域の特性を生かした農林水産業の振興										
	施策項目	②農地施策の推進										
個別計画	大町市農業振興計画								29	頁		

事業の目的

対象とありたい姿

・農業者等が共同で取組む地域活動や地域資源（農地・水路・農道等）の質的向上に資する活動に対して支援する。

・農業が持つ国土の保全、水源の涵養及び自然環境の保全などの多面的機能の維持増進を図る。

主な実施内容

各組織の農用地の維持管理、地域住民との共同活動（植栽等）、水路及び農道等の施設の老朽化等に対する補修及び更新に対して、面積に応じた額を交付している。

〇基本単価　農地維持支払　田3,000円　畑2,000円（10aあたり）
資源向上支払（共同活動・5年未経過）　田2,400円　畑1,440円（10aあたり）
（共同活動・５年経過）　田1,800円　畑1,080円（10aあたり）
（長寿命化）　田4,400円　畑2,000円（10aあたり）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		112,329,255 円	109,654,184 円	105,870,542 円
財源内訳	特定財源	84,385,434 円	82,384,303 円	80,209,938 円
	一般財源	27,943,821 円	27,269,881 円	25,660,604 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
123,454,000	-17,532,000			105,922,000	105,870,542	

不用額	特定財源	細節名	多面的機能支払事業補助金	多面的機能支払推進交付金	多面的機能支払生坂村負担分	
51,458		金額	78,657,813	1,546,000	6,125	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

〇実施団体数　30組織

農地維持支払	取組面積	1,555ha	交付額	45,518,700円
資源向上支払（共同）	取組面積	1,339ha	交付額	23,261,360円
資源向上支払（長寿命化）	取組面積	1,294ha	交付額	36,097,024円



事務研修会
R4年8月22日



技術研修会
水路目地補修
R4年10月19日

◆ 事業の成果

当該事業により、活動組織の共同活動及び水路、農道等の地域資源の維持管理が適切に行われ、水源涵養、自然環境の保全、良好な景観形成など農業の持つ多面的機能の維持増進が図られている。

また、植栽などの共同活動により、地域コミュニティの活性化に繋がっている。

◆ 前年度からの改善点

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課		産業観光部	農林水産課	農業推進支援係				事務事業No.	161310		
事務事業名		園芸振興事業						実施方法	補助金		
会計		一般会計	款	6	項	1	目 3	決算書	173	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	54	頁	
	施策目標	【２】地域の特性を生かした農林水産業の振興									
	施策項目	①生産と販売の促進									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

販売目的で園芸作物の生産拡大に取り組む農業者や団体に対して支援を図る。

主な実施内容

・果樹改新植事業
・園芸生産施設整備事業

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		3,028,583	円	4,484,773	円	3,154,788	円
財源内訳	特定財源		円		円	2,000,000	円
	一般財源	3,028,583	円	4,484,773	円	1,154,788	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
7,570,000	-3,728,000			3,842,000	3,154,788	

不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金			
687,212		金額	2,000,000			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

〇果樹改新植事業

・りんご苗木	1者	305本	215,370 円
・ワイン用ぶどう苗木	1者	547本	245,549 円
・支柱	3者	95.47ａ	1,272,805 円

〇園芸生産施設整備事業

・パイプハウス		2者	753,955 円



りんご新わい化高密植状況

◆ 事業の成果

〇園芸生産施設整備事業
・ミニトマト及びケール栽培用としてパイプハウスを設置し園芸作物の推進、産地化の取組みが前進した。

〇果樹改新植事業
・りんご、ぶどうの苗木及び設備補助を行い園芸作物の推進、産地化の取組みが前進した。

◆ 前年度からの改善点等

・大町市農業等総合振興支援事業補助金として生食用ぶどうに対する補助を拡充した。

・ＪＡ大北や生産者と連携し、園芸作物重点品目を中心に、高収益作物への転換を行い農業所得向上策の一つとして生産拡大を図る。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	産業観光部	農林水産課	庶務係					事務事業No.	161311		
事務事業名	有害鳥獣対策事業							実施方法	その他		
会計	一般会計	款	6	項	1	目	3	決算書	173	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	55	頁	
	施策目標	【２】地域の特性を生かした農林水産業の振興									
	施策項目	①生産と販売の促進									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

サル、シカ、イノシシ、クマ、カラス等の野生鳥獣による農作物被害の防止対策を実施し、農業生産の安定化と遊休荒廃農地の防止を図る。

主な実施内容

○野生鳥獣の追い払い、侵入防止柵の設置などによる侵入防止対策
○刈払いによる緩衝帯の整備等による生息環境管理対策
○県特定鳥獣管理計画等に基づく個体数調整
○モンキードッグの育成
○猟友会員など鳥獣被害対策者の育成

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		20,430,372 円	20,341,942 円	19,414,450 円
財源内訳	特定財源	2,984,344 円	2,765,900 円	7,793,425 円
	一般財源	17,446,028 円	17,576,042 円	11,621,025 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
23,350,000	-1,093,000			22,257,000	19,414,450	

不用額	特定財源	細節名	野生鳥獣総合管理対策事業補助金	ふるさと応援基金繰入金		
2,842,550		金額	2,793,425	5,000,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○ 有害鳥獣駆除・個体数調整
- ニホンザル：248頭
- ニホンジカ：101頭
- イノシシ：24頭
- タヌキ・キツネ・ハクビシン等獣類：64匹
- 鳥類：274羽

○ 侵入防止柵設置補助（市単独事業）
- 設置数：18件
- 設置距離：2,772m



◆ 事業の成果

国庫補助による集落ぐるみでの侵入防止柵の設置、猿害対策協力員やモンキードック等での追い払い、猟友会による捕獲、市単独の補助事業による個々のほ場への侵入防止柵の設置などを総合的に実施し、サルの被害額は減少傾向にある。一方、侵入防止柵等の対策が十分でない地域での被害やニホンジカ、イノシシによる被害も報告されていることから、さらに取り組みを進めていく。



◆ 前年度からの改善点

ニホンジカやイノシシの被害については猟友会とさらに連携を強化し、一斉駆除やわなによる捕獲に取組んでいる。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	産業観光部	農林水産課	庶務係					事務事業No.	161312		
事務事業名	有害鳥獣対策強化事業							実施方法	その他		
会計	一般会計	款	6	項	1	目	3	決算書	175	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	55	頁	
	施策目標	【２】地域の特性を生かした農林水産業の振興									
	施策項目	①生産と販売の促進									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

サルによる農作物被害の防止対策を実施し、農業生産の安定化と遊休荒廃農地の防止を図る。

主な実施内容

〇サルの追い払い、捕獲強化
〇県特定鳥獣管理計画等に基づく個体数調整

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		6,738,619 円	3,318,471 円	1,824,333 円
財源内訳	特定財源	1,980,000 円	円	円
	一般財源	4,758,619 円	3,318,471 円	1,824,333 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
3,344,000	-1,516,000			1,828,000	1,824,333	

不用額	特定財源	細節名				
3,667		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

〇 捕獲数

ニホンザル：248頭



◆ 事業の成果

サルの位置情報をGPSで把握しながら遠隔操作で捕獲可能な大型捕獲檻を設置するなど、効率的な捕獲に取り組むとともに銃や小型檻での捕獲も実施し計画数に近い数のサルを捕獲することができ農作物への被害や出没が激減した。

◆ 前年度からの改善点

大型捕獲檻の見直しや改善を随時行い、GPSとテレメトリーを効果的に活用し、サルの動向を把握しながら檻の設置場所を検討するなど効率的な捕獲ができるよう工夫しながら取り組みを進めた。
また、令和２年度から３ヶ年事業として対策強化に取り組んできたが、令和５年度からは有害鳥獣対策事業に統合し、引き続き農作物被害防止対策を実施していく。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係					事務事業No.	16151		
事務事業名	たかね市民農園管理費							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	6	項	1	目	5	決算書	175	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	55	頁	
	施策目標	【２】地域の特性を生かした農林水産業の振興									
	施策項目	②農地施策の推進									
個別計画	大町市農業振興計画								35	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・農地を希望者に貸付し、潤いのある農園づくりをめざす。
・農業未経験者等に対し、野菜づくり教室を開催し、野菜づくりにより、農業を楽しんでもらい、やりがい、生きがいづくりにつなげていく。
・市民農園の利用を希望する移住者に対し、移住定住専用区画を１年間無償で貸付し、就農のきっかけづくりにつなげていく。

主な実施内容

・借り受けた農地を希望者に貸付（83区画4,269㎡）
・教育ファーム事業における農地を活用した「たのしい野菜づくり教室」開催（14回）
・農業回帰志向に対応する「農」ある移住促進事業

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		494,991 円	421,111 円	422,960 円
財源内訳	特定財源	224,720 円	226,320 円	224,320 円
	一般財源	270,271 円	194,791 円	198,640 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
432,000				432,000	422,960	

不用額	特定財源	細節名	金額
9,040		たかね市民農園使用料	224,320

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

〇たかね市民農園利用状況（72区画※）
R4貸付実績　56区画
R3貸付実績　57区画
R2貸付実績　56区画
※全83区画中、野菜づくり教室で4区画、移住定住専用区画で7区画使用

〇野菜づくり教室開催　14回

〇野菜づくり教室参加者　35世帯



第６回教室（6月18日）

◆ 事業の成果

・野菜づくりにより、やりがい、生きがいづくりにつながっている。
・食農体験活動を通して、自然の力やそれを生かす生産者の知恵と工夫を学び、生産の苦労や喜び、食べ物の大切さを体感できる。
・移住定住専用区画の利用率が80%を超えたことから、当該区画数の増について検討する必要がある。

◆ 前年度からの改善点

・野菜づくり教室の講師から、高齢化等に伴い新たな講師の選任についての要望があり、令和4年度から助手として教室に参加いただき、野菜づくりの専門的分野を習得するなど後継者の育成を行なっている。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	総務部	美麻支所	産業建設係					事務事業No.	16152		
事務事業名	ふたえ市民農園管理費							実施方法	委託		
会計	一般会計			款	6	項	1	目 5	決算書	175	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁		60	頁
	施策目標	【４】移住・定住促進策等の充実強化									
	施策項目	③都市との交流の促進									
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画									12	頁

事業の目的

対象とありたい姿

遊休荒廃農地等の地域資源を活用し、都市住民との交流や促進を図り、大町市への移住や定住促進につなげ、地域振興及び活性化に寄与する。

主な実施内容

交流促進センター及び休憩施設（ラウベ）付き農園４９区画の管理
・交流促進センター、ラウベの管理業務委託（利用者の受付・日常清掃・農作業技術指導等を含む）
・市民農園内の草刈り、除雪業務委託
・ラウベ屋根塗装修繕３棟

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		19,441,344 円	18,570,798 円	20,670,735 円
財源内訳	特定財源	16,033,431 円	15,887,033 円	18,509,510 円
	一般財源	3,407,913 円	2,683,765 円	2,161,225 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
20,497,000	1,222,000			21,719,000	20,670,735	

不用額	特定財源	細節名	交流促進センター使用料	ふたえ市民農園使用料	おおしお市民農園使用料	
1,048,265		金額	533,500	15,876,118	2,099,892	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

ふたえ市民農園休憩施設（ラウベ）　４９棟（内、体験用ラウベ５棟）

ラウベ屋根塗装ほか修繕（3,052千円）
ふたえ市民農園管理業務ほか委託料（5,693千円）
寝具等使用料及び土地賃借料（2,210千円）

令和4年度延べ利用日数　7,707日
令和4年度体験用ラウベ利用者数　75名（36家族）



◆ 事業の成果

コロナ禍により、イベント中止などの影響を受けたものの、ラウベの問い合わせや見学者数は増加している。農業体験のみならず、移住を視野に入れた利用者も存在しているため、それぞれ丁寧な対応を管理人と共に心がけることで、「都市住民との交流や促進」「地域振興及び活性化」の推進に取り組んでいる。

◆ 前年度からの改善点

9月に資源ごみ収集場所を交流促進センター前に設置して利便性を図った（おおしお市民農園利用者も対象）。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続			
担当課	総務部	美麻支所	産業建設係					事務事業No.	16153			
事務事業名	おおしお市民農園管理費							実施方法	委託			
会計	一般会計			款	6	項	1	目 5	決算書	177	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁		60	頁	
	施策目標	【４】移住・定住促進策等の充実強化										
	施策項目	③都市との交流の促進										
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画									12	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

遊休荒廃農地等の地域資源を活用し、都市住民との交流の促進を図り、大町市への移住や定住促進につなげ、地域振興及び活性化に寄与する。

主な実施内容

管理棟及び休憩施設（ラウベ）付き農園３６区画の管理
・管理棟、ラウベの管理業務委託（利用者の受付・日常清掃・農作業技術指導等を含む）
・市民農園内の草刈り、除雪業務委託

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		6,542,752 円	5,383,662 円	5,845,277 円
財源内訳	特定財源	6,542,752 円	5,383,662 円	5,845,277 円
	一般財源	0 円	0 円	0 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
6,263,000				6,263,000	5,845,277	

不用額	特定財源	細節名	おおしお市民農園使用料			
417,723		金額	5,845,277			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

おおしお市民農園休憩施設（ラウベ）　36棟（内、体験用ラウベ1棟）

おおしお市民農園管理業務ほか委託料（3,093千円）
寝具等使用料及び土地賃借料（1,070千円）

令和4年度延べ利用日数　2,826日
令和4年度体験用ラウベ利用者数　30名（14予約）



◆ 事業の成果

コロナ禍により、イベント中止などの影響を受けたものの、ラウベの問い合わせや見学者数は増加している。農業体験のみならず、移住を視野に入れた利用者も存在しているため、それぞれ丁寧な対応を管理人と共に心がけることで、「都市住民との交流や促進」「地域振興及び活性化」の推進に取り組んでいる。

◆ 前年度からの改善点

9月に資源ごみ収集場所をふたえ交流促進センター前に設置し、おおしお市民農園利用者にもご利用いただいている。

主要な施策の成果説明書

担当課	建設水道部	建設課	農地整備係						前年度評価	継続		
事務事業名	農業用施設管理事業								事務事業No.	16213		
									実施方法	委託		
会計	一般会計			款	6	項	2	目	1	決算書	179	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち							後期計画登載頁		75	頁
	施策目標	【１】自然と共生した環境の創造										
	施策項目	①自然環境の保全と共生										
個別計画												頁

事業の目的

対象とありたい姿

・市内に整備された農地においては、ほ場整備以降30年以上が経過しており、農業施設、用排水路施設や暗渠排水機能など老朽化が進み、維持管理に苦慮している。経年劣化等により老朽化する農業用施設等を、県営事業や交付金事業等を活用し水路等の改修やほ場整備を行い、安定した農業経営の実現と防災面での強化を図る。

主な実施内容

・農業用施設工事　3箇所
・緊急修繕工事　8箇所
・県営上原地区ほ場整備事業・・負担金事業（全体事業費10億円　負担割合：国55%、県27.5%、市10%、地元7.5%）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		68,167,907 円	129,946,145 円	63,237,405 円
財源内訳	特定財源	14,276,853 円	93,570,589 円	45,886,000 円
	一般財源	53,891,054 円	36,375,556 円	17,351,405 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
94,742,000		4,634,038		99,376,038	63,237,405	28,600,000

不用額	特定財源	細節名	土地改良事業負担金	農業農村整備事業補助金	水路使用料	北アルプス山麓仁科の里整備基金繰入金
7,538,633		金額	3,000,000	27,877,000	809,846	14,199,154

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

〇農業用施設修繕工事

第5次総合計画の中の、環境に配慮した工業用水や農業用水等の確保・支援として、自治会、農家組合、土地改良区などの要望及び降雨等の自然災害の影響により被害を受けた農業施設の、越荒沢堰他2箇所の改修工事を実施。

〈着工前〉



〈しゅん工〉



◆ 事業の成果

〇第5次総合計画　農地・施設の機能保全及び基盤整備事業の促進として、県営事業により、上原地区でのほ場田再編事業に取り組んでいる。

〇緊急修繕工事、農業用施設改修工事に関しては、老朽化した農業用水路網の効率的な維持保全として、老朽化水路の改修要望、自然災害に伴う緊急対応など11箇所実施した。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	産業観光部	農林水産課	森林振興係					事務事業No.	16312		
事務事業名	林業振興一般経費							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	6	項	3	目	1	決算書	179	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	56	頁	
	施策目標	【２】地域の特性を生かした農林水産業の振興									
	施策項目	③豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

市民を対象とした、みどりのふれあい促進、みどり教育の推進
間伐の促進による健全な森林の育成

主な実施内容

〇みどりの少年団活動など森林体験事業（植樹祭、育樹祭等）を通じた森林や緑とのふれあい促進支援
〇木育の推進のためイベント等におけるつみきの貸し出し
〇県産材を使用した玩具を製作し保育園、児童センター等に設置
〇森林所有者等が行う間伐等に要する経費の負担軽減を図るため補助金の嵩上補助（査定事業費等の5%以内）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		5,328,930 円	3,293,294 円	2,561,680 円
財源内訳	特定財源	1,735,600 円	761,000 円	224,000 円
	一般財源	3,593,330 円	2,532,294 円	2,337,680 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
4,676,000	0	0	0	4,676,000	2,561,680	0

不用額	特定財源	細節名	金額
2,114,320		みんなで支える里山整備事業補助金	224,000

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

県の「信州の森林づくり事業」で施業する、間伐に対し５%の嵩上げ補助を行い、健全な森林を育成する。
嵩上げ対象間伐実施面積：25.13ha
市内保育園への木製積木の貸し出し

◆ 事業の成果

間伐の嵩上げ補助により、林業事業体等による森林整備が促進されている。
市内保育園に木製積木を貸し出し、木製品の良さを体感する。



◆ 前年度からの改善点

令和４年度から木のぬくもりプレゼントと、薪ストーブ等への補助金交付について森林環境譲与税を活用した。

主要な施策の成果説明書

									前年度評価	継続			
担当課		産業観光部	農林水産課	森林振興係					事務事業No.	163112			
事務事業名		森林環境譲与税事業							実施方法	市が直接実施			
会計		一般会計		款	6	項	3	目	1	決算書	181	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち							後期計画登載頁		56	頁	
	施策目標	【２】地域の特性を生かした農林水産業の振興											
	施策項目	③豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化											
個別計画												頁	

事業の目的

対象とありたい姿

森林環境譲与税を地域の森林等の、森林の整備に関する施策、森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、木材利用の促進、森林の有する公益的機能に関する普及啓発等の施策に活用し、森林整備を進める。

主な実施内容

〇森林環境譲与税基金への積み立て
〇森林経営管理制度実施方針に基づいた森林整備
〇松くい虫防除自衛支援のための薬剤補助
〇林業事業体の安全装備等の購入補助
〇市民ホール記載台製作

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		22,818,474 円	35,978,974 円	37,963,469 円
財源内訳	特定財源	22,818,474 円	35,978,974 円	37,963,331 円
	一般財源	0 円	0 円	138 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
37,963,469				37,963,469	37,963,469	

不用額	特定財源	細節名	森林環境譲与税基金	北アルプス連携自立圏事業負担金		
0		金額	34,143,000	3,820,331		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

〇 森林環境譲与税を活用した、森林経営管理制度実施方針に基づいた森林整備を実施。
水源涵養林の森林整備　　居谷里水源南部　　5.08ha

〇 松くい等処理木バイオマス利用として、燻蒸処理した松くい枯損木のウッドチップ化による再利用や危険防止のための伏せ直し

〇 地域産木材を活用した、木材利用啓発用の市民ホール記載台の製作

〇 北アルプス連携自立圏の取組み
林務専門の県派遣職員による、森林環境譲与税を活用した市町村での森林整備や森林振興等への指導、支援



◆ 事業の成果

森林環境譲与税を活用した水源かん養林整備を実施した。
また、林業事業体支援事業として安全装備品等の購入補助を実施。



◆ 前年度からの改善点

薪ストーブ購入補助、木のぬくもりプレゼントに森林環境譲与税を活用。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続			
担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係					事務事業No.	17114			
事務事業名	中小企業支援事業							実施方法	市が直接実施			
会計	一般会計		款	7	項	1	目	1	決算書	183	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁		51	頁	
	施策目標	【１】商工業の振興による地域経済の活性化										
	施策項目	①中小企業等の支援と創業支援による地域経済の活性化										
個別計画											頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・商工会議所事業への支援を行い、商工会議所専門支援員による経営指導、健全な経営環境の維持と事業継続の実現
・中小企業者向け制度融資資金の運用、融資実行時の信用保証料補助及び利子補助を行うことで、中小企業者の資金繰り支援、借入時の負担軽減による経営の健全化を図る。
・関係事業者等への各種支援策による、事業活動の継続を後押し。

主な実施内容

・商工会議所による経営相談業務等への支援
・制度融資資金の斡旋及び相談等
・制度融資資金信用保証料補助及び利子補助事務（新型コロナウイルス感染症対策特別資金、不況対策資金ほか）
・関係事業者に対する独自支援策の実施（キラリ商品券、感染症対策店舗等支援金などの支援金の支給）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		851,869,224 円	756,067,733 円	717,373,142 円
財源内訳	特定財源	696,681,835 円	703,845,000 円	654,035,454 円
	一般財源	155,187,389 円	52,222,733 円	63,337,688 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
704,661,000	13,222,000	-255,704		717,627,296	717,373,142	

不用額	特定財源	細節名	市制度資金融資預託金原資	市制度資金融資預託金利子	制度資金保証料補給金返還金	
254,154		金額	650,000,000	42	4,035,412	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

◇制度融資資金の斡旋及び融資等の相談
融資制度拡充による市内事業者に対する資金繰り支援

◇商工会議所専門支援員による市内中小企業者への経営指導等
小規模事業者向け経営改善普及事業、巡回指導、窓口相談、講習会等の開催

◇地域商品券発行事業
地域経済の活性化、子育て支援等、定住促進に向けた信濃大町キラリ商品券の発行

◇制度融資資金信用保証料補助及び利子補助
借入時の保証協会信用保証料補助、不況対策資金・緊急経済対策枠、ｺﾛﾅ特別資金への利子補助(借入後3年間)

◇関係事業者支援事業の実施
プレミアム付商品券事業、対策店舗等支援金、第6波対応支援金

◆ 事業の成果

・制度融資資金については、特に、新型コロナ対策特別資金を中心に借り入れが多い状況が続いており、事業者の資金面での支援に貢献しているものと考えられる。また、コロナに加え物価の高騰等により厳しい資金繰りを迫られている事業者に対して、借換を可能とした制度融資資金を創設し、事業者支援に努めた。
・会議所と連携を密にとり、会議所による市内中小事業者の相談や経営指導により、事業支援が継続して行われている。
・市内での消費拡大に向けプレミアム付き商品券の発行することにより、コロナや物価高騰で厳しい状況にある市内事業者の支援につながった。

◆ 前年度からの改善点

制度融資資金「新型コロナウイルス感染症対策特別資金」運用期間の延長による継続支援と、「景気変動対策経営安定特別資金」の創設による、中小企業者への資金面での支援。

主要な施策の成果説明書

担当課	産業観光部	商工労政課	特産品振興担当						前年度評価	継続			
事務事業名	特産品振興事業								事務事業No.	17115			
									実施方法	市が直接実施			
会計	一般会計			款	7	項	1	目	1	決算書	185	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち							後期計画登載頁		60	頁	
	施策目標	【４】移住・定住促進策等の充実強化											
	施策項目	④信濃大町ブランドの戦略的な展開											
個別計画	信濃大町ブランド戦略											頁	

事業の目的

対象とありたい姿

他地域の特産品との差別化や、売れる特産品にするために必要なアイデアや改善点を事業者と行政が共有し、効果的な特産品のPRと販路拡大を図り事業を推進する。
地域資源の付加価値を高め、市場において情報発信力や競争力で優位性を持ち、地域住民が誇りを持つだけでなく、観光客や消費者等に共感・愛着・満足度を与え、「訪れたい」・「住みたい」などの気持ちを誘引する。

主な実施内容

（1）アンテナショップの運営、活用	・信濃大町の職を通じた魅力発信
（2）特産品等PR、販路拡大	・物産展等へ参加し、信濃大町サポーター、えんポーターを活用
（3）おおまぴょんの活用	・各種イベントへの参加、SNS等での情報の拡散
（4）黒部ダムカレーの普及推進	・市のソウルフードとしての定着を図る

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		14,053,606 円	17,578,777 円	14,079,913 円
財源内訳	特定財源	229,620 円	427,388 円	613,991 円
	一般財源	13,823,986 円	17,151,389 円	13,465,922 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
16,923,000	2,400,000			19,323,000	14,079,913	

不用額	特定財源	細節名	信濃大町ブランド認知度向上商品販売			
5,243,087		金額	613,991			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

（1）立川市アンテナショップ「信濃大町アルプスプラザ」の運営

信濃大町の食を通じた魅力発信　　売上総額１１，０２０千円　前年比１６．７%減

※Ｒ４は６月に移転オープン。４－５月休業期間となった等の理由で減収

イベント出展業務　外販イベント１６件、店頭イベント５８件

売上推移　（単位：千円）

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
全体	9,029	10,997	12,253	13,237	11,020
店舗売上	7,940	9,868	11,345	12,904	10,520
イベント売上	969	1,091	784	243	500
卸販売売上	120	38	124	90	－
店舗運営委託料	5,136	5,731	5,700	5,700	5,000





（2）観光・農産物・特産品等PR、販路拡大事業

◎物産展等への参加

いーずら大町特産館物産展出展事業　１６件、アンテナショップイベント出展業務　１６件

◎信濃大町サポーター事業　　登録者数　４３名

首都圏在住市出身者などが、現地開催のイベントや物産展で、物販や観光PR をアシスト。

◎信濃大町えんポーター事業　　登録者　１４団体

市の特産品の生産者・製造者が県外の特産品販売を目的としたイベントにおいて、自身の商品の販売を通じ、市場調査や販路拡大とともに、大町市の認知度向上を図る。

◎信濃大町食材プロモーション事業

バーテンダー日本チャンピオン山崎剛氏が「水」に注目した特産品に焦点を当て、事業者や生産者を訪ね自ら取材し大町の魅力を伝える記事（水、日本酒、ビール、ワイン、ハードサイダー、フルーツなど）を制作し、（株）ＯＮＥＳＴＯＲＹによるWebを活用した地域の食材や魅力を発信した。ページ閲覧数１２６，１０１PV

◎地域特産品及び流通販路に関する調査研究業務
　大町市における地域特産品ブランディングの現状と課題を分析し、コーディネーター兼専門家による相談支援体制の構築により、地域特産品の魅力ある商品開発とさらなる販路開拓を支援し、既存商品の付加価値向上のほか、地域産業の維持存続と地域経済の活性化を図り地域課題を解決する。
・地域事業者ヒアリング調査　調査対象１９事業者

（3）おおまぴょん活用
　出演回数　５９回
　◎啓発用グッズ等









＜手ぬぐい（風呂）＞

（4）黒部ダムカレーの普及推進
　◎「黒部ダムカレー新メニュー提供記念」プレゼントキャンペーン　参加１６店舗
　提供店で黒部ダムカレーを食べた方に賞品（信濃大町湧水500mlまたはおおまぴょダムカレーピンバッチ）をプレゼント
　◎上高地あずさ珈琲オープニングプレゼントキャンペーン参加（6/22～7/23）
　黒部ダムカレーセット提供。
　◎黒部ダムカレー食べ歩きマップパンフレット配布。



◆ 前年度からの改善点
・令和4年度の地域特産品及び流通販路に関する調査研究業務の成果を活かし、新たな売れる特産品の開発と、既存の特産品の磨き上げにより、特産品振興と販路拡大を図る。
・（株）まちづくり立川と連携し、えんポーターの定期的な派遣によるマーケティングの場の提供、地域事業者とのマッチングを進め、多摩地区を中心にした販路の拡大と観光ＰＲを推進。
・「上高地あずさ珈琲」や「立川市アンテナショップ」を拠点として、特産品の販路拡大や信濃大町ブランド及び観光情報発信を実施。

主要な施策の成果説明書

									前年度評価	継続		
担当課		産業観光部	商工労政課	商業労政係					事務事業No.	17116		
事務事業名		中心市街地多目的ホール管理事業							実施方法	指定管理		
会計		一般会計	款	7	項	1	目	1	決算書	185	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち							後期計画登載頁	52	頁	
	施策目標	【１】商工業の振興による地域経済の活性化										
	施策項目	②中心市街地の活性化										
個別計画											頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・中心市街地多目的ホールの管理業務を指定管理者へ委託することにより、効率的な施設運営を行い、市民の福祉向上と中心市街地の振興を図る。

主な実施内容

・施設の利用受付許可事務
・利用料の収受
・事務及び施設、設備等の維持管理

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		2,801,000	円	2,791,000	円	2,791,000	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	2,801,000	円	2,791,000	円	2,791,000	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
2,892,000				2,892,000	2,791,000	

不用額	特定財源	細節名				
101,000		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

◇中心市街地多目的ホール指定管理委託

利用受付許可、使用料の収受、ホール・公衆トイレの維持管理等

◆ 事業の成果

・新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館業務は厳しい状況にあるが、一定数の利用者があり、中心市街地にある施設の利用による集客に一定の効果がある。

・公衆トイレ管理状況について、清掃、衛生面の配慮がなされ、多くの方に利用していただいている。

◆ 前年度からの改善点

・特になし

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係					事務事業No.	17117		
事務事業名	中心市街地活性化事業							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計		款	7	項	1	目 1	決算書	185	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	52	頁	
	施策目標	【１】商工業の振興による地域経済の活性化									
	施策項目	②中心市街地の活性化									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・中心市街地活性化基本計画に基づき、実施主体の関係団体との連携により、各種施策を実行し活性化を目指すことで施策事業の推進を図る。
・中心市街地振興条例に基づく集客施設への助成を行うことにより、民間の投資意欲を促し、集客施設等の集約による都市機能の充実、賑わいを創出する。
・中小企業振興振興条例に基づく指定施設への助成を行うことで、既存店舗の継続と、空き店舗活用による中心市街地の活性化の促進を進めていく。

主な実施内容

・中心市街地活性化基本計画（第4次）に基づく具体的施策の推進
・関係団体との連携による各種事業の実施（やまびこまつり、ゆかたまつり、駅前拠点施設運営、荷ぐるま市等）
・中心市街地振興条例に基づく事業者支援（建築費・固定資産税等助成）
・中小企業振興条例に基づく事業者支援（空き店舗活用事業、商店街消費者交流事業等）
・店舗改修事業補助金による既存店舗等の事業継続支援

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		6,730,691	円	10,310,879	円	18,113,176	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	6,730,691	円	10,310,879	円	18,113,176	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
30,494,000	-12,548,000		255,704	18,201,704	18,113,176	

不用額	特定財源	細節名				
88,528		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

◇中心市街地活性化基本計画（第4次）の推進
関係団体との連携による施策・事業の実施

◇関連条例や要綱に基づく空き店舗活用、店舗改修事業
補助制度の有効活用による空き店舗の解消、事業継続を支援する。

◇商店街消費者交流事業等への支援
商店街等が実施する独自事業を通じ、消費者との交流を促し中心市街地の活性化を図る。

◇中心市街地振興条例に基づく集客施設の立地促進
中心市街地内へ集客施設等を集約し、都市機能を充実させるとともに、賑わいの創出を図る。

◆ 事業の成果

・中心市街地活性化基本計画（第4次）の推進のため、駅前拠点施設運営、荷ぐるま市開催（まちづくり協議会）、あめ市（商店街連合会）などを実施し、中心市街地の活性化に努めている。
・関連条例や要綱に基づき、空き店舗活用（改修、家賃補助）、店舗改修に助成金を交付している。
・商店街消費者交流事業等への支援策として、商店街連合会が行うイベントへの補助（えびす講、あめ市）
・中心市街地振興条例に基づく助成事業により、中心市街地への集客施設の新規出店を促す。

◆ 前年度からの改善点

・中心市街地振興条例の有効期限を令和10年３月31日まで5年間延長し、集合施設等の新築に対する助成を継続することで、中心市街地に集客施設等を集約し、賑わいの創出と活性化を図る。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	事業完了		
担当課		産業観光部	商工労政課	商業労政係				事務事業No.	171117		
事務事業名		がんばろう！大町応援券事業						実施方法	委託		
会計		一般会計	款	7	項	1	目 1	決算書	187	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	51	頁	
	施策目標	【１】商工業の振興による地域経済の活性化									
	施策項目	①中小企業等の支援と創業支援による地域経済の活性化									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・市民を対象にプレミアム付地域商品券「がんばろう！大町応援券２０２２」を発行し、コロナ禍における市民生活を支援するとともに、市内の消費喚起を促し、市内経済の回復を図る。

主な実施内容

・プレミアム付地域商品券の購入引換券の発行（住民基本台帳登録者全員）
・プレミアム付地域商品券の販売及び換金等業務委託（大町商工会議所）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		145,068,267 円	122,359,029 円	123,590,844 円
財源内訳	特定財源	138,117,000 円	117,024,000 円	122,354,000 円
	一般財源	6,951,267 円	5,335,029 円	1,236,844 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
	123,910,000			123,910,000	123,590,844	

不用額	特定財源	細節名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		
319,156		金額	122,354,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

◇販売価格　5,000円／冊（1,000円×10枚）
◇プレミアム率　100%（5,000円／冊）
◇発行数／額　27,000冊／135,000,000円（額面270,000,000円）
◇販売期間／利用期間　4.9.26～5.1.31

◆ 事業の成果

・販売実績　22,761冊、113,805,000円（引換率86.7%　22,761冊／26,241冊）
・換金実績　227,007,000円／227,610,000円（99.7%）

◆ 前年度からの改善点

・広報等、周知を図った。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続											
担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係						事務事業No.	171118		
事務事業名	官民連携まちなか再生推進事業								実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計		款	7	項	1	目	1	決算書	187	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち							後期計画登載頁	52	頁	
	施策目標	【１】商工業の振興による地域経済の活性化										
	施策項目	②中心市街地の活性化										
個別計画											頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・中心市街地の活性化が持続的に発展するための将来像を官民が共有し、まちづくりは人づくりとして、これを実現するため、公・民・学連携のプラットフォームを構築し、新たなまちづくりを進める人材を発掘・育成するとともに、世代を超えて地域に思いをもつ人々が、継続的なまちづくりに取り組むネットワークの形成を目指す取組みを進めていく。

主な実施内容

・100人衆準備会の設置
・100人衆会議の開催
・社会実証実験の実施

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		1,529,000 円	3,626,000 円	11,250 円
財源内訳	特定財源	1,076,000 円	3,500,000 円	円
	一般財源	453,000 円	126,000 円	11,250 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
2,750,000	-2,000,000			750,000	11,250	

不用額	特定財源	細節名				
738,750		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動
◇100人衆会議の開催
◇高校生と地域人による協働と連携のまちづくり活動の実践
◇社会実証実験の実施

◆ 事業の成果
・100人衆会議を２回開催し、未来ビジョンの策定と組織づくりについての協議を行い、民間主導によるまちづくりに向けた気運の醸成を図った。
・社会実証実験の実施（11/19）
えびす講に合わせ、駅前通りの一部を歩行者天国にして道路空間を含む市街地空間の利用方法などについて実証実験を行い、賑わいの創出につなげた。
来訪者に対して、アーケードの必要性に関するアンケートを実施。

◆ 前年度からの改善点
・特になし

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課		産業観光部	産業立地戦略室					事務事業No.	17122		
事務事業名		工業振興・企業誘致事業						実施方法	市が直接実施		
会計		一般会計		款	7	項	1	目 2	決算書	187	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁		52	頁
	施策目標	【１】商工業の振興による地域経済の活性化									
	施策項目	③企業誘致の推進									
個別計画											頁

事業の目的

対象とありたい姿

・市民や定住希望者に「安定した雇用の場の確保」を実現するため、企業情報を収集し、既存企業の育成支援や市民が働きたいと思う企業の企業誘致活動を実施する。
・働く場を確保し、市民及びUターンや移住希望者が安心して住めるまちにし人口の社会減を縮小するとともに、既存企業の発展、新たな企業の立地による経済的波及効果により、地域産業経済の活性化を目指す。

主な実施内容

・既存企業の育成、支援
　市内製造業景況調査などの実施。情報をもとに各種支援策につなげる。
・企業誘致の推進
　拠点整備に関する企業情報を収集し、地域特性を活かした戦略的な企業誘致の展開。また、その情報に基づくトップセールスの実施。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		893,204 円	870,655 円	478,825 円
財源内訳	特定財源	円	円	円
	一般財源	893,204 円	870,655 円	478,825 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
1,317,000				1,317,000	478,825	

不用額	特定財源	細節名				
838,175		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

〇企業相談業務　７９件／年

相談件数推移　（単位：件）

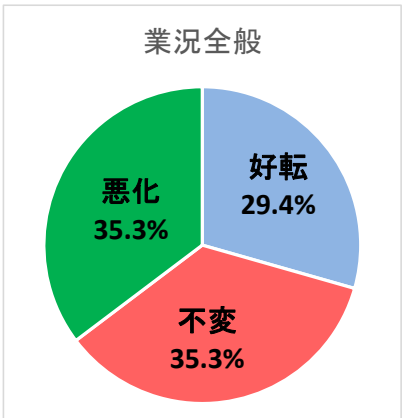
	R2年度	R3年度	R4年度
企業相談	35	41	79

〇企業誘致等に係る事業用物件の照会
　立地条件に該当する４社へ市内物件情報を提供

〇市内製造業等景況調査　2回／年
　令和４年１０月、市内製造業の４１社に調査票を送付 → 回答率８２．９％

【業況】令和４年３月末と比較した令和４年９月末の状況
景況感ＤＩ　〔好転企業割合 － 悪化企業割合〕　△５．９％
比較　R4上期　１９．８ポイント下降
　　対前年同時期　３．０ポイント上降

前年同時期（ＤＩ△８．９％）より　３．０ポイント上降しているが、２年連続マイナスとなる。コロナ禍の底から回復してきた傾向を示しウィズコロナ・アフターコロナに向けた取り組みは広がっているが、物価高、人手不足はしばらく懸念材料として依然侮れず影響は大きい。



◆ 事業の成果

〇新設企業件数　１社（株式会社みすずコーポレーション）

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課		産業観光部	産業立地戦略室					事務事業No.	17123		
事務事業名		工場等誘致振興助成事業						実施方法	補助金		
会計		一般会計	款	7	項	1	目 2	決算書	189	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	52	頁	
	施策目標	【１】商工業の振興による地域経済の活性化									
	施策項目	③企業誘致の推進									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・市民や移住希望者に「安定した雇用の場の確保」を実現するため、企業情報を収集し、既存企業の育成支援や市民が働きたいと思う企業の企業誘致活動を実施する。

・働く場を確保し、市民及びＩUターンや移住希望者が安心して住めるまちにし人口の社会減を縮小するとともに、既存企業の発展、新たな企業の立地による経済的波及効果により、地域産業経済の活性化を目指す。

主な実施内容

・大町市工場等誘致振興条例に基づく助成
　雇用を伴う設備投資（新設・移設・増設）に対して助成金を支給。

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		6,026,800	円	316,543,300	円	328,169,800	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	6,026,800	円	316,543,300	円	328,169,800	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
335,619,000	-6,701,000			328,918,000	328,169,800	

不用額	特定財源	細節名				
748,200		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

〇大町市工場等誘致振興審議会開催　３回／年
　審議案件　：助成事業の指定に関する事項２件（増設２件）
　　：助成事業の確定に関する事項２件（新設1件、増設１件）

〇大町市工場等誘致振興条例に基づく助成金
　投下固定資産分の助成　新設１社、増設１社
　固定資産税相当額の助成　５社

◆ 事業の成果

〇新設(移設・増設)企業数　２社
〇増加した新規常用雇用者数　２５人





主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課		産業観光部	観光課	観光振興係				事務事業No.	17133		
事務事業名		観光資源活用事業						実施方法	負担金		
会計		一般会計	款	7	項	1	目	3	決算書	188～191	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁		57・58	頁
	施策目標	【３】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画		大町市観光振興計画									頁

事業の目的

対象とありたい姿

・観光課所管施設の適切な維持管理、温泉資源の環境整備に向けた支援
　各施設の管理・清掃業務を委託し、適正な維持管理・環境美化等に努める。また、関係団体への支援により温泉資源の環境整備を図る。
・イベント用照明機材の購入
　夜間イベント用照明機材を購入し、歴史的資源等の周知啓発・有効活用を図る。

主な実施内容

・観光施設の維持管理等
　公衆トイレの維持管理（光熱水費、修繕、汲取り、清掃、浄化槽点検等）、流鏑馬会館管理運営業務
・照明機材を活用したイベント開催
　歴史的資源のライトアップイベントの開催（仁科神明宮、霊松寺、温泉郷）
・関係団体への活動支援（負担金・補助金）
　市温泉地連絡協議会、大北温泉協会、SDGs学習旅行誘致協議会、旧酒の博物館活用事業補助ほか

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		53,015,557 円	31,770,490 円	26,155,539 円
財源内訳	特定財源	34,533,000 円	3,926,000 円	4,434,000 円
	一般財源	18,482,557 円	27,844,490 円	21,721,539 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
21,785,000	6,280,000			28,065,000	26,155,539	

不用額	特定財源	細節名	新型コロナ地方創生臨時交付金	地域発元気づくり支援金	貸地料	観光施設光熱水使用料
1,909,461		金額	2,378,000	1,515,000	306,000	235,000

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動
○ 流鏑馬会館入場者数　3,149人（令和3年1,785人、対前年比176.4%）
○ 観光施設維持管理
　・点検清掃業務
　公衆トイレ5カ所（七倉ダム下、七倉登山補導所横、餓鬼岳登山道入口、高瀬ダム天端、木崎湖キャンプ場）
　駐車場3カ所（扇沢市営駐車場、七倉ダム下駐車場、七倉広場市営駐車場）
　浄化槽3カ所（大町温泉郷森林劇場、扇沢総合案内センター、七倉登山補導所）
　・市営駐車場等誘導整理業務（扇沢市営駐車場、七倉市営駐車場）
○ ライトアップイベントの開催
　屋外照明機材によるライトアップを実施、信濃大町駅・温泉郷からのシャトルバスを運行し誘客を図った。
　仁科神明宮　9/17～25（9日間）　来場者650人
　霊　松　寺　10/29～11/6（9日間）　来場者2,000人
　大町温泉郷　2/4　来場者300人
◆ 事業の成果
　観光施設や関係団体への支援によりの適切な維持管理に努められたとともに、イベント開催等により貴重な資源として有効活用できた。
◆ 前年度からの改善点
　・ライトアップイベント事業による誘客の促進
　・デジタルサイネージを活用した周知啓発
　・旧酒の博物館の有効活用（芸術祭作品の継続展示）





主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	産業観光部	観光課	観光振興係					事務事業No.	17134		
事務事業名	2次交通対策事業							実施方法	委託		
会計	一般会計	款	7	項	1	目	3	決算書	190～191	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	57・58	頁	
	施策目標	【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画	大町市観光振興計画									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

来訪者に対し、市内に点在する観光施設への移動手段を整備し、利便性の向上と誘客の促進を図る。

市内の観光施設をはじめ、広域的な観光周遊を担う2次交通を整備し、地域全体としての誘客促進と観光消費額の増大による経済活性化を目指していく。

主な実施内容

- 周遊バス（信濃大町ぐるりん号）の運行
- 信濃大町プレミアム付観光タクシーチケット販売
- 三市村2次交通事業（アルペンライナー）運行支援
- 大糸線ゆう浪漫委員会特別事業（信州まつもと空港シャトル便）運行支援

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		17,479,358 円	21,941,408 円	17,549,291 円
財源内訳	特定財源	2,770,000 円	3,258,000 円	8,730,000 円
	一般財源	14,709,358 円	18,683,408 円	8,819,291 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
15,058,000	3,000,000			18,058,000	17,549,291	

不用額	特定財源	細節名	新型コロナ地方創生臨時交付金			
508,709		金額	8,730,000			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

○ 周遊バス「信濃大町ぐるりん号」運行
- 運行期間　4/29～5/8、7/16～10/10の一部平日と土日祝（42日間、11便/日）

※ボンネットバス　40日間使用
- 利用運賃　大人200円/回、500円/1日券、1,000円/あづみの周遊バス共通券
　小人100円/回、200円/1日券、500円/あづみの周遊バス共通券

○ 信濃大町プレミアム付観光タクシーチケット販売
2次交通手段が乏しい観光地のアクセス向上を図るためタクシーチケットを販売（3,000円で5,000円分）

○ 三市村2次交通事業（アルペンライナー）運行支援
広域間（ 扇沢～白馬・小谷間）周遊バス運行を支援し地域一体となった誘客を促進する。

○ 大糸線ゆう浪漫委員会特別事業（松本空港シャトル便）運行支援
信州まつもと空港を利用して安曇野や北アルプス地域への来訪者の利便性の向上と観光客誘客を促進する。

◆ 事業の成果

○ 周遊バス「信濃大町ぐるりん号」利用実績
令和元年度：2,330人、令和2年度：813人、令和3年度：698人、令和4年度：1,141人

○ 信濃大町プレミアム付観光タクシーチケット販売実績
販売数3,750冊、販売人数2,102人

○ 大糸線ゆう浪漫委員会特別事業（信州まつもと空港シャトル便）運行実績
乗車人員2,622人（信濃大町駅160人、温泉郷240人）



主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	産業観光部	観光課	観光振興係					事務事業No.	17135		
事務事業名	仁科三湖振興事業							実施方法	指定管理		
会計	一般会計	款	7	項	1	目	3	決算書	190～193	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	57・58	頁	
	施策目標	【３】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画	大町市観光振興計画									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・仁科三湖周辺観光施設の維持管理と環境整備により、周辺環境を保全するとともに観光振興を図る。

・観光施設の適切な維持管理に向けて、中・長期的な視点から改修・更新を計画的に実施する。

主な実施内容

観光施設・温泉管の維持管理、修繕等
・アミューズメントハウス「ゆ～ぷる木崎湖」の指定管理による維持管理
・アミューズメントハウス「ゆ～ぷる木崎湖」のろ過装置、屋根緊急修繕等
・海ノ口キャンプ場公衆トイレ建設工事
・仁科三湖環境整備への支援

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		38,235,228 円	52,221,721 円	66,481,242 円
財源内訳	特定財源	163,000 円	10,167,797 円	21,883,000 円
	一般財源	38,072,228 円	42,053,924 円	44,598,242 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
65,299,000			2,952,640	68,251,640	66,481,242	1,000,000

不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金	木崎湖キャンプ場トイレ施設管理費	観光施設整備事業債	
770,398		金額	20,000	163,000	21,700,000	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○ アミューズメントハウスの維持管理（施設管理、施設運営、緊急時対応、自主事業）
- 指定管理者による維持管理　指定管理者：木崎湖温泉開発㈱、指定管理期間：R2.4～R7.3
- 施設維持に係る修繕

○ 海ノ口キャンプ場公衆トイレ建設工事
海ノ口キャンプ場公衆トイレを新設し、来訪者等受け入れ環境を整備する。

○ 仁科三湖環境整備等への支援
仁科三湖周辺環境整備に向けた関係団体への支援

◆ 事業の成果

○ 大町市アミューズメントハウス利用実績等　※H8.4開館（R3.11プール利用者100万人突破）
- 利用実績
  令和元年度：32,701人、令和2年度：26,786人、令和3年度：31,200人、令和4年度：27,104人
- 施設維持に係る修繕等（ろ過装置修繕、屋根緊急修繕）

○ 海ノ口キャンプ場公衆トイレ建設工事
- 施工者　㈱岡澤組
- 施工概要：新築（木造平屋建て）、工事費：21,780,000円、工期：R4.9～R5.1

○ 仁科三湖環境整備等への支援
- 仁科三湖を美しくする会（7自治会、2漁協が美化清掃活動等を実施）
- 仁科三湖環境整備事業補助金の交付（中綱湖周辺整備）

◆ 前年度からの改善点
海ノ口キャンプ場公衆トイレ建設工事の施工

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	産業観光部	観光課	観光振興係					事務事業No.	17136		
事務事業名	広域観光推進事業							実施方法	負担金		
会計	一般会計		款	7	項	1	目	3	決算書	192~193	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁		57・58	頁
	施策目標	【３】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画	大町市観光振興計画										頁

事業の目的

対象とありたい姿

関係団体が実施する各種事業（プロモーション、キャンペーン、情報発信、受入体制整備、二次交通対策等）を支援し、広域的な周遊観光の推進に取り組む。

主な実施内容

・委託事業（信州まつもと空港利用促進観光プロモーション業務、北アルプス連携自立圏地域間産業連関表作成業務）
・関係団体が実施する広域的な観光事業への支援（負担金）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		5,292,000 円	16,337,448 円	17,600,448 円
財源内訳	特定財源	404,000 円	2,281,000 円	2,838,000 円
	一般財源	4,888,000 円	14,056,448 円	14,762,448 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
17,809,000				17,809,000	17,600,448	

不用額	特定財源	細節名	観光による経済波及状況調査事業	北アルプス連携自立圏事業		
208,552		金額	662,000	2,176,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○ 委託事業

・信州まつもと空港利用促進観光プロモーション業務
神戸線を活用した関西地区へのプロモーション活動、モニターツアーの実施
・北アルプス連携自立圏地域間産業連関表作成業務
圏域内における産業連関表を作成、各市町村の経済規模や産業構造を定量的に把握し、政策展開につなげていく。

○ 関係団体への支援（負担金）

広域的な観光事業を行う関係団体への支援を通じ、周遊観光と誘客を促進する。

◆ 事業の成果

○ 委託事業

・信州まつもと空港利用促進観光プロモーション業務
ラジオを活用したプロモーション（放送9回、告知パブ6回、CM21回）、
モニターツアーの実施（4/23・24、参加者27人）
・北アルプス連携自立圏地域間産業連関表作成業務
圏域市町村別産業連関表の作成、圏域の経済分析及び観光振興等施策の検討

○ 広域的観光関係団体支援

県観光機構、まつもと空港地元利用促進協議会、大糸線ゆう浪漫委員会、白馬バレーツーリズムほか

◆ 前年度からの改善点

・信州まつもと空港利用促進観光プロモーション業務による関西方面へのプロモーションの展開
・地域間産業連関表による域内の状況把握と今後の政策展開

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	産業観光部	観光課	観光振興係					事務事業No.	17138		
事務事業名	山岳観光推進事業							実施方法	委託		
会計	一般会計	款	7	項	1	目	3	決算書	192~195	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁	57・58	頁	
	施策目標	【３】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画	大町市観光振興計画									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

山岳関係者との連携により、登山環境を整備（ 登山道等の整備、高瀬渓谷への誘客、登山口駐車場の整備、扇沢総合案内センターの開設等）し、山岳観光を推進する。

主な実施内容

- 登山道の整備
- 扇沢総合案内センターの運営
- 扇沢周辺駐車場における観光混雑の分散化に向けた取組み
- 登山関係団体への支援

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		8,055,102 円	15,326,475 円	39,329,599 円
財源内訳	特定財源	7,718,000 円	10,162,000 円	33,878,000 円
	一般財源	337,102 円	5,164,475 円	5,451,599 円

予算

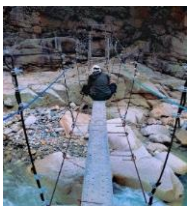
令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
14,172,000	28,187,000		-454,940	41,904,060	39,329,599	2,000,000

不用額	特定財源	細節名	新型コロナ地方創生臨時交付金	デジタル田園都市国家構想推進交付金	ふるさと応援基金繰入金	扇沢総合案内センター使用料ほか
574,461		金額	13,958,000	14,243,000	5,000,000	677,000

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり





◆ 施策目標に資する活動

○ 登山環境の整備
- 登山道整備・調査への支援
- 登山案内標柱の作成・設置

○ 扇沢総合案内センターの運営

専任職員による観光案内や適正な施設の維持管理

○ 扇沢周辺駐車場における観光混雑の分散化に向けた取組み

AIを活用したシステム等を用いた車両属性データの把握・数値化、混雑状況の可視化と適切な情報発信

○ 登山関係団体への支援

山岳観光の推進に向けた関係団体への支援（負担金・補助金）

◆ 事業の成果

○ 登山環境の整備
- 登山道の整備・調査（山小屋60日、案内人組合30日） 7路線への補助
- 山小屋利用者（宿泊・日帰り） R1：94,590人、R2：20,820人、R3：33,665人、R4：34,528人

○ 扇沢総合案内センターの運営
- 利用者 R1：12,442人、R2：7,181人、R3：9,808人、R4：9,814人

○ 扇沢周辺駐車場における観光混雑の分散化に向けた取組み
- デジタル田園都市国家推進交付金の活用によるシステム構築（解析システム、屋外カメラ設置調整等）



◆ 前年度からの改善点
- 扇沢周辺駐車場における観光混雑の分散化に向けたシステム構築
- 高瀬川管理用道路七倉ゲート自動化に伴う支援

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	産業観光部	観光課	観光振興係					事務事業No.	17139		
事務事業名	滞在型観光推進事業							実施方法	負担金		
会計	一般会計			款	7	項	1	目 3	決算書	194～197	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第２章_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						後期計画登載頁		57・58	頁
	施策目標	【３】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画	大町市観光振興計画										頁

事業の目的

対象とありたい姿

市観光協会など観光関係者と連携し、国内外に向けたプロモーションや情報発信をはじめ、市内の主要なイベント等への支援を通じ、外貨の獲得、おもてなしの心で観光客を迎える魅力ある観光地づくりを進め、滞在型観光への転換と基幹産業となる宿泊観光業の活性化を図る。

主な実施内容

- 各種観光プロモーションや情報発信
- 観光関連団体への支援
- 観光に精通した人材の登用による観光振興
- 仁科三湖周辺の受入環境整備

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		261,069,987 円	215,412,184 円	194,640,821 円
財源内訳	特定財源	196,412,000 円	157,788,400 円	93,671,000 円
	一般財源	64,657,987 円	57,623,784 円	100,969,821 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
70,597,000	125,737,000		232,300	196,566,300	194,640,821	

不用額	特定財源	細節名	新型コロナ地方創生臨時交付金	ふるさと応援基金繰入金	観光地域づくり重点支援事業補助金	観光案内所利用負担金ほか
1,925,479		金額	87,333,000	4,786,000	1,100,000	452,000

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○ 各種観光プロモーションや情報発信
- 観光関連団体を通じた効果的なプロモーションの実施

○ 観光関連団体への支援
- 観光関連団体による滞在型観光の推進に向けた事業への支援

○ 観光に精通した人材の登用による観光振興
- 専門的見地を持つ専門人材を活用した各種施策の実行

○ 仁科三湖周辺の受入環境整備

○ 市プロモーション委員会負担金
- 発信・宣伝事業（メディアタイアップ、ＳＮＳ・ＷＥＢプロモーションなど）
- 黒部ダムイベント（関電トンネル破砕帯見学ツアー、川床トレッキングツアー、立山黒部アルペンルート全線開業５０周年事業、おもてなし武将隊演舞パフォーマンスなど）
- インバウンド　オンライン商談会（シンガポール、香港など）、フリーペーパー掲載など
- 宿泊キャンペーン（第３弾：令和３年４月１４日～８月３１日、第４弾：令和３年１０月１日～令和４年２月２８日）

○ 冬の宣伝協議会負担金
- 広告・宣伝（フリーペーパー、ＳＮＳ・テレビ、新聞等）、無料シャトルバス（長野駅及び松本駅）、市内スキー場の新型コロナウイルス感染症対策支援、市民リフト券割引キャンペーン

○ 市貸切バスツアー支援事業補助金　３事業所

○ 市観光協会支援（負担金）　　法人化となった市観光協会の継続した支援
- 観光案内業務、各種メディア情報発信（ラジオ、新聞など）、市公式観光サイト「信濃大町なび」の運用e-bikeレンタサイクル受付・管理業務、観光ガイド手配、受託事業（五日町バス専用駐車場管理受託、とくとくタクシーチケット販売）、七倉観光案内所の開設、パンフレット・ポスター等制作、インフルエンサー招聘事業、信州の安心なお店の登録支援、新型コロナ軽症感染者輸送車両運行、各種誘致イベント開催など

○ 観光案内業務（市観光協会負担金）
- 国内　窓口11,240件(前年度10,002件)　　電話9,222件(前年度7,897件)　　メール294件(239件)
- インバウンド　窓口8件(前年度19件)　　電話0件(前年度5件)　　メール0件(前年度1件)
- 宿泊案内　777件(前年度656件)
- 信濃大町なび（ＨＰ）からの情報発信　ＨＰ閲覧数1,316,855ＰＶ（前年度1,132,482ＰＶ）
- SNSによる情報発信
- e-bikeレンタサイクル（ＪＲ信濃大町駅、木崎湖）　　レンタル総数353台（前年度225台）
- 北アルプス国際芸術祭　ツアーへのガイド手配（旅行社ツアー４回、市連合自治会ツアーなど）
- イベント事業
  5/５塩の道湖畔ウォーク＆フォトコンテスト166名、
  6/20木崎湖湖水開き地引網と水上トレッキング 中止、
  10/30秋の塩の道湖畔ウォーク＆フォトコンテスト121名、11/3 OMACHIログイニング 84名　など

○ 地域活性化企業人派遣事業負担金　　観光に精通した企業からの人材派遣（1名）　週１回程度

○ おおまち雪まつり事業補助金

◆ 事業の成果
○ 各種観光プロモーションや情報発信
信濃大町なびによる情報発信・周知啓発（観光協会）、SNSを活用したﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ（ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ委員会）等

○ 観光関連団体への支援
観光協会、プロモーション委員会、冬の観光宣伝協議会、雪まつり実行委員会等（負担金・補助金）

○ 観光に精通した人材の登用による観光振興
地域活性化企業人による施策の企画立案・実施、観光振興アドバイザーによる事業の進捗管理

○ 仁科三湖周辺の受入環境整備
- 中綱湖駐車場整備工事（砕石舗装工、工事費：2,915,000円、工期：R4.12～R5.3）
- 第３弾及び第４弾　宿泊キャンペーン
  宿泊助成126,130,000円　宿泊35,429人
  （4,000円×27,536名・2,000円×7,793名）
- 市内リフト券割引キャンペーン（市内２スキー場）
  通常リフト料金から大人2,000円、小人1,000円
  リフト助成2,533,400円　大人682名、小人453名

◆ 前年度からの改善点
- コロナ禍における誘客促進事業（宿泊キャンペーン、スキー場リフト券割引キャンペーン等）
  宿泊キャンペーン（3回）　宿泊助成111,362,000円、40,767人利用
  スキー場リフト券割引キャンペーン　助成額4,613,100円、2,214人・親子191組利用
- 温泉郷滞在魅力づくり補助金による受け入れ環境の整備、誘客の促進
  まち歩きマップ・看板作成、河川敷への照明設備設置

主要な施策の成果説明書

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係							前年度評価	継続		
事務事業名	温泉供給事業									事務事業No.	17141		
										実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計			款	7	項	1	目	4	決算書	199	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち								後期計画登載頁	76	頁	
	施策目標	【１】自然と共生した環境の創造											
	施策項目	③安定した温泉の供給											
個別計画												頁	

事業の目的

対象とありたい姿

重要な資源である温泉を有効活用し、温泉利用者が将来にわたって常時安心して利用できるよう、温泉の安定供給体制の維持と事業運営の継続により、市の観光振興と市民福祉の向上を目的とする。

主な実施内容

上原地区、高瀬分譲地等への温泉の安定供給を維持するため、日常点検を通じ適切な施設管理を行うとともに、大町温泉郷地域内の老朽化した施設の計画的な更新を進める。

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		35,967,778	円	38,634,481	円	52,337,319	円
財源内訳	特定財源	27,557,778	円	36,912,600	円	50,995,250	円
	一般財源	8,410,000	円	1,721,881	円	1,342,069	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
62,339,000	-9,700,000			52,639,000	52,337,319	

不用額	特定財源	細節名	引湯管等貸付収入	温泉利用料	温泉配湯管整備事業債	
301,681		金額	2,903,000	18,580,000	40,000,000	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

利用者に安定して温泉を供給するため、施設の日常点検を通じて施設の状況を把握し、必要に応じて修繕を実施するとともに、施設の計画的な更新に努めた。

① 施設の維持管理
- 施設の日常点検　年間　240日
- 電気計装設備点検　年１回

② 温泉供給の安定化
- 温泉郷配湯管の更新　L=384m
- 流量調整用電動弁他修繕工事　１件
- 配湯管漏湯緊急修繕工事　1件



配湯管布設替工事



左記近景（90°曲管部）



流量調整用電動弁他修繕工事



配湯管漏湯緊急修繕工事

◆ 事業の成果
- 上原温泉供給量　契約口数28口　42ℓ/分
- 高瀬分譲地温泉供給量　契約口数101口　151.5ℓ/分
- 温泉郷配湯管更新率　87.1%

◆ 前年度からの改善点
- 配湯管更新による漏湯箇所の改善により、配湯管内圧力が安定し既存加圧ポンプ施設が不要となった。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	建設水道部	建設課	建設係					事務事業No.	18221		
事務事業名	道路維持管理事業							実施方法	委託・工事・直営		
会計	一般会計	款	8	項	2	目	2	決算書	203	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁	80	頁	
	施策目標	【２】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	⑦安全で快適な道路整備・維持管理									
個別計画	「舗装長寿命化修繕計画」、「橋梁長寿命化修繕計画」、「トンネル等長寿命化修繕計画」									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

幹線道路及び生活道路（総延長約866km）の安全で快適な移動の確保、防災・減災機能の維持、舗装及び道路施設の延命化を図る。

主な実施内容

幹線道路については、「舗装長寿命化修繕計画」に基づき計画的に修繕を実施。また、比較的交通量の少ない生活道路については、日常点検や地域要望等を踏まえ、道路施設（路面排水施設等）を含め緊急度等に応じ修繕を実施。

橋梁やトンネル等の重要構造物については、「橋梁・トンネル等長寿命化修繕計画」に基づき計画的に延命予防補修を実施するとともに、5年サイクルの全箇所点検（橋梁332、トンネル等6）を実施。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		183,901,102 円	197,618,770 円	247,554,800 円
財源内訳	特定財源	85,647,902 円	116,731,875 円	115,417,341 円
	一般財源	98,253,200 円	80,886,895 円	132,137,459 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
225,103,000	-10,019,000	76,800,000	6,000,000	297,884,000	247,554,800	45,000,000

不用額	特定財源	細節名	社会資本整備総合交付金	道路メンテナンス事業補助金	過疎対策事業債 道路維持管理事業	道路使用料ほか
5,329,200		金額	9,180,000	24,364,000	63,600,000	18,273,341

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

〇舗装修繕工事（幹線道路）

東町線（白塩町）ほか2路線 L=1,091m

・令和3年度からの繰越工事路線

木崎野口泉線（西原）ほか L=630m

〇舗装及び道路施設修繕

N=111箇所

〇橋梁修繕事業（重要構造物）

川久保橋（笹尾）ほか2橋 予防補修工事 1式

・令和3年度からの繰越路線

万中2号橋（万中）ほか3橋 予防補修工事 1式

・令和5年度への繰越路線

片岡3号橋ほか（片岡ほか） 補修設計委託 1式

中湖橋ほか50橋（中綱ほか） 法定点検委託 1式

◆ 事業の成果

舗装修繕(東町線)



舗装修繕(木崎野口泉線)



◆ 前年度からの改善点

特に小規模の修繕工事については、自治会等の陳情を精査し、早期発注を徹底した。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	建設水道部	建設課	建設係					事務事業No.	18222		
事務事業名	交通安全施設整備事業							実施方法	委託・工事・直営		
会計	一般会計			款	8	項	2	目 2	決算書	205	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁		80	頁
	施策目標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	⑦安全で快適な道路整備・維持管理									
個別計画	「大町市通学路交通安全プログラム」										頁

事業の目的

対象とありたい姿

幹線道路、生活道路（主に通学路）における安心・安全な歩行者及び自転車通行空間の確保。

主な実施内容

通学路については、大町市通学路安全推進会議（教育委員会、小学校、警察、道路管理者）による合同点検及び「大町市通学路交通安全プログラム」の見直し（年1回）を踏まえ、計画的な歩道整備やガードポストの設置、グリーンベルト・路面標示の再塗装、危険なブロック塀の撤去補助等、交通安全施設整備を実施。
その他の路線については、日常点検や地域要望等を踏まえ、緊急度等に応じ各種交通安全施設整備を実施。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		109,003,033 円	43,040,988 円	22,671,871 円
財源内訳	特定財源	61,427,000 円	25,000,000 円	円
	一般財源	47,576,033 円	18,040,988 円	22,671,871 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
63,539,000	-8,500,000	10,000,000		65,039,000	22,671,871	38,000,000

不用額	特定財源	細節名				
4,367,129		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

〇交通安全施設整備
清水64号線（清水） ガードレール設置 L=82m
野口借馬線（大原町） 交差点部カラー塗装 1式
・令和3年度からの繰越事業
市内一円 区画線更新 L=8,655m
北原幸町線ほか4路線 グリーンベルト更新 L=765m
・令和5年度への繰越事業
市内一円 区画線更新 L=7,900m
佐野坂トンネル トンネル照明更新 1式

〇歩道待場整備工事
沓掛柿ノ木線（泉） W=2.0m L=16m
〇交通安全施設修繕
N=23箇所

◆ 事業の成果

歩道待場整備(沓掛柿ノ木線)



ガードレール設置(清水64号線)



主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	建設水道部	建設課	建設係					事務事業No.	18232		
事務事業名	道路新設改良事業							実施方法	委託・工事・直営		
会計	一般会計	款	8	項	2	目	3	決算書	207	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁	80	頁	
	施策目標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	⑦安全で快適な道路整備・維持管理									
個別計画	「大町市狭あい道路整備促進計画」									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

幹線道路・生活道路の安全で快適な移動の確保、防災・減災機能の向上、円滑な道路ネットワークの構築を図る。

主な実施内容

「大町市狭あい道路整備促進計画」及び日常点検、地域要望等を踏まえ、計画的に道路拡幅及び改良事業を実施。

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		96,084,508	円	36,572,902	円	64,272,706	円
財源内訳	特定財源	70,820,000	円	29,300,000	円	32,706,000	円
	一般財源	25,264,508	円	7,272,902	円	31,566,706	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
76,334,000	-21,000,000	21,000,000	-8,750,000	67,584,000	64,272,706	

不用額	特定財源	細節名	社会資本整備総合交付金	過疎対策事業債道路新設改良事業		
3,311,294		金額	10,906,000	21,800,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

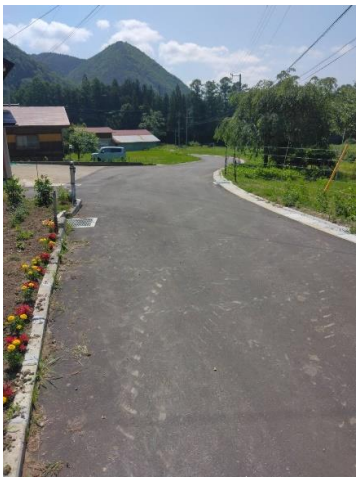
〇道路改良工事

源汲1号線（源汲） W=5.0m L=117m
神明原閏田線（下一） W=5.0m L=80m
ニツ屋野口線（ニツ屋） W=5.0m L=100m
六日町野口線（北原町） W=5.0m L=40m
常光寺山の寺線（宮本） W=4.0m L=20m

・令和3年度からの繰越事業
源汲1号線（源汲） W=5.0m L=168m
ニツ屋野口線（ニツ屋） W=5.0m L=97m

◆ 事業の成果

道路改良(源汲1号線)



道路改良(神明原閏田線)



主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	建設水道部	建設課	維持管理係					事務事業No.	18241		
事務事業名	雪害対策事業							実施方法	委託		
会計	一般会計			款	8	項	2	目 4	決算書	207	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁		80	頁
	施策目標	【２】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	⑦安全で快適な道路整備・維持管理									
個別計画											頁

事業の目的

対象とありたい姿

市道（幹線道路、歩道を含む生活道路）の除排雪及び凍結防止剤散布
・除排雪及び凍結防止剤散布による安全・安心な交通確保

主な実施内容

・市道867㎞の内除雪延長424㎞（大町地区326㎞　美麻地区48㎞　八坂地区50㎞）
・市道・国道の歩道除雪延長47㎞（大町地区　43㎞　美麻地区　4㎞）
・除雪委託業者６９者（業者45社　自治会24者）
・業者等への貸与する除雪機械の購入（除雪ドーザ５ｔ級1台）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		265,157,423 円	506,475,833 円	220,288,479 円
財源内訳	特定財源	30,336,000 円	34,399,000 円	15,035,000 円
	一般財源	234,821,423 円	472,076,833 円	205,253,479 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
155,901,000	117,100,000			273,001,000	220,288,479	42,760,000

不用額	特定財源	細節名	社会資本整備総合交付金			
9,952,521		金額	15,035,000			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

除排雪及び凍結防止剤散布委託料等調

項目	地区	R02	R03	R04
業者数	大町	56	57	57
	美麻	9	9	8
	八坂	4	4	4
	計	69	70	69
	前年対比		1.45%	-1.43%
除雪延長（km）	大町	368.5	368.5	368.5
	美麻	51.7	51.7	51.7
	八坂	50.1	50.1	50.1
	計	470.3	470.3	470.3
	前年対比		0.00%	0.00%
委託料（千円）	大町	186,042	364,571	156,277
	美麻	42,970	92,904	39,771
	八坂	5,783	10,851	5,044
	計	234,796	468,326	201,092
	前年対比		99.46%	-57.06%

R3 購入 除雪ドーザ５ｔ級



除雪機貸与台数（事業者・自治会）

除雪ドーザ	ロータリ除雪車（大）	ロータリ除雪車（小）	ハンドガイド式ロータリ除雪車	凍結防止剤散布車
23	2	2	31	2

◆ 前年度からの改善点

・除雪機械の増強　：　除雪ドーザ５ｔ級１台増（市町村合併特例交付金事業）

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課		建設水道部	建設課	農地整備係				事務事業No.	18311		
事務事業名		水路維持改良事業						実施方法	委託		
会計		一般会計	款	8	項	3	目 1	決算書	209	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁	73	頁	
	施策目標	【４】市民生活の安全の確保									
	施策項目	②災害に強いまちづくりの推進									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・日常点検や地域要望に基づき、水路に起因する漏水・溢水被害を防止し宅地や農地を守るため、老朽化した水路等の更新や改修を行う。

主な実施内容

・市が管理する河川および市街地における水路の改修・修繕工事を実施。
　水路改良工事　　8箇所
　水路修繕工事　　19箇所

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		21,574,625 円	20,209,614 円	20,449,100 円
財源内訳	特定財源	10,000,000 円	4,000,000 円	0 円
	一般財源	11,574,625 円	16,209,614 円	20,449,100 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
22,430,000				22,430,000	20,449,100	

不用額	特定財源	細節名				
1,980,900		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

〇水路改良工事実施　〈白塩町　町川支流〉　　児童通学路安全対策、冬季水路詰まり脱輪解消

〈着工前〉



〈しゅん工〉



◆ 事業の成果

〇水路改良工事　（8箇所実施）

第5次総合計画　災害に強いまちづくりの推進及び生活道路の整備や安全の確保として、
道路に付随する側溝の更新を実施し、浸水被害の低減・解消を図った。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	建設水道部	建設課	計画係					事務事業No.	18413		
事務事業名	おたんじょ桜事業							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	8	項	4	目	1	決算書	211	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁	78	頁	
	施策目標	【２】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	②魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進									
個別計画	緑の基本計画								24	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・市民を挙げて次代を担う児童の出生を祝い、これを記念して桜の植樹を進め、さくらの里づくりを目指すとともに桜の名所の形成を図ることで児童の健全育成と健康で文化的な都市環境の整備を図る。

主な実施内容

〇記念植樹会（毎年１０月下旬～１１月上旬　実行委員会主催）
・各小学校へ入学した市内の小学１年生児童を対象（植樹1本/1クラス）
・樹種：オオヤマザクラ・本数：7～１０本/年
〇桜維持管理業務（※国営公園を除く植樹箇所）
・草刈り、施肥、潅水、害虫駆除、生育調査他

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		1,263,075 円	1,234,316 円	1,284,206 円
財源内訳	特定財源	円	円	円
	一般財源	1,263,075 円	1,234,316 円	1,284,206 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
1,945,000				1,945,000	1,284,206	

不用額	特定財源	細節名				
660,794		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

〇 実行委員会　総会
令和4年10月5日（水）　市役所
・役員改選について
・植樹会開催（案）について
・実行委員14名出席（26名）（市議会、小学校、PTA、自治会、育成会他）

〇 記念植樹会開催　高瀬渓谷緑地公園
令和4年11月5日（土）　高瀬渓谷緑地公園
・オオヤマザクラの記念植樹　９本
・市内６小学校　9クラス
・参加者　児童及び保護者等約138人

◆ 事業の成果

・第１回の記念植樹から２３年間で都市公園をはじめとする８か所の公共用地の中に401本の桜を植樹し、それぞれの場所において、まとまった桜の形成が図られている。



実行委員会総会



記念植樹会

◆ 前年度からの改善点

市内の都市公園や市道沿線等における公共用地に植樹を行ってきたが、植樹場所の選定や参加児童の減少が課題となる。一昨年度より、国営公園内での植樹が満了となった為、高瀬渓谷緑地公園での開催とした。開催場所が、当課の管理地となったことから、参加児童に楽しみや興味を持ってもらうため、色とりどりなクマよけの鈴の配布や、開始合図の花火打ち上げ、そのほかドローンでの記念撮影など新たな企画に取り組んだ。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続										
担当課	建設水道部	建設課	計画係					事務事業No.	18422		
事務事業名	街路整備事業							実施方法	負担金		
会計	一般会計	款	8	項	4	目	2	決算書	211	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁	79	頁	
	施策目標	【２】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	⑤都市構造を支える幹線道路網の構築・整備促進									
個別計画	大町市都市計画マスタープラン								42	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

主要幹線道路を補完して地域間の流動を担う、比較的交通量が多い道路について、市民生活に必要な安全性、走行性の確保と安全な歩行空間の向上を図る目的で県の街路事業において改良工事が進められる。

主な実施内容

○（街）中央通り線（（主）長野大町線）北大町工区（大町文化会館入口交差点南～若一王子神社入口）
　事業規模：Ｌ＝約450m・Ｗ＝16m　　全体事業費：C=1,000百万円（うち市負担金10%）
○（街）館ノ内借馬線（（主）大町明科線）松崎工区（旭町交差点～社会就労センター南）
　事業規模：Ｌ＝約280m・歩道設置（片2.5m）全体事業費：C=300百万円（うち市負担金15%）
○（街）中央通り線（（一）信濃大町（停）線）信濃大町駅前工区（信濃大町駅～九日町交差点）
　事業規模：Ｌ＝約800m・Ｗ＝16m　　全体事業費：C=200百万円（うち市負担金15%）

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		24,366,356	円	13,039,052	円	6,961,050	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	24,366,356	円	13,039,052	円	6,961,050	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
17,000,000			-863,000	16,137,000	6,961,050	

不用額	特定財源	細節名				
9,175,950		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

○　交付金・県単事業要望活動
　令和4年9月9日　長野県（大町建設事務所）
　・事業要望調書の提出
　（街路事業3路線）

○　社会実験の実施
　令和4年11月19日　中央通り線（本通り）
　にぎわいを生み出す試行的な取組（社会実験）と効果検証を通じて
　本通りの道路空間の活用や再編の可能性を探ることを目的に実施。
　（歩行者天国の実施、道路空間にキッチンカー８店、休憩施設設置等）



(街)館ノ内借馬線

◆ 事業の成果

○（街）中央通り線（（主）長野大町線）北大町工区
　整備区間：大町文化会館入口交差点南～若一王子神社入口　工事台帳整備
○（街）館ノ内借馬線（（主）大町明科線）松崎工区
　整備区間：旭町交差点（旭橋）～社会就労センター　補償、歩道設置工事
○（街）中央通り線（（主）長野大町線）信濃大町駅工区
　整備区間：信濃尾町駅～九日町交差点　基本計画策定



（街）中央通り線

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	建設水道部	建設課	計画係					事務事業No.	184211		
事務事業名	コンパクトシティ形成事業							実施方法	委託		
会計	一般会計	款	8	項	4	目	2	決算書	211	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁	78	頁	
	施策目標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	②魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進									
個別計画	大町市都市計画マスタープラン									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・２０年後の都市の姿を展望し、将来のまちのあるべき姿やまちづくりの基本的な方針を示すもの。本計画では、用途地域や都市計画道路等の都市計画の決定や計画見直しの際の根拠とするとともに、関連する分野別計画の策定や見直し、さらには具体的なまちづくり施策の事業化にあたっての指針とする。

主な実施内容

都市計画マスタープラン改定業務の運営・計画の公表
①大町市の特性と課題 ②全体構想(まちづくりの目標・分野別の整備方針) ③地区別構想 ④実現化方策
〇計画策定のプロセス
・庁内及び外部検討委員会の開催・住民懇談会（６月,10月）・パブリックコメントの実施（12月）
・都市計画審議会、市議会全員協議会への報告・令和６年４月公表

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		9,167,422	円	13,678,000	円	1,307,034	円
財源内訳	特定財源	5,500,000	円	2,600,000	円		円
	一般財源	3,667,422	円	11,078,000	円	1,307,034	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
5,654,000			863,000	6,517,000	1,307,034	4,829,000

不用額	特定財源	細節名				
380,966		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

急速な少子高齢化が進行する中、一定の人口密度に支えられてきた医療、福祉、商業などの生活サービスの提供が困難となりかねない状況下、問題解決のため、より具体的な施策を進めるべく令和４年度に「立地適正化計画」及び「緑の基本計画」を公表した。また、引き続き、都市計画の最上位計画であり、将来のまちのあるべき姿やまちづくりの基本的な方向性を示す「都市計画マスタープラン」の改定作業に取り組み令和6年の立案を目指している。これらの計画と共に、暮らしやすいまちづくり形成に向け、本年度からは、景観計画策定に着手し、住環境の向上など良好な景観形成を図ることを目的に作業を進める。



庁内検討委員会



検討委員会

◆ 事業の成果

- 将来像と基本方針の設定
- 立地適正化計画における誘導区域の設定
- 防災指針の策定
- 緑の基本計画における緑地重点地区の設定
- 分野別の整備方針（土地利用・道路交通・防災・環境・景観形成）
- 地区別構想（大町・平・常盤・社・八坂・美麻）

◆ 前年度からの改善点

都市計画マスタープラン検討の延長（公表R4⇒R5）

主要な施策の成果説明書

									前年度評価	継続		
担当課	建設水道部	建設課	維持管理係						事務事業No.	18431		
事務事業名	公園管理事業								実施方法	委託		
会計	一般会計			款	8	項	4	目	3	決算書	211	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち							後期計画登載頁		79	頁
	施策目標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備										
	施策項目	⑥潤いのある公園・緑地の整備促進										
個別計画												頁

事業の目的

対象とありたい姿

公園利用者に利便や快適性を与え、安全に公園を利用していただくための適切な維持管理された公園
・公園の維持管理を適切に行うことにより、市民が安心して使用ができ、やすらぎと潤い（憩い）をあたえる公園

主な実施内容

都市公園６箇所：大町公園、西公園、高瀬渓谷緑地公園、大町文化公園、駅前広場公園、やしろ公園
その他公園６箇所：八日町ＰＰ、五日町ＰＰ、山下ＰＰ、青島公園、木崎湖園地、市民の森
・遊具、建物、植栽帯等の施設の維持管理
・市民ボランティア団体との協働による美化活動等の推進
・安全対策として防犯カメラの設置

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		27,438,958	円	27,818,768	円	30,531,553	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	27,438,958	円	27,818,768	円	30,531,553	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
53,017,000				53,017,000	30,531,553	22,000,000

不用額	特定財源	細節名				
485,447		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○ 公園遊具、建物等の施設の維持修繕
・公園遊具４箇所、建物等の施設１０箇所の修繕

○ 公園遊具の定期点検
・年１回：有資格者による点検の実施、月１回：職員による点検の実施

○ 公園植栽帯の管理
・４月から１１月まで８公園について、造園業者に植栽帯の管理委託
・他の公園については、職員による直営作業又は手数料等により対応

◆ 事業の成果

○ 公園使用料の改定により、駅前広場公園の催しやキッチンカー等の利用が増え、市民が公園に足を運び利用する機会が多くなった。
・令和４年度駅前広場公園の催し等利用日数
催事(3使用者) ４７日
キッチンカー(３事業者)５４日
ショップ(1事業者) １日



◆ 前年度からの改善点

遊具の定期点検について、年１回の有資格による点検業務を早期に発注し、点検結果に基づき不具合箇所の修繕を早期に実施することにより、利用者の安全を確保できた。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	建設水道部	建設課	建設係					事務事業No.	184310		
事務事業名	仁科三湖周辺整備事業							実施方法	委託・工事・直営		
会計	一般会計	款	8	項	4	目	3	決算書	213	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁	78	頁	
	施策目標	【２】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	②魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

木崎湖周遊ルート整備構想及び地域要望に基づき、木崎湖北端の農地沿線の道路拡幅と休憩スポット整備により、観光的利活用の推進とともに営農及び生活道路の安全性の向上を図る。

主な実施内容

・道路拡幅改良事業　市道東西海ノ口下線　W=3.0m（待避所W=4.0m）　L=516m
・休憩スポット整備事業　市道東西海ノ口下線沿線　1箇所　A=900㎡

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		931,200 円	8,315,680 円	10,879,000 円
財源内訳	特定財源	円	円	10,800,000 円
	一般財源	931,200 円	8,315,680 円	79,000 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
11,000,000				11,000,000	10,879,000	

不用額	特定財源	細節名	過疎対策事業債 仁科三湖周辺整備事業			
121,000		金額	10,800,000			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

〇道路拡幅改良工事
　東西海ノ口下線（海ノ口）　W=3.0m　L=63m
〇休憩スポット整備工事
　休憩スポット整地工　A=744㎡

◆ 事業の成果

道路改良(東西海ノ口下線)



主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	建設水道部	建設課	計画係					事務事業No.	184313		
事務事業名	まちなかの緑地整備事業							実施方法	委託		
会計	一般会計	款	8	項	4	目	3	決算書	213	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁	79	頁	
	施策目標	【２】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	⑥潤いのある公園・緑地の整備促進									
個別計画	大町市都市計画マスタープラン								50	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・中心市街地の空き地等を公園的な憩いの空間へ整備するため市民団体等への支援や、ポケットパークなど公共用地を活用し、緑化整備を実施することで、中心市街地の賑わいや回遊性を創出し、住みやすく歩きたくなるまちの形成を図る。

主な実施内容

公共用地　ポケットパーク等　11か所の維持管理・緑地の整備・案内看板の設置
◎5月　植栽イベントPPマリーゴールド2000株
◎5月　WSｶﾊﾞｰﾌﾟﾗﾝﾂ植付・6月WSアジサイ植替・7月ＷＳアジサイ挿し木・9月WS挿し木植替え
◎案内看板の設置工事　１基
◎フラワーコンテナの設置109基850株（小中学校と連携し中央通りの回遊性を創出）

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		2,839,492	円	2,555,115	円	2,589,751	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	2,839,492	円	2,555,115	円	2,589,751	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
3,000,000				3,000,000	2,589,751	

不用額	特定財源	細節名				
410,249		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

・ポケットパークなど公共用地をフィールドに緑化の推進と維持管理が容易なアジサイの植栽や雑草の管理を軽減させるためのカバープランツの活用など園芸研究家の講師を招き、複数回のワークショップを開催し植栽から管理方法まで学ぶことで、緑化の機運を高めた。
・八日町ポケットパークにまちなかの回遊を図るため案内看板を設置
・市内各小中学校によるフラワーコンテナの花苗植付と植付けたコンテナを市街地中央通り（駅前～大黒町）へ設置することで親子でのまち歩きへと誘導した。
・市民団体と協働によるポケットパークの植栽管理
・下仲町ＰＰの水辺を活用し、魚の放流を行うことで新たなスポットを確立し、まち歩きへと誘導した。

◆ 事業の成果

・市民で構成される緑化団体によるポケットパークの植栽管理等の実施
・公園花壇を管理する新たな緑化団体が創設された。
・フラワーコンテナ設置により、本通り商店街の緑化活動への意識向上
・八日町・下仲町ポケットパークを中心に案内看板の設置や魚放流等の企画によりまちなかの回遊性を創出
・様々な緑化活動により、市民を巻きみながら、緑化意識の向上に繋げた。


公園の花苗植栽


WSアジサイ植栽


フラワーコンテナ本通り設置


WSアジサイとカバープランツ植栽

主要な施策の成果説明書

前年度評価	

担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係	事務事業No.	18443
事務事業名	住宅・建築物耐震化推進事業			実施方法	補助金

会計	一般会計	款	8	項	4	目	4	決算書	213	頁

総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち	後期計画登載頁	73	頁
	施策目標	【４】市民生活の安全の確保			
	施策項目	②災害に強いまちづくりの推進			
個別計画		大町市耐震改修促進計画			頁

事業の目的

対象とありたい姿

- 昭和56年以前に建設された住宅・建築物の耐震診断
- 所有者が行う耐震改修工事に要する費用に対し、補助金を交付する。
- 耐震化することにより、市民の生命及び財産を守る。
- 耐震化することにより、震災による被害を最小限にする。

主な実施内容

- 住宅耐震診断　昭和56年以前に建設した木造在来工法の住宅の耐震診断（無料）　診断件数　15件
- 住宅耐震改修　診断の結果、耐震改修が必要と判断された住宅の耐震補強工事等補助　改修件数　４件
- ブロック塀等撤去　避難路等に面する危険なブロック塀等の撤去工事への補助　撤去件数　７件

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		5,024,000 円	7,300,000 円	5,692,000 円
財源内訳	特定財源	3,767,250 円	5,475,000 円	4,041,750 円
	一般財源	1,256,750 円	1,825,000 円	1,650,250 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
13,044,000	-7,299,000	0	-49,000	5,696,000	5,692,000	

不用額	特定財源	細節名	住宅・建築物耐震改修等事業補助金	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金		
4,000		金額	2,798,000	1,243,750		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

- ○ 市ホームページ、広報誌（4月1日号）による補助事業案内
- ○ 広報誌（6月1日号）によるブロック塀などの安全点検案内
- ○ 耐震事業制度案内チラシ　令和4年9月回覧組込（1,200枚）
- ○ 耐震事業制度案内通知　固定資産税納入通知書に同封（10,000件）
- ○ ブロック塀の安全点検及び戸別訪問



◆ 事業の成果

項目 ＼ 年度	H16~24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	合計
住宅耐震診断	176	11	17	15	6	9	20	18	17	20	15	324
住宅耐震改修	24	6	3	3	2	2	5	7	4	6	4	66
ブロック塀等撤去											7	7

令和3年3月、計画期間を令和7年度まで5年間延長し「大町市耐震改修促進計画」を改定。令和2年度時の住宅総数9,900戸、耐震化率75.9%と推計。令和５年住宅・土地統計調査結果をもとに、適切に計画の見直しを図る。

◆ 事業の成果（緊急避難場所の状況）

地域防災計画で指定している指定緊急避難場所	97か所
民間又は地縁団体等が所有する集会所等	92か所
耐震性を満たすもの（S57年以降建設）	62か所
耐震性を満たさないもの（S56年以前建設）	30か所
耐震診断を実施したもの	27か所
診断の結果、耐震性を満たすもの	0か所
診断の結果、耐震性を満たさないもの	27か所
耐震診断未実施のもの	3か所

民間又は地縁団体等が所有する集会所等で、耐震性が劣っている施設が30か所存する。危機管理課とも連携を図りながら、所有者等へ耐震改修に対する補助制度の周知や耐震改修に向けた協議、意向確認をしていく。

◆ 前年度からの改善点

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続										
担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係	事務事業No.	18447						
事務事業名	安心・安全住宅リフォーム支援事業			実施方法	補助金						
会計	一般会計	款	8	項	4	目	4	決算書	213	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち				後期計画登載頁			84	頁	
	施策目標	【３】快適な生活環境の形成									
	施策項目	④住宅環境の向上									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

市民が施工業者に依頼して行う住宅リフォーム工事に要する費用に対し、補助金を交付する。
・住宅の性能向上を図るリフォーム工事を支援することで、良質な住宅ストックの形成、定住促進を図る。
・住宅の性能向上を図るリフォーム工事を支援することで、市内経済の活性化に寄与する。

主な実施内容

住み慣れた住宅の性能や機能の向上を図る住宅リフォーム工事（省エネルギー型、環境負荷低減型、防災型）、住宅リフォーム工事と合わせて行う外構等性等能向上工事を、市内の施工業者に依頼して行う場合、その経費の一部を補助する。
・住宅性能向上工事を含む住宅リフォーム工事（補助率：20%、限度額：200千円　）
・防災減災型外構工事（補助率：20%、限度額：100千円）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		28,629,000 円	24,770,000 円	24,949,000 円
財源内訳	特定財源	3,800,000 円	0 円	0 円
	一般財源	24,829,000 円	24,770,000 円	24,949,000 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
25,000,000	0	0	49,000	25,049,000	24,949,000	

不用額	特定財源	細節名				
100,000		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

○ 市ホームページ、広報誌（4月1日号）による補助事業案内

◆ 事業の成果

年度	交付件数	交付額累計	平均交付額	補助対象額累計	平均対象額	効果倍率	受付終了日
R2	167 件	28,629 千円	171,431 円	198,391,301 円	1,187,971 円	6.93 倍	通年
R3	137 件	24,770 千円	180,802 円	176,685,087 円	1,289,672 円	7.13 倍	通年
R4	150 件	24,949 千円	166,326 円	173,056,860 円	1,153,712 円	6.94 倍	R4.2.10
計	454 件	78,348 千円	172,572 円	548,133,248 円	1,207,341 円	7.00 倍	

○ 安心・安全住宅リフォーム支援事業(R2～R4)類型別状況

種別	主たる工事内容	R2	R3	R4	合計	割合(%)	
省エネ型	断熱材の敷設・葺替え・塗装による断熱化・窓・ｶﾞﾗｽの断熱化	67	49	70	186	41.0	86.8
	高効率給湯器・高断熱浴槽の設置	51	46	54	151	33.3	
	節水型洋式ﾄｲﾚ・まきｽﾄｰﾌﾞ、ｿｰﾗｰ発電、暖房ﾎﾞｲﾗｰの設置	28	19	10	57	12.5	
防災型	壁・柱・基礎等の補強工事		1	0	1	0.2	1.5
	屋根の葺き替え（防災瓦・軽量化）、防火・落雪防止対策	2	2	2	6	1.3	
環境負荷低減型	下水道接続及び下水道接続に伴う設備改修工事	15	14	13	42	9.3	10.8
	合併浄化槽設置に伴う水洗化及び機械設備改修工事	2	5	0	7	1.5	
防災減災外構工事		2	1 (1)	1 (4)	4 (5)	0.9	0.9
計		167	137	150	454	100.0	100.0

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係					事務事業No.	18512		
事務事業名	住宅管理費							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	8	項	5	目	1	決算書	215	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁	84	頁	
	施策目標	【３】快適な生活環境の形成									
	施策項目	④住宅環境の向上									
個別計画	大町市営住宅等整備計画									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

- 市営住宅　住宅に困窮する低所得者に低廉な家賃で賃貸する。
- 雇用促進住宅　勤労者に住宅を賃貸する。
- 生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。
- 勤労者の生活及び就業の安定を図る。
- 適切な維持管理を行う。
- 市営住宅等整備計画に基づく住宅の整理統合、施設改修等を計画的に実施する。

主な実施内容

- 用途廃止団地（大原2号、借馬団地）における入居者移転事務
- 借馬団地改修工事（9棟 30戸における設備改修）
- 譲渡予定の住戸4戸（西平団地1戸、本村団地３戸）について入居者へ譲渡
- 新設団地用地選定事務

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		34,505,812 円	100,559,915 円	68,925,168 円
財源内訳	特定財源	34,505,812 円	100,559,915 円	68,925,168 円
	一般財源	0 円	0 円	0 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
141,906,000	-20,839,000	0	0	121,067,000	68,925,168	50,000,000

不用額	特定財源	細節名	社会資本整備総合交付金	公営住宅整備事業債	雇用促進住宅(駐車場)使用料	
2,141,832		金額	34,720,000	52,000,000	32,205,168	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

○ 用途廃止に向けての入居者移転等状況

団地名	管理戸数	廃止戸数	用途廃止期限	移転等戸数 H29	H30	R元	R2	R3	R4	R4末入居戸数	R4末入居率
大原2号	90戸	90戸	令和4年度	15戸	3戸	13戸	7戸	21戸	4戸	4戸	4.44%
借馬	180戸	109戸	令和7年度	6戸	3戸	20戸	12戸	7戸	7戸	47戸	43.12%

○ 住宅性能向上への取組み（リフォーム工事）

工事名　借馬団地改修工事

施工団地　借馬団地 9棟 30戸(5DK 2戸、2DK 24戸、3DK 4戸)
(S46：1戸、S47：1戸、S48：11戸、S50：13戸、S51：2戸、S52：2戸)

施工内容　ユニットバス、ガス給湯器、流し台、換気扇、手すり、洗面化粧台等の設置

工事費　78,023,000円



流し台

○ 市営住宅の譲渡

団地名	家屋番号	建設年度	構造種別	契約年月日	建物床面積(㎡)	土地面積(㎡)
西平団地	2号	S58	木造平屋	令和4年7月4日	62.25	456.22
本村団地	2号	H3	木造平屋	令和4年5月26日	81.14	466.55
本村団地	3号	H3	木造平屋	令和4年5月26日	87.58	357.32
本村団地	4号	H3	木造平屋	令和4年6月1日	87.58	427.69



ユニットバス

○ 雇用促進住宅の入居状況

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
入居戸数	48戸	46戸	46戸	51戸	63戸	67戸	69戸	73戸	75戸	72戸	76戸	78戸
入居率	60.0%	57.5%	57.5%	63.8%	78.8%	83.8%	86.3%	91.3%	93.8%	90.0%	95.0%	97.5%

※管理戸数80戸

主要な施策の成果説明書

前年度評価	やり方改善											
担当課	総務部	危機管理課	危機管理係							事務事業No.	19123	
事務事業名	消防団運営経費									実施方法	市が直接実施	
会計	一般会計			款	9	項	1	目	2	決算書	217	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち								後期計画登載頁	72	頁
	施策目標	【４】市民生活の安全の確保										
	施策項目	①災害に対する市民生活の安全の確保										
個別計画												頁

事業の目的

対象とありたい姿

- 地域防災力の中核的な存在である消防団員の資質向上
- 市民の防災意識、知識の高揚
- 災害現場における消防団活動時の安全確保の観点から、消防団装備品の充実を図る
- 各種訓練の開催により災害対応への強化を図る
- 地域での活動を通じて、地域住民との連携強化を図る

主な実施内容

消防団
- 各種訓練を通じた地域防災力の向上
- ポンプ操法大会、ラッパ吹奏大会
- 消防フェスタ
- 火災現場での消火活動、豪雨時の警戒巡視、行方不明の捜索
- 春と秋の演習型訓練や地区の防災訓練
- 団員への補償（公務災害補償、退職報償）掛金の支払い

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		43,015,294 円	31,866,977 円	43,022,065 円
財源内訳	特定財源	22,063,627 円	17,761,000 円	2,032,988 円
	一般財源	20,951,667 円	14,105,977 円	40,989,077 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
44,908,000				44,908,000	43,022,065	

不用額	特定財源	細節名	公務災害損害補償金	消防団員安全装備品整備事業助成金		
1,885,935		金額	1,532,988	500,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

◇ポンプ操法大会、ラッパ吹奏大会　・実施日　6月12日（市大会）　6月26日（大北大会）　7月10日（県大会）
◇消防団総合訓練（中止）
◇秋季火災予防運動演習型訓練（ルートインホテル）　・実施日　11月4日　・参加人数　約150名
◇消防フェスタ　・実施日　11月5日
◇消防団年末警戒　・実施日　１２月25日～29日　・参加人数　延べ　約700名
◇春季火災予防運動演習型訓練（大町市役所庁舎）　・実施日　3月5日　・参加人数　約180名　【防寒安全長靴】
◇県消防学校入校　・訓練礼式科２名　・ラッパ科２名　・指揮幹部科７名
◇消防団装備品の充実強化　・防寒安全長靴　80足配備



◆ 事業の成果

◇演習型訓練の実施により、発災時の対応能力の向上が図れた。
◇ポンプ操法及びラッパ吹奏大会の実施により、各団員の技術向上が図れた。
◇消防学校の講習により、専門的で高度な技術を習得し災害対応技術の向上が図れた。
◇消防フェスタの実施により、消防団活動の広報が図れた。
◇装備品の充実により、冬期の消防団活動の際の安全確保が図れた。

【秋季火災予防運動演習型訓練】



◆ 前年度からの改善点

新型コロナの影響により中止していた消防フェスタ、ポンプ操法及びラッパ吹奏大会を、運営方法を見直すなど感染拡大防止の対策を図り、3年ぶりに実施することができた。

主要な施策の成果説明書

									前年度評価	継続		
担当課	総務部	危機管理課	危機管理係						事務事業No.	19132		
事務事業名	消防施設整備事業								実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計			款	9	項	1	目	3	決算書	219	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち							後期計画登載頁		72	頁
	施策目標	【４】市民生活の安全の確保										
	施策項目	①災害に対する市民生活の安全の確保										
個別計画												頁

事業の目的

対象とありたい姿

・市内の消防施設及び消防団車両等を計画的に配備、更新
・施設等の計画的な更新等により、火災時等の素早い初期対応が可能な状況を維持し、地域防災力の向上を図ることを目的とする
・消防設備等の適正な管理及び施設の耐震化を推進し、消防団が災害時に迅速な活動が展開できるようにする

主な実施内容

・消防施設の耐震化、不要な消防施設の解体、撤去
・老朽化した消防団車両の更新

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		16,303,900	円	5,688,805	円	3,365,560	円
財源内訳	特定財源	13,300,000	円		円		円
	一般財源	3,003,900	円	5,688,805	円	3,365,560	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
3,103,000	1,322,000		-176,207	4,248,793	3,365,560	

不用額	特定財源	細節名				
883,233		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

◇消防団車両の更新等

・消防団組織の再編に伴い更新の年次計画を見直し。（更新基準は導入後20年経過を目安）
・積載車１台を用途廃止により売却。

◇消防団施設の改廃等

・社　館ノ内詰所玉石積改修

【社　館ノ内詰所（玉石積改修後）】



◆ 事業の成果

・社館ノ内消防団詰所は交通量の多い市道に接しており、市道との境界は2m程度土盛りし玉石積となっているが野面積みで固定されていないため、万が一崩れた場合、通行車両や歩行者等への被害が懸念されていた。モルタル固定の改修により崩落の危険性が解消され、安全な施設となった。

◆ 前年度からの改善点

・導入後20年を経過しているポンプ車1台及び積載車1台について、売却することで調整中。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続											
担当課	総務部	危機管理課	危機管理係							事務事業No.	19152	
事務事業名	防災対策一般経費									実施方法	補助金	
会計	一般会計		款	9	項	1	目	5	決算書	221	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち							後期計画登載頁	72	頁	
	施策目標	【４】市民生活の安全の確保										
	施策項目	①災害に対する市民生活の安全の確保										
個別計画											頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・自主防災組織等が購入する防災資機材について補助を実施し、自助、共助を基本として地域防災組織の強化を図る
・自治会等への補助により、災害時に必要となる資機材の確保と地域防災力の強化を図る
・周辺住民に悪影響を及ぼす恐れのある危険な空家の改善を図る
・危険空家等の解消

主な実施内容

・自主防災組織への補助（資機材補助、運営費補助）
・情報伝達手段の確保（衛星携帯電話、防災行政無線）
・危険空家等の所有者等へ適正な管理のお願い
・特措法に基づく特定空家等への措置（助言、指導、勧告、命令、代執行）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		3,530,174 円	7,230,193 円	3,906,658 円
財源内訳	特定財源	311,683 円	309,160 円	円
	一般財源	3,218,491 円	6,921,033 円	3,906,658 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
6,240,000	-750,000		-43,560	5,446,440	3,906,658	

不用額	特定財源	細節名	自動販売機売上手数料			
1,539,782		金額	330,794			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

◇空家等対策
・危険空家の報告、相談
・報告案件の状況調査
・特定空家等認定案件（2件）の取組
・危険空家等所有者と接触、適正な管理のお願い
◇自主防災会、自治会への資機材購入補助
◇戸別受信機購入補助

【館ノ内自主防災会が補助を活用して購入した資機材】





◆ 事業の成果

◇危険空家
・危険空家等報告件数　　累計　81件（R4　2件）
・危険空家等売却　累計　0件
・危険空家等改善　累計　0件
◇資機材購入補助　　14件（13防災会）
◇戸別受信機購入補助　0件

◆ 前年度からの改善点

戸別受信機は受注生産であるが、世界的な半導体不足の影響で、納品時期の見通しがつかない状況。
製造業者に確認したところ納品に1年以上はかかってしまうとのことなので現在は受注受付を停止している。
製造の見通しがついてから受注受付を再開する予定。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	拡大												
担当課	総務部	危機管理課	危機管理係							事務事業No.	19154		
事務事業名	防災施設整備事業									実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計			款	9	項	1	目	5	決算書	221	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち								後期計画登載頁	72	頁	
	施策目標	【４】市民生活の安全の確保											
	施策項目	①災害に対する市民生活の安全の確保											
個別計画												頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・市民に対して、災害に関する情報提供を行うために防災無線を整備
・被災時における防災備蓄物資、資機材の充実
・防災無線を適正に管理することで、非常時に迅速かつ正確な情報提供を行う
・備蓄物資、防災資機材の更新
・感染対策備品の備蓄

主な実施内容

・備蓄物資の管理。消費（使用）期限を過ぎた備蓄物資は随時更新

・災害対応に必要な資機材、感染対策備品の整備及び備蓄管理

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		28,001,970 円	48,685,926 円	5,923,895 円
財源内訳	特定財源	13,550,000 円	43,400,000 円	円
	一般財源	14,451,970 円	5,285,926 円	5,923,895 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
6,300,000				6,300,000	5,923,895	

不用額	特定財源	細節名				
376,105		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

◇防災資機材
・ハンドパレット
・台車クローラータイプ
・クイックテント

◇同報系防災行政無線
・保守管理、定期検査
・消防指令システムとの連動

◇防災備蓄物資
・備蓄食料品の期限切れに伴う購入（米粉うどん・長期保存パン）

【防災資機材：クイックテント】



【防災資機材：台車クローラータイプ】



◆ 事業の成果
避難所における良好な生活環境を確保。
有事の際の迅速な情報手段の確保。

◆ 前年度からの改善点
B&G財団の助成事業による防災倉庫・重機・救助艇等の機材配備、機材を活用するための人材研修、
他の拠点との相互支援体制の構築に取り組むことで、防災体制の強化が図られる。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続			
担当課	教育委員会	学校教育課	庶務係					事務事業No.	110127			
事務事業名	奨学金事業							実施方法	市が直接実施			
会計	一般会計			款	10	項	1	目	2	決算書	224	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁			42	頁
	施策目標	【１】心豊かにたくましく生きる子どもの育成										
	施策項目	⑥教育環境の整備										
個別計画												頁

事業の目的

対象とありたい姿

高等学校や大学等に在学する者で、学力があるにもかかわらず経済的な理由によって就学が困難な者を対象に就学の機会の確保及び経済的な支援を行う

主な実施内容

・貸与額：高等学校等　月15,000円以内、大学等　月30,000円以内
・貸与期間：学校における正規の就学期間以内
・利息：無利息
・償還期間：卒業６か月後から、貸与期間の2倍の期間内。なお、特別奨学金貸与者は貸与を受けた期間の倍の期間継続して市内に居住した場合は償還免除。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		1,440,000 円	1,440,000 円	720,000 円
財源内訳	特定財源	780,000 円	880,000 円	240,000 円
	一般財源	660,000 円	560,000 円	480,000 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
2,160,000	-1,440,000	0	0	720,000	720,000	0

不用額	特定財源	細節名	奨学金貸付金償還金			
0		金額	240,000			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

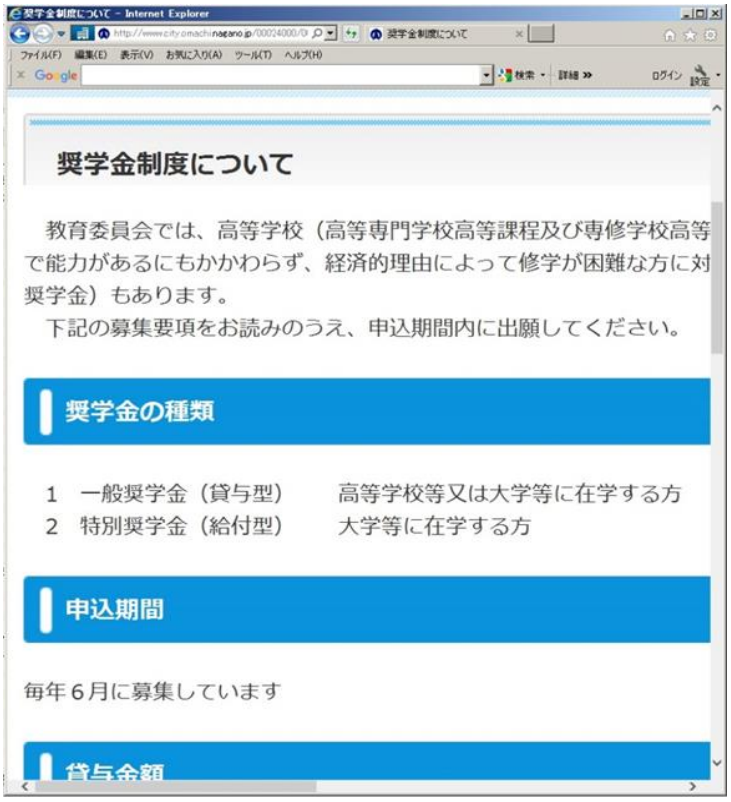
〇情報提供

①市広報紙
・毎年６月号に掲載
②市ホームページ
・常設
③くらしのガイドブック掲載
・市ホームページ常設

◆ 事業の成果

〇令和４年度奨学金利用状況

①新規貸付現況
・一般奨学金（貸与型）：0件
②継続貸付現況
・一般奨学金（貸与型）
：1件（4年目）、1件（3年目）
③償還現況
・償還件数：2件



主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続											
担当課	教育委員会	生涯学習課	八坂公民館					事務事業No.	110128			
事務事業名	山村留学支援事業							実施方法	市が直接実施			
会計	一般会計		款	10	項	1	目	2	決算書	225	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁		43	頁	
	施策目標	【１】心豊かにたくましく生きる子どもの育成										
	施策項目	⑦地域で育む教育の推進										
個別計画											頁	

事業の目的

対象とありたい姿

山村留学生の積極的な受け入れにより、複式学級の回避を図るほか、多方面での教育効果の向上に努め、地元小中学生と留学生相互の健全な成長を助長する。
また、保護者や地域と都市住民との交流を促進し、地域の活性化につなげる。

主な実施内容

山村留学の事業主体「公益財団法人育てる会」への補助金交付
山村留学生受入農家への助成金交付

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		20,340,000	円	20,340,000	円	21,900,000	円
財源内訳	特定財源	14,000,000	円	17,355,000	円	16,000,000	円
	一般財源	6,340,000	円	2,985,000	円	5,900,000	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
21,900,000				21,900,000	21,900,000	

不用額	特定財源	細節名	過疎地域自立促進特別事業債			
0		金額	16,000,000			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○（公財）育てる会への支援
- 補助金　17,100,000円
- 山村留学児童生徒数　32名
  【内訳】
  八坂小：11名　八坂中：7名
  美麻小：8名　美麻中：6名

○八坂・美麻山村留学推進協議会への支援
- 補助金　4,800,000円
- 受入農家戸数　8戸
  【内訳】
  八坂地区：4戸
  美麻地区：4戸
- 受入農家支援



地元生、山留生、保護者との郷土ふれあい体験学習



八坂地区文化祭
山留太鼓の発表

◆ 事業の成果
- 山村留学生の受け入れにより、児童生徒数が増加し複式学級の回避等、学校の維持、発展につながっている。
- 特色ある教育の実施や相互交流により、児童生徒の健全な成長を助長している。
- 地元農家へのホームステイや地域行事への参加により、地域の活性化に寄与している。
- 昭和５１年に旧八坂村から始まった山村留学はその効果が認められ、現在では全国で実施されている。

◆ 前年度からの改善点
- コロナ禍により厳しい経営を強いられていることから、（公財）育てる会補助金を増額した。

主要な施策の成果説明書

									前年度評価	継続		
担当課	教育委員会	学校教育課	学校教育係						事務事業No.	1101210		
事務事業名	コミュニティスクール推進事業								実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計			款	10	項	1	目	2	決算書	226	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							後期計画登載頁		41	頁
	施策目標	【１】心豊かにたくましく生きる子どもの育成										
	施策項目	⑤地域とともにある学校づくり										
個別計画												頁

事業の目的

対象とありたい姿

学校運営に関して、保護者及び地域住民等が学校に参画することによる学校教育の充実を図り、地域に開かれた信頼される学校づくりを進めるため、年３回程度、学校運営協議会を開催し、学校と地域住民等が共に地域の課題や目標、ビジョンを共有している。
地域住民等が積極的に学校運営に参画できる環境を構築し、地域の声を学校運営に生かしながら、地域と一体となって特色ある学校づくりを推進する。

主な実施内容

・学校運営協議会の開催
・学校支援コーディネーターの配置
・学校支援コーディネーター会議における研修と情報共有
・コミュニティスクール通信による情報発信

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		1,899,423	円	1,795,103	円	1,954,761	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	1,899,423	円	1,795,103	円	1,954,761	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
2,257,000	0	0	0	2,257,000	1,954,761	

不用額	特定財源	細節名				
302,239		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

〇学校運営協議会

大町東小学校	４回（５月１２日、９月５日、１２月２０日、２月２８日）
大町西小学校	３回（６月２日、１２月１５日、２月２８日）
大町南小学校	３回（５月６日、１２月１２日、２月１５日）
大町北小学校	４回（５月１１日、１０月２８日、１２月２１日、２月８日）
第一中学校	４回（５月２５日、９月１２日、１２月１５日、２月１４日）
仁科台中学校	４回（５月３０日、９月１２日、１２月１５日、２月１４日）
八坂小・中学校	４回（５月１７日、９月２９日、１２月１６日、２月２４日）
美麻小中学校	３回（４月２２日、１２月９日、２月１７日）

〇学校支援コーディネータ活動・会議
各学校の総活動時間合計：約７１０時間

◆ 事業の成果
地域住民の授業や行事等への参画や支援を受け、地域に開かれた特色ある学校運営が図られた。

◆ 前年度からの改善点

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続										
担当課	教育委員会	学校教育課	学校教育係					事務事業No.	1101211		
事務事業名	ＩＣＴ活用推進事業							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	10	項	1	目	2	決算書	226	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１節 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁	41	頁	
	施策目標	【１】心豊かにたくましく生きる子どもの育成									
	施策項目	②時代の変化に対応した教育の推進									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿（何を、いつまでに、だれが、どのように）

児童生徒が、情報化社会の進展に対応できるよう情報環境の整備を図り、学校教育において基礎的な情報活用能力の育成を図るとともに、情報モラルの徹底を図る。

主な実施内容

- 情報教育研究委員会におけるＩＣＴを活用した授業研究や意見交換等。
- ＩＣＴを活用した授業を円滑に進めるためのＩＣＴ支援員の配置。
- デジタル教科書の活用。
- クラウドを活用したＡＩ型ドリル学習等の実施。
- ＩＣＴ機器を使った学習支援ソフトの活用

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		5,551,736 円	5,719,921 円	23,449,012 円
財源内訳	特定財源	1,000,000 円	1,414,000 円	2,924,000 円
	一般財源	4,551,736 円	4,305,921 円	20,525,012 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
24,662,000	△ 339,000	2,030,000	0	26,353,000	23,449,012	0

不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金	繰越明許費公立学校情報機器整備費補助金		
2,903,988		金額	2,000,000	924,000		

事業の実績・成果

前年からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

〇ＩＣＴ活用支援員による授業支援（4名・1921時間）
〇デジタル教科書を用いたＩＣＴ教育の実践
〇情報教育研究委員会（研究会：５回開催）
〇小学校
　高学年では授業において積極的にクロームブックを使用するとともに、児童会活動でも活用
　新型コロナウイルス感染症に伴う学年閉鎖等においてオンライン授業などに活用
〇中学校
　授業や生徒会活動において積極的にＩＣＴ機器を活用
　新型コロナウイルス感染症に伴う学年閉鎖等においてオンライン授業などに活用
〇指導者用端末機を国の補助事業を活用し41台を導入



〇立川市・大町市姉妹都市交流事業（中学生サミット）においてICT機器を活用しSDGｓについて英語による学習の実施





令和4年度　デジタル教科書利用状況　　市単独デジタル教科書

学校名	デジタル教科書実証事業	デジタル教科書実証事業	デジタル教科書実証事業	教科	学年	指or学	eﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ
大町東小学校（５・6年）	英語	家庭科					全児童・生徒使用可能
大町西小学校（５・6年）	英語	保健体育					
大町南小学校（５・6年）	英語	音楽		算数	1年～6年	指導者用	
大町北小学校（５・6年）	英語	音楽		音楽	3年～6年	指導者用	
八坂小学校（５・6年）	英語	音楽		算数	1年～6年	児童用	
美麻小中学校（5・6年）	英語	図画工作					
仁科台中学校（1～3年）	英語						
仁科台中学校（1・2年）		美術					
仁科台中学校（3年）			美術				
第一中学校（1～3）	英語			国語	1年～3年	指導者用	
第一中学校（1・2年）		技術・家庭		数学	1年～3年	指導者用	
第一中学校				理科	1年～3年	指導者用	
八坂中学校（1～3年）	英語			国語	1年～3年	生徒用	
八坂中学校（1・2年）	音楽			数学	1年～3年	生徒用	
八坂中学校（3年）			音楽				
美麻小中学校（7年～9年）	英語						
美麻小中学校（7年・8年）		保健体育					
美麻小中学校（9年）			音楽				

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続										
担当課	教育委員会	学校教育課	学校教育係					事務事業No.	110221		
事務事業名	小学校教育振興一般経費							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	10	項	2	目	2	決算書	228	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁	40	頁	
	施策目標	【１】心豊かにたくましく生きる子どもの育成									
	施策項目	①基礎的な学力・体力の向上									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

小学校の教育教材の整備や学校図書の充実、児童の基礎学力の定着と学力・体力の向上、多様な教育的ニーズのある児童への支援体制の確立、さらに不登校等の悩みを抱える児童への支援など豊かな心と健やかな体を育む教育を推進するため、学習指導要領の「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成に向けた取り組みを進める。

主な実施内容

・学校医、特別支援員教育補助指導員、登校支援補助指導員（心の教室相談員）及び図書館司書の配置
・教育教材用品及び教育用情報機器の整備

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		79,402,426 円	79,112,854 円	64,019,319 円
財源内訳	特定財源	375,000 円	417,000 円	1,430,000 円
	一般財源	79,027,426 円	78,695,854 円	62,589,319 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
85,467,000	△ 18,907,000			66,560,000	64,019,319	

不用額	特定財源	細節名	理科教育設備費等補助金	学校教育寄付金		
2,540,681		金額	417,000	1,013,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

〇特別支援員、教育補助指導員、登校支援補助指導員等を配置し、増加傾向にある障がい等様々な課題を抱えている児童の教育環境を確保し、学校生活を支える。

〇国際化社会に対応できる人を育てるため、ＡＬＴを派遣して英語活動を実施する。

〇知識を詰め込むだけでなく、野外学習や社会科見学等を通じ様々な体験を積くことによって「生きる力」を育む。

◆ 事業の成果

理科設備整備

・大町東小学校：天体の学習用具1組、てこの学習用具1組、顕微鏡1組
・大町西小学校：音の学習用具4組、顕微鏡1組、光電池の学習用具2組
・大町南小学校：顕微鏡2組
・大町北小学校：電気測定用具、上皿てんびんＡＮ型、柄付き小型プランクトンネット
・八坂小学校：生物顕微鏡
・美麻小中学校（前期課程）：腕の筋肉構造模型

児童図書購入費用　約2,000,000円

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	教育委員会	学校教育課	学校教育係					事務事業No.	110321		
事務事業名	中学校教育振興一般経費							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計		款	10	項	3	目	2	決算書	234	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁		41	頁
	施策目標	【１】心豊かにたくましく生きる子どもの育成									
	施策項目	④豊かな心と健やかな体を育む教育の推進									
個別計画											頁

事業の目的

対象とありたい姿

生徒の基礎学力の定着と学力・体力の向上、多様な教育的ニーズのある生徒への支援体制の確立、生徒の情報活用基礎能力の習得など時代の変化に対応した教育の推進、さらに不登校生徒の学校復帰に向けた指導援助等による豊かな心と健やかな体を育む教育を推進するため、学習指導要領の「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成に向けた取り組みを進める。

主な実施内容

・学校医、特別支援員教育補助指導員、登校支援補助指導員（心の教室相談員）及び図書館司書の配置
・教育教材用品及び教育用情報機器の整備

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		65,284,208 円	54,568,416 円	39,366,833 円
財源内訳	特定財源	906,000 円	1,020,000 円	1,096,000 円
	一般財源	64,378,208 円	53,548,416 円	38,270,833 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
59,485,000	△ 16,788,000			42,697,000	39,366,833	

不用額	特定財源	細節名	理科教育設備費等補助金	部活動指導員配置事業補助金		
3,330,167		金額	624,000	472,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

〇特別支援員、教育補助指導員、登校支援補助指導員等を配置し、増加傾向にある中１ギャップなどによる不登校傾向の生徒をはじめ様々な課題を抱えている生徒達の教育環境を確保し、学校生活を支える。

〇ＡＬＴによるネイティブな外国語の授業より、国際化に対応した深い学びの実践。

〇知識を詰め込むだけではなく、野外学習や社会科見学等を通じ様々な体験を積むことによって「生きる力」を育む。

◆ 事業の成果

理科設備整備

・第一中学校：生物顕微鏡１組
・仁科台中学校：天体望遠鏡１組、三球儀１組、電磁石１組、小型インキュベーター１組、ウサギの標本１組
　アネロイド気圧計、始祖鳥化石模型１組、魚・カエル・ヘビの標本３点セット１組、
　力学的エネルギー実験器10組
・八坂中学校：太陽望遠鏡1組、ハンディキャリー1組
・美麻小中学校：教育用電子てんびん

生徒図書購入費用　約1,500,000円

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	新規事業			
担当課		教育委員会	学校教育課	学校再編係				事務事業No.	110351			
事務事業名		中学校再編環境整備事業						実施方法	市が直接実施			
会計		一般会計	款	10	項	3	目	5	決算書	234	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁		42	頁	
	施策目標	【１】心豊かにたくましく生きる子どもの育成										
	施策項目	⑥教育環境の整備										
個別計画		大町市学校再編基本計画									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

令和５年４月に再編開校する大町中学校、八坂小中学校の校舎改修及び備品類の整備。

主な実施内容

・仁科台中学校改修工事
・備品購入
　大町中学校：学習センター備品、職員室備品、教室備品、体育館備品、その他備品、給食備品
　八坂小中学校：その他備品類

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		0 円	0 円	206,999,201 円
財源内訳	特定財源	0 円	0 円	170,619,000 円
	一般財源	0 円	0 円	36,380,201 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
209,211,000	△ 1,000,000			208,211,000	206,999,201	

不用額	特定財源	細節名	公立学校整備事業補助金	合併特例交付金	学校再編環境整備事業債	
1,211,799		金額	52,659,000	27,660,000	90,300,000	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし




◆ 事業の成果

〇大町中学校大規模改修工事

・令和4年度学校施設環境改善交付金事業（学校給食施設整備事業）
　アレルギー対応室増築　8.04㎡　事業費　12,837,000円

・令和4年度学校施設環境改善交付金事業　中学校再編に伴う新校（現仁科台中学校）大規模改修工事
　建築工事　　事業費　61,391,000円
　機械設備工事　事業費　31,900,000円
　電気設備工事　事業費　13,387,000円










・備品購入
　大町中学校：（学習センター備品、職員室備品、教室備品、体育館備品、その他備品、給食備品）
　八坂小中学校：（その他備品類）








主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続			
担当課	教育委員会	生涯学習課	生涯学習・青少年係					事務事業No.	110414			
事務事業名	エネルギー博物館運営費助成事業							実施方法	補助金			
会計	一般会計		款	10	項	4	目	1	決算書	239	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁		46	頁	
	施策目標	【２】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供										
	施策項目	④自由に学び成果を生かす学習環境の整備と連携態勢の構築										
個別計画	第５次大町市生涯学習推進プラン									20	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

エネルギー博物館の安定した運営維持を図ることで、科学的思考を喚起する貴重な学び場の社会教育施設として、いつでも・どこでも・だれもが・なんでも、学べる環境を整え生涯学習の推進を図る。

主な実施内容

運営に関わる経常経費分と修繕工事等臨時的経費分の補助。

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		13,039,000	円	13,615,000	円	12,721,841	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	13,039,000	円	13,615,000	円	12,721,841	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
14,000,000				14,000,000	12,721,841	

不用額	特定財源	細節名				
1,278,159		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

〇大町エネルギー博物館は、近隣では珍しいエネルギーを中心とした博物館であり、展示・体験・解説などを通じて入館者の科学的思考を喚起する貴重な学びの場の社会教育施設である。いつでも・どこでも・だれもが・なんでも学べる機会の提供ができるよう運営費補助を行い、生涯学習の推進を図っている。

＜参考＞

エネルギー博物館の主な事業

・大町少年少女発明クラブ（１６名・１８回開催）

・４０周年記念事業

・講演会「地球は丸い？丸くない？～測地学入門～」など

◆ 事業の成果

運営費補助により、エネルギーを通した科学的な分野を学べる社会教育施設として安定した施設運営がされている。開館４０周年記念事業を実施するなど、入館者が6,382人で前年度の6,304人から若干増となった。

◆ 前年度からの改善点

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続											
担当課	教育委員会	生涯学習課	生涯学習・青少年係	事務事業No.	110415							
事務事業名	公民館分館整備助成事業			実施方法	補助金							
会計	一般会計	款	10	項	4	目	1	決算書	239	頁		
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁		頁		
	施策目標	【２】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供										
	施策項目	④自由に学び成果を生かす学習環境の整備と連携態勢の構築										
個別計画	第５次大町市生涯学習推進プラン								20	頁		

事業の目的

対象とありたい姿

地域の公民館や集会所の施設整備に対する補助を行うことにより、生涯学習・自治会活動の拠点とした活動を推進するとともに地域の活性化を図る。

主な実施内容

施設の改修・改築などに対し対象経費の1/3を補助（上限あり）

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		2,773,000	円	586,000	円	1,095,000	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	2,773,000	円	586,000	円	1,095,000	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
1,189,000				1,189,000	1,095,000	

不用額	特定財源	細節名				
94,000		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

○神栄町公民館屋根塗装工事
　476千円
○明野基幹センター外部塗装工事
　619千円

明野基幹センター外部塗装の様子





◆ 事業の成果

自治会や地区の活動拠点となる施設が整備されることにより、地域の活動の継続・発展が見込まれる。





◆ 前年度からの改善点

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続												
担当課	教育委員会	生涯学習課	人権教育担当							事務事業No.	110417		
事務事業名	人権教育推進事業									実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計			款	10	項	4	目	1	決算書	239	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第５章_市民の参画と協働でつくるまち								後期計画登載頁	89	頁	
	施策目標	【２】多様性に満ちた共生社会の実現											
	施策項目	①人権教育・啓発の推進											
個別計画	大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針											頁	

事業の目的

対象とありたい姿

様々な人権に関する課題に対して、人権教育を通じて市民一人ひとりが自分自身の問題としてとらえ、学校、地域、職場、企業が一体となって人権教育に総合的に取り組むことが出来るよう、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にした人権教育の推進を図る。

対象は全市民で、毎年継続的に啓発等を進めていくことで人権意識を高めていく。

主な実施内容

- 人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会の研修実施
- 学校人権教育研究委員会による各学校での活動、人権教育指定校（2校）の公開授業の開催
- 市内6地区において「人権を考える市民の集い」の開催
- 人権作品集「ヒューマンライツ」の作成及び作品集を使った啓発
- 市内小中高の実践記録の作成

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		3,687,777 円	4,111,830 円	1,929,978 円
財源内訳	特定財源	円	円	円
	一般財源	3,687,777 円	4,111,830 円	1,929,978 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
4,094,000	-2,056,000			2,038,000	1,929,978	

不用額	特定財源	細節名				
108,022		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

（１）学校人権教育

①市内小中学校のうち指定校2校による人権教育研究、実践の促進

②市内幼保小中高校の教職員研修会の実施

- 教職員研修会の開催　5/16　15人参加
- 公開授業　11／9　2校　（北小47人、美麻小中40人参加）

③各学校ごとの人権教育講演会等の実施

④人権教育作品集（作文、ポスター）募集、作品展示

- 作文ポスター作品集「ヒューマンライツ　45号」2月発刊
  作文49点、ポスター42点

⑤学校人権教育実践録の発刊（2月下旬）

（２）社会人権教育

①関係団体（人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会）に関わる研修開催

②三団体合同現地視察研修　10/14　8人参加
　下伊那郡阿智村　「満蒙開拓平和祈念館」

③「人権を考える市民の集い」６地区で開催 総計1,102名
　平地区　6/13（一般17人、小学校131人）
　大町地区　7/5　（一般19人、中学校350人）
　八坂地区　8/24（一般28人、小中学校84人）
　美麻地区　9/15（一般24人、小中学校85人）
　常盤地区　10/19（一般18人、小学校185人）
　社地区　11/4（一般18人、小学校80人）

（３）人権・同和教育推進懇談会事業

①人権教育研修、交流事業の実施

- 映画会及び交流研修会　11/28　29人参加
- 人権教育講演会の実施　10/1　21人参加



人権考える市民の集い（大町北小）



人権教育ポスター展

◆ 事業の成果

- 新型コロナウイルス感染防止対策をして６地区で「人権を考える市民の集い」が開催でき、人権意識が培われた。
- 新型コロナに関連する人権侵害やLGBTQ関連など新たな人権課題への対応が必要になってきている。
- 「人権を考える市民の集い」には子どもと地域の方が一堂に会して学ぶことで人権意識啓発が図られた。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続												
担当課	教育委員会	生涯学習課	生涯学習・青少年係					事務事業No.	110421				
事務事業名	補導・環境浄化活動事業							実施方法	補助金				
会計	一般会計			款	10	項	4	目	2	決算書	239	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁			43	頁	
	施策目標	【１】心豊かにたくましく生きる子どもの育成											
	施策項目	⑦地域で育む教育の推進											
個別計画	第５次大町市生涯学習推進プラン										24	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

教育委員会が委嘱した補導委員による補導活動をとおし青少年の健全育成を図りながら「地域の子どもは地域で育てる」という機運の醸成を図る。

主な実施内容

街頭補導活動・環境浄化活動・ＰＴＡとの合同補導活動・店舗確認活動などを通した青少年の健全育成を図るとともに、いつでも大人たちが見守る温かな地域づくりを実施。

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		2,758,360	円	2,888,308	円	1,851,642	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	2,758,360	円	2,888,308	円	1,851,642	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
2,817,000	-997,000		52,400	1,872,400	1,851,642	

不用額	特定財源	細節名				
20,758		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

〇補導委員数　６８人

〇街頭補導活動等の実施

・１４班編成で約２時間の活動

・実施回数６７回うち４回は臨時活動

〇青少年センターだより「わかくさ」の発行（年３回・各戸回覧）

青少年センターだより「わかくさ」



◆ 事業の成果

巡回活動など補導活動をとおし非行への抑止だけでなく、いつでも子ども達を地域全体で見守っているという安心・安全な地域づくりも担い、温かな地域づくりを実施。

活動をより深く理解していただいている補導委員については、積極的に活動していただき仲間づくりもしていただいている。

活動状況





主要な施策の成果説明書

								前年度評価		継続		
担当課		教育委員会	生涯学習課		生涯学習・青少年係			事務事業No.		110422		
事務事業名		青少年育成事業						実施方法		補助金		
会計		一般会計	款	10	項	4	目	2	決算書	239	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁		43	頁	
	施策目標	【１】心豊かにたくましく生きる子どもの育成										
	施策項目	⑦地域で育む教育の推進										
個別計画		第５次大町市生涯学習推進プラン								24	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

地域全体で青少年の健全育成に取り組む活動を通し、「地域の子どもは地域で育てる」暖かな地域づくりを目指す。

主な実施内容

大町市青少年育成市民会議の事務局として「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、市民運動として地域全体で子ども達を育む機運の醸成を図るため、春・秋の「あいさつ運動」、毎年８月に開催する「大町市青少年市民大会」、地域子育てセミナー、家庭教育懇談会などを開催。
また、子ども会や育成会の活動支援として、低廉な利用料でバスを使用できる「子ども体験学習号」の運行を実施。

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		2,591,879	円	2,574,418	円	2,878,805	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	2,591,879	円	2,574,418	円	2,878,805	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
3,543,000			-52,400	3,490,600	2,878,805	

不用額	特定財源	細節名				
611,795		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

〇子ども体験学習号
- 利用件数　　５件
- 利用人数　１３１人

〇青少年育成市民大会
- 開催日　８月２０日（土）
- 参加者　１４３人

青少年市民大会全体会の様子



青少年市民大会分科会の様子



◆ 事業の成果

昨年の大町市青少年育成市民大会は規模を縮小し開催したが、令和４年度は全体会の他、２年ぶりに分科会の開催ができた。４つの分科会が開催できたことは意見や情報交換をとおし大人たちの意識が高まるほか、コロナ禍で人とのつながりが希薄になる中で、地域全体で子ども達を見守る連帯感の醸成を図る機会となったと考える。

この子ども達が抱える問題や課題について学び、意見交換するなかで問題共有を図りながら、子ども達の健やかな成長を願う意識を地域全体で持ち続けるため、粘り強く各種活動を継続していく。

主要な施策の成果説明書

										前年度評価		継続	
担当課		教育委員会	生涯学習課		大町公民館					事務事業No.		110434	
事務事業名		大町公民館活動費								実施方法		市が直接実施	
会計		一般会計		款	10	項	4	目	3	決算書	243	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち								後期計画登載頁	45	頁	
	施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供											
	施策項目	②社会教育の充実と活性化											
個別計画		第５次大町市生涯学習推進プラン									13	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点としての機能を発揮。また、住民の地域における課題や思いや住民が主体的に行動する力（自治と活力）を育むことを目的とする。
・幼児から高齢者までの幅広い年齢層
・住民の地域課題や要求課題等を踏まえたうえで企画した事業を通じ、暮らしの質を高め住みよい地域をつくる。

主な実施内容

公民館分館事業助成、分館講座の開設支援、文化事業（文化祭の開催・囲碁将棋の普及）、体育事業（市民運動会、球技大会の開催）各種講座の開設など

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		1,567,720 円	1,623,165 円	2,174,305 円
財源内訳	特定財源	円	円	円
	一般財源	1,567,720 円	1,623,165 円	2,174,305 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
2,420,000	0			2,420,000	2,174,305	

不用額	特定財源	細節名				
245,695		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

体育事業
大町地区球技大会：ソフトバレーボール（３チーム）、ソフトボール（５チーム）、マレットゴルフ（７チーム）
おおまちチャレンジウォーキング（２００名）

文化事業
北アルプス囲碁・将棋大会　７月１０日（日）　１月１５日（日）　　夏季大会４５名、新春大会４６名参加
大町市文化祭の開催　１１月３・４・５日　３６団体　出展数２，３００点　来場者数８，５８３人

各種講座の開催
すくすく広場（１５回、延３８６名）、外国人のための日本語講座（３８回、延１９０名）
菊づくり講座（６回、延６３名）、デジタル一眼レフカメラ講座（４回、延２０名）
陶芸講座（３回、延３０名）、木彫講座（５回、延２７名）
日本の思想・文学講座（５回、延２００名）

分館事業
分館事業補助金（３３分館）、分館講座講師（４件）

各種団体事務
子ども会育成協議会：魚つかみ大会（２００名）、ラフティング体験（５０名）

◆ 事業の成果

コロナ禍でも参加できるよう、内容を工夫しながら事業進めることができた。
中でもチャレンジウォーキングは運動会の代替イベントではあったが、今後の企画に活かせる事業となった。

◆ 前年度からの改善点

今後の小学校統合を見据えて、育成会事業については平公民館と連携しながら実施した。
大町市文化祭については、消防フェスタも同会場で行うことにより、来場促進につながった。

主要な施策の成果説明書

担当課	教育委員会	生涯学習課	平公民館						前年度評価	継続			
事務事業名	平公民館活動費								事務事業No.	110436			
									実施方法	市が直接実施			
会計	一般会計			款	10	項	4	目	3	決算書	243	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							後期計画登載頁		45	頁	
	施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供											
	施策項目	③多様な分野の学習活動の促進											
個別計画	第５次大町市生涯学習推進プラン										13	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・地域住民、自治会等を対象に生涯学習の機会の提供や地域づくりの支援を各事業を通して行っていく。

主な実施内容

・地域住民参加による運動会や市民スポーツ祭等の体育事業を実施
・住民の関心や要望、地域課題に取り組む講座を開設
・住民の自主的学習活動を支援するためにサークル体験を実施
・自治会や育成会、社会福祉等の地域活動の支援およびこれらとの共催により事業を実施

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		620,552 円	685,146 円	885,534 円
財源内訳	特定財源	円	円	円
	一般財源	620,552 円	685,146 円	885,534 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
1,253,000			-209,000	1,044,000	885,534	

不用額	特定財源	細節名				
158,466		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

〇平地区市民スポーツ祭　令和４年６月５日（平運動場）ソフトボールの部・ソフトバレーボールの部開催　約150名参加
〇平地区少年少女球技大会　令和４年７月１０日（平公民館講堂）小学生スマイルボウリング大会開催　約40名参加
〇平地区市民運動会　新型コロナウイルス感染症予防のため中止
〇平地区マレットゴルフ大会　雨天中止
〇平地区市民ゴルフ大会　令和４年１０月３０日（日向山高原ゴルフコース）　41名参加
〇スマイルボウリング大会　令和５年３月１２日開催　約40名参加

◆ 事業の成果





◆ 前年度からの改善点

３年振りの開催となった平地区少年少女球技大会については、以前までは分館対抗の男女別ドッジボール大会を行っていたが、ドッジボールは多くの人数が必要な競技で、男女別となると参加者が不足することが見込まれたため、育成会の役員と協議し、令和４年度からは、小学生スマイルボウリング大会を実施することとした。

主要な施策の成果説明書

										前年度評価	継続		
担当課		教育委員会	生涯学習課	常盤公民館						事務事業No.	110438		
事務事業名		常盤公民館活動費								実施方法	市が直接実施		
会計		一般会計		款	10	項	4	目	3	決算書	245	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち								後期計画登載頁	45	頁	
	施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供											
	施策項目	②社会教育の充実と活性化											
個別計画		第５次大町市生涯学習推進プラン									13	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

地域住民や自治会等を対象に、生涯学習の機会を提供し、人づくり・つながりづくり・地域づくりの支援を行うことを目的とし、地域住民にとって最も身近な学習拠点として、ニーズに応じた各種講座を開催するとともに、体育事業及び文化事業を通じて地域のコミュニティカの醸成を図り、生活の質を高め住みよい地域をつくる。

主な実施内容

①体育事業（常盤地区球技大会、常盤地区運動会、卓球・ソフトバレー大会）、②文化事業（常盤囲碁・将棋・マージャン大会、サークル活動発表展示会、③講座（親子教室「ともだち広場」、鍬の峰登山、わら細工講座ほか））、④補助事業（分館事業補助金）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		485,158 円	440,138 円	554,583 円
財源内訳	特定財源	円	円	円
	一般財源	485,158 円	440,138 円	554,583 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
953,000	-250,000			703,000	554,583	

不用額	特定財源	細節名				
148,417		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり





◆ 施策目標に資する活動

◇文化事業

・常盤公民館サークル活動発表展示会
　令和５年２月１６日～２１日　来館者６０７人

◇講座

・鍬の峰へのぼろう　5月21日　参加者19人
・秋の味覚、新そばを楽しもう！「そば打ち教室」
　10月13日～11月10日（全4回）　参加者14人
・簡単、楽ちん、誰でもできる「ゆる体操」
　10月21日～11月10日（全3回）　参加者15人
・親子教室「ともだち広場」　6月8日～3月8日（全16回）　親子22組
・わら細工講座「円座とねこつぐら」2月16日～3月7日（全6回）参加者6人

◇新型コロナ感染症の感染拡大等に伴い中止とした事業

・常盤地区球技大会　・常盤地区運動会　・常盤卓球・ソフトバレーボール大会　・常盤囲碁・マージャン大会

◆ 事業の成果

新型コロナ等の影響により中止の事業が多かったが、公民館講座などの参加者からは、交流の機会が生まれたと大変喜んでいただき、地域のコミュニティカの醸成を図ることができた。

◆ 前年度からの改善点

３か年に渡って各部屋にエアコンを設置し、公民館利用者が利用しやすい環境整備を行った。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続												
担当課	教育委員会	生涯学習課	社公民館						事務事業No.	1104310			
事務事業名	社公民館活動費								実施方法	市が直接実施			
会計	一般会計		款	10	項	4	目	3	決算書	247	頁		
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							後期計画登載頁	42	頁		
	施策目標	【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成											
	施策項目	⑦地域で育む教育の推進											
個別計画	第５次大町市生涯学習推進プラン									13	頁		

事業の目的

対象とありたい姿

・地域住民、自治会等
・住民へ生涯学習の機会の提供、地域づくりの支援
地域づくりの拠点施設として、公民館事業の充実を図り、地域住民の生涯学習意識の高揚を図り、地域づくりを支援する。

主な実施内容

①講座（親子教室「なかよし広場」、体力upエクササイズ講座ほか）
②体育事業（社地区球技大会、社地区子ども球技大会、社地区運動会、元旦マラソン）
③文化事業（社地区文化祭）
④補助事業（分館事業補助金）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		376,960 円	349,500 円	652,931 円
財源内訳	特定財源	円	円	円
	一般財源	376,960 円	349,500 円	652,931 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
931,000				931,000	652,931	

不用額	特定財源	細節名				
278,069		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

〇社地区球技大会　令和４年６月　ソフトボールの部・ソフトバレーボールの部・ゲートボールの部　開催　１４０名参加
〇社地区子ども球技大会　令和４年７月１０日（社体育館）ボッチャ大会開催　４０名参加
〇社地区親睦運動会開催　令和４年９月４日（社B&G多目的グラウンド）１５０名参加
〇社地区マレットゴルフ大会　　募集人数が少数のため中止
〇第３２回社地区元旦マラソン　令和５年１月１日　社公民館　　９６名参加

◆ 事業の成果






◆ 前年度からの改善点

３年振りの開催となった社地区親睦運動会については、コロナ禍ではあったが人と人とが密着しないよう種目に変更を加えた。
子ども球技大会のボッチャは、育成会の合同研修で体験し、夏休みに子ども球技大会として開催した。
元旦マラソンは、開会式や表彰式を無くし３密を回避しながら、新型コロナウイルスの感染予防に注力した。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続												
担当課	教育委員会	生涯学習課	八坂公民館					事務事業No.	1104312				
事務事業名	八坂公民館活動費							実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	10	項	4	目	3	決算書	247	頁		
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							後期計画登載頁	45	頁		
	施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供											
	施策項目	②社会教育の充実と活性化											
個別計画	第５次大町市生涯学習推進プラン									13	頁		

事業の目的

対象とありたい姿

地域社会のニーズに対応した質の高い公民館事業を推進し、地域コミュニティーの活性化を図るとともに、自主グループ等の育成と支援を行う。

主な実施内容

〇体育事業（マレットゴルフ大会、体操教室、レクリェーションスポーツ大会等）
〇文化事業（文化祭、郷土ふれあい体験学習等）
〇学級講座（親子教室、高齢者学級、地域文化伝承講座等）
〇その他（子ども会育成会事業、図書の貸し出し事業、サークル活動支援、分館活動支援）

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		470,705 円	796,804 円	1,019,826 円
財源内訳	特定財源	円	円	円
	一般財源	470,705 円	796,804 円	1,019,826 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
1,446,000			-320,000	1,126,000	1,019,826	

不用額	特定財源	細節名				
106,174		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

〇体育事業
- ふれあい運動会
- マレットゴルフ大会
- 体操教室
- レクリェーションスポーツ大会

〇文化事業
- 八坂地区文化祭
- 郷土ふれあい体験学習
- 郷土かるた大会


猫つぐらづくり


郷土かるた大会

〇学級講座
- 高齢者学級
- 親子教室
- 八坂塾（竹細工、コケ玉づくり、文化財巡り、そば打ち、創作人形づくり、猫つぐらづくり）
- 子育てセミナー
- 八坂美麻育てる会スキー交流会

◆ 事業の成果
- 公民館事業の実施により、地域住民の交流する機会が創出され、自治活動の向上や地域の活性化に寄与している。

◆ 前年度からの改善点
- 地域文化伝承に関わる講座を増やした。（創作人形づくり、猫つぐらづくり）

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続													
担当課	教育委員会	生涯学習課	美麻公民館							事務事業No.	1104314			
事務事業名	美麻公民館活動費									実施方法	市が直接実施			
会計	一般会計			款	10	項	4	目	3	決算書	249	頁		
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち								後期計画登載頁	45	頁		
	施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供												
	施策項目	②社会教育の充実と活性化												
個別計画	第５次大町市生涯学習推進プラン										13	頁		

事業の目的

対象とありたい姿

地域づくりの拠点施設として、地域住民や自治会等を対象に、生涯学習の機会の提供など公民館事業の充実を図り、地域づくりを支援する。

主な実施内容

・体育事業「小中学校・保育園・地区運動会、夏季球技大会、冬季スポーツ大会」
・文化事業「地区文化祭、元気アップ講座、親子教室、高齢者・熟年学級、通学合宿・自然体験教室、各種講座、介護予防教室共催」
・分館事業補助

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		2,848,517 円	2,294,813 円	1,802,958 円
財源内訳	特定財源	円	円	円
	一般財源	2,848,517 円	2,294,813 円	1,802,958 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
3,727,000	-1,081,000			2,646,000	1,802,958	

不用額	特定財源	細節名				
843,042		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

◇体育事業
・美麻小中学校・みあさ保育園・美麻地区運動会　令和4年6月4日　約500人参加
・美麻地区夏季球技大会（グラウンドゴルフ）　令和4年8月21日　55人参加

◇文化事業
・元気アップ講座　（地区住民対象）令和4年5月1日　34人参加
（美麻小中学生対象）　5月2日　97人参加
・お手伝いし隊　令和4年5月、令和5年3月　延べ36人参加
・高齢者・熟年学級　令和4年7月～令和5年3月　延べ62人参加
・美麻地区文化祭　令和4年10月23日　約80人参加
・木彫り教室　令和4年11月～12月　延べ29人参加
・山留センター・八坂公民館・美麻公民館合同スキー活動
令和5年1月、2月　延べ25人参加（美麻のみの数値）
・美麻イワナつかみ体験　令和4年8月5日　延べ23人参加


運動会


元気アップ講座

◇新型コロナ感染症の感染拡大に伴い中止とした事業
・通学合宿・自然体験教室　・山留センター・八坂公民館・美麻公民館合同登山　・冬季スポーツ大会

◆ 事業の成果
コロナ禍のため、事業開催に向け影響を受けたが、可能な範囲で開催した。コロナ発生以降は中止が続いたが、今後の“コロナ対策緩和後”に向け再開した事業や新事業を展開したことで、住民の親睦の場の復活への足掛かりとしたい。

◆ 前年度からの改善点
コロナ禍4年目であったため、従来からの形式にとらわれず、地区住民の親睦の場をつくるべく、やり方等を再考し可能な範囲で開催までこぎつけた。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続											
担当課	教育委員会	生涯学習課	図書館	事務事業No.	110443							
事務事業名	図書資料購入事業			実施方法	市が直接実施							
会計	一般会計	款	10	項	4	目	4	決算書	251	頁		
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁	45	頁		
	施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供										
	施策項目	②社会教育の充実と活性化										
個別計画	第５次大町市生涯学習推進プラン								15	頁		

事業の目的

対象とありたい姿

市民が必要とする資料を選定及び購入することにより、図書館の役割を強化し、利用者の増加や図書館事業の質的向上を図る。
知の拠点として、住民の「知りたい」、「学びたい」に応えられるよう、求める情報を提供できる環境づくりに努め、住民が自ら調べ、考え、行動できる手助けをする。

主な実施内容

・市民のニーズに適合した資料の選定及び購入
・市民のリクエスト本の購入
・図書館ならではの専門的な知識を得るための資料の購入
・図書資料の収集、整理・資料の修理

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		8,208,774	円	8,165,532	円	8,257,335	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	8,208,774	円	8,165,532	円	8,257,335	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
8,292,000				8,292,000	8,257,335	

不用額	特定財源	細節名				
34,665		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

蔵書購入数　3,670冊
一般書　1,881冊
児童書　1,163冊
郷土資料　32冊
雑誌　581冊
ＡＶ資料　13点

図書購入リクエスト数　34冊

◆ 事業の成果

新型コロナウイルス感染対策の影響もあり、令和3年までは利用者数及び貸出数を減少させることとなってしまったが、市民のニーズに適合した選書や各種講座による情報提供を継続した結果、利用者数は回復傾向にある。

また、近隣図書館の蔵書や新着図書をチェックすることで、利用者へ提供できる情報を補完しあえるような選書を心掛け、市外からの利用も一定数見込むことができている。

主要な施策の成果説明書

									前年度評価	継続		
担当課	教育委員会	生涯学習課	文化会館						事務事業No.	110453		
事務事業名	文化会館公演事業								実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計		款	10	項	4	目	5	決算書	251	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							後期計画登載頁	48	頁	
	施策目標	【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
	施策項目	①芸術文化の振興										
個別計画	第５次大町市生涯学習推進プラン									14	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

大町市民を対象とするが、同規模の文化ホールが近隣市町村にないことから、広域的な利用についても対象とする。舞台芸術に触れる機会の少ない市民が、気軽に楽しく芸術文化に触れあうことができるよう文化会館を中心とした継続的な芸術文化活動を促進すると共に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する。

主な実施内容

ミュージカル、落語、クラシックコンサート、ポップスコンサート等の公演の開催。
これまで行ったことのないジャンルでのステージイベントを開催することにより、新たなジャンルでの来場者確保に繋げることができた。市民文化芸術活動の発表の場の提供。市民文化団体のステージ利用に関する育成。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		6,433,108 円	22,771,455 円	23,325,919 円
財源内訳	特定財源	円	円	円
	一般財源	6,433,108 円	22,771,455 円	23,325,919 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
27,514,000	-1,695,000		-762,028	25,056,972	23,325,919	

不用額	特定財源	細節名				
1,731,053		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

自主事業

ちっちゃなコンサート　ワンコインシリーズ　２回
セイジ・オザワ松本フェスティバル　スクリーンコンサート
藤巻亮太　トーク＆ライブ　（みずのわシンポジウム）
劇団四季ファミリーミュージカル「人間になりたがった猫」
なつかシネマ　２回
プリキュアショー・書道パフォーマンス
うたうプロジェクト「大合唱２０２３」
うたうワークショップ・親子ワークショップ　11回

自主文化事業

ミュージックサマー（リハーサル・本番）
ＤＡＮＣＥ　ＬＩＶＥ　２０２２（リハーサル・本番）
市民芸能ＳＨＯＷ（リハーサル・本番）
ハーモニーコンサート（リハーサル・本番）

共催イベント

はばたきの集い　２回
少年少女合唱団定期演奏会
ＮＨＫ新・ＢＳ日本のうた（リハーサル・本番）
劇団四季「こころの劇場」
森山直太朗コンサートツアー

◆ 事業の成果

コロナ禍においても様々なイベントを実施し、多くの皆様にご来場いただいた。
「ちっちゃなコンサート　ワンコインシリーズ」「なつかシネマ」など、これまでに無かった小規模イベントの開催により、文化会館という施設が身近に感じていただく機会を設けることができた。　今後も身近な施設として愛されるような管理・運営を行っていきたい。

◆ 前年からの改善点

小規模イベントの回数を増、ワークショップ等体験型イベントの開催。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続										
担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係					事務事業No.	110462		
事務事業名	文化財保護一般経費							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	10	項	4	目	6	決算書	253	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁	48	頁	
	施策目標	【３】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実									
	施策項目	②文化財の保護継承と活用									
個別計画	第５次生涯学習推進プラン								14	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・歴史ある、有形・無形の貴重な文化財が適切に保護・保存・継承されるよう、県教委他関係機関、所有者他関係団体等と連携し、文化財保護事業に取り組む。
・文化財や地域の歴史・文化等に関する学習機会を提供することにより、地域の歴史・文化・自然遺産として再発見し、郷土への愛着、誇りや文化財保護意識の醸成を促進する。
・文化財等の調査・研究・情報発信を進め、地域の特徴的なコンテンツとして地域住民自らの手による積極的な利活用を支援することにより、地域観光の振興を図る。

主な実施内容

・文化財の保護・保存・継承　文化財所有者等が行う保存修理、保護活用等に対する支援や天然記念物等の環境整備
・文化財保護意識等の醸成　文化財に関する講座、観察会や特別展の開催
・文化財の調査と活用　未指定文化財等の調査と研究、地域振興のための活用方策の検討

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		4,592,842	円	3,769,116	円	4,648,507	円
財源内訳	特定財源	110,000	円		円	109,000	円
	一般財源	4,482,842	円	3,769,116	円	4,539,507	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
6,705,000	-1,046,000	0	0	5,659,000	4,648,507	0

不用額	特定財源	細節名	文化財保護事業補助金			
1,010,493		金額	109,000			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等　なし

◆ 施策目標に資する活動

○ 文化財の指定
山の神遺跡出土品
有形文化財　考古資料　４月１３日指定
①押型文土器ほか　４点
②異形部分磨製石器　４１点　　合計４５点

○ 国有形文化財登録
栗林家住宅（創舎わちがい）店舗・主屋・門及び塀
１０月３１日付文部科学省告示第１３７号

○ 文化財調査：信州大学受託研究
本通り周辺の歴史的建造物の調査

○ 指定文化財等保護事業への支援
若一王子神社社叢危険木伐採・剪定
仁科神明宮非常用発電設備修繕　ほか

○ 指定文化財等の管理、環境整備、保全
覚音寺千手観音等、居谷里湿原　ほか

○ 文化財等の修繕
霊松寺山門説明案内看板修繕

○ 文化財保護啓発・普及活動
文化財講座の開催　８回　参加者延２０１人
居谷里湿原自然観察会　４５人
文化財特別展開催　社・美麻・八坂地区、大町市文化祭

国有形文化財登録
栗林家住宅（創舎わちがい）店舗



国有形文化財登録
栗林家住宅（創舎わちがい）門及び塀



文化財講座　おおまち歴史のまち探訪
（大町公民館・定住促進係共催）



文化財講座　高瀬川基盤岩と大町市の地形
（常盤公民館共催）



文化財講座　巨大山城「木舟城」を探る
（社公民館共催）



◆ 事業の成果　　郷土への愛着や誇り、文化財保護意識の醸成を図るとともに、地域振興を図るための取り組みが進んでいる。

◆ 前年度からの改善点　例年と同様に、他係等と連携し、事業を効果的に推進している。

主要な施策の成果説明書

									前年度評価	継続		
担当課		教育委員会	スポーツ課	スポーツ推進係					事務事業No.	110514		
事務事業名		体育大会運営事業							実施方法	その他		
会計		一般会計	款	10	項	5	目	1	決算書	257	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							後期計画登載頁	49	頁	
	施策目標	【３】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
	施策項目	⑤スポーツの振興										
個別計画		大町市スポーツ推進計画									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

市民及び各競技団体を対象に、スポーツ大会の開催と交流の促進を行う。

主な実施内容

(主)市民スポーツ祭（夏季）、(主)大北スポーツ競技会、(主)市民登山、(主)B&G少年武道大会、
(主)木崎湖カップカヌー大会、大町アルプスマラソン、大北縦断駅伝大会、県縦断駅伝大会、
県市町村対抗駅伝大会

各種大会負担金

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		2,922,396	円	3,662,985	円	3,915,710	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	2,922,396	円	3,662,985	円	3,915,710	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
4,935,000				4,935,000	3,915,710	

不用額	特定財源	細節名				
1,019,290		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

〇スポーツ大会

- 市民スポーツ祭　　夏季大会：17競技　933人参加　　冬季大会：暖冬のため中止
- アルプスマラソン　申込2,357人　出走2,076人
- 大北スポーツ競技会　　10競技　804人参加
- B&G会長杯少年武道大会（剣道）２２名参加
- 木崎湖カップカヌー大会　２２名参加
- 市民登山（鹿島槍ヶ岳）　１０名参加

〇スポーツ大会（負担金）3,368,969円

- 県高校駅伝競走大会　・大北スポーツ競技会　・おおまぴょんカップサッカー大会
- 大町アルプスマラソン　・大北縦断駅伝大会　・県縦断駅伝大会　・県市町村対抗駅伝大会

◆ 事業の成果

・コロナ感染者数の減少もあり、予定していた大会は、暖冬による中止の市民スキー・スケート大会を除き実施できた。しかし、コロナ禍、少子高齢化等の影響から参加者の減少は著しい状況。

◆ 前年度からの改善点

・県縦断駅伝への参加は、参加標準記録を上回ることが必修となり、令和4年度は、大町北安曇単独では出場人数の確保ができないため、塩尻・東筑・木曽、安曇野市との合同チームで出場した。また、開催日程は2日から1日へ変更された。　　※参加標準記録　男性5000m　16分40秒　　女性3000m　12分40秒

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	教育委員会	スポーツ課	スポーツ推進係					事務事業No.	110515		
事務事業名	スポーツ振興事業							実施方法	その他		
会計	一般会計	款	10	項	5	目	1	決算書	259	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁	50	頁	
	施策目標	【３】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実									
	施策項目	⑤スポーツの振興									
個別計画	大町市スポーツ推進計画									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

幼児期から高齢者までの市民が、健康で生き生きと活力あふれる生活を送ることができるように、個人や団体スポーツ活動の充実を図る。
また、スポーツの振興により仲間づくりや地域コミュニティの活性化を図る。

主な実施内容

【スポーツ教室等の開催】運動あそび教室（巡回運動教室）、ママさんフリータイム広場、ボディバランス教室ほか
【団体活動支援のための補助】大町市体育協会
【スポーツ振興のための補助】青少年スポーツ振興、指導者等人材育成
【松本山雅FCとの連携】保育園等での巡回指導、ホームタウンデー等での大町市のPR、パブリックビューイング
【その他】スポフェスおおまち

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		6,314,957 円	7,866,116 円	13,341,560 円
財源内訳	特定財源	円	円	2,000,000 円
	一般財源	6,314,957 円	7,866,116 円	11,341,560 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
17,769,000			-2,161,972	15,607,028	13,341,560	

不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金			
2,265,468		金額	2,000,000			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

〇スポーツ教室等

- パーソナルトレーナーによるトレーニング講座（全26回　468人）
- ボディーバランス教室（全13回　70人）
- ママさんフリータイム広場（全4回　41人）
- 運動あそび教室（全18回　424人）
- 小学生スキー教室（全２回　70人）
- 冬季ママパパさんフリータイム（全４回　３２人）
- 大人のスキー教室（全３回　16人）
- BG海洋教室（2回　18人）
- ウオータースポーツ教室（１回　１４人）

〇スポーツ振興事業補助金

- 青少年スポーツ振興事業

  認定地域スポーツクラブ活動（8件）　県外開催の大会参加（9件）

- 指導者等人材育成事業

  資格取得講習会等への参加（１件）

〇スポフェスおおまち（400人）

◆ 事業の成果

- コロナ感染者減少に伴い、令和3年と比較して多くの教室が開催でき、参加者も大幅に増加した。
- 4年ぶりに開催したスポフェス大町については、開始から終了までの間、来館者が途切れることがなく、最後の抽選会まで多くの方に参加いただいた。

◆ 前年度からの改善点

- ママさんフリータイム広場の冬季バージョンについて、令和4年度は、育児中のパパさんも参加できることとした。
- 大人のスキー教室は、スキー場のスキー学校指導者から指導いただける体制とした。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続			
担当課	教育委員会	スポーツ課	スポーツ推進係					事務事業No.	110522			
事務事業名	体育施設整備事業							実施方法	その他			
会計	一般会計			款	10	項	5	目	2	決算書	259	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁			50	頁
	施策目標	【３】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
	施策項目	⑤スポーツの振興										
個別計画	大町市スポーツ推進計画											頁

事業の目的

対象とありたい姿

生涯スポーツの推進のために、必要な施設整備を順次実施する。
施設の在り方や利用率等を参考に必要な施設整備を行うとともに、併せて備品の整備を行う。

主な実施内容

〇工事
　平野球場コンセント増設工事、総体受水槽給水ポンプ交換工事、マレットゴルフ場スロープ設置工事
　（繰越）美麻新行地区運動施設トイレ解体工事
〇備品購入
　ジェットヒーター、エンジン式高圧洗浄機、刈り払い機、ノンガス半自動溶接機、計量器ほか

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		8,625,654 円	6,430,930 円	4,100,817 円
財源内訳	特定財源	円	円	円
	一般財源	8,625,654 円	6,430,930 円	4,100,817 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
11,997,000	-9,000,000	2,000,000		4,997,000	4,100,817	

不用額	特定財源	細節名				
896,183		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：なし

◆ 施策目標に資する活動

〇工事
- 平野球場コンセント増設工事（407,000円）
- 総合体育館受水槽給水ポンプ更新工事（992,200円）
- マレットゴルフ場南コーススロープ設置工事（451,000円）
- （繰越）美麻新行地区運動施設トイレ解体工事（1,529,347円）

〇備品購入
- ジェットヒーター（435,600円）
- エンジン式高圧洗浄機（127,710円）
- 刈り払い機（62,920円）
- ノンガス半自動溶接機（44,880円）
- 計量器/ロングトリマー/生垣バリカン（50,160円）

◆ 事業の成果

〇工事
　施設利用にあたり、課題が解消された。

〇備品購入
　作業用機械等の購入により、施設整備の作業効率が向上した。

◆ 前年度からの改善点

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	教育委員会	学校教育課	庶務係					事務事業No.	110535		
事務事業名	おいしい給食費							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計	款	10	項	5	目	3	決算書	260	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁	40	頁	
	施策目標	【１】心豊かにたくましく生きる子どもの育成									
	施策項目	①基礎的な学力・体力の向上									
個別計画										頁	

事業の目的

対象とありたい姿

教職員の働き方改革、保護者の給食費集金作業に関し、学校給食費の公会計化により教職員や保護者の負担軽減を図るとともに、学校給食費の透明性・公平性を確保する。

また、児童生徒の食育に関しては、地域食材の活用（地産地消）を図り、郷土食の食育及び郷土愛を育む。

主な実施内容

- 学校給食費の賦課徴収　・納入業者の登録業務　・納入業者への食材費の支払い　・滞納相談
- 児童手当等の給食費への充当
- 教職員の働き方改革の一つとして、学校給食費を公会計化し、市が徴収管理をしている
- 学校給食用食材の納入に関して、業者の登録を義務付け、市内地産地消の推進を図る

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		105,163,803 円	109,288,400 円	112,218,596 円
財源内訳	特定財源	99,105,180 円	103,709,340 円	99,843,990 円
	一般財源	6,058,623 円	5,579,060 円	12,374,606 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
116,087,000	-2,063,000			114,024,000	112,218,596	

不用額	特定財源	細節名	学校給食費			
1,805,404		金額	99,843,990			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

〇未収金対応

- 児童手当からの充当　　131件、700,400円
- 就学援助費からの充当　1,288件、6,739,207円
- 生活保護費からの充当　30件、175,680円

〇納入業者登録状況（４年度末）

- 市内：30件
- 市外：　9件

◆ 事業の成果

- 給食費の公会計化により、教職員の負担軽減が図られている。
- 市内全小中学校で統一した献立のもと、「大町を味わう日」を年２回設定し、地域食材を積極的に活用することが、地産地消につながっている。
- 地産地消の一環として、地産地消実行委員会から提供された市内産の低農薬米を自校炊飯をしている美麻小中学校給食で試食。この給食を通じ、食の安全、環境や健康問題を考えるきっかけとなった。

◆ 前年からの改善点等

- 給食費の未納者への早期対応に取り組むことができた。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続												
担当課	教育委員会	山岳博物館	山岳博物館							事務事業No.	110613		
事務事業名	山岳博物館教育普及事業									実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計		款	10	項	6	目	1		決算書	263	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち								後期計画登載頁	46	頁	
	施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供											
	施策項目	③多様な分野の学習活動の促進											
個別計画	大町市第７期社会教育計画										37	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・地域の総合博物館という基本的な性格をもち、市民、市内学生および大町市を訪れる観光客を対象として、山岳文化都市としての情報発信や生涯学習の機会を提供し、山岳に関わる文化や科学の継承および教育普及事業を推進する。

主な実施内容

①展示事業：『大きな水がめとしての北アルプス、そして水のまち大町』、『仁科三湖の成り立ち』、『山書の世界』を開催。各展示の関連事業としてミュージアムトーク、講座を開催。②講演会：『山のお花畑が教えてくれる生き物と生き物の繋がり』　③発行物：『企画展展示解説』、『山と博物館』、『研究紀要』、『年報』　④学習会：『山のサイエンスカフェinさんぱく2023』ほか　⑤学社連携、融合：市内小学校の連携授業、総合学習などの開催。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		4,347,563 円	4,035,600 円	4,346,135 円
財源内訳	特定財源	円	251,000 円	48,800 円
	一般財源	4,347,563 円	3,784,600 円	4,297,335 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
5,159,000	0	0	0	5,159,000	4,346,135	0

不用額	特定財源	細節名	企画展解説書販売金			
812,865		金額	48,800			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

常設展示：展示資料1,013点（収蔵資料　81,767点　+　196ケース）
企画展『大きな水がめとしての北アルプス、そして水のまち大町』　4月23日～7月18日　観覧者　6,216人
　ミュージアムガイド　6回　参加者20人　　さんぱくゼミナール　2回　参加者７６人
企画展『仁科三湖の成り立ち』　7月23日～10月16日　観覧者　7,630人
　ミュージアムガイド　4回　参加者３０人　地学見学会　1回　１７人　さんぱくゼミナール　1回　参加者４０人
企画展『山書の世界』　１０月２２日～１２月２５日　観覧者　3,054人
　ミュージアムガイド　4回　参加者６人
講座　『山のサイエンスカフェinさんぱく２０２３』ほか　計１７回　参加者１９８人
観察会・講演会への講師派遣　２７回　参加者１，０７２人

◆ 事業の成果

・常設展示については、２階「山の成り立ち」（地形地質）コーナーの解説パネルを入れ替えるなど改良を行った。
・企画展示については、年間３回開催し、日頃の調査・研究活動の成果として反映させた。
・新型コロナウイルス感染症に対する不安の中でも、感染症防止対策を徹底し参加者などが安心できるよう配慮した。
・市外の学校から、ライチョウの講演を依頼されるようになり、市外の生徒にも博物館の宣伝ができた。
・ホームページにライチョウ会議の頁を作成し、過去の会議報告書が自由に閲覧できるようになった。

◆ 前年度からの改善点

・スマートフォンを活用した多言語での博物館展示解説システムの試験運用を開始した。ＱＲコードを公開することで、世界のどこでも多言語で視聴でき、海外からの入館者だけでなく、国内の修学旅行の事前学習にも利用してもらうことを想定している。

主要な施策の成果説明書

									前年度評価	継続		
担当課	教育委員会	山岳博物館	山岳博物館						事務事業No.	110614		
事務事業名	山岳博物館調査研究事業								実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計			款	10	項	6	目	1	決算書	263	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							後期計画登載頁		49	頁
	施策目標	【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
	施策項目	④山岳文化の振興と活用										
個別計画	大町市第７期社会教育計画										37	頁

事業の目的

対象とありたい姿

・博物館単独での実施のほか大学や研究機関と連携して、北アルプスおよびその山麓地域における自然や文化をテーマとした調査、研究活動を推進する。その成果は、市民ならびに博物館を活用される観覧者を対象とした教育普及活動に反映させる。

主な実施内容

主な調査研究活動
（１）高山植物の生活史に関する研究　（２）希少動植物の生態調査研究　（３）ライチョウの飼育・増殖技術の確立を目指した研究　（４）北アルプスの気象などの調査研究　（５）大町市を中心とした野生動植物調査　（６）仁科三湖の成り立ちに関する調査　（７）山岳書籍に関する調査　ほか

事業費

決算額		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
総事業費（決算額）		284,036	円	258,466	円	349,252	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	284,036	円	258,466	円	349,252	円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
489,000	0	0	0	489,000	349,252	0

不用額	特定財源	細節名				
139,748		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

主な調査研究項目
（１）高山植物の生活史に関する調査研究（令和６年度以降の研究紀要で報告予定）
（２）山岳書籍に関する資料調査（令和４年度企画展で公開）
（３）日本産草本植物の生活史に関する調査研究（研究紀要で報告）
（４）仁科山地の地質に関する調査研究（令和４年度企画展、研究紀要で報告）
（５）市内におけるアライグマの侵入調査（研究紀要で報告）
（６）北アルプス地域の気象に関する調査研究（令和４年度企画展で公開）
（７）ライチョウの飼育・増殖技術確立を目指した研究（ライチョウ会議大会などで報告）
（８）市内小学校に生息している生き物調査（令和6年度企画展で公開予定）

◆ 事業の成果

・各分野ごとにテーマを決めて、年間を通して調査・研究を実施している。成果については、教育普及活動として企画展示や常設展示に反映させるほか、講座や観察会、広報誌（山と博物館）、研究紀要などを通して市民をはじめとした観覧者などに広く公開している。
　また、アンケートにより観覧者などからご意見をいただき、今後の調査・研究活動に活かすようにしている。

◆ 前年度からの改善点

・現在、大町市内の山岳におけるライチョウの生態調査は、長野県が実施している。当館の学芸員が独自に調査できるよう技術研鑽を目的に県の調査に同行した。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続											
担当課	教育委員会	山岳博物館	山岳博物館					事務事業No.	110615			
事務事業名	山岳資料収集保管事業							実施方法	市が直接実施			
会計	一般会計		款	10	項	6	目	1	決算書	265	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁		49	頁	
	施策目標	【３】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
	施策項目	④山岳文化の振興と活用										
個別計画	大町市第７期社会教育計画									37	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・山岳に関係する資料や文献などについて、購入や寄贈を受けるなど収集・整理・保管を行い、展示をはじめとした博物館機能の充実を図る。
・新規に受け入れした資料は、展示活用などに向けた基礎資料として整理を行い、後世にわたり活用できるように適正な保管管理を行う。

主な実施内容

・市民などからの寄贈や寄託、購入のほか、学芸員が作成した標本など新規収集資料については、資料受け入れのための事務手続きと整理作業、博物館資料としての台帳登録管理を行う。
・資料保存については、日常的な害虫駆除のほか、新規受け入れの際には、浸透性の高いフッ化スルフリル系製剤による包み込み燻蒸を実施し、館内への害虫の持ち込みを防ぐことで資料の永続的な保管を行う。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		2,214,191 円	2,232,100 円	751,876 円
財源内訳	特定財源	円	72,000 円	64,800 円
	一般財源	2,214,191 円	2,160,100 円	687,076 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
905,000	0	0	0	905,000	751,876	0

不用額	特定財源	細節名	自然史系博物館所有の生物多様性情報に関わるデータ提供料			
153,124		金額	64,800			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

資料収集　令和４年度の寄贈などによる収集資料
自然科学系
寄贈：植物さく葉標本　１件　１４６点
鳥類剥製標本　１件　１点・クマ歯　１件　１点
制作：魚剥製標本　２点　・鳥剥製標本　１点
鳥骨格標本　２点　・哺乳類骨格標本　２点

資料整理　会計年度任用職員（事務員兼資料整理員）　１人
年間を通して学芸員の指導に基づき整理を実施

資料管理　常設展示室、収蔵庫の防虫剤、忌避剤の設置
新規受け入れ資料などの燻蒸



ヤマメ（剥製）

◆ 事業の成果

・新規収集した資料は、年度内での台帳整理までの完了を目指している。
・収蔵資料については、企画展や常設展示に活用するほか、研究対象や教育普及活動にも用いている。
・収蔵点数が少ない骨格標本の充実が図れた。
・２階動物コーナーに新たに制作した魚の剥製を設置し、よりリアルな魚の姿を来館者に見ていただけるようになった。
・サイエンスネットミュージアムに植物標本データ１，６２０点を新たに提供した。

◆ 前年度からの改善点

・教育普及事業である標本づくりの講座の参加者による剥製標本の整理作業の手伝いをしていただき、博物館業務の一端を知っていただく機会となった。
・動物資料の収蔵庫に除湿器を増設して湿度調整を図った。
・骨格標本の制作は、業者に委託せず職員が自ら作ることによりコスト削減を図った。

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課	教育委員会	山岳博物館	山岳博物館					事務事業No.	110616		
事務事業名	動植物飼育栽培繁殖事業							実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計		款	10	項	6	目	1	決算書	265	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画登載頁		49	頁
	施策目標	【３】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実									
	施策項目	④山岳文化の振興と活用									
個別計画	大町市第７期社会教育計画									37	頁

事業の目的

対象とありたい姿

・市民ならびに観覧者を対象として、貴重な野生動植物を保護し、飼育・繁殖および栽培、調査研究を行いながら、北アルプスに生息する生物の生体展示を行う。

・博物館本館の展示と連携した野生動植物の飼育・栽培および繁殖・増殖を行い、山岳博物館としての機能の充実を図る。

主な実施内容

・付属園の機能・役割として、博物館の展示だけでは伝えきれない生体展示としての動物や植物の実物の姿を見ていただき、その生態の不思議と命の大切さを伝える。また、飼育栽培している動植物を活用した調査研究および教育普及活動を実践する。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		5,930,597 円	6,009,789 円	4,608,861 円
財源内訳	特定財源	円	134,000 円	234,000 円
	一般財源	5,930,597 円	5,875,789 円	100,000 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
7,181,000	-2,232,000	0	-57,000	4,892,000	4,608,861	0

不用額	特定財源	細節名	傷病鳥獣救護委託金	ふるさと応援基金繰入金		
283,139		金額	134,000	100,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

動物飼育：哺乳類２種　５個体・鳥類６種　２１個体

ブリーディングローン（カモシカ）貸出２個体

内訳：埼玉こども動物自然公園・長野市茶臼山動物園

栽培植物：７６種　コマクサ、アズミノヘラオモダカほか



埼玉から導入した
カモシカ（ナグリ）
令和元年６月７日生まれ

教育普及事業

付属園まつり　５月１日～５日　延べ２，４４９人参加

クイズラリー　５日　２５７人・ライチョウガイド　５日　998人・動物舎進展　５日　１，１０４人

どうぶつ観察ツアー　４回　３０人・おおまぴょんと遊ぼう　２回　６０人

◆ 事業の成果

・３頭飼育しているニホンカモシカの高齢化が進んでいることから、１０月２４日に埼玉こども動物自然公園から、当館から貸出しているカモシカの子にあたる若い成獣のオス１頭を受け入れ、将来の繁殖に向けた飼育を行っている。

・付属園における主な教育普及活動のひとつである付属園まつりは、児童・生徒に対して楽しみながら学べる機会の提供の場として、効果が高いと考えている。

・ツイッターなどＳＮＳを積極的に活用した情報発信を行うことがリピーターの確保につながっている。

・高山植物の育苗ができたことから、来年度以降、付属園に移植し展示の充実を図る計画でいる。

◆ 前年度からの改善点

・飼育動物の管理方法に大きな変更はないが、飼育個体の老齢化が進んでいることから、冬季間獣舎に防寒対策を施すなどした。

主要な施策の成果説明書

									前年度評価	継続		
担当課	教育委員会	山岳博物館	山岳博物館						事務事業No.	110617		
事務事業名	ライチョウ飼育事業								実施方法	市が直接実施		
会計	一般会計			款	10	項	6	目	1	決算書	265	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							後期計画登載頁		49	頁
	施策目標	【３】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
	施策項目	④山岳文化の振興と活用										
個別計画	大町市第７期社会教育計画										37	頁

事業の目的

対象とありたい姿

・環境省のニホンライチョウ保護増殖事業の一環として、ニホンライチョウの生息域外および域内保全事業に寄与するために、増殖技術の確立を目指す。
・ライチョウに関わる調査研究および教育普及活動を推進する。
・ニホンライチョウの増殖技術の向上に役立てるためや、教育普及活動に活用するために、ニホンライチョウと近縁であるスバールバルライチョウの飼育についても実施する。

主な実施内容

・ニホンライチョウ、スバールバルライチョウの繁殖事業の実施。
・ニホンライチョウ、スバールバルライチョウの生態の調査研究、教育普及活動の実施。
・ニホンライチョウ、スバールバルライチョウの展示公開による教育普及活動の実施。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		6,820,053 円	7,647,429 円	4,230,545 円
財源内訳	特定財源	円	円	3,000,000 円
	一般財源	6,820,053 円	7,647,429 円	1,230,545 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
8,785,000	-2,232,000	0	-1,305,268	5,247,732	4,230,545	0

不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金			
1,017,187		金額	3,000,000			

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

ニホンライチョウ

オス（平成元年　当館生まれ）とメス（令和２年　那須生まれ）のペアによる人工育雛
３個の授精卵をふ卵器に入れ２羽ふ化したが、１週間のうちに死亡した。
死因は、解剖の結果胸骨に奇形（形成不全）が認められた。

スバールバルライチョウ

オス（平成２９年　当館生まれ）とメス（平成２８年　当館生まれ）のペアによる自然育雛
１３個生んだ卵をふ卵器に入れ、発生状況のよい４卵を母鳥に託した。
４羽ふ化したが、１羽が育成した。

◆ 事業の成果

・令和４年度のニホンライチョウ繁殖事業は、オス４羽・メス５羽の計９羽でスタートし、人工繁殖を試みたが、繁殖には至らなかった。
（令和５年３月３１日現在　オス４羽・メス４羽の計８羽飼育中）
・スバールバルライチョウについては、オス１羽・メス１羽の計２羽でスタートし、当館で初めての繁殖として自然繁殖に取り組んだが、親鳥がうまく育てられず人工育雛に切り替え、オス１羽が生育した。
（令和５年３月３１日現在　オス２羽飼育中）

◆ 前年度からの改善点

・産卵環境をより野生下に近づけるため、野外のライチョウ研究者の指導のもと、産座（卵を産む場所）を改良した。
・他園との連携をより密に図り、治療や育雛時に助言を求めるなどして対応に当たった。

主要な施策の成果説明書

										前年度評価	継続		
担当課		教育委員会	山岳博物館	山岳博物館						事務事業No.	1106112		
事務事業名		付属園整備事業								実施方法	市が直接実施		
会計		一般会計		款	10	項	6	目	1	決算書	265	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第１章_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち								後期計画登載頁	46	頁	
	施策目標	【２】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供											
	施策項目	③多様な分野の学習活動の促進											
個別計画		大町市第７期社会教育計画									37	頁	

事業の目的

対象とありたい姿

・付属園整備計画に沿って、老朽化した動物飼育舎などの改築や、野生動物の侵入を防ぐための外周柵の整備だけでなく、市民および大町市を訪れる観光客のために、楽しく学べ、遊び、観光資源としても活用ができるよう、高山植物や岩石の展示、憩いの空間展示を兼ね備えた付属園として整備を行っていく。

主な実施内容

・付属園では、これまでにニホンライチョウ舎とスバールバルライチョウ舎の整備を、ほかの動物舎に先行して進めてきた。今後、動物の飼育施設を整備するにあたっては、各動物の生活や福祉に十分配慮するとともに、動物の種類や個体数などに適合した施設規模や構造を考慮し、本来の生態や習性が発現できることを目指す。
・低山から高山までの環境を復元し、動物以外にも植物や岩石などの展示も行い、憩いの場として市民や観覧者が楽しみながら学べる空間整備を行う。

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		754,875 円	449,625 円	550,770 円
財源内訳	特定財源	円	円	円
	一般財源	754,875 円	449,625 円	550,770 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
918,000	0	0	-349,230	568,770	550,770	0

不用額	特定財源	細節名				
18,000		金額				

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

付属園内の施設整備などの緊急修繕を実施。
付属園展示改修基本構想（素案）の修正作業を実施し、令和４年度第１回市立大町山岳博物館協議会での承認を経て、教育委員会に報告をした。

◆ 事業の成果

・課内検討を重ね付属園展示改修基本構想（素案）を作り上げ、令和４年度第１回市立大町山岳博物館協議会で説明し、メールなどで委員の方々よりいただいたご意見を反映させ素案を完成させ、教育委員会に報告した。
・付属園整備には大規模な予算処置が必要であることから、事業が開始されるまでは老朽化施設の緊急修繕で対応し、施設の長寿命化を図っている。

◆ 前年度からの改善点

・付属園展示改修基本構想（素案）について、博物館協議会よりご意見いただき、構想（素案）に反映させた。

国民健康保険特別会計（事業勘定）決算対前年度比較

歳入　　（単位：円）

款	項		令和４年度 収入済額	令和３年度 収入済額	前年度差額	増減率 （%）
1		国民健康保険税	478,877,903	496,372,175	-17,494,272	-3.5
	1	国民健康保険税	478,877,903	496,372,175	-17,494,272	-3.5
2		使用料及び手数料	264,497	280,100	-15,603	-5.6
	1	手数料	264,497	280,100	-15,603	-5.6
3		国庫支出金	0	1,774,000	-1,774,000	皆減
	1	国庫補助金	0	1,774,000	-1,774,000	皆減
4		県支出金	2,273,476,786	2,177,038,194	96,438,592	4.4
	1	県補助金	2,273,476,786	2,177,038,194	96,438,592	4.4
5		財産収入	138,413	187,969	-49,556	-26.4
	1	財産運用収入	138,413	187,969	-49,556	-26.4
6		繰入金	234,656,687	213,322,108	21,334,579	10.0
	1	他会計繰入金	234,656,687	213,322,108	21,334,579	10.0
	2	基金繰入金	0	0	0	-
7		繰越金	15,231,652	24,903,736	-9,672,084	-38.8
	1	繰越金	15,231,652	24,903,736	-9,672,084	-38.8
8		諸収入	32,174,538	27,576,712	4,597,826	16.7
	1	延滞金及び加算金	2,554,985	3,217,460	-662,475	-20.6
	2	預金利子	0	0	0	-
	3	貸付金元利収入	4,536,282	2,020,947	2,515,335	124.5
	4	雑入	25,083,271	22,338,305	2,744,966	12.3
合計			3,034,820,476	2,941,454,994	93,365,482	3.2

歳出

（単位：円）

款	項		令和４年度 支出済額	令和３年度 支出済額	前年度差額	増減率 （%）
1		総務費	19,138,086	19,670,128	-532,042	-2.7
	1	総務管理費	9,091,481	8,752,578	338,903	3.9
	2	徴税費	9,965,005	10,651,050	-686,045	-6.4
	3	運営協議会費	81,600	266,500	-184,900	-69.4
2		保険給付費	2,222,039,085	2,128,891,885	93,147,200	4.4
	1	療養諸費	1,915,542,580	1,849,333,007	66,209,573	3.6
	2	高額療養諸費	300,432,271	270,772,735	29,659,536	11.0
	3	移送費	0	0	0	-
	4	出産育児諸費	4,190,100	7,143,150	-2,953,050	-41.3
	5	葬祭諸費	1,410,000	1,350,000	60,000	4.4
	6	傷病手当諸費	464,134	292,993	171,141	58.4
3		国民健康保険事業費納付金	681,144,262	693,549,060	-12,404,798	-1.8
	1	医療給付費分	461,691,338	466,371,360	-4,680,022	-1.0
	2	後期高齢者支援金等分	162,721,332	168,016,739	-5,295,407	-3.2
	3	介護納付金分	56,731,592	59,160,961	-2,429,369	-4.1
4		共同事業拠出金	0	0	0	-
	1	共同事業拠出金	0	0	0	-
5		財政安定化基金拠出金	0	0	0	-
	1	財政安定化基金拠出金	0	0	0	-
6		保健事業費	35,406,509	34,115,210	1,291,299	3.8
	1	特定健康診査等事業費	20,027,821	18,979,704	1,048,117	5.5
	2	保健事業費	15,378,688	15,135,506	243,182	1.6
7		基金積立金	138,413	187,969	-49,556	-26.4
	1	基金積立金	138,413	187,969	-49,556	-26.4
8		公債費	0	0	0	-
	1	公債費	0	0	0	-
9		諸支出金	60,108,607	49,809,090	10,299,517	20.7
	1	償還金及び還付加算金	28,080,567	21,918,910	6,161,657	28.1
	2	繰出金	27,530,000	26,535,000	995,000	3.7
	3	貸付金	4,498,040	1,355,180	3,142,860	231.9
10		予備費	0	0	0	-
	1	予備費	0	0	0	-
合計			3,017,974,962	2,926,223,342	91,751,620	3.1

国民健康保険特別会計（八坂診療所直診勘定）決算対前年度比較

歳入

（単位：円）

款	項		令和４年度収入済額	令和３年度収入済額	前年度差額	増減率(%)
1		診療収入	21,811,230	26,188,469	-4,377,239	-16.7
	1	外来収入	20,609,478	24,960,156	-4,350,678	-17.4
	2	その他の診療収入	1,201,752	1,228,313	-26,561	-2.2
2		使用料及び手数料	121,535	143,565	-22,030	-15.3
	1	手数料	121,535	143,565	-22,030	-15.3
3		繰入金	35,759,000	34,868,000	891,000	2.6
	1	他会計繰入金	26,959,000	24,287,000	2,672,000	11.0
	2	事業勘定繰入金	8,800,000	10,581,000	-1,781,000	-16.8
4		繰越金	2,087,960	1,985,559	102,401	5.2
	1	繰越金	2,087,960	1,985,559	102,401	5.2
5		諸収入	91,950	671,000	-579,050	-86.3
	1	雑入	91,950	671,000	-579,050	-86.3
合計			59,871,675	63,856,593	-3,984,918	-6.2

歳出

（単位：円）

款	項		令和４年度支出済額	令和３年度支出済額	前年度差額	増減率(%)
1		総務費	45,433,168	47,129,514	-1,696,346	-3.6
	1	施設管理費	45,433,168	47,129,514	-1,696,346	-3.6
2		医業費	9,720,121	14,639,119	-4,918,998	-33.6
	1	医業費	9,720,121	14,639,119	-4,918,998	-33.6
3		予備費	0	0	0	-
	1	予備費	0	0	0	-
合計			55,153,289	61,768,633	-6,615,344	-10.7

国民健康保険特別会計（美麻診療所直診勘定）決算対前年度比較

歳入

（単位：円）

款	項		令和４年度収入済額	令和３年度収入済額	前年度差額	増減率(%)
1		診療収入	20,820,850	19,528,130	1,292,720	6.6
	1	外来収入	16,920,736	15,961,960	958,776	6.0
	2	その他の診療収入	3,900,114	3,566,170	333,944	9.4
2		使用料及び手数料	234,490	214,495	19,995	9.3
	1	手数料	234,490	214,495	19,995	9.3
3		繰入金	18,762,000	17,131,000	1,631,000	9.5
	1	他会計繰入金	7,267,000	4,868,000	2,399,000	49.3
	2	事業勘定繰入金	11,495,000	12,263,000	-768,000	-6.3
4		繰越金	1,835,410	3,109,811	-1,274,401	-41.0
	1	繰越金	1,835,410	3,109,811	-1,274,401	-41.0
5		諸収入	111,950	620,000	-508,050	-81.9
	1	雑入	111,950	620,000	-508,050	-81.9
合計			41,764,700	40,603,436	1,161,264	2.9

歳出

（単位：円）

款	項		令和４年度支出済額	令和３年度支出済額	前年度差額	増減率(%)
1		総務費	28,967,636	31,254,363	-2,286,727	-7.3
	1	施設管理費	28,967,636	31,254,363	-2,286,727	-7.3
2		医業費	7,819,757	7,513,663	306,094	4.1
	1	医業費	7,819,757	7,513,663	306,094	4.1
3		予備費	0	0	0	-
	1	予備費	0	0	0	-
合計			36,787,393	38,768,026	-1,980,633	-5.1

主要な施策の成果説明書

								前年度評価	継続		
担当課		民生部	市民課	国保・年金係				事務事業No.	206111		
事務事業名		特定健診・保健指導事業						実施方法	市が直接実施		
会計		国民健康保険特別会計（事業勘定）	款	6	項	1	目	1	決算書	23	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画登載頁		63	頁
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現									
	施策項目	④健康づくりの推進									
個別計画		第２次大町市健康増進計画（中間評価・見直し）									頁

事業の目的

対象とありたい姿

特定健診は生活習慣病に着目した健診であり、生活習慣病を発症するリスクの高い者を明確にし、保健指導により生活習慣の改善に向けた働きかけをすることで、被保険者の生活習慣病発病予防・重症化予防を充実させるとともに、医療費の伸びを抑制し、国保財政の健全運営を図る。

主な実施内容

- 特定健診（診察、身長・体重・腹囲、血液検査、尿検査）の実施
- 特定保健指導及びそれ以外の保健指導の実施
- 健診結果報告会の実施

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		24,171,325 円	18,979,704 円	20,027,821 円
財源内訳	特定財源	24,171,325 円	18,979,704 円	20,027,821 円
	一般財源	0 円	0 円	0 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
24,506,000	-4,155,000		143,640	20,494,640	20,027,821	

不用額	特定財源	細節名	保険者努力支援分	特定健康診査等負担金	保健事業徴収金	
466,819		金額	14,395,821	5,348,000	284,000	

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

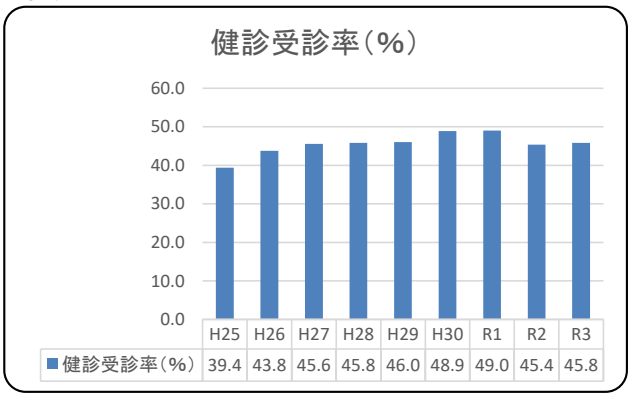
◆ 施策目標に資する活動

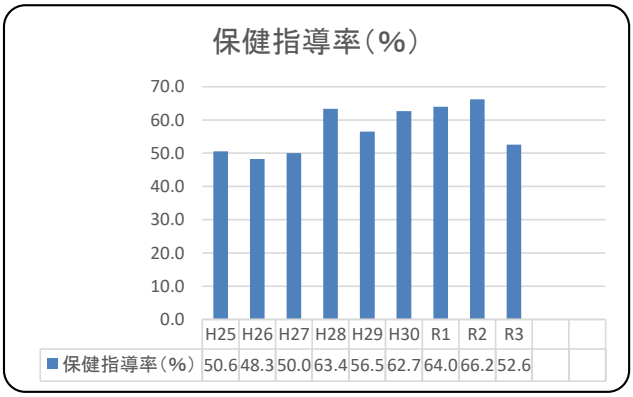
◆ 施策目標に資する活動

○特定健診受診者数（暫定値）
- 特定健診 1,271 人
- 検査結果代行業務 212 人
- 職場健診受診者 57 人
- 人間ドック受診者数 617 人

○特定保健指導実施者数（暫定値） 171 人 （指導対象者254人）

◆ 事業の成果





◆ 前年度からの改善点

年代により内容の異なる受診勧奨ハガキを送付し健診受診を促した。

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続

担当課	民生部	市民課	国保・年金係	事務事業No.	206211
事務事業名	保健衛生費			実施方法	市が直接実施

会計	国民健康保険特別会計（事業勘定）	款	6	項	2	目	1	決算書	23	頁

総合計画	まちづくりのテーマ	第３章_だれもが健康で安心して暮らせるまち	後期計画登載頁	63	頁
	施策目標	【１】健康で長生きできる社会の実現			
	施策項目	④健康づくりの推進			
個別計画		第３期特定健診等実施計画			頁

事業の目的

対象とありたい姿

・被保険者に自身の医療費の総額がわかる医療費通知と後発医薬品（ジェネリック医薬品）の利用差額通知を発送することにより、自分自身の医療費の額を認識してもらうとともに、医療費の削減について意識を促す。

・被保険者のうち人間ドック受診者に対し、その費用の一部を助成する。

主な実施内容

・医療費通知…年３回、被保険者に医療機関にかかった時の総医療費をお知らせしている。
・後発医薬品利用差額通知…年２回、後発医薬品に切り替えた場合の差額をお知らせしている。
・人間ドック助成事業…日帰り及び１泊２日人間ドック、脳ドックを受診した被保険者に対する助成
【助成額】人間ドック　64歳以下 日帰り 20,000円、1泊2日 30,000円、単独脳ドック 18,000円

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		13,660,253 円	15,135,506 円	15,378,688 円
財源内訳	特定財源	4,453,000 円	7,536,000 円	6,462,149 円
	一般財源	9,207,253 円	7,599,506 円	8,916,539 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
18,720,000	-2,768,000	53,350		16,005,350	15,378,688	

不用額	特定財源	細節名	県繰入金	保険者努力支援		
626,662		金額	1,548,000	4,914,179		

事業の実績・成果

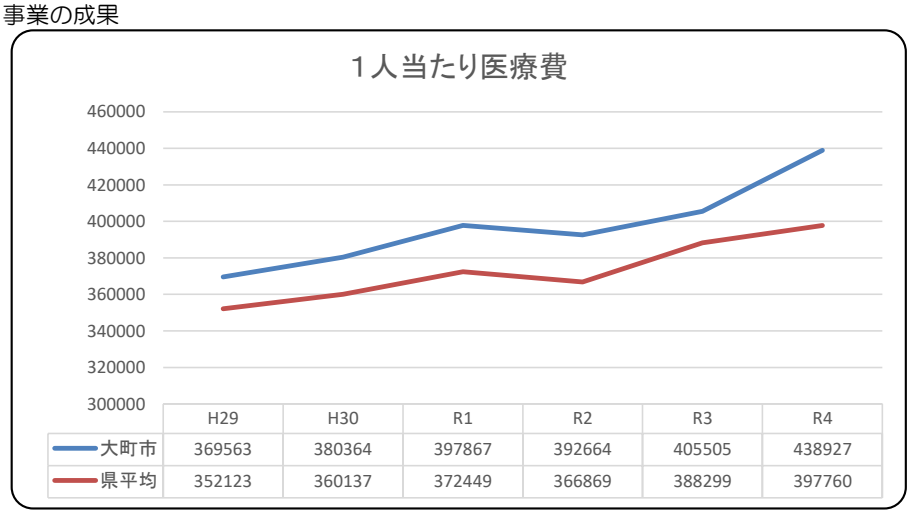
前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

○健康診査及び人間ドック受診者数

種　類	元年度	２年度	3年度	4年度
人間ドック（日帰り）	642	524	576	585
人間ドック（1泊）	30	22	28	19
脳ドック	6	5	4	5

◆ 事業の成果



◆ 前年度からの改善点

国保加入時に、特定健診の説明とともに、人間ドックの助成制度についてもお知らせし、特定健診か人間ドックのどちらかを受診するように勧めている。

公営簡易水道事業特別会計決算対前年度比較

歳入　　（単位：円）

款	項		令和４年度 収入済額	令和３年度 収入済額	前年度差額	増減率 (%)
1		使用料及び手数料	40,042,131	40,101,345	-59,214	-0.1
	1	使用料	40,032,131	40,031,345	786	0.0
	2	手数料	10,000	70,000	-60,000	-85.7
2		分担金及び負担金	144,925	209,000	-64,075	-30.7
	1	分担金	88,000	209,000	-121,000	-57.9
	2	負担金	56,925	0	56,925	皆増
3		繰入金	115,932,000	125,501,000	-9,569,000	-7.6
	1	繰入金	115,932,000	125,501,000	-9,569,000	-7.6
4		繰越金	7,538,098	11,644,859	-4,106,761	-35.3
	1	繰越金	7,538,098	11,644,859	-4,106,761	-35.3
5		諸収入	501,022	454,895	46,127	10.1
	1	雑入	151,360	95,700	55,660	58.2
	2	延滞金加算金及び過料	0	0	0	-
	3	受託事業収入	349,662	359,195	-9,533	-2.7
6		市債	17,300,000	42,600,000	-25,300,000	-59.4
	1	市債	17,300,000	42,600,000	-25,300,000	-59.4
合計			181,458,176	220,511,099	-39,052,923	-17.7

歳出　　（単位：円）

款	項		令和４年度 支出済額	令和３年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
1		総務費	75,387,584	64,444,163	10,943,421	17.0
	1	一般管理費	33,523,222	32,531,856	991,366	3.0
	2	施設管理費	41,864,362	31,912,307	9,952,055	31.2
2		建設改良費	34,661,000	85,462,800	-50,801,800	-59.4
	1	建設改良費	34,661,000	85,462,800	-50,801,800	-59.4
3		公債費	64,372,017	63,066,038	1,305,979	2.1
	1	公債費	64,372,017	63,066,038	1,305,979	2.1
4		予備費	0	0	0	-
	1	予備費	0	0	0	-
合計			174,420,601	212,973,001	-38,552,400	-18.1

主要な施策の成果説明書

前年度評価	継続										
担当課	建設水道部	上下水道課	水道施設係・経営係					事務事業No.	122111		
事務事業名	水道施設整備事業							実施方法	市が直接実施		
会計	公営簡易水道事業特別会計	款	2	項	1	目	1	決算書	1	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第４章_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						後期計画登載頁	76	頁	
	施策目標	【１】自然と共生した環境の創造									
	施策項目	②上水道・公営簡易水道の整備など水資源の保全と活用									
個別計画	大町市水道ビジョン									頁	

事業の目的

対象とありたい姿

- 公営簡易水道事業において、水道とは、市民生活に欠かせないライフラインであり、安全で良質な水道水を安定供給し、市民の保健衛生に寄与する
- 水源保全の強化に努め、老朽化した管路や施設の更新と耐震化を促進するとともに、浄水設備の計画的な整備を実施し、安全な水道水を将来にわたり安定的に供給できる水道づくりを推進する

主な実施内容

- 水源保全のための水源調査や改修等の実施
- 老朽化した水道施設、管路等の計画的な更新および耐震化等の実施
- 低廉な水道水を安定供給するための事業運営

事業費

決算額		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総事業費（決算額）		54,308,720 円	85,462,800 円	34,661,000 円
財源内訳	特定財源	54,308,720 円	85,462,800 円	34,661,000 円
	一般財源	0 円	0 円	0 円

予算

令和4年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費 前年度からの繰越額	予備費支出及び流用増減額の計	計	支出済額	翌年度繰越額
87,000,000	-1,995,000	14,124,000	0	99,129,000	34,661,000	62,000,000

不用額	特定財源	細節名	簡易水道債	一般会計繰入金		
2,468,000		金額	17,300,000	17,361,000		

事業の実績・成果

前年度からの改善点等：あり

◆ 施策目標に資する活動

〇公営簡易水道の安定した給水体制の整備

・配水管布設事業 八坂野平工区　配水管　HPPEφ75　L= 408m
八坂瀬口工区　配水管　HPPEφ75　L= 138m
計 546m



・機械電気計装設備整備事業
美麻石原ポンプ場　膜ろ過装置設置工事 n= 2基
R4繰越工事で実施しており、令和5年8月の供用開始に向け最終調整中である。
美麻新行配水池　浄水装置実施設計　n= 一式

◆ 事業の成果

〇水道管の布設替工事を実施した結果、水道管総延長約125㎞の耐震化率は20.3%（前年比0.1%増）となった。今後も計画的な施設更新を継続的に実施し、安全な水道水を安定して供給していく。

耐震化率	R3	R4	増減
基幹管路	36.0%	35.4%	0.6%減
配水管	10.9%	11.5%	0.6%増
水道管全体	20.2%	20.3%	0.1%増

〇遠隔監視装置が昨年度デジタル化されたことにより、各施設での送配水流量などの異常を早期に発見できたことで、水源水量に余裕がない地域への、安定した水量の確保が図られた。

◆ 前年度からの改善点

〇布設から50年が経過し、老朽化が著しく漏水が発生していた配水管の布設替え工事を実施し、安心で安全な供給の整備を行った。